取扱説明書

FOMA® P905i

’08.4

ドコモ W-CDMA・GSM／GPRS方式

このたびは、「FOMA P905i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA P905iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、
  RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.109）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本構造メニューに切り替えるか（P.109）、メニュー設定をリセット（P.109）してください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書の手順や画面は、本体色「ホワイト」のお買い上げ時の設定で記載しています。ただし、「メニューアイコン設定」は「ピンクゴールド」、「画面表示設定」の「待受画面」は「OFF」に設定した状態で記載しています。
- 特に記載のない場合、本書では待受画面からの操作手順を記載しています。
- 操作の方法は、スクロール選択（P.31参照）で説明しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。

本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名･サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から

▶▶P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から

▶▶P.8

主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から

▶▶P.394

機能一覧表を利用して探します。

クイックマニュアルから

▶▶P.458

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。
また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

ボタンの表記について

- 本書では、ボタンの表記を省略しています。
  本書で使用している各ボタンのイラストについては、P.24「各部の名称と機能」参照。
- 本書の操作手順の記載についてはP.31参照。

実際のボタン	本書での表記
1 (本体色:ブラック･ホワイト)	1
1 (本体色:レッド)	
1 (本体色:ピンクゴールド)	

- この「FOMA P905i 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA P905i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについてはP.293参照。

- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

索引から

►►P.450

機能名称やサービス名称などを下記の例のように探します。

P.335「アラームを利用する」の説明ページへ

かんたん検索から

►►P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を下記の例のように探します。

こんなこともできます

P.335「アラームを利用する」の説明ページへ

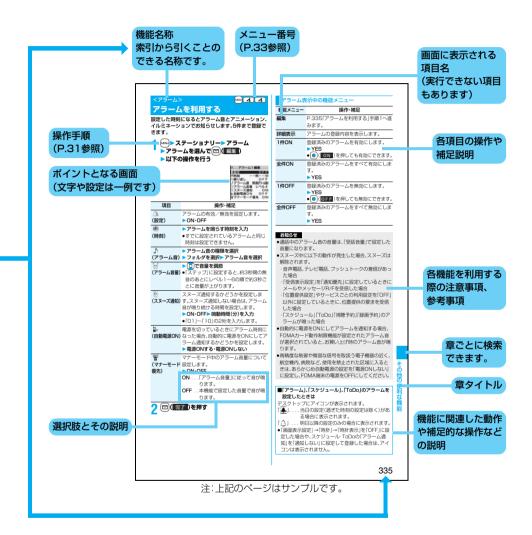
表紙インデックスから

►►表紙

下記の例のように「表紙」→「章扉(章の最初のページ)」→「説明ページ」の順に設定したい機能を探します。

ワンセグ
フルブラウザ/PC動画
データ表示/編集/管理
Music&Videoチャネル/音楽再生
その他の便利な機能
文字入力
ネットワークサービス
パソコン接続
海外利用

P.335「アラームを利用する」の説明ページへ

注：上記のページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

ワンセグを使いこなしたい

こんなこともできます

●よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。(P.458参照)

目次

FOMA P905iの主な機能

FOMA(Freedom Of Mobile multimedia Access)とは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモードメニューサイト(番組)やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

◆iモードメール／デコメール／デコメ絵文字 ▶▶P.172、P.175、P.272

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付できます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色･大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入できます。

◆メガiアプリ／直感ゲーム ▶▶P.210

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。大容量のメガiアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
また、ケータイを「傾ける」「振る」などといった感覚的な操作で楽しむ直感ゲームにも対応。P905iなら音声認識にも対応しているので声に反応した操作も可能です。

◆高速通信対応 ▶▶P.380

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

◆国際ローミング ▶▶P.386

日本国内でお使いのFOMA端末･電話番号･メールアドレスが海外でもそのまま使えます。(GSM･3Gエリアに対応)
音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。
また、日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳する「しゃべって翻訳 for P」をプリインストールしています。

◆GPS ▶▶P.232

GPSを使って取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報の検索、自分の位置を添付したメール通知、目的地までのナビゲーションが可能です。
地図アプリをプリインストールしており、高精細な地図を手軽に利用できます。

◆着うたフル®／うた･ホーダイ／Music&Videoチャネル※／ビデオクリップ ▶▶P.168、P.316、P.321、P.323

1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ1つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた･ホーダイに対応。
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。P905iなら動画付きの番組も楽しめます。
さらに、10MBまでのiモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。

- 「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

◆おサイフケータイ／トルカ ▶▶P.224、P.225

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしています。また、機種変更などのFOMA端末お取替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

◆きせかえツール ▶▶P.109、P.292

iモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受画面やメニュー画面などを一括して変更できます。
P905iなら利用頻度に合わせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズできます。

◆Bluetooth ▶▶P.348

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

◆Feel＊Talk／Feel＊Mail ▶▶P.109

45種類のキャラクタの動きとイルミネーションによって会話やメールの雰囲気を再現します。会話や新着メールの内容に応じて楽しいアニメーションやイルミネーションが表示されます。

◆ワイドVGA画面

約3.0inchのワイドVGA（480ドット×854ドット）画面に静止画や動画を表示でき、ワンセグの番組も迫力ある大画面で楽しめます。
また、光センサーで周囲の明るさに合わせてバックライトを自動調整したり、液晶AIにより明るさに合わせて画質を補正することもできます。

◆ヨコオープンスタイル ▶▶P.26

横大画面のヨコオープンスタイルでワンセグやビデオを見ることができます。また、フルブラウザでは横スクロールせずにインターネットホームページを表示できます。スタイル連動設定により、スタイルを切り替えるだけで自動的にワンセグを起動できます。

◆ワンプッシュオープン ▶▶P.26

■ワンプッシュ応答 ▶▶P.63

着信があった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。

■オープン新着表示 ▶▶P.106

不在着信や新着メールがあった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで不在着信履歴詳細画面や受信メール一覧画面を表示できます。

◆メールブラインド ▶▶P.198

メールの詳細画面やメール作成画面などの文字をグレー表示にして、周りの人から見えにくくします。（文字入力中の画面では、グレー表示にはなりません）

◆手ぶれ補正 ▶▶P.144

手ぶれ補正機能により、ぶれの少ない静止画・動画をアウトカメラで撮影できます。

◆ドキュメントビューア ▶▶P.310

パソコンで作成したMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルをFOMA端末で表示できます。

◆あんしん設定 ▶▶P.117

各種ロック機能やセキュリティ設定などの「あんしん」のための各種設定をご利用いただけます。

■おまかせロック ▶▶P.120

FOMA端末を紛失した際にFOMA端末にロックがかけられ、申し出により解除できます。
お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご参照ください。
なお、おまかせロックは有料サービス※です。
※ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
●おまかせロックは、ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■電話帳お預かりサービス ▶▶P.129

FOMA端末の電話帳、画像、メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。
電話帳お預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

◆ネットワーク ▶▶P.363

●留守番電話サービス（有料）
・お申し込みが必要となります。
●デュアルネットワークサービス（有料）
・お申し込みが必要となります。
●SMS（無料）
・お申し込みは不要です。
●キャッチホン（有料）
・お申し込みが必要となります。
●マルチナンバー（有料）
・お申し込みが必要となります。
●転送でんわサービス（無料）
・お申し込みが必要となります。
●2in1（有料）
・お申し込みが必要となります。

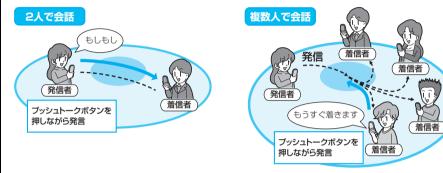
FOMA P905iを使いこなす！

◆テレビ電話 ▶▶P.50

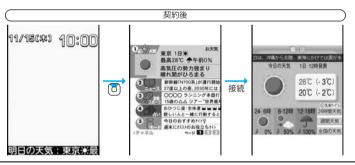
離れている相手と顔を見ながら会話できます。
お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

◆プッシュトーク ▶▶P.76

プッシュトーク電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。

◆ｉチャネル ▶▶P.169

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（P.154参照）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
●お申し込みが必要な有料サービスです。

未契約

契約後

◆ワンセグ ▶▶P.244

ワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）をご覧いただけます。字幕やデータ放送を表示したり、視聴中の番組をビデオまたは静止画として録画したりできます。また、視聴・録画したい番組を予約しておくこともできます。マルチウィンドウを利用して、ワンセグを視聴しながらｉモードメールを作成したり、送受信したｉモードメールを確認することもできます。

◆2in1 ▶▶P.372

1つの携帯電話で、2番号･2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発着信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A･B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。

●お申し込みが必要な有料サービスです。

Aモード
電話番号：090-AAAA-AAAA
アドレス：XXA@docomo.ne.jp
電話帳　：Aモード用

Bモード
電話番号：090-BBBB-BBBB
アドレス：XXB@docomo.ne.jp
電話帳　：Bモード用

Aモード

デュアルモード

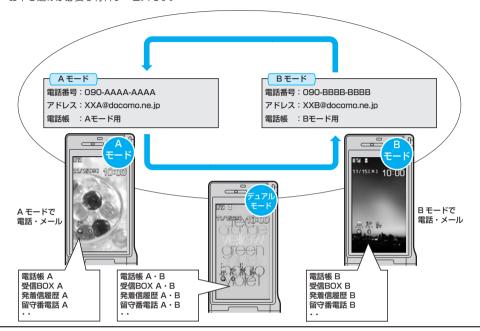
Bモード

Aモードで
電話・メール

Bモードで
電話・メール

電話帳 A
受信BOX A
発着信履歴 A
留守番電話 A
・・

電話帳 A・B
受信BOX A・B
発着信履歴 A・B
留守番電話 A・B
・・

電話帳 B
受信BOX B
発着信履歴 B
留守番電話 B
・・

◆ミュージックプレーヤー ▶▶P.323

着うたフル®、Windows Media® Audio（WMA）ファイルやSDオーディオを、1つのプレーヤーで再生して楽しむことができます。

着うたフル®は、サイトからダウンロードして、音楽とともに画像や歌詞も表示できる場合があります。

SDオーディオ、WMAファイルはパソコンを利用して、音楽CDやインターネットなどからお好きな音楽をmicroSDメモリーカードに保存できます。

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

◆着もじ ▶▶P.55

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指 示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電器含む)は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　P15
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01／02
卓上ホルダ　P24
FOMA乾電池アダプタ　01
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ(充電器含む)、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ(充電器含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック・アダプタ(充電器含む)の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

つづく↓

禁止

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフォトライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
　補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
　植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。
アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。
肌に触れるとやけどなど、けがの原因となります。

禁止

モーショントラッキングご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーショントラッキングは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作する機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。
本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

禁止

ヨコオープンスタイル用フックが飛び出た状態のまま、使用しないでください。
けがの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
充電端子	りん青銅	ニッケルメッキ下地に金メッキ仕上げ
ワンセグアンテナの金属部分	黄銅	ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ヨコオープンスタイル用フック	ステンレス鋼	ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
コマンドナビゲーションボタン	ポリカーボネート	アルミニウム蒸着、ハードコート
プライベートウィンドウ側の「P905i」ロゴパネル	ABS	スズ蒸着、ハードコート
ワンプッシュオープンボタンの金属部分	アルミニウム	―

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

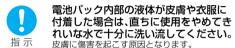
つづく↳

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

警告

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク／AV出力端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

つづく

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■外部接続端子やイヤホンマイク/AV出力端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
■通常はイヤホンマイク/AV出力端子カバー、外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。
■microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
■電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ(充電器含む)についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
■充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■他のICカードリーダー/ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
■極端な高温・低温は避けてください。
■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

カメラについてのお願い

■お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1

対応プロファイル※2(対応サービス)
HSP
Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)
HFP
Hands-Free Profile(ハンズフリープロファイル)
A2DP
Advanced Audio Distribution Profile
(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)
AVRCP
Audio Video Remote Control Profile
(オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル)
DUNP
Dial-up Networking Profile
(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
OPP
Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)
SPP
Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetoothの接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4 :2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH :変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 :想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「IMCS」「OFFICEED」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iC」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「HIGH-SPEED」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。

- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- 「VIERA」は松下電器産業株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- 静止画手ぶれ補正は、株式会社モルフォのPhotoSolid®を使用しています。
  PhotoSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Sync Clientを搭載しています。
  Copyright © 2007 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能として、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  ACCESS、NetFront、IrFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™およびAdobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。

  Flash Lite copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
  Adobe Reader copyright © 1984-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

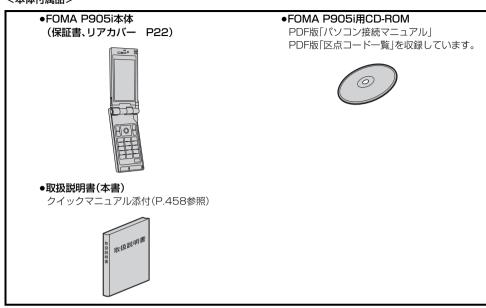
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307 5,504,773 5,109,390
  5,535,239 5,267,262 5,600,754
  5,416,797 5,490,165 5,101,501
  5,511,073 5,267,261 5,568,483
  5,414,796 5,659,569 5,056,109
  5,506,865 5,228,054 5,544,196
  5,337,338 5,657,420 5,710,784
  5,778,338
- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL･LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn V2を使用しています。
  "Advanced Wnn V2" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2007 All Rights Reserved.
- 本製品のBluetoothソフトウェア･スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth™ Stack for Embedded Systems Spec 2.0を搭載しております。
- 本製品のFeel＊Talkはアレグリア株式会社の音声分析技術「Sense」を搭載しています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4ビデオ)を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照下さい。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
  ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
  ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照下さい。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・VC-1の規格に準拠する動画(以下、VC-1ビデオ)を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたVC-1ビデオを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたVC-1ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照下さい。
- 「PRINT Image Matching」「PRINT Image MatchingⅡ」「PRINT Image MatchingⅢ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産･販売されています。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright © 2006, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術(WM-DRM)によってコンテンツの内容を保護し(以下、"保護コンテンツ"といいます)、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

- ●FOMA P905i本体
（保証書、リアカバー　P22）
- ●FOMA P905i用CD-ROM
PDF版「パソコン接続マニュアル」
PDF版「区点コード一覧」を収録しています。
- ●取扱説明書（本書）
クイックマニュアル添付（P.458参照）

＜主なオプション品＞

- ●FOMA ACアダプタ　01／02
（保証書、取扱説明書付き）
- ●卓上ホルダ　P24
（取扱説明書付き）
- ●電池パック　P15
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.421

ご使用前の確認

各部の名称と機能

●本体色によってボタンのデザインが異なります。上記は本体色「ブラック」「ホワイト」のイラストです。

■平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を抜き差しするときは

プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、カバーとプラグを一緒に持たないようにご注意ください。

❶受話口

・相手の声をここから聞く

❷ディスプレイ(表示部)

(P.28参照)

❸(✉)メールボタン

・メールメニューを表示(P.187参照)

・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.27参照)

<1秒以上押すと>

・iモード問い合わせを行う(P.183参照)

❹(MENU)メニューボタン/ICカードロックボタン

・メインメニューを表示(P.31参照)

・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.27参照)

<1秒以上押すと>

・ICカードロックをかける(P.230参照)

❺(CLR)クリアボタン

・操作を1つ前の状態に戻す

・入力した文字や電話番号を消す

<1秒以上押すと>

・メインメニューをリセットする(P.109参照)

❻(☎)開始ボタン/ハンズフリーボタン

・電話をかける/受ける(P.50、P.60参照)

・ハンズフリーで通話する(P.60参照)

<1秒以上押すと>

・ボイスダイヤルを呼び出す(P.94参照)

❼送話口

・自分の声をここから相手に送る

❽赤外線ポート

・赤外線通信や赤外線リモコンに使用
(P.303、P.306参照)

❾光センサー

・明るさを感知する(P.107参照)

❿インカメラ

・自分を撮影(P.133参照)

・テレビ電話時に自分の顔を映す

⓫(○)コマンドナビゲーションボタン

・機能操作やメニュー操作を行う(P.27参照)

⑫ i モードボタン／ i アプリボタン
・i モードメニューを表示(P.152参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.27参照)
<1秒以上押すと>
・i アプリのソフト一覧画面を表示(P.211参照)

⑬カメラボタン／ワンセグボタン
・「フォトモード」でカメラを起動(P.139参照)
・カメラ起動中にカメラモードを切り替える(P.143参照)
・ナビゲーション表示に対応した操作を行う(P.27参照)
<1秒以上押すと>
・ワンセグを起動(P.247参照)

⑭電源／終了ボタン
・通話を終了する　・各機能を終了する
・電源を入れる(1秒以上)／切る(2秒以上)(P.44参照)

⑮ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力
●#(1秒以上)
マナーモードに設定(P.102参照)
●*(1秒以上)
公共モード(ドライブモード)に設定(P.65参照)
●1(1秒以上)
現在地を測位してGPS機能を実行(P.232参照)
●5(1秒以上)
バックライトの点灯／消灯を切り替える(P.107参照)

⑯MULTIマルチボタン
・マルチタスクメニューを表示(P.333参照)
<1秒以上押すと>
・「3G/GSM切替」の設定画面を表示(P.390参照)
・複数の機能が起動中に機能を切り替える(P.333参照)

⑰ヨコオープンスタイル用フック

⑱外部接続端子
・ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)などを接続

⑲着信／充電ランプ
・電話の着信時／通話中／メールの受信時などに点滅(P.111参照)
・充電中に赤色に点灯

⑳プライベートウィンドウ
(P.30参照)

㉑ワンセグアンテナ
・ワンセグ放送を受信(P.245参照)

㉒アウトカメラ
・人や風景を撮影(P.133参照)
・テレビ電話時に人や風景を映す

㉓スピーカー
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く(P.60参照)

㉔FeliCa マーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.225参照)

㉕FOMAアンテナ
●FOMAアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉖フォトライト
・カメラ撮影時に点滅
・暗い所などでの撮影に使用(P.143参照)

㉗microSDメモリーカード差し込み口
・microSDメモリーカードをここに差し込む(P.293参照)

㉘リアカバー
・電池パック、FOMAカード、microSDメモリーカードの付け外しをするときに取り外す(P.38、P.41、P.293参照)
●リアカバー裏面の黒いシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。

㉙充電端子

㉚ストラップ取り付け穴

㉛プッシュトークボタン
・プッシュトーク発信／着信(P.76、P.78参照)
・プッシュトーク電話帳を表示(P.79参照)
<1秒以上押すと>
・「ミュージックプレーヤー」を起動(P.323参照)

㉜▲サイド上ボタン
・ページ単位で上にスクロールする
<開いた状態で1秒以上押すと>
・2in1を「ON」に設定(P.372参照)

㉝▼サイド下ボタン
・ページ単位で下にスクロールする
・伝言メモなどを利用(P.68参照)
・不在着信・新着メールを確認(P.112参照)
<閉じた状態で1秒以上押すと>
・マナーモードに設定(P.102参照)

㉞イヤホンマイク／AV出力端子
(P.312、P.346参照)

㉟ワンプッシュオープンボタン
(P.26参照)

㊱ヨコオープンレバー
(P.26参照)

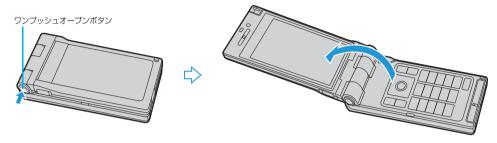
スタイルについて

P905iには2つのスタイルがあります。

■ノーマルスタイル

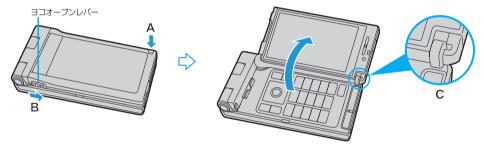
ワンプッシュのボタン操作で簡単にFOMA端末を開けます。(ワンプッシュオープン)

●ボタンを使わず手で開くこともできます。

●FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。

■ヨコオープンスタイル

Aの部分が持ち上がらないようにして、ヨコオープンレバーをBの方向にスライドさせた状態でディスプレイ部を開きます。ワンセグやフルブラウザなどを横大画面で利用できます。

●横大画面にならない場合でも、ほとんどの機能がヨコオープンスタイルで利用できます。

●ディスプレイ部を開いたときにCの状態になっていない場合は、一旦閉じてから開いてください。

お知らせ

●FOMA端末の向きによっては、ワンプッシュオープンボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。

●ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。

●ヨコオープンスタイルでワンプッシュオープンボタンを押すと、閉じたときにノーマルスタイルで開きますので注意してください。

●スタイルを切り替えるときは、必ずFOMA端末を完全に閉じた状態で操作してください。ノーマルスタイルや、ディスプレイ部が持ち上がった状態でヨコオープンレバーを操作すると、故障や破損の原因となります。

スタイル連動設定

ヨコオープンスタイルで開いたときに、スタイルに連動して自動的にワンセグを起動できます。

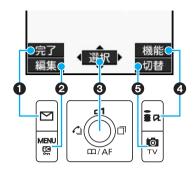
1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**スタイル連動設定**▶**ワンセグ・OFF**

●「ワンセグ」に設定していても、待受画面以外を表示中は自動的に起動しません。

ナビゲーション表示とボタン操作について

表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

❶	ボタンで行う操作を表示	完了
❷	MENUボタンで行う操作を表示	編集 登録
❸	ボタンで行う操作を表示	選択 確定
	ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	▲ ◀ ▶ ▼
❹	ボタンで行う操作を表示	機能 設定
❺	ボタンで行う操作を表示	切替 詳細

■コマンドナビゲーションボタンの操作

上
・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すとチャネル一覧画面が表示されます。(P.170参照)
・入力した文字をカタカナ、漢字などに変換します。(P.357参照)

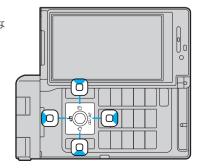
左／着信履歴
・カーソルを左方向へ移動します。
・待受画面で押すと着信履歴が表示されます。1秒以上押すと受信アドレス一覧が表示されます。(P.54、P.195参照)
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中に前のページに戻ります。

決定ボタン
・操作を決定します。

右／リダイヤル
・カーソルを右方向へ移動します。
・待受画面で押すとリダイヤルが表示されます。1秒以上押すと送信アドレス一覧が表示されます。(P.53、P.195参照)
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中に次のページを表示します。

下
・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すと電話帳検索画面が表示されます。1秒以上押すと電話帳登録できます。(P.84、P.89参照)
・入力した文字を漢字、カタカナなどに変換します。(P.357参照)

■ヨコオープンスタイル時のボタン操作

縦画面表示中はノーマルスタイル時と同様に操作できます。
横画面表示中はナビゲーション表示されず、機能によっては操作が異なるものもあります。
本書では、横画面表示中のコマンドナビゲーションボタン()は、横画面に対する向きで記載しています。

ディスプレイの見かた

<プライベートウィンドウ>

アイコン	説明
❶	
	電池残量(目安)(P.44参照)
❷	
	電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	セルフモード中(P.121参照)
❸	
	ｉモード中(P.152参照)
	ｉモード通信中(P.152参照)
	パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
	プッシュトーク通信中(P.76参照)
	ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.390参照)
❹	
	SSL通信中(P.153参照)
❺	
(白色)	未読ｉモードメール・SMSあり(P.182、P.207参照)
(黒色)	FOMA端末内のｉモードメール・SMSが一杯(P.182、P.207参照)
	FOMAカード内のSMSが一杯
(白色)	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
(黒色)	FOMA端末内・FOMAカード内の両方が一杯
	エリアメールあり(P.202参照)
❻	
(白色)	未読メッセージR/Fあり(P.200参照)
(黒色)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.200参照)
❼	
(白色)	ｉモードセンターにｉモードメールあり(P.183参照)
(黒色)	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯(P.182参照)
(白色)	ｉモードセンターにメッセージR/Fあり(P.200参照)
(黒色)	ｉモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.200参照)

アイコン	説明
	メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり(P.183参照)
❽	
	音声電話中
	テレビ電話中(64K)
	テレビ電話中(32K)
	64Kデータ通信中
❾	
	現在地測位中(P.232参照)
	位置提供設定を「ON」に設定中または「許可期間設定」に設定中で許可期間内(P.240参照)
	位置提供設定を「許可期間設定」に設定中で許可期間外(P.240参照)
❿	
	microSDメモリーカードを装着中(P.294参照)
	microSDメモリーカードのデータを読み込み／書き込み中
	ライトプロテクトがかかったmicroSDメモリーカードを装着中(P.294参照)
	装着しているmicroSDメモリーカードが使用不可(P.294参照)
	microSDメモリーカードを装着し、microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)接続中(P.300参照)
	microSDメモリーカードを装着し、MTPモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)接続中(P.300参照)
⓫	
(青色)	Bluetooth機器との接続中など(P.350、P.351参照)
(黒色)	Bluetooth機器との接続が低消費電力状態(P.350参照)
⓬	
	オールロック中(P.120参照)
	パーソナルデータロック中(P.121参照)
	ダイヤル発信制限中(P.125参照)
	シークレットモード、シークレット専用モード中(P.126参照)

アイコン	説明
	ICカードロック中(P.230参照)
	ダイヤル発信制限中･パーソナルデータロック中
	ダイヤル発信制限中･シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中･オールロック中
	ICカードロック中･パーソナルデータロック中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中
	ICカードロック中･シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中･パーソナルデータロック中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中･シークレットモード、シークレット専用モード中
⑬	
3G 3G GSM GPRS	利用中のネットワークの種類(P.387参照)
OFFICEED	OFFICEEDエリア内にいるとき(P.378参照)
⑭	
	閉じタイマーロック設定中(P.122参照)
⑮	
	マルチタスク中(P.332参照)
	複数の機能が起動中(P.332参照)
	ワンセグ視聴中(P.247参照)
	ミュージック再生中(P.324参照)
	ミュージック一時停止中(P.324参照)
⑯	
	赤外線通信中(P.303、P.306参照)
⑰	
	通信モードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)接続中
	microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)接続中(P.300参照)
	USBハンズフリー対応機器で通話･通信中(P.60参照)
	USBハンズフリー対応機器接続中(P.60参照)
	microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中(P.60参照)
⑱	
	バイブレータ設定中(P.100参照)
⑲	
	着信音量を｢消去｣に設定中またはメール／メッセージ鳴動を｢OFF｣に設定中(P.64、P.101参照)
⑳	
	マナーモード中(P.102参照)
	遠隔監視設定を｢ON｣に設定中(P.73参照)
㉑	
	公共モード(ドライブモード)中(P.65参照)
㉒	
	通話料金が設定した上限値を超過(P.344参照)
㉓	
	アラーム設定中(P.255、P.336参照)
㉔	
	Music&Videoチャネル番組予約中(P.316参照)
㉕	
	バックライトを｢OFF｣に設定中(P.107参照)
㉖	
	サイドボタン操作を｢閉じた時無効｣に設定中(P.125参照)
㉗	
	USBモード設定を｢microSDモード｣に設定中(P.300参照)
MTP	USBモード設定を｢MTPモード｣に設定中(P.300参照)
㉘	
～ ･	2in1のモードがデュアルモードの場合で、Bナンバーへ留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.377参照)
㉙	
～ ･	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.364参照)
㉚	
～	伝言メモの録音件数(P.67参照)
㉛	
～	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.67参照)

- 横画面表示の場合、画面の左下に❶～⓱のアイコンが表示されます。
- ⓰⓱のアイコンが表示されているときは、画面右上(横画面表示の場合は中央下)の時計は表示されません。
- 待受画面が表示されているときは、お知らせアイコンや貼り付けアイコンが表示されます。(P.112参照)

つづく

お知らせ

- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。また、プライベートウィンドウはモノクロで表示されます。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

<表示アイコン説明>
アイコンの説明を表示する

画面の上部に表示されるマーク（ など）をアイコンといいます。選択したアイコンの意味は画面上で確認できます。

1 MENU▶設定▶ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、さまざまな情報が以下の例のように表示されます。
FOMA端末を閉じた状態で▲▼またはを押すと、プライベートウィンドウに情報が約15秒間表示されます。

時計

発信中

着信中

音声通話中

スケジュールアラーム

■不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは「着信あり」が表示されます。
▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。
複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。

- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
- 他の機能が起動中は、不在着信履歴が表示されないことがあります。
- 不在着信履歴を表示すると「着信あり」は消えます。

■新着メール、新着メッセージR/Fがあったときは

FOMA端末を閉じているときはFeel＊Mail画像が再生され、「メールあり」が表示されます。
▲を押すと最新のFeel＊Mail画像が再生されます。（メッセージR/FではFeel＊Mail画像は再生されません。）
P.106「メール表示」を「ON」に設定している場合は、メールの受信日時、送信元、題名や、メッセージR/Fの受信日時、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。複数のメール、メッセージR/Fを受信していると、「メールあり」が表示された状態で▲を押すごとに3件までのメール、メッセージR/Fが表示されます。

- Feel＊Mail画像再生や受信日時などの表示は、▲を押すと終了します。
- セキュリティが設定されているBOX･フォルダへのメール、メッセージR/Fは、Feel＊Mail画像の再生や受信日時などの表示は行われません。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」の設定によっては、メッセージR/Fを受信したときに、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 受信したメール、メッセージR/Fの受信日時などを表示すると「メールあり」は消えます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。
- 「シークレットメール表示設定」を「表示しない」に設定している場合、通常モードでシークレットメールを受信するとFeel＊Mail画像は再生されません。

■ｉチャネルを受信したときは

P.106「ｉチャネルテロップ表示」が「ON」の場合、FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウにテロップが再生されます。

●▲▼または🔘を押すと、テロップ再生は終了します。

あすの天気：東京

時計の表示を変更する

時計を表示しているときに▲を押すと、表示内容を変更できます。

時刻のみ

アイコンと日付／時刻

メニューの選択方法について

FOMA端末ではMENUを押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

●MENUを押す以外の操作でも機能を選択できるものがあり、本書では簡単に選択できる方法で記載しています。

●基本機能に絞って使いやすくしたシンプルメニューに切り替えることもできます。（P.35参照）

●本FOMA端末は、きせかえツール（P.109参照）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。
また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本構造メニューに切り替えるか（P.109参照）、メニュー設定をリセット（P.109参照）してください。
「メニューアイコン設定」をきせかえツールの「ドコモダケ_P905i」で設定している場合、大項目の「基本メニュー呼び出し」を選択すると、一時的に通常のメニュー構成に戻すことができます。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした12個の大項目アイコンで構成されています。

●大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。

●選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、MENU＋メニュー番号（P.394参照）を押すと表示されます。

■マルチタスクに対応

●メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。（P.332参照）

スクロール選択

本書では、コマンドナビゲーションボタンの操作（上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの●）を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

1 MENU▶**設定**▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし．．．お知らせしません。
アラーム高音．．．高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音．．．低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

つづく

1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから「設定」を選択します。お買い上げ時のメインメニューは本体色によって異なります。(P.397参照)

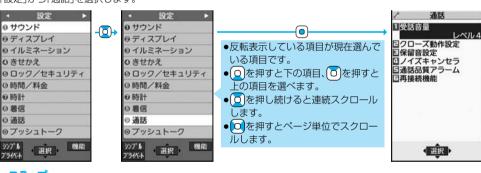
メインメニュー

- を押してアイコンを選択します。を押し続けると連続スクロールします。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

ステップ

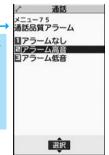
2 メニュー機能の中項目を選択します

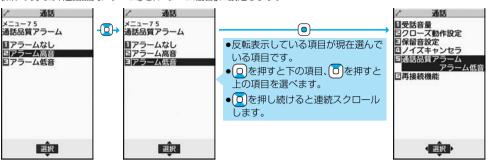
「設定」から「通話」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ

3 目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

4 機能の設定や確認をします

機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

メニュー番号選択

ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

メニュー番号の記載例

1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面でMENU 7 5を押します。

機能メニュー

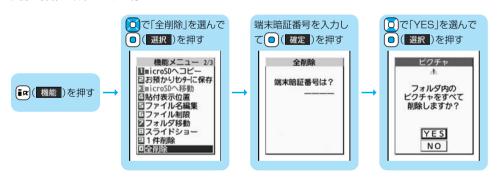
画面の右下に「機能」が表示されているときに[iα]を押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだ機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

本書では、機能メニューの操作を以下のように記載しています。

機能メニュー	操作･補足
全削除	すべてのデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

実際の操作は以下のように行います。

■すばやく項目を選択するには<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じダイヤルボタンを押します。

■項目のスクロールについて

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から[◎]を押すと前、次のページが表示できます。[◎]を押すとページ単位でスクロールします。▲ページ／▼ページが画面に表示されているときは、[MENU]（▲ページ）／[📷]（▼ページ）を押してもページ単位でスクロールできます。

- メニューの小項目など、表示している画面によっては、[◎]の代わりに[▲][▼]を押してもページ単位でスクロールできる場合があります。

■チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。●(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によってはiα(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択したり、MENU(全選択／全解除)を押して、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

●機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

■操作を終えたあとは

小項目の選択画面が表示されます。☎を押すと待受画面に戻ります(マルチタスク中を除く)。機能によっては自動的に待受画面や元の画面に戻るものもあります。

■操作を途中でやめるには

☎を押します。設定中の内容が破棄されて待受画面や元の画面に戻ります。機能によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示される場合があります。CLRを押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

■「YES／NO」を選択する画面のときは

○を押して「YES」または「NO」を選び、●(選択)を押します。

設定リセットの場合

シンプルメニューを利用する

シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。

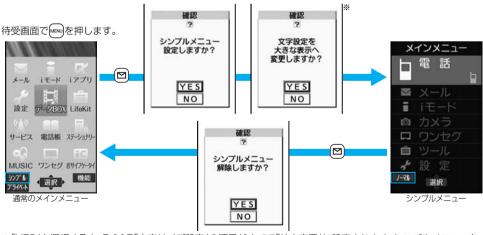
●本書では、通常のメインメニューでの操作のみを記載しています。シンプルメニューでの操作については、各機能の該当ページを参照してください。

●マルチタスクの機能は使用できません。(P.332参照)

シンプルメニューに切り替える

通常のメインメニューとシンプルメニューを切り替えます。

待受画面でMENUを押します。

通常のメインメニュー

シンプルメニュー

※「YES」を選択すると、P.115「文字サイズ設定」の項目がすべて「拡大表示」に設定されます。シンプルメニューを解除してもそれぞれの設定は元に戻りません。また、すでに「拡大表示」に設定されているときは、確認画面は表示されません。

シンプルメニューの構成

<使いかたナビ>

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 MENU▶ステーショナリー▶使いかたナビ▶項目を選択

基本の操作 . . . . 基本的な機能を表示します。手順4へ進みます。
おすすめ機能. . . おすすめの機能を表示します。手順4へ進みます。
機能検索 . . . . . . 機能を検索します。
ボイス検索 . . . . キーワードを話して検索します。P.37手順2へ進みます。
検索履歴 . . . . . . 過去の検索履歴を30件まで表示します。手順4へ進みます。

- 各項目を選んで[メール](ﾍﾙﾌﾟ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
- お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたナビのアイコン「[アイコン]」を選んで、使いかたナビの画面を表示させることもできます。

使いかたナビ画面

2 手順1で「機能検索」を選択した場合は、検索方法を選択

文字入力キーワード検索 . . . キーワードを入力して検索します。
索引検索 . . . . 機能を50音順で検索します。[左右キー]を押すと前後の行が表示できます。手順4へ進みます。
機能一覧検索. . . . . 機能の一覧から検索します。手順4へ進みます。

- 各項目を選んで[メール](ﾍﾙﾌﾟ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
「文字入力キーワード検索」を選んで[メール](ﾍﾙﾌﾟ)を押した場合は、「文字入力キーワード検索」または「文字入力のしかた」を選択します。

3 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。

●全角24文字/半角48文字まで入力できます。

4 機能を選択▶項目を選択

機能の説明. . . . . . . 機能の説明を表示します。
操作のしかた . . . . . 操作方法を表示します。
この機能を使う . . . 機能を実行します。各機能の操作を行います。
関連機能 . . . . 関連する機能を10件まで表示します。手順4を繰り返します。

●機能によっては(●)(選択)を数回押して選択します。
●手順1で「基本の操作」を選択した場合、機能を選択すると説明が表示されます。(✉)(実行)を押すと機能を実行できます。
●機能を選んで(✉)(説明)を押しても機能の説明が表示されます。
●検索履歴を削除するには(iα)(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

ボイス検索

キーワードを話して検索します。「音声読み上げ設定」の「ボイス検索」を「ON」に設定しておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 使いかたナビ画面▶ボイス検索

●(✉)(ヘルプ)を押し、「ボイス検索」または「音声入力のしかた」を選択すると詳しい操作方法が表示されます。

2 音声認識開始音が鳴ったらキーワードを話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。
認識結果が9件まで表示されます。

●音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
●音声で入力できるキーワードはあらかじめFOMA端末に登録されているキーワードのみです。発声した言葉が認識されにくい場合は、別の言葉を発声してみてください。
●音声入力についてはP.94参照。

3 認識結果を選択▶項目を選択

このキーワードで検索 . . . . . 選択したキーワードで検索します。検索結果が50件まで表示されます。P.37手順4へ進みます。
キーワードの追加 . . . . キーワードを追加します。手順2～手順3を繰り返します。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.41参照)

■取り付けかた

1 ツメの部分を引いてトレイを引き出す

●トレイを「カチッ」と音がするまでまっすぐ引き出します。

2 IC面を上にしてFOMAカードをトレイに乗せる

●FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてください。

3 トレイを奥に押し込む

●固定されるまで確実に押し込んでください。

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1に従ってトレイを引き出し、FOMAカードを取り外す

■トレイが外れたときは
トレイをガイドレールに合わせてまっすぐ押し込んでください。

お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。また、トレイを無理に付けようとするとトレイやガイドレールが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき(おまかせロック中は除く)は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.118参照)

FOMAカード動作制限機能について

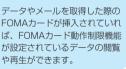
FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。

・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき

・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

●このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。

・テレビ電話伝言メモ	・動画メモ	・メロディ	・画像	・ｉモーション
・ｉアプリ	・キャラ電	・PDFデータ	・きせかえツール	・着うた®／着うたフル®
・テンプレート	・ダウンロード辞書	・画面メモ		

・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル

・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル(ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く)

・ファイル(メロディ／画像)が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F

・デコメール本文中に挿入されている画像

※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電／デコメ絵文字などは、サイトから再びインストール(バージョンアップ)すると本機能の対象になります。

※「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

●FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

つづく

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX™通信）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
  ･SMS有効期間設定　･SMS center設定　･バイリンガル　･優先ネットワーク設定
  ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定　･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード（緑色／白色）」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.85
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.165
WORLD WINGの利用※	利用不可	利用可	P.386
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内･受付（DoCoMo インフォメーションセンター）」の利用	利用不可	利用可	P.370

※WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

※万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失･盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失･盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック　P15を使用してください。

■取り付けかた

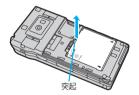
1 「⬭」部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）Bの方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

3 リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

■取り外しかた

1 「⬭」部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）Bの方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンプッシュオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
- 無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック　P15の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック　P15を使用してください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ　01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ　01（別売）、FOMA DCアダプタ　01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ　01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ　02およびFOMA海外兼用ACアダプタ　01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安（電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。）

ネットワーク	3G/GSM切替	連続待受時間	連続通話時間
FOMA/3G	3G	移動時：約410時間	音声電話時　：約200分
	自動	移動時：約400時間 静止時：約580時間	テレビ電話時：約110分
GSM	自動	静止時：約260時間	音声電話時　：約190分

ワンセグ視聴時間
約270分 （ECOモード時：約400分）

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラや音楽再生・Bluetooth接続を使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット　P01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、ワンセグ視聴時間は短くなることがあります。

電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約130分	DCアダプタ	約130分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)を卓上ホルダ(別売)に接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

3 卓上ホルダのストッパーにFOMA端末の底部を押し込み(A)、そのままFOMA端末の頭部をロックツメに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む(B)

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- 充電の開始、終了時に「充電確認音」(P.101参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタカバーや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「▯」表示
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、「▯」は表示されません。
  電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

■ACアダプタのみで充電するときは
刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタ(別売)
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。
詳しくはFOMA DCアダプタ　01／02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜電池残量＞

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき ....

・少なくなっているとき..............

・ほとんど残っていないとき ....

●電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。

画面と音で確認する

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**電池**▶**電池残量**

十分残っているとき

ピッピッピッ

少なくなっているとき

ピッピッ

ほとんど残っていないとき

ピッ

※ 電池残量がほとんどありません。充電してください。

●絵表示は約3秒後に消えます。

■電池が切れるときは

右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

●通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。

電池切れ画面

＜電源ON／OFF＞

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ☎**を1秒以上押す**

ウェイクアップ画面(P.105参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。

●電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

●時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。

●「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。

●電源を入れたときに「Starting System Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。

待受画面

■FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)
電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

■「FOMAカード(UIM)設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは
電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.118参照。

■「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)
電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにCLRまたは☎を押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.118参照。

お知らせ
●各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

1 ☎を2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。
●電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

<初期値設定>

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、番号通知、位置提供設定が設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 電源を入れる▶YES

●端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.45の操作を行います。

2 日付時刻を設定する

「自動時刻時差補正する」または「自動時刻時差補正しない」で時刻を設定するかを選択します。(P.46参照)

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.118参照)
1.「0000」を入力▶新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.101参照)
1.ON･OFF

5 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.240参照)

6 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを一括で設定します。(P.115参照)

つづく↓

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、(☎)または(CLR)を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。
- 初期値設定を終了すると、ソフトウェア更新を自動で行う旨の確認画面が表示されます。この画面は初回のみ表示され、以降設定リセットまたは端末初期化を行うまで表示されません。

＜時計設定＞ MENU 3 1

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。時刻は24時間制で設定／表示します。

1 MENU ▶設定▶時計▶時計設定▶自動時刻時差補正する・自動時刻時差補正しない

自動時刻時差補正する . . . . . 日付・時刻を自動で補正します。設定が終了します。
「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。

自動時刻時差補正しない . . . 日付・時刻を手動で設定します。

- 「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号の入力が必要になります。

2 年、月、日、時刻を入力

(◎)でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

- 日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」〜「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。
- 「タイムゾーン」を選んで(✉)(編集)を押すと、タイムゾーンを設定できます。(◎)で地域を選び、(●)(選択)を押します。

手動時計設定
(西暦)2007
(月日)11／15
(時刻)10：00
(タイムゾーン)
日本(GMT+9)

■日付・時刻の補正機能について

ネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。
「自動時刻時差補正する」に設定している状態で待受画面を表示中に時刻が補正されます。時刻をずらして設定したい場合は、手動で設定してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正の情報が前回受信した情報と異なる場合、「時差補正を行いました」と表示され、自動的に時差が補正されます。「OK」を押すと時刻が更新されてリダイヤル、発信履歴、着信履歴、メールの送受信などの表示時間も現地時間になります。
- 海外で時差補正が行われた場合、待受画面に表示している時計の下にサブ時計（日本の日付や時刻など）が表示されます。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。

お知らせ

- 時計設定を行わないと、スケジュールなど時計を利用する機能が正しく利用できません。また、リダイヤルや着信履歴などの日時が記録されません。
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 「時計設定」を「自動時刻時差補正しない」に設定しているときや日本国内ではサブ時計は表示されません。
- 本機能で設定できるのは、2007年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<ワールドウォッチ>

世界各国の時刻を表示する

指定した地域の時刻を待受画面の時計の下に表示します。

1 MENU ▶**設定**▶**時計**▶**ワールドウォッチ**▶**ON・OFF**
▶ で地域を選んで (選択)

お知らせ

●「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」を「OFF」に設定している場合や海外での利用時はワールドウォッチは表示されません。

サマータイム

海外での利用時に表示される滞在国の時刻やワールドウォッチで表示される各地の時刻を1時間進めて表示します。

1 MENU ▶**設定**▶**時計**▶**サマータイム**▶**ON・OFF**

<発信者番号通知>

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する　MENU 1 7

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 MENU ▶**サービス**▶**発信者番号通知**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
発信者番号通知設定	▶通知する・通知しない
発信者番号通知設定確認	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶**発番号設定**▶**通知しない・通知する**

●「発番号設定」を解除するには、「発番号設定消去」を選択します。このとき、通知／非通知は「発信者番号通知設定」に従って動作します。

「186」／「184」で「通知する」／「通知しない」を設定する

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

発信者番号を通知する場合

1 186→相手先の電話番号の順に入力▶ (☎)または(●)(発信)

●(✉)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

発信者番号を通知しない場合

1 184→相手先の電話番号の順に入力▶ (☎)または(●)(発信)

●(✉)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

●電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンス(P.369参照)が聞こえたときは、「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
●プッシュトーク発信する場合も「発信者番号通知設定」や「発番号設定」は有効ですが、電話番号の前に「186」／「184」を付けての通知／非通知は無効となります。
●「 」が表示されているときは「発信者番号通知」を設定できません。

＜自局番号表示＞ 自分の電話番号を確認する

MENU 0

●自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 MENU▶電話帳▶自局番号表示

(○)を押してタブを切り替えることができます。
●個人データの登録／表示についてはP.342参照。

自局番号表示画面

お知らせ

●2in1のモードがデュアルモードの場合は自局番号表示画面で(●)(切替)を押すと、AナンバーまたはBナンバーに切り替えることができます。Aナンバーには「 」が、Bナンバーには「 」が表示されます。
●2in1利用中に「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)」を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、「2in1機能OFF」(P.373参照)を行ってから、再度2in1設定をONにするか、「Bナンバー自動取得」(P.342参照)を行ってください。
また、「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)」を行う場合も、正しい所有者情報に更新するために、「2in1機能OFF」を行ってください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話を使いこなす

テレビ電話について

お互いの映像を見ながら通話できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- 3GPP(3rd Generation Partnership Project)：
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M：
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- P905iは通信速度64kbpsのテレビ電話発信にのみ対応しています。32kbpsでの通話は可能ですが、テレビ電話発信はできません。

■テレビ電話中の画面について

❶…受信映像(相手側のカメラ映像または代替画像)
❷…送信映像(自分側のカメラ映像または代替画像)
❸…通話時間
❹…状態表示

- 64K：64K通信中
- 32K：32K通信中
- A：音声送信／受信中
- A(グレー)：音声送信／受信失敗※1
- V：映像送信／受信中
- V(グレー)：映像送信／受信失敗※2
- カメラ映像送信中
- 代替画像送信中
- キャラ電通話中
- ハンズフリーON
- AV出力中
- Bluetooth通話中
- ポートレート
- 接写
- 風景
- ナイトモード
- キャラ電全体アクションモード
- キャラ電パーツアクションモード
- DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。

※2 映像の送信に失敗すると、送信映像は相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、受信映像は表示されません。

音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、MENU(登録)を押します。P.88「表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」手順2へ進みます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

2

音声電話をかける場合

(☎)または(●)(発信)を押す

- 発信中は「☎」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

(✉)(テレビ電話)を押す

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。
- テレビ電話中にMENU(代替)を押すと、相手には代替画像が表示されます。もう一度MENU(自画像)を押すと、カメラ映像に戻ります。

3 お話が終わったら(☎)で通話を終了する

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.369参照)が聞こえたときは、P.48「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。(P.346参照)
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.63参照)
- 通話中にヨコオープンスタイルに切り替えると「ミュート」(P.63参照)になります。
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中は、DTMF送信モードに切り替えてください。(P.71参照)
- ヨコオープンスタイルで電話をかけることはできません。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続中はヨコオープンスタイルで電話をかけることができます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合はAナンバーまたはBナンバーを選択してから発信します。(P.374参照)

<音声電話の場合>

- [発信]を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは[終話]を押して表示を消してからおかけ直しください。

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.71参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番・119番・118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話では、カメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。(P.69参照)
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。(P.57参照)

■発信中の表示について

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.89参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

■電話番号を押し間違えたときは

CLRを押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。CLRを1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- [O]を押してカーソルを移動させ、CLRを押すとカーソルの位置の数字が消えます。CLRを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

■テレビ電話がかからなかったときは

接続できなかった理由が表示されます。(通話する相手の電話機種別やネットワークサービスの契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります)

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中(相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。)
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知(ビジュアルネットなどへの発信時)
転送致しますのでお待ち下さい	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過している
iモードから接続してください	iモード公式サイトのIP(情報サービス提供者)のサイトからテレビ電話発信していない(Vライブへの発信時)
接続できませんでした	発信者番号通知設定を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。

つづく

■自動再発信について
「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合、テレビ電話がつながらなかったときは自動的に音声電話に切り替えて再発信します。
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など(2008年3月現在)、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

電話番号入力中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	P.47参照
プレフィックス	P.59参照
国際ダイヤルアシスト	P.58参照
テレビ電話画像選択	P.72参照
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.372参照)
電話帳登録	P.87参照
ｉモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。
着もじ	P.55参照

音声電話とテレビ電話を切り替える

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、「テレビ電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 音声電話中▶(カメラ)(テレビ電話)▶切替

- 相手に送信する画像を選択する場合は、「テレビ電話画像選択」を選択します。P.72「通話ごとに設定する」手順2へ進みます。
- 「中止」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、機能メニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 テレビ電話中▶(iα)(機能)▶音声電話切替▶YES

- 確認画面で「NO」を選択すると、切り替えを中止し、テレビ電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

お知らせ
- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- ｉモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。

電話／テレビ電話

お知らせ

- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。電波状況によりさらに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- 相手が「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。「テレビ電話切替機能通知」についてはP.72参照。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

<リダイヤル><発信履歴><着信履歴>

履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■リダイヤル

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし、プッシュトークの発信は同じ電話番号でも音声電話・テレビ電話とは別にリダイヤルが残ります。

■発信履歴

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの発信が合わせて30件、64Kデータ通信・パケット通信の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの着信が合わせて30件、64Kデータ通信・パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。なお、電源を切っても削除されません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの履歴を合わせてリダイヤル60件、発信履歴90件、着信履歴120件まで記憶されます。

■リダイヤル・発信履歴・着信履歴のアイコン

アイコン	内容
電話／不在※	音声電話の発着信／不在着信
電話／不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	プッシュトークの発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	プッシュトークのグループ発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	サーバの電話帳を利用したプッシュトークの発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音・録画
遠隔	遠隔監視の着信
電話／不在※	国際電話の発着信／不在着信
電話／不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64Kデータ通信の発信
64K／不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット通信の発信
パケット／不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信・パケット通信の着信
	着もじの受信
	時刻が時差補正された履歴
B	Bナンバーの履歴(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

※ 未確認の不在着信の場合は反転表示されます。

リダイヤル・発信履歴を利用する

1 リダイヤルの場合

○を押す

発信履歴の場合

MENU▶電話帳▶発着信履歴▶発信履歴

履歴の一覧画面が表示されます。

リダイヤルの場合

- プッシュトークのリダイヤルの場合は、◎(選択)を押すとグループ内のリダイヤル一覧画面が表示されます。
  相手を選んでPを押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずにPを押すとグループ発信できます。
- MENU(切替)を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

2 **履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。

リダイヤルの場合

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.89参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。

着信履歴を利用する

1 **Oを押す**

●「MENU▶電話帳▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信･不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。

着信履歴一覧画面

全着信 . . . . 不在着信を含むすべての履歴
不在着信 . . . 不在着信の履歴

2in1のモードがデュアルモードの場合、Aナンバー･Bナンバーそれぞれの不在着信の件数も表示されます。
(未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)

●プッシュトークの着信履歴の場合は、O(選択)を押すとグループ内の着信履歴一覧画面が表示され、発信者には「★」マークが付きます。相手を選んでPを押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずにPを押すとグループ発信できます。

●MENU(切替)を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

2 **着信履歴を選択**

●相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。
また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

着信履歴詳細画面

同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.89参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。

●不在着信の場合は、着信日付･時刻の右に呼出時間が表示されます。

●着もじを受信した場合は、着もじメッセージが表示されます。

■表示中のリダイヤル･発信履歴･着信履歴に電話をかけるには

(発信キー)を押して音声電話発信します。詳細画面ではO(発信)を押しても音声電話発信できます。
また、(メールキー)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、Pを押すとプッシュトーク発信になります。

お知らせ

●待受画面で(発信キー)を押してOを押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。

お知らせ

●マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名が表示されます。「マルチナンバー」の「電話番号登録」をしている場合は、番号も表示されます。

●64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)を使用した場合のみ記憶されます。

●着もじが表示されている着信履歴の電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけても、届いた着もじメッセージは送信されません。

●ダイヤルインを利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル･発信履歴･着信履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
発番号設定	P.47参照
プレフィックス	P.59参照
国際ダイヤルアシスト	P.58参照
2in1発信	2in1のモードがデュアルモードの場合に相手に通知する番号を選択します。(P.374参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.372参照)
着もじ	P.55参照
文字サイズ変更	一覧画面の文字サイズを拡大／標準に切り替えます。 ●ここでの設定は、「文字サイズ設定」の「発着信履歴」と共通です。
電話帳登録	P.87参照 ●詳細画面でMENU(登録)を押しても電話帳に登録できます。P.88「表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」手順2へ進みます。
Feel＊Talk表示	P.110参照
呼出時間表示［着信履歴一覧画面のみ］	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。

機能メニュー	操作・補足
送信アドレス一覧［リダイヤル・発信履歴のみ］	P.195参照
受信アドレス一覧［着信履歴のみ］	P.195参照
1件削除	▶YES
選択削除	**▶削除したいリダイヤル・発信履歴・着信履歴にチェック▶✉(完了)▶YES**
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶YES**
テレビ電話画像選択	P.72参照
プッシュトーク電話帳登録	▶YES
プッシュトークグループ登録	**▶グループを選択** ●プッシュトーク電話帳に登録されていないメンバーがあるときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。 **▶グループ名を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

<1件削除><選択削除><全削除>

●リダイヤル・発信履歴の機能メニューから「全削除」を行うと、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。

<プッシュトーク電話帳登録>

●電話帳に登録されていない相手の履歴からは登録できません。

<プッシュトークグループ登録>

●すべてのメンバーがFOMA端末(本体)の電話帳に登録されていないときは、プッシュトークグループに登録できません。

<着もじ>

着もじを設定する

音声電話やテレビ電話をかける際、相手側へメッセージを送り、呼び出し中に用件を伝えることができます。

●着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

●送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

■着もじを受信したときは

発信元の下に着もじが表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。

●着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。

●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。

●P.106「着信表示」の「着もじ表示」を「ON」に設定すると、プライベートウィンドウに着もじが表示されます。

●オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中に着もじは表示されません。ただし、ロック解除後に着信履歴から確認することはできます。

着もじメッセージを登録する

メッセージ一覧に着もじを10件まで登録できます。

1 **MENU▶サービス▶着もじ▶メッセージ作成▶<未登録>を選んで✉(編集)▶メッセージを入力**

●変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで✉(編集)を押します。

●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。

着もじメッセージをつけて発信する

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **iα(機能)▶着もじ▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
メッセージ作成	送信する着もじを発信時に作成します。 **▶メッセージを入力** ●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	メッセージ一覧から登録済みの着もじメッセージを選択します。 **▶メッセージを選択**
送信メッセージ履歴	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが10件まで記憶され、同じ着もじを送信すると古いデータは削除されます。また、10件を超えると古いデータから順に削除されます。 **▶送信メッセージ履歴を選択**

つづく

3 [通話]または[●]([発信])を押す

●[✉]([ﾃﾚﾋﾞ電話])を押すとテレビ電話発信になります。
●発信中は送信している着もじが表示されます。

お知らせ
●着もじが相手側の端末に届いた場合は、「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
●相手が対応端末でない場合や相手側の「メッセージ表示設定」で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は、「送信できませんでした」と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
●電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
●相手側が圏外のときや電源が入っていない場合や公共モード(ドライブモード)中、伝言メモ設定の呼出時間を0秒に設定している場合などは、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません(相手側の着信履歴にも保存されません)。また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
●テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
●着もじはプッシュトークに対応していません。
●海外での利用時には着もじを送受信できません。

送信メッセージ詳細履歴

着もじを送信すると、送信メッセージ詳細履歴に10件まで記憶され、相手の電話番号や送信日時が確認できます。同じ番号に送信した古いデータも残ります。

●2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーと Bナンバーの履歴を合わせて10件まで表示できます。

1 [MENU]▶サービス▶着もじ ▶送信メッセージ詳細履歴

[✎OK] . . . 送信できた着もじ
[✎NG] . . . 送信できなかった着もじ
[B] . . . . . Bナンバーの着もじ(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

●送信結果が表示されなかった場合は、「[✎OK]」や「[✎NG]」は表示されません。
●電波状態などによって、正しく送信結果が表示されないことがあります。

2 送信メッセージ詳細履歴を選択

●相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

送信メッセージ詳細履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	送信した着もじをメッセージ一覧に登録します。 ▶<未登録> ●[✉]([登録])を押しても登録できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージ表示設定

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 [MENU]▶サービス▶着もじ ▶メッセージ表示設定▶項目を選択

すべて表示
. . . すべての相手からの着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ
. . . 電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ
. . . 電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない
. . . 着もじを表示しません。

お知らせ
●「電話帳登録番号のみ」に設定していると、2in1のモードがAモードの場合はB設定の電話帳の相手(Bモードの場合はA設定の電話帳の相手)から着もじを受信できません。

着もじ優先設定

「オープン設定」を「着信応答」に設定しているときに、着もじを受信した場合の動作について設定します。

1 [MENU]▶サービス▶着もじ▶着もじ優先設定 ▶ON・OFF

ON . . . 着信中にFOMA端末を開いても応答せず、着もじが確認できます。
OFF. . . 着信中にFOMA端末を開くと着信に応答します。

<ポーズダイヤル> MENU 8 4

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ポーズダイヤル**▶✉(編集)

●すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
●登録したポーズダイヤルを削除するには i α(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **ダイヤルデータを入力**

●ポーズ(p)は＊を1秒以上押して入力します。
●入力できる文字は、0～9、#、＊およびポーズ(p)のみです。
●128桁まで入力できます。
●ポーズダイヤルの先頭と最後にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ポーズダイヤル**▶●(送信)▶**電話番号を入力**▶📞**または**●(発信)

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

●相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
●○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

2 **相手が応じたことを確認**▶📞**または**●(送信)

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。

📞または●(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

最後の番号を送り終えると通話画面になります。

●ダイヤルデータをまとめて送出するときは、○を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

●通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
●テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL>

国際電話の利用について

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

●通話先は世界約240の国と地域です。
●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
●申込手数料･月額使用料は無料です。
●国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(「電話番号を入力して国際電話をかける」の操作手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
●一部ご利用できない料金プランがあります。
●WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
●ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

■国際テレビ電話について

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し「国際テレビ電話」がご利用いただけます。「電話番号を入力して国際電話をかける」の操作手順で📞または●(発信)の代わりに✉(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押して発信します。(P.58参照)

●接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
●国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 **009130→010→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(📞)または(●)(発信)**

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに(0)を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、009130−010などの国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- 「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」に設定していると、「国際プレフィックス設定」の国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 **(0)(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(📞)または(●)(発信)▶発信**

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、国際電話アクセス番号を付加せずに発信されます。

国際ダイヤルアシスト

電話番号に国番号や国際電話アクセス番号を付加して発信します。(一部の国・地域を除き、電話番号が「0」で始まる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。)

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **(i)(機能)▶国際ダイヤルアシスト▶国名称を選択▶名称を選択▶(📞)または(●)(発信)**

- (✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 電話番号の先頭が「+」のときは国際電話アクセス番号のみ選択できます。
- 国名称に「日本」を選択した場合、名称を選択する画面は表示されません。

<国際ダイヤルアシスト設定>

国際電話の設定をする

自動変換機能設定

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭の「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 **(MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶自動変換機能設定▶ON・OFF▶国名称を選択▶名称を選択**

- 国番号や国際電話アクセス番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国番号の場合はP.58「国番号設定」手順2、国際電話アクセス番号の場合はP.58「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。

国番号設定

海外から国際電話をかけるときに付加される国番号を27件まで登録できます。

1 **(MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国番号設定▶<未登録>を選んで(✉)(編集)**

- 登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国名称を入力▶国番号を入力**

- 国名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国番号は5桁まで入力できます。ただし、#、*、+は使用できません。

国際プレフィックス設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加される国際電話アクセス番号を3件まで登録できます。

1 **(MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国際プレフィックス設定▶<未登録>を選んで(✉)(編集)**

- 登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **名称を入力▶国際電話アクセス番号を入力**

- 名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国際電話アクセス番号は16桁まで入力できます。

国番号設定表示中・国際プレフィックス設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	国番号設定の場合はP.58「国番号設定」手順2、国際プレフィックス設定の場合はP.58「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。 ●[メール]([編集])を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
- 「自動変換機能設定」で設定されている国番号や国際電話アクセス番号は削除できません。

<プレフィックス設定>

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 **[MENU]▶設定▶ネットワーク設定▶プレフィックス設定▶<未登録>を選んで[メール]([編集])**

- 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- 登録済みのプレフィックスを削除するには[iα]([機能])を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 **登録名を入力▶プレフィックス番号を入力**

- 登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- プレフィックス番号は16桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、[0]～[9]、[#]、[*]のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **[iα]([機能])▶プレフィックス▶登録名を選択▶[発信]または[●]([発信])**

- [メール]([テレビ電話])を押すとテレビ電話発信、[P]を押すとプッシュトーク発信になります。
- プッシュトーク発信する場合、電話番号の前に「186」や「184」などのプレフィックス番号を付けて発信しても無効になります。

<サブアドレス設定>

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の「*」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 **[MENU]▶設定▶その他▶サブアドレス設定▶ON・OFF**

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「*」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「*」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<再接続機能> [MENU][7][7]

再接続するときのアラームを設定する

電波の状態が悪くなって音声電話、テレビ電話、プッシュトークが途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 **[MENU]▶設定▶通話▶再接続機能▶アラームを選択**

お知らせ

- 利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

<ノイズキャンセラ> [MENU][7][6]

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

1 **[MENU]▶設定▶通話▶ノイズキャンセラ▶ON・OFF**

<ハンズフリー>

ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカーから流れます。

1 通話中▶(☎)

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- 通話中にハンズフリーを切り替えることができます。テレビ電話・プッシュトークの場合、発信中や接続中も切り替えることができます。
- もう一度(☎)を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカーから流れます。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカーから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット　01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー対応機器と接続できます。

- **ケーブル接続（USB接続）で利用する：**
  車載ハンズフリーキット　01（別売）で利用／充電する場合、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01（別売）が必要です。
- **Bluetooth接続（ワイヤレス）で利用する：**
  Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末にて機器の登録や接続が必要です。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ケーブル接続（USB接続）で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「」が表示されます。
- USBハンズフリー対応機器によっては、接続中に「」、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定して接続中に「」が表示されることがあります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

- 着信時に振動させるには、「バイブレータ」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。
- テレビ電話がかかってきたときは、「テレビ電話着信中」と表示されます。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「」が表示されます。

着もじ（P.55参照）

2 音声電話に出る場合

(発話キー)または(決定キー)(通話)で電話に出る

テレビ電話に出る場合

(発話キー)または(決定キー)(通話)でテレビ電話に出る

カメラ映像が相手に送信されます。

MENU(代替)を押してテレビ電話に出ると、相手には代替画像が送信されます。(代替画像応答)

- 通話中にMENUを押すと、相手に送信する映像をカメラ映像と代替画像とで切り替えることができます。

3 お話が終わったら(終話キー)で通話を終了する

お知らせ

- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.63参照)
- お話し中に「ププ…ププ…」という音「通話中着信音」が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス
  . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。(P.365参照)
  キャッチホン
  . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(P.366参照)
  転送でんわサービス
  . . 登録した転送先へ転送できます。(P.368参照)
- 「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

お知らせ

- ヨコオープンスタイルで電話を受けることはできません。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続中はヨコオープンスタイルで電話を受けることができます。

<音声電話の場合>

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに▲を押して電話に出ると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.71参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.50参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめ確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。
- カメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。(P.69参照)

■着信中の表示について

相手の電話番号が通知されたとき

電話帳に相手の名前、電話番号および画像を登録している場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録している場合、検索順(P.89参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中は、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、(カメラキー)(切替)を押して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。(P.128参照)

着信中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
着信拒否	電話に出ないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	P.368参照
留守番電話	P.365参照

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。

●着信側から切り替えることはできません。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

1 音声電話中にテレビ電話切替の画面が表示される

YES . . . カメラ映像を相手に送信します。

NO . . . . 内蔵の代替画像を相手に送信します。

●切り替え中は、切り替え中である旨のメッセージが表示され、音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えると、切り替え中である旨のメッセージが表示され音声ガイダンスが流れて切り替わります。

＜着信アンサー設定＞ [MENU][5][8]

着信時のボタン動作を設定する

電話がかかってきたときやプッシュトーク着信したとき、[●]、[通話]、[MENU]（テレビ電話の場合）、[P]（プッシュトークの場合）以外のボタンで通話を開始したり（エニーキーアンサー）、着信音を止める（クイックサイレント）ように設定できます。

1 [MENU]▶設定▶着信▶着信アンサー設定▶ボタン動作を選択

エニーキーアンサー

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話※1	[●]、[通話]、[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[MENU]、[カメラ]※2、[◎]、[▲]
プッシュトーク	[●]、[通話]、[P]、[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[メール]、[カメラ]、[◎]、[▲]

●テレビ電話がかかってきた場合、[●]、[通話]、[MENU]で通話を開始できます。

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末をノーマルスタイルで開いても着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話	[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[MENU]、[カメラ]※2、[◎]、[▲]
テレビ電話	[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[カメラ]※2、[◎]、[▲]
プッシュトーク	[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[メール]、[カメラ]、[◎]、[▲]

●上記のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めたあとに、[●]、[通話]、[MENU]（テレビ電話の場合）、[P]（プッシュトークの場合）を押すと通話を開始できます。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	[●]、[通話]
テレビ電話	[●]、[通話]、[MENU]
プッシュトーク	[●]、[通話]、[P]

※1 伝言メモが5件録音されているときは、[メール]を押しても通話を開始できます。

※2「切替」が表示されているときは、通話を開始したり、着信音やバイブレータ、音声読み上げを止めたりできません。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。（P.347参照）

＜オープン設定＞

着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶着信▶オープン設定▶着信の種類を選択▶着信継続・着信応答

お知らせ

- 「着信応答」に設定してテレビ電話を受けた場合、相手には「画像選択」の「代替画像選択」で設定した画像が送信されます。
- 「着信応答」に設定していても、ヨコオープンスタイルでFOMA端末を開いた場合は着信に応答できません。

＜クローズ動作設定＞ MENU 1 8

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

音声電話中／テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶通話▶クローズ動作設定▶電話／テレビ電話▶項目を選択

ミュート……音声をミュート（消音）します。保留音は流れません。設定が終了します。

保留……閉じている間、相手に「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れます。

終話……通話を終了します。通話中に☎を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 スピーカー鳴動する・スピーカー鳴動しない

スピーカー鳴動する

……保留音をスピーカーから流します。

スピーカー鳴動しない

……保留音をスピーカーから流しません。

プッシュトーク中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶通話▶クローズ動作設定▶プッシュトーク▶スピーカー通話・終話

お知らせ

- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは無効になります。音声電話中やプッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じても通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は、相手には代替画像が送信され通話が継続します。
- テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときは、「ミュート」に設定していると、相手には代替画像が送信されます。「保留」に設定していると、「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が送信されます。
- 「ミュート」「保留」に設定していると、FOMA端末を閉じたときに、プライベートウィンドウに「保留中です」と表示されます。
- 「終話」に設定していても、ヨコオープンスタイルからFOMA端末を閉じた場合は通話は終了しません。音声電話・テレビ電話は「ミュート」、プッシュトークは「スピーカー通話」となります。

＜受話音量＞

相手の声の音量を調節する

1 MENU▶設定▶通話▶受話音量▶◎または▲▼で受話音量を調節

レベル1（最小）〜レベル6（最大）の6段階で調節します。

- 通話中、プッシュトーク中や呼出中は◎または▲▼、電話番号入力中は◎（1秒以上）を押して受話音量を調節します。2秒以内に◎または▲▼を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話やプッシュトークのスピーカー通話時の音量も調節されます。

＜着信音量＞ MENU 5 0

着信音の音量を調節する

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 **MENU▶設定▶サウンド▶着信音量▶着信の種類を選択▶◯で音量を調節**

●着信音量を「消去」に設定中は、待受画面に以下のアイコンが表示されます。
　：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかの着信音量を「消去」
　：メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
　：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかと、メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」

●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。

●音声電話、テレビ電話の着信中は◯または▲▼を1秒以上押しても着信音量を調節できます。ただし、以下の場合は着信音量を調節できません。
・着信音量が「ステップ」に設定されている
・「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定し、着信音や音声読み上げを止めた場合
・マナーモード中
・「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信

＜応答保留＞

すぐに電話に出られないとき保留にする

1 **着信中▶☎**

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」を「消去」に設定しているときは確認音は鳴りません。

●相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 **電話に出られるようになったら◉(通話)または☎で保留を解除する**

●「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、0～9、＊、＃、CLR、MENU、📷、◯、▲または▼、✉、iαを押しても音声電話の保留を解除できます。

●テレビ電話を保留していた場合、◉(通話)または☎を押して保留を解除すると、相手にカメラ映像が送信されます。MENU(代替)を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。

お知らせ

●応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
●応答保留中に☎を押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞

通話中に保留にする

1 **通話中▶◉(保留)**

●相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。

●「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 **電話に出られるようになったら◉(通話)または☎で保留を解除する**

●テレビ電話を保留していた場合、◉(通話)または☎を押して保留を解除すると、相手にカメラ映像が送信されます。MENU(代替)を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。

●「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると電話に出ることができます。
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してテレビ電話に出る場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

●通話を保留している間も、通話料金はかかります。
●通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

<保留音設定>
保留音を設定する

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 MENU▶設定▶通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択

応答保留音1・2 ....FOMA端末にあらかじめ登録されているガイダンスが流れます。

主よ人の望みの喜びよ ...メロディが流れます。通話中保留音にのみ設定できます。

おしゃべり............「おしゃべり機能」で録音した音が流れます。録音されていないときは表示されません。

- ✉(デモ)を押すと保留音が再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。

<公共モード(ドライブモード)>
公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 ＊を1秒以上押す

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ

- 公共モードの設定/解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定/解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
- 緊急通報110番/119番/118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
- 公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

■公共モード(ドライブモード)に設定したときは

・電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。
ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
・メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信/充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
・64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディも鳴りません。
・ｉチャネルのテロップは表示されません。
・クローズイルミネーションの点灯はしません。

■公共モード(ドライブモード)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、転送先に転送します。相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
キャッチホン	相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

つづく

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、公共モードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

<公共モード(電源OFF)>

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 「*25251」を入力▶[発信]

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)

公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「*25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「*25259」に発信します。

■公共モード(電源OFF)に設定したときは

「*25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。

電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

■公共モード(電源OFF)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。※	相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス	相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、転送先に転送します。※ 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モード(電源OFF)ガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒にしたときは、公共モード(電源OFF)のガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。

<不在着信>
かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1

お知らせアイコン

- ●(☎)または(CLR)を押すと元の状態に戻ります。
- ●アイコンが複数あるときは(○)でアイコンを選んで(○)(選択)を押します。
- ●FOMA端末を閉じているときは、P.30参照。

<伝言メモ設定> MENU 5 5
電話に出られないときに用件を録音/録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

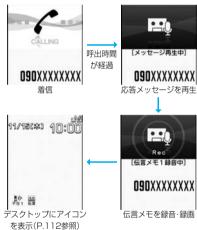
1 **MENU▶LifeKit▶伝言メモ/音声メモ▶伝言メモ設定▶ON・OFF▶応答メッセージを選択**

- ●(✉)(デモ)を押すと応答メッセージが再生されます。(CLR)を押すとデモ再生が終了します。
- ●「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり」に設定した場合、音は鳴りません。

2 **呼出時間(秒)を入力**

- ●「000」~「120」の3桁を入力します。
- ●遠隔監視設定、オート着信設定、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- ●伝言メモ設定中は「[アイコン]」~「[アイコン]」(音声電話の録音件数)、「[アイコン]」~「[アイコン]」(テレビ電話の録画件数)が表示されます。

■伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

着信　応答メッセージを再生　伝言メモを録音・録画　デスクトップにアイコンを表示(P.112参照)

テレビ電話の場合、応答メッセージの再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- ●応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音・録画中に電話に出るときは(○)(通話)または(☎)を押します。
テレビ電話の場合、(○)(通話)または(☎)でカメラ映像、(MENU)(代替)で代替画像が送信されます。
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても電話に出ることができます。テレビ電話の場合、相手にはカメラ映像が送信されます。

つづく

お知らせ

- 「[icon]」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり」に設定しているときに、「おしゃべり」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

<クイック伝言メモ>

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音・録画できます。

1 着信中▶[メール]（メモ）または[▼]

マナーモードも設定されます。
相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音・録画が開始されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されている場合や、プッシュトーク着信の場合は、伝言メモは動作しません。[▼]を押して操作した場合、マナーモードのみ設定されます。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じているときに[▼]を押しても伝言メモは動作しません。

<メモの再生／消去>
<テレビ電話メモの再生／消去>　MENU 5 5

伝言メモ・音声メモ・テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶メモの再生／消去▶伝言メモまたは音声メモを選択

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

メモ一覧画面

- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生中はメモが録音された日付・時刻が表示されます。相手が電話番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、以下の場合は名前の表示は行わず、電話番号だけが表示されます。
  ・シークレット登録された相手からの伝言メモを通常モードで再生したとき
  ・2in1をご利用中にAナンバー宛の伝言メモをBモード中に再生したとき（またはBナンバー宛の伝言メモをAモード中に再生したとき）
- 再生中に相手の電話番号が表示されているときは、[発信]を押して相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、[メール]（テレビ電話）を押すとテレビ電話発信、[P]を押すとプッシュトーク発信できます。

■[▼]を使って再生するには
待受画面で[▼]を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

■次のメモを再生するには
再生中に[▼]を押すごとに、次に新しい伝言メモ→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

■再生を途中で止めるには
[●]（停止）または[CLR]を押します。

テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶テレビ電話メモの再生／消去▶テレビ電話伝言メモまたは動画メモを選択

- テレビ電話メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- ｉモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付・時刻が表示されます。

テレビ電話メモ一覧画面

■▼を使って再生するには
待受画面で▼を1秒以上押すと、一番新しいテレビ電話伝言メモが再生されます。テレビ電話伝言メモが録画されていない場合は、一番新しい動画メモが再生されます。

■再生を途中で止めるには
●(■)またはCLRを押します。

メモ一覧画面・テレビ電話メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中にiα(消去)を押しても、1件消去できます。
伝言メモ消去	メモ一覧画面では伝言メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
動画メモ消去 [テレビ電話メモ一覧のみ]	動画メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモ、動画メモをすべて消去します。 ▶YES

キャラ電を利用する

カメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信します。
●キャラ電についてはP.288参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶✉(テレビ電話)

相手の電話番号を入力し、✉(テレビ電話)を押してテレビ電話をかけます。
- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、Oを押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- Oを押して着信履歴、Oを押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ
- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶iα(機能)▶代替画像設定

- キャラ電一覧画面ではMENU(代替)を押しても設定できます。

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶iα(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
キャラ電切替	▶キャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●✱を押してもアクション一覧を表示できます。

つづく

項目	操作・補足
アクション切替 テレビ電話起動時：全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード( )またはパーツアクションモード( )に切り替えます。 ●(✉)を押しても切り替えることができます。
内蔵代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「内蔵」の静止画に切り替えます。
自作代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

カメラを切り替える

テレビ電話起動時	インカメラ

相手に送信するカメラ映像をインカメラの映像からアウトカメラの映像に切り替えます。

1 テレビ電話中▶(✉)(OUT)

●もう一度(✉)(IN)を押すと、インカメラの映像に切り替わります。

●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

代替画像を送信する

相手に送信する画像を、カメラ映像から代替画像に設定した静止画またはキャラ電に切り替えます。
キャラ電についてはP.288参照。

1 テレビ電話中▶(MENU)(代替)

相手には代替画像が送信されます。

静止画による代替画像送信中は「 」、代替画像にキャラ電を設定している場合（キャラ電通話中）は「 」が表示されます。

●もう一度(MENU)(自画像)を押すと、代替画像からカメラ映像に切り替わります。

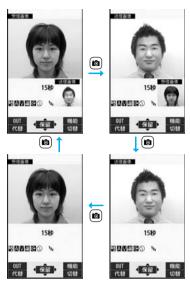
お知らせ

●相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話帳の設定」、「グループ設定」は無効になりますのでご注意ください。

●代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

映像の表示位置を切り替える

受信映像と送信映像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中に(📷)(切替)を押す

●(📷)(切替)を押すごとに表示が切り替わります。

ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ映像のズームを調節します。テレビ電話中のインカメラの最大倍率は約3.3倍、アウトカメラの最大倍率は約5.5倍です。

1 テレビ電話中▶(○)でズーム倍率を調節

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
音声電話切替	P.52参照
フォトライト テレビ電話起動時：OFF	アウトカメラの映像を相手に送信しているときにフォトライトを点灯します。 ▶ON・OFF
通話機切替	FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを設定します。 （P.352参照）

機能メニュー	操作・補足
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
テレビ電話設定(受信画質設定)	P.71参照
テレビ電話設定(明るさ調節) テレビ電話起動時 0	相手に送るカメラ映像の明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 ▶**明るさ調節**▶**明るさを選択**
テレビ電話設定(ホワイトバランス) テレビ電話起動時 オート	相手に送るカメラ映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス**▶**項目を選択** **晴天**. . . . 屋外晴天下で通話するとき **曇天**. . . . 曇天や日陰で通話するとき **オート**. . ホワイトバランスを自動調整するとき **電球**. . . . 電球照明下で通話するとき
テレビ電話設定(色調切替) テレビ電話起動時 通常	相手に送るカメラ映像の色調を切り替えます。 ▶**色調切替**▶**色調を選択**
テレビ電話設定(ナイトモード) テレビ電話起動時 OFF	露光を長くして、暗いところでも相手に送る映像が鮮明になるように設定します。 ▶**ナイトモード**▶**ON・OFF**
テレビ電話設定(フォーカス設定) テレビ電話起動時 風景	アウトカメラでのテレビ電話中にフォーカスを設定します。 ▶**フォーカス設定**▶**接写・風景** ●インカメラのフォーカス設定は「ポートレート」(人物を撮影するのに適したモード)に固定されており、変更できません。
キャラ電設定	P.69参照
照明設定	画面の照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。 ▶**常時点灯・15秒点灯**
液晶AI	P.107参照
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。
ボタン操作ガイド	テレビ電話中のボタン操作のガイドを表示します。

<テレビ電話ハンズフリー設定>

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**テレビ電話**▶**テレビ電話ハンズフリー設定**▶**ON・OFF**

●ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.60参照。

<受信画質設定>

テレビ電話の画質を設定する

ディスプレイに表示される受信映像と送信映像の両方の画質を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**テレビ電話**▶**受信画質設定**▶**画質を選択**

●「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。

●テレビ電話中の機能メニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク状になるときがあります。

<画像選択>

テレビ電話の表示を変更する

カメラ映像の代わりに相手に送信する画像を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**テレビ電話**▶**画像選択**▶**項目を選択**

応答保留選択 . . . . . . 応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択 . . . . . . 通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択 . . . . . . カメラOFF時の代替画像(静止画またはキャラ電)を設定します。
伝言メモ選択 . . . . . . 伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択 . . . 伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
動画メモ選択 . . . . . . 動画メモ録画中の画像を設定します。

つづく

2 画像を選択

内蔵 ...... FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作 ...... 状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電 ... 「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.69参照)(手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。)

- ✉(デモ)を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。
- 「自作」または「キャラ電」の設定を変更するには、iα(機能)を押して「設定内容変更」を選択し、静止画またはキャラ電を選択します。「自作」を選択していた場合はフォルダを選択してから静止画を選択します。設定可能な静止画については「ピクチャ貼付」参照。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶テレビ電話画像選択▶自画像・キャラ電

- 「自画像」を選択した場合は、設定が終了します。
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 キャラ電を選択

<音声自動再発信>

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 MENU▶設定▶テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。

お知らせ

- 相手が話し中や公共モード(ドライブモード)中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。ただし、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は、音声自動再発信を行います。

<テレビ電話切替機能通知>

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 MENU▶設定▶テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
切替機能通知開始	▶YES▶OK
切替機能通知停止	▶YES▶OK
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。

<パケット通信中着信設定>

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選択する

1 MENU▶設定▶着信▶パケット通信中着信設定▶項目を選択

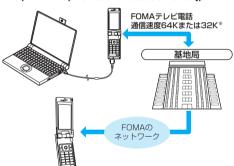
テレビ電話優先 .... テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。
パケット通信優先... テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。
留守番電話........ かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ........ かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

お知らせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
  (パソコンでのご利用環境など詳細についてはサポートホームページでご確認ください。)
  http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

※32Kでのテレビ電話発信はできません。

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンを契約していると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

<遠隔監視設定>

外出先から室内の様子などを確認する

3G-324Mに準拠したテレビ電話機能を持つ電話機により、FOMA端末のインカメラを監視カメラとして遠隔監視ができます。「遠隔監視設定」を「ON」に設定中に、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、自動的に遠隔監視を受けます。
(FOMA端末はノーマルスタイルで設置してください。)

1 MENU▶設定▶テレビ電話▶遠隔監視設定▶端末暗証番号を入力

- 遠隔監視設定を解除する場合は「設定」を選択し、「OFF」を選択します。

2 対局番号登録▶<未登録>▶電話番号を入力

- 変更する場合は、登録済みの対局番号を選択します。
- 数字、#、⁎、+で5件、26桁まで入力できます。
- 対局番号登録後、対局番号一覧画面でCLRを押すと遠隔監視設定画面に戻ります。

対局番号登録
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

対局番号一覧画面

3 応答時間設定▶応答時間(秒)を入力

- テレビ電話がかかってから遠隔監視を開始するまでの時間を「003～120」の3桁で入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信設定、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

4 設定▶ON

- 対局番号に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合に、応答時間経過後、遠隔監視として自動応答します。
- 「ON」に設定中は「📷」が表示されます。
- マナーモード中は「ON」に設定できません。

対局番号一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
宛先参照入力	電話帳、発信履歴、着信履歴から電話番号を呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳**. . . . .電話帳を呼び出して電話番号を選択します。 **発信履歴**. . .電話番号を選択して●(選択)を押します。 **着信履歴**. . .電話番号を選択して●(選択)を押します。
1件削除	▶YES

つづく↵

機能メニュー	操作・補足
全削除	▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
- 対局番号をすべて削除した場合、「遠隔監視設定」は「OFF」になります。

遠隔監視を行う

1 登録した電話番号からテレビ電話をかける

遠隔監視設定で設定した応答時間経過後、自動的に遠隔監視が始まります。
- ディスプレイに着信側のカメラ映像が表示され、音声がスピーカーから流れます。
- 音声のみの遠隔監視はできません。
- 発信者番号を通知してテレビ電話をかけてください。通知されない場合は、遠隔監視着信にならず、テレビ電話着信となります。

2 発信側または着信側で(☎)を押し、遠隔監視を終了する

■着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出るには

自動応答する前に(●)(通話)または(☎)を押します。(MENU)(代替)を押すと、代替画像を相手に送信してテレビ電話を開始します。
- 遠隔監視の着信時は「オープン設定」は無効になります。
- 遠隔監視の着信時に(☎)を押すと通信が切断され、遠隔監視は行われません。

お知らせ

- 本FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側のカメラ映像が表示され、音声が流れます。(代替画像に切り替えることはできません。)
- マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は、遠隔監視は受けられません。ただし、オールロック中は遠隔監視を受けます。
- 遠隔監視設定を「ON」に設定しているときに対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、「呼出時間表示設定」、「オート着信設定」、「伝言メモ設定」が設定中でも、その呼出時間に関わらず、遠隔監視設定の呼出時間後に遠隔監視を開始します。
- 遠隔監視が実行されなかった場合、テレビ電話の不在着信として着信履歴に残ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中に遠隔監視の着信があった場合、「イヤホン切替設定」を「イヤホンのみ」に設定していてもイヤホンとスピーカーの両方から着信音が鳴ります。

お知らせ

- 着信音は遠隔監視専用の着信音が鳴ります。(着信音は変更できません。)
  着信音量は「着信音量」の「テレビ電話」で設定したレベルで鳴りますが、「ステップ」または「レベル1」以下に設定している場合は「レベル2」で鳴ります。
  また、着信イルミネーションの設定によらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信に対しては応答保留できません。
- 転送でんわサービスと遠隔監視を同時に設定する場合、遠隔監視を優先させるには、遠隔監視の応答時間を転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 転送でんわサービスを利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定してください。

- **お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。**

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信できます。プッシュトークボタンを押す(発言する)ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

- プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

■プッシュトークプラス※

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できるなどより便利にプッシュトークをご利用いただけます。

※別途ご契約が必要です。

- 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク発信する

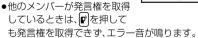
1 相手の電話番号を入力する▶P

発信中は、プッシュトーク発信開始の確認音が数秒流れ、そのあとに音声(テレビ)電話と同じ呼び出し音が鳴ります。

- プッシュトーク電話帳を利用すると、複数の相手にグループ発信できます。(P.79、P.80参照)

2 相手が応答したらPを押しながら話す

相手が応答すると通信開始の確認音が鳴ります。

- 発信中は「P」が点滅し、通信中は点灯します。
- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴ります。Pを押して発言権を取得している間のみ相手側に音声が流れます。Pを放すと発言権が開放され、確認音が鳴ります。
- 他のメンバーが発言権を取得しているときは、Pを押しても発言権を取得できず、エラー音が鳴ります。

- ✉(P追加)を押すか、iα(機能)を押して「メンバー追加」を選択するとメンバーを追加できます。P.77手順1へ進みます。

3 お話が終わったら☎で通信を終了する

相手には通信終了の確認音が鳴ります。

- グループ発信した場合は、☎を押してもプッシュトーク通信自体は継続し、各メンバーには不参加になったことを伝えるアイコンが表示され、確認音が鳴ります。ただし、すべてのメンバーが不参加になった場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。

お知らせ

- Pを押して発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます。
- プッシュトークでは緊急通報110番／119番／118番にかけることはできません。
- 1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に達する前に発言権開放予告音が鳴り、その発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。
- お買い上げ時は「プッシュトークハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.81参照)ただし、マナーモード中は「プッシュトークハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 通信中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。iα(機能)を押して「クローズ動作設定」を選択しても設定できます。(P.63参照)
- プッシュトーク発信する場合の番号通知は「発信者番号通知設定」(P.47参照)に従います。ただし、発信時に機能メニューから「発番号設定」を設定した場合や、リダイヤル･発信履歴･着信履歴詳細画面で通知／非通知が表示されている場合は、それぞれの設定に従って動作します。
- 番号を通知して発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーに発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。番号を通知せずに発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーには発信者やメンバーの欄にすべて「非通知」と表示されます。電話番号は大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。
- ｉモード中にプッシュトーク発信すると、ｉモード通信は切断されます。
- 2in1のBナンバーではプッシュトークを利用できません。

■グループ発着信について

プッシュトーク電話帳やリダイヤル･発信履歴･着信履歴などを利用して複数の相手と通信できます。

グループ発着信中はグループ名とグループ内のメンバーが表示され、Oを押して他のメンバーを確認できます。相手の電話番号が通知されない状態で着信した場合は、「非通知」と表示されます。

■プッシュトーク通信に再参加・途中参加するには
他のメンバー間でプッシュトーク通信が継続しているあいだに、リダイヤル・発信履歴・着信履歴からプッシュトーク発信します。
●プッシュトーク通信が終了していた場合は、新しいプッシュトーク発信になります。

■発信中・通信中の画面について

グループ通信中の場合

❶発言権を取得しているメンバーの電話番号が表示され、発言権の状態が左上の丸いアイコンの色で表示されます。電話帳にメンバーの名前、電話番号および画像が登録されている場合は、名前や画像が表示されます。ただし、メンバーの情報が正しく受信できなかったときは「?」が表示されます。
FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに発言権を取得しているメンバーの電話番号(名前)が表示されます。

左上の丸いアイコンの色	発言権の状態
青色	発信中
緑色	発言権を取得できる状態
緑色の点滅	発言権を取得している状態
黄色の点滅	他のメンバーが発言権を取得している状態
緑色と赤色の点滅	発言権を長時間取得しているため、数秒後に自動的に開放される状態(開放予告音が鳴ります。)

❷発信中や通信中はメンバーの状態がアイコンで表示されます。
(下記以外の文字が表示されることもあります。)

アイコン	メンバーの状態
呼出中※	呼び出し中
参加	プッシュトークに参加中
✕不参加 ※	応答がないか、プッシュトークを終了または、圏外か電源を切っている
運転中 ※	公共モード(ドライブモード)に設定中

※3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

❸発言権を取得した回数は、「●」の個数と「 」部分に表示された数字の合計になります。999回を超えると、0回に戻ってカウントされます。

通信中にメンバーを追加する

プッシュトーク通信中に他の相手にプッシュトーク発信し、メンバーを追加します。
追加するメンバーは、プッシュトーク電話帳、電話帳、発着信履歴を参照したり、電話番号を直接入力したりして指定できます。
メンバーは最大通信人数(自分を含めて最大5人)まで追加でき、最大通信人数まで何度でも追加を繰り返せます。

●発信側からのみメンバーを追加できます。
●本機能がないプッシュトーク対応機種のメンバーも追加できます。
●すでに4人に発信している場合、参加していないメンバーを再度呼び出すことはできますが、新規メンバーは追加できません。
●追加したメンバーはリダイヤル、発信履歴には記憶されません。

1 プッシュトーク通信中▶[✉]([追加])▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
プッシュトーク電話帳参照	プッシュトーク電話帳を呼び出してプッシュトーク発信します。(P.80参照) [P]の代わりに[✉]([発信])を押して発信します。 ●[📷]を押すと、プッシュトーク電話帳一覧画面とプッシュトークグループ一覧画面を切り替えることができます。
電話帳参照	電話帳を呼び出してプッシュトーク発信します。 ▶**電話帳を呼び出す** ▶**電話番号を選んで**[✉]([発信])
直接入力	電話番号を入力してプッシュトーク発信します。 ▶**電話番号を入力**▶[✉]([発信])
履歴参照	発信履歴、着信履歴を呼び出してプッシュトーク発信します。 ▶**発信履歴・着信履歴**▶**履歴を選択** ▶**電話番号を選択**▶[✉]([発信])

お知らせ
●本機能がないプッシュトーク対応機種では、発信側でもメンバーを追加できません。
●本機能がないプッシュトーク対応機種を使用しているメンバーには、プッシュトーク通信中に追加されたメンバーは表示されず、確認音も鳴りません。

プッシュトーク着信する

1 プッシュトーク着信すると「プッシュトーク着信中」と表示され、着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

- グループ着信中は「プッシュトークグループ着信中」と表示されます。
- 着信拒否するときは、着信中に[iα]（機能）を押して「着信拒否」を選択します。[☎]を押しても着信拒否できます。

2 [P]でプッシュトークに応答する ▶[P]を押しながら話す

- [P]の代わりに[☎]または[●]（通話）を押しても応答できます。また、FOMA端末を閉じた状態で[P]を押しても応答できます。
- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴ります。[P]を押して発言権を取得している間のみ相手側に音声が流れます。[P]を放すと発言権が開放され、確認音が鳴ります。
- 他のメンバーが発言権を取得しているときは、[P]を押しても発言権を取得できず、エラー音が鳴ります。
- 「オープン設定」「伝言メモ設定」は無効になります。

3 お話が終わったら[☎]で通信を終了する

相手には通信終了の確認音が鳴ります。

- グループ着信した場合は、[☎]を押してもプッシュトーク通信自体は継続し、各メンバーには不参加になったことを伝えるアイコンが表示され、確認音が鳴ります。ただし、すべてのメンバーが不参加になった場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。

お知らせ

- [P]を押して発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます。
- 1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に達する前に発言権開放予告音が鳴り、その発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。

お知らせ

- お買い上げ時は「プッシュトークハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.81参照)ただし、マナーモード中は「プッシュトークハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 通信中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。[iα]（機能）を押して「クローズ動作設定」を選択しても設定できます。(P.63参照)
- 「応答保留」「通話中保留」はできません。
- 音声電話中のプッシュトーク着信や公共モード（ドライブモード）中のプッシュトーク着信、プッシュトーク通信中の音声電話着信（「プッシュトーク通信中着信設定」を「通常着信」以外に設定している場合）、テレビ電話着信、データ通信、プッシュトーク着信は、不在着信として着信履歴に残ります。
- テレビ電話中、データ通信中のプッシュトーク着信は着信動作せず、着信履歴にも残りません。
- プッシュトーク通信を終了したあとやプッシュトーク通信に応答できなかった際、他のメンバー間でプッシュトーク通信が継続している場合は、着信履歴からプッシュトーク発信して、プッシュトーク通信に再参加および途中参加できます。他のメンバー間でのプッシュトーク通信が終了している場合は、新しいプッシュトーク発信になります。
- 発信者がプッシュトーク通信中にメンバーを追加した場合、追加されたメンバーは着信履歴には記憶されません。
- ｉモード通信中の動作についてはP.82参照。
- 発信者が着信拒否対象のときは、着信を拒否します。着信拒否の設定については、音声電話･テレビ電話と共通の設定になります。
- オールロック、おまかせロック中にプッシュトーク着信すると、ロック解除後に「[不在1]」が表示されます。

<プッシュトーク電話帳登録>

プッシュトーク電話帳を登録する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録している項目のうち、名前(フリガナ)と電話番号1件をプッシュトーク電話帳に登録します。プッシュトーク電話帳は1000件まで登録できます。

1 **[P]▶[MENU](新規)▶以下の操作を行う**

- 「<新規作成>」を選択しても登録できます。
- 1件の電話帳から複数の電話番号を登録すると、先に登録した電話番号は上書きされます。

プッシュトーク電話帳一覧画面

項目	操作・補足
電話帳参照	すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳を呼び出してプッシュトーク電話帳に登録します。 **▶電話帳を呼び出す▶電話番号を選択▶YES**
直接入力	FOMA端末(本体)の電話帳に登録してからプッシュトーク電話帳に登録します。 **▶本体▶登録方法を選択** **新規登録** . . P.84手順2へ進みます。 **追加登録** . . P.88「表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」手順3へ進みます。 ●複数の電話番号を登録している場合は、[✉](完了)を押したあとにプッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。すでにプッシュトーク電話帳に登録してある電話番号には「★」マークが付いています。
履歴参照	発信履歴、着信履歴を呼び出してプッシュトーク電話帳に登録します。FOMA端末(本体)の電話帳に登録されていない相手の発信履歴、着信履歴からは登録できません。 **▶発信履歴・着信履歴▶履歴を選択▶電話番号を選択▶YES**

お知らせ

- 電話帳2in1設定がBの電話帳はプッシュトーク電話帳に登録できません。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳をグループに登録します。1グループにつき19人までのメンバーが登録でき、グループは10件まで作成できます。

1 **プッシュトーク電話帳一覧画面▶[📷](ｸﾞﾙｰﾌﾟ)**

- [📷](ﾒﾝﾊﾞｰ)を押すとプッシュトーク電話帳一覧画面が表示されます。

プッシュトーク
グループ一覧画面

2 **グループを選択▶[MENU](追加)▶登録したいメンバーにチェック▶[✉](完了)**

グループメンバー一覧画面　グループメンバー選択画面

- グループメンバー一覧画面で「<グループメンバー編集>」を選択しても登録できます。

グループメンバー選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録メンバー参照	チェックを付けたメンバーのみを表示します。 ●[●](登録)を押すとグループに登録します。
検索	**▶検索方法を選択** **フリガナ検索** . . P.89参照 **グループ検索** . . P.89参照 **▶メンバーを選択** 検索したメンバーが選択されたグループメンバー選択画面を表示します。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳やプッシュトークグループを利用して4人までの相手にグループ発信できます。

1 **プッシュトーク電話帳一覧画面**
▶発信したいメンバーにチェック
▶[P]または[✉]([P発信])

プッシュトーク電話帳一覧画面

- [📷]([グループ])を押すとプッシュトークグループ一覧画面が表示されます。
- どのメンバーにもチェックをしていない場合は、反転しているメンバーに発信されます。

プッシュトークグループから発信する

1 **プッシュトークグループ一覧画面**
▶グループを選択

プッシュトークグループ一覧画面

- グループを選んで[P]または[✉]([P発信])を押すと、グループのメンバー全員に発信されます。
- [📷]([メンバー])を押すとプッシュトーク電話帳一覧画面が表示されます。

2 **発信したいメンバーにチェック**
▶[P]または[✉]([P発信])

グループメンバー一覧画面

- どのメンバーにもチェックをしていない場合は、反転しているメンバーに発信されます。

お知らせ

- グループに5人以上登録している場合、グループを選んでメンバー全員に発信はできません。

<プッシュトーク電話帳削除>

プッシュトーク電話帳を削除する

1 **プッシュトーク電話帳一覧画面**
▶[iα]([機能])▶プッシュトーク電話帳削除
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
1件削除	▶削除方法を選択 **プッシュトーク電話帳削除** . . . プッシュトーク電話帳のみ削除します。FOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。 **通常電話帳削除** . . . プッシュトーク電話帳とFOMA端末(本体)の電話帳を削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●FOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。

プッシュトークグループ削除

1 **プッシュトークグループ一覧画面**
▶[iα]([機能])
▶プッシュトークグループ削除▶YES

グループメンバー削除

1 **グループメンバー一覧画面▶[iα]([機能])**
▶グループメンバー削除
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- プッシュトークグループやグループのメンバーを削除しても、プッシュトーク電話帳やFOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。

プッシュトーク電話帳を使いこなす

プッシュトーク電話帳一覧画面・プッシュトークグループ一覧画面・グループメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発信メンバー参照	プッシュトーク電話帳一覧画面・グループメンバー一覧画面ではチェックを付けたメンバーのみを表示します。 ●[P]または[●]([P発信])を押すとプッシュトーク発信できます。 ●[i α]([機能])を押して「発番号設定」を選択すると、相手に電話番号を通知するかどうかを設定できます。「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」に従って動作します。
プッシュトーク電話帳検索 [電話帳一覧のみ]	▶検索方法を選択 **フリガナ検索** . . . P.89参照 **グループ検索** . . . P.89参照 ▶メンバーを選択 検索したメンバーが選択されたプッシュトーク電話帳一覧画面を表示します。
プッシュトーク電話帳登録 [電話帳一覧のみ]	P.79参照
プッシュトーク電話帳削除 [電話帳一覧のみ]	P.80参照
グループメンバー編集 [グループ一覧・メンバー一覧]	グループのメンバーを編集します。 P.79手順2へ進みます。
グループ名編集 [グループ一覧のみ]	▶グループ名を入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
プッシュトークグループ削除 [グループ一覧のみ]	P.80参照
グループメンバー削除 [メンバー一覧のみ]	P.80参照
自動応答設定	P.81参照
呼出時間設定	P.81参照
ハンズフリー設定	P.81参照
クローズ動作設定	P.63参照
iモード通信中着信	P.82参照
プッシュトーク通信中着信	P.81参照
ネットワーク接続	ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用します。プッシュトークプラスを契約のお客様のみ利用可能です。(P.76参照)

プッシュトークの発着信について設定する

1 [MENU]▶設定▶プッシュトーク▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
自動応答設定	▶項目を選択 **自動応答あり** . . .「呼出時間設定」に関わらず、着信後すぐに自動応答します。 **自動応答なし** . . . 自動応答しません。
呼出時間設定	▶呼出時間(秒)を入力 ●「01」~「60」の2桁を入力します。 ●呼出時間経過後は相手に「不参加」と表示されます。
プッシュトークハンズフリー設定	プッシュトーク通信を開始したときに、相手の音声などをスピーカーから聞こえるようにするか受話口から聞こえるようにするかを設定します。 ▶ON・OFF ●ハンズフリー設定中の動作、通信中のハンズフリー切替についてはP.60参照。
プッシュトーク通信中着信設定	▶項目を選択 **留守番電話** . . . かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。 **転送でんわ** . . . かかってきた音声電話を転送先に転送します。 **着信拒否** . . . . . 着信を拒否して呼び出さないようにします。 **通常着信** . . . . . 音声電話の着信画面が表示されます。

つづく↵

お知らせ

<自動応答設定>

- 「自動応答あり」に設定すると、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じていても自動応答になります。
- 「自動応答あり」に設定すると、「プッシュトークハンズフリー設定」の設定に関わらず、ハンズフリーに切り替わって自動応答になります。
- 「自動応答あり」に設定すると、着信音･バイブレータ･着信／充電ランプ･バックライトは動作しません。また、マナーモード中は自動応答しません。
- 「自動応答あり」に設定していても、FOMA端末を閉じた状態で応答したあとにFOMA端末を開いた場合は、ハンズフリーが解除されます。

<プッシュトーク通信中着信設定>

- 「通常着信」に設定し、音声電話がかかってきた場合、(☎)を押すと、プッシュトーク通信が終了したあとに着信画面が表示され、音声電話に応答できます。プッシュトーク通信を継続する場合、(iα)(機能)を押し、「着信拒否」「転送でんわ」「留守番電話」を選択します。

ｉモード通信中着信設定

ｉモード通信中にプッシュトーク着信があった場合、プッシュトークの着信画面を表示するかどうかを設定します。

1 (iα)▶ｉモード設定▶ｉモード通信中着信設定▶項目を選択

プッシュトーク着信優先
. . . . ｉモード通信を終了し、プッシュトークの着信画面を表示します。

ｉモード優先
. . . . プッシュトーク着信を拒否し、ｉモード通信を継続します。着信履歴には残りません。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末(本体)の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。
上手に使い分けて電話帳の管理にお役立てください。

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>FOMA端末(本体)</th><th>FOMAカード</th></tr>
<tr><td colspan="3">件数</td><td>1000件</td><td>50件</td></tr>
<tr><td rowspan="29">電話帳の登録項目</td><td rowspan="12">基本項目</td><td>名前(フリガナ)</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>19グループ</td><td>10グループ</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td>4件</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>電話番号アイコン</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td>3件</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>メールアドレスアイコン</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>位置情報</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>誕生日</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メモ</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>静止画</td><td>100件</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メモリ番号</td><td>000～999</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="9">設定項目</td><td>電話／テレビ電話着信音</td><td>○</td><td rowspan="9">×</td></tr>
<tr><td>着信バイブレータ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>着信イルミネーション</td><td>○</td></tr>
<tr><td>着信イメージ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>キャラ電</td><td>100件</td></tr>
<tr><td>メール着信音</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メールバイブレータ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メールイルミネーション</td><td>○</td></tr>
<tr><td>応答メッセージ</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">電話帳指定設定</td><td>指定発信制限</td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">×</td></tr>
<tr><td>指定着信拒否</td></tr>
<tr><td>指定着信許可</td></tr>
<tr><td>指定転送でんわ</td></tr>
<tr><td>指定留守番電話</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークレットコード</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークレットモード、シークレット専用モードでの登録</td><td>○</td><td>×</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>FOMA端末(本体)</th><th>FOMAカード</th></tr>
<tr><td rowspan="10">グループの登録項目</td><td>グループ名</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>電話／テレビ電話着信音</td><td rowspan="9">○</td><td rowspan="9">×</td></tr>
<tr><td>着信バイブレータ</td></tr>
<tr><td>着信イルミネーション</td></tr>
<tr><td>着信イメージ</td></tr>
<tr><td>キャラ電</td></tr>
<tr><td>メール着信音</td></tr>
<tr><td>メールバイブレータ</td></tr>
<tr><td>メールイルミネーション</td></tr>
<tr><td>応答メッセージ</td></tr>
</table>

○:登録できます。　×:登録できません。

●お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

<電話帳登録>

電話帳を登録する

FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 **O(1秒以上)**
▶本体・FOMAカード(UIM)

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

2 **以下の操作を行う**

FOMA端末(本体)の場合

FOMAカードの場合

●FOMA端末(本体)の電話帳の場合、Oで基本項目タブと設定タブを切り替えできます。

項目	操作・補足
名 <名前>	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 **▶名前を入力** ●FOMA端末(本体)の場合、全角16文字/半角32文字まで入力できます。絵文字や記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字/半角英数のみなら21文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角／全角を問わず先頭から10文字まで登録できます。

項目	操作・補足
カナ ＜フリガナ＞	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 **▶フリガナを入力** ●FOMA端末(本体)の場合、半角32文字まで入力できます。半角の記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字/半角英数のみなら25文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角／全角を問わず先頭から12文字まで登録できます。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ(小文字)」、「ヮ(小文字)」を入力すると、フリガナには「ワ(半角大文字)」(FOMA端末(本体)の場合)、「ワ(大文字)」(FOMAカードの場合)として表示されます。
GR ＜グループ＞	FOMA端末(本体)には19個のグループ、FOMAカードには10個のグループがあります。 **▶グループを選択** ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループなし」に登録されます。

項目	操作・補足
☎ ＜電話番号＞	FOMA端末(本体)には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に、「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号のみ登録できます。 **▶電話番号を入力** ●電話番号は市外局番から入力します。 ●26桁まで入力できます。ただし、「FOMAカード(青色)」には20桁まで入力できます。 ●(＊)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「＃」を使用した番号も登録できます。 **▶アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「☎＜電話番号＞」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎＜電話番号＞」を選択します。
✉ ＜メールアドレス＞	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに、「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスのみ登録できます。 **▶メールアドレスを入力** ●半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.93参照) **▶アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「✉＜メールアドレス＞」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「✉＜メールアドレス＞」を選択します。

つづく

項目	操作・補足
<住所>	▶郵便番号を入力▶住所を入力 ●郵便番号は7桁まで入力できます。 ●住所は全角50文字/半角100文字まで入力できます。また、絵文字も入力できます。 ●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。
<位置情報>	▶項目を選択 **現在地確認から付加** . . .現在地を測位して位置情報を登録します。位置情報を確認し、[●](確定)を押します。 **位置履歴から付加** . . .位置履歴から位置情報を選択して登録します。 **画像から付加** . . .画像に登録されている位置情報を登録します。フォルダを選択し、画像を選択します。 ●登録済みの位置情報を削除する場合は「位置情報削除」を選択します。 ●現在地の測位中に[iα](利用)を押すと、測位の途中までの情報で結果を表示するかどうかの確認画面が表示されます。 ●現在地の測位を中止するには(CLR)または[✉](中止)を押します。 ●位置情報の確認画面で[✉](ﾘﾄﾗｲ)を押すと「品質重視モード」で再度測位されます。
<誕生日>	▶誕生日を入力 ●1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。
<メモ>	▶メモを入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。また、絵文字も入力できます。
<静止画>	登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ▶項目を選択 **静止画選択** . . .データBOX内の静止画を登録します。 **静止画撮影** . . .撮影した静止画を登録します。P.139「静止画を撮影する」手順2〜手順3を行います。 ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。 ●登録できる静止画は、画像サイズが待受(480×854)以下で最大300Kバイトまでの JPEG画像、GIF画像です。 ●72×54ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●240×180ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし「着信イメージ」にも画像を登録している場合、着信時には「着信イメージ」に登録している画像が優先して表示されます。
NO <メモリ番号>	▶メモリ番号を入力 ●「000」〜「999」の3桁を入力します。 ●あらかじめ「010」〜「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。「010」〜「999」がすべて登録されているときは、「000」〜「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。
<電話/テレビ電話着信音>	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。 ▶着信音選択 P.98手順2へ進みます。 ●登録済みの着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。
<着信バイブレータ>	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。 ▶バイブレータ選択 ▶バイブレータのパターンを選択 ●登録済みの着信バイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。

項目	操作・補足
<着信イルミネーション>	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのイルミネーションを設定します。 **▶イルミネーション選択▶色を選択** ●登録済みの着信イルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。
<着信イメージ>	電話帳の相手から電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。 **▶着信イメージ選択▶画像の種類を選択** **▶フォルダを選択▶画像を選択** ●登録済みの着信イメージを解除する場合は、「着信イメージ解除」を選択します。
<キャラ電>	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 **▶キャラ電選択▶キャラ電を選択** ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。
<メール着信音>	電話帳の相手からメールを受信したときの着信音を設定します。 **▶着信音選択** P.98手順2へ進みます。 ●登録済みのメール着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。
<メールバイブレータ>	電話帳の相手からメールを受信したときのバイブレータを設定します。 **▶バイブレータ選択** **▶バイブレータのパターンを選択** ●登録済みのメールバイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。
<メールイルミネーション>	電話帳の相手からメールを受信したときのイルミネーションを設定します。 **▶イルミネーション選択▶色を選択** ●登録済みのメールイルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。
<応答メッセージ>	電話帳ごとに伝言メモの応答メッセージを設定します。 **▶応答メッセージ選択** **▶応答メッセージを選択** ●登録済みの応答メッセージを解除する場合は、「応答メッセージ解除」を選択します。

3 ✉(完了)を押す

●名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

■編集中の電話帳について

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中の電話帳が自動的に保存されます。充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、P.84手順1の操作を行って編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。

再編集 . . .電話帳編集の続きを行うことができます。

新規. . . . .新しく他の電話帳を編集できます。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。

●編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。

●編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため、編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。

(MULTI)を1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末（本体）やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中・発信履歴表示中・着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中・受信アドレス一覧表示中	電話番号・メールアドレス
サイト表示中・画面メモ表示中	電話番号・メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中・メールの本文表示中	電話番号・メールアドレス
バーコードリーダーやテキストリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号・メールアドレス
トルカ表示中	電話番号・メールアドレス
現在地表示中・位置履歴表示中	位置情報
現在地通知先表示中	名前・電話番号
静止画一覧表示中・静止画再生中	静止画

つづく

1 登録したい項目を表示／選択▶ i α（機能）▶電話帳登録

- ●受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、「アドレス登録」を選択します。
  送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、送信元･同報先･宛先を選択する画面が表示されます。Ｏで登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
- ●テキストリーダーの読み取り結果を電話帳に登録する場合は、「電話番号登録」または「メールアドレス登録」を選択します。
- ●静止画を電話帳に登録する場合は、「ピクチャ貼付」から「電話帳」を選択します。
- ●バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。

2 本体･FOMAカード（UIM）▶登録方法を選択

新規登録．．．P.84手順2へ進みます。
追加登録．．．すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶電話帳を検索▶登録する電話帳を選択▶ Ｏ（選択）

→
電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。

- ●電話帳の他の項目を修正する場合は、P.84手順2参照。
- ●FOMA端末（本体）の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

4 ✉（完了）▶YES

- ●FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

お知らせ

- ●リダイヤル、発信履歴の「発番号設定」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- ●登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- ●サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

<グループ設定>

グループを設定する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。グループごとに着信音やバイブレータ、イルミネーションなどを設定できます。

1 MENU▶電話帳▶グループ設定

- ●FOMAカードのグループには「 」が表示されます。
- ●登録済みのグループ名、グループごとの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、i α（機能）を押して「グループ初期化」を選択し、「YES」を選択します。

2 グループを選んで✉（編集）▶設定したい項目を選択▶内容を設定

- ●「GRグループ名」を選択した場合はグループ名を入力します。全角10文字/半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。
- ●その他の項目の操作についてはP.84手順2参照。ただし、FOMAカードのグループでは設定できません。
- ●登録済みのグループを選択したり、i α（機能）を押して「グループ設定確認」を選択すると設定を確認できます。ただし、FOMAカードのグループでは操作できません。

3 ✉（完了）を押す

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳を8つの検索方法で呼び出します。

1 **[Ｏ]▶以下の操作を行う**

●一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。[CLR]を押すと電話帳検索画面が表示されます。

電話帳検索画面

項目	操作・補足
全検索	すべての電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.90参照)
フリガナ検索	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 **▶フリガナの一部を入力▶[Ｏ]** ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.90参照)
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳を表示します。 **▶グループを選択** ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.90参照) ●グループの一覧画面で[iα]([機能])を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。
メモリ番号検索 [FOMA端末(本体)のみ]	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 **▶メモリ番号を入力** ●「000」～「999」の3桁を入力します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.90参照) ●待受画面で[発信]を押して[Ｏ]を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話をかけることができます。
名前検索	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 **▶名前の一部を入力▶[Ｏ]**
電話番号検索	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 **▶電話番号の一部を入力▶[Ｏ]** ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、[Ｏ]を押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。 **▶メールアドレスの一部を入力▶[Ｏ]**
ツータッチダイヤル検索 [FOMA端末(本体)のみ]	メモリ番号000～009の電話帳一覧を表示します。 ●未登録やシークレット設定中の電話帳は＜－－－＞で表示されます。

2 **電話帳を選択▶[発信]または[Ｏ]([発信])**

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で[◎]を押して電話番号を選択します。

●[✉]([テレビ電話])を押すとテレビ電話発信、[P]を押すとプッシュトーク発信になります。

お知らせ

●「グループ検索」「ツータッチダイヤル検索」以外の検索方法で何も入力せずに[Ｏ]を押すと、電話帳全検索となります。

●「フリガナ検索」「メモリ番号検索」で入力した条件に該当する電話帳がない場合は、条件に最も近い電話帳が表示されます。

■検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索されます。

「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」

ただし、「全検索」「フリガナ検索」の場合は、次のような順で検索されます。

「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」

※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索されます。

つづく

■一覧画面について

電話帳一覧画面

「全検索」「フリガナ検索」「グループ検索」「メモリ番号検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「全検索」「フリガナ検索」の場合はフリガナの行ごとに、「メモリ番号検索」の場合はメモリ番号の100番ごとに、「グループ検索」の場合はグループごとに分類されます。

Oを押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。1つのタブ内に12件以上の電話帳がある場合は、MENU(▲ページ)、📷(▼ページ)または▲▼を押すと前後のページが表示されます。

- フリガナ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「ア」～「ワ」、「英」、「他」タブに移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
  <例>5を押すと「ナ」タブを表示します。続けて5を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
- グループ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すとタブ内の各行の先頭に移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
  <例>5を押すと「ナ」行の先頭にカーソルが移動します。続けて5を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
- メモリ番号検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「000～」～「900～」タブに移動できます。
  <例>5を押すと「500～」タブに移動します。
- 一覧画面で☎を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、Pを押すとプッシュトーク発信になります。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。
- 電話帳2in1設定がAの電話帳には「📖」、Bの電話帳には「📖」、共通設定の電話帳には「📖」が表示されます。(デュアルモード時のみ)

電話帳

■詳細画面について

Oでタブを選ぶと登録内容の詳細が表示されます。

電話帳詳細画面
(項目一覧)

- FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号欄には「▣」が表示されます。
- 発番号設定を「通知する」に設定している場合は「((🔊))」が表示され、「通知しない」に設定している場合は「((?))」が表示されます。
- 電話帳2in1設定がAの電話帳には「📖」、Bの電話帳には「📖」、共通設定の電話帳には「📖」が静止画の下に表示されます。(デュアルモード時のみ)
- マルチナンバーや着もじの設定がある電話帳の場合、項目一覧・電話番号の画面に設定内容が表示されます。

☰ 項目一覧

1番目に登録した電話番号とメールアドレス、住所、誕生日、メモが表示されます。

☎ 電話番号

✉ メールアドレス

- 項目を選択すると宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールが作成されます。

📝 個人情報

- 住所、メモ、静止画を選択すると全画面表示になります。O(閉)またはCLRを押すと元の画面に戻ります。
  位置情報を選択すると位置情報の機能メニューが表示されます。(P.232参照)

🔧 設定

- 各項目を選択するとデモ再生されます。
  O(停止)またはCLRを押すとデモ再生が終了します。

<電話帳修正>

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶MENU(編集)▶修正したい項目を選択▶内容を修正

- 電話帳の修正方法についてはP.84手順2参照。
- FOMA端末(本体)の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

2 ✉(完了)▶YES

●FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

＜電話帳削除＞
電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 **電話帳詳細画面▶i α(機能)▶電話帳削除▶項目を選択▶YES**

●詳細画面で◎を押して選んだ各項目の削除または電話帳の1件削除を選択できます。

電話帳一覧画面から削除する

1 **電話帳一覧画面▶i α(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック▶✉(完了)▶YES ●i α(機能)を押して「タブ内全選択／全選択／タブ内全選択解除／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ●シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。
タブ内全削除	表示しているタブ内のすべての電話帳を削除します。 ▶YES
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

お知らせ

●プッシュトーク電話帳に登録している電話帳を削除すると、プッシュトーク電話帳も削除されます。

＜電話帳登録件数＞
電話帳の登録状況を確認する

1 **MENU▶電話帳▶電話帳登録件数**

本体
電話帳 ……… FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット …. シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数
静止画 ……… 静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電……… キャラ電が登録されている電話帳の件数
プッシュトーク… プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳の件数
ボイスダイヤル… ボイスダイヤルに設定されている電話帳の件数
追加残 ……… ☎：電話番号があと何件登録できるかを表示
✉：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示
FOMAカード(UIM)
電話帳 ………FOMAカードに登録されている電話帳の件数

お知らせ

●2in1をご利用中は、モードごとに表示できる電話帳の件数が表示されます。(P.375参照)

電話帳を使いこなす

電話帳一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	電話帳を新規登録します。 P.84手順1へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。 ●一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。
iモードメール添付	電話帳をiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。
赤外線送信(電話帳送信)	P.305参照
赤外線送信(電話帳全件送信)	P.305参照
iC送信(電話帳送信)	P.306参照

つづく

機能メニュー	操作・補足
iC送信（電話帳全件送信）	P.307参照
Bluetooth送信（電話帳送信）	Bluetoothで1件送信します。 ▶電話帳送信 ▶送信したいBluetooth機器を選択 ▶YES ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.350参照。
Bluetooth送信（電話帳全件送信）	Bluetoothで全件送信します。 ▶電話帳全件送信 ▶送信したいBluetooth機器を選択 ▶端末暗証番号を入力▶YES ●「Bluetooth設定」の「全件転送パスワード設定」を「パスワード有り」に設定しているときは、端末暗証番号を入力したあとに認証パスワードを入力します。 ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.350参照。
microSDへコピー	P.295参照
お預かりセンターに接続	P.95参照
電話帳削除	P.91参照
文字サイズ変更	文字サイズを拡大／標準に切り替えます。 ●ここでの設定は、「文字サイズ設定」の「電話帳」と共通です。
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。 ●通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

<Bluetooth送信>
●FOMAカードの電話帳は送信できません。
●BluetoothについてはP.348参照。

電話帳詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	P.47参照
プレフィックス	P.59参照
国際ダイヤルアシスト	P.58参照
2in1発信	2in1のモードがデュアルモードの場合に相手に通知する番号を選択します。（P.374参照）
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。（P.372参照）
着もじ	P.55参照
電話帳指定設定	P.127参照
電話帳編集	P.90手順1へ進みます。
電話帳削除	P.91参照
プッシュトーク電話帳登録	プッシュトーク電話帳に登録します。
デスクトップ貼付	P.114参照
ｉモードメール作成	メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。
ｉモードメール添付	電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。
赤外線送信（電話帳送信）	P.305参照
赤外線送信（電話帳全件送信）	P.305参照
iC送信（電話帳送信）	P.306参照
iC送信（電話帳全件送信）	P.307参照
Bluetooth送信（電話帳送信）	P.92参照
Bluetooth送信（電話帳全件送信）	P.92参照
microSDへコピー	P.295参照
お預かりセンターに接続	P.95参照
名前コピー	●コピーした文字はメールなどに貼り付けることができます。

機能メニュー	操作･補足
電話番号コピー･メールアドレスコピー･住所コピー･位置情報コピー･誕生日コピー･メモコピー	●詳細画面でOを押してコピーする項目を選びます。選んだ電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。 ●コピーした文字はメールなどに貼り付けることができます。
シークレットコード	シークレットコード登録をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 ▶端末暗証番号を入力▶コード設定 ●詳細画面でOを押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶4桁のシークレットコードを入力 ▶YES ●シークレットコードを設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
文字サイズ変更	P.92参照
シークレット設定･シークレット解除	P.92参照
FOMAカードへコピー･本体へコピー	P.346参照
テレビ電話画像選択	P.72参照

お知らせ

<シークレットコード>
- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<ツータッチダイヤル>

少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁と( )を押すだけで電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタン(0～9)▶( )またはO(発信)

- ( )(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信、( )を押すとプッシュトーク発信になります。

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信されます。
- メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで発信してください。

<ボイスダイヤル>

音声で電話帳を呼び出す

相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけます。

ボイスダイヤル設定 MENU 2 6

すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳から100件まで登録できます。

1 MENU▶電話帳▶電話帳設定▶ボイスダイヤル設定▶<新規登録>

- ( )(編集)を押すと登録済みのボイスダイヤル名を編集できます。手順3へ進みます。
- 登録済みのボイスダイヤルを削除するには、( )(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

つづく

2 電話帳を検索▶電話帳を選択

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

- ボイスダイヤル一覧に登録されている電話帳には「★」マークが付きます。

3 ボイスダイヤル名を入力

- 半角のカタカナを使って22文字まで入力できます。
- 電話帳のフリガナ(カタカナのみ)がボイスダイヤル名として表示されます。認識しやすい言葉に修正してください。

お知らせ

- 本機能で設定したボイスダイヤル名はボイスダイヤル呼出にのみ有効です。音声読み上げ時は電話帳に登録されているフリガナ(名前)が読み上げられます。
- 似ているボイスダイヤル名が多く登録されているときやボイスダイヤル名が短いと、認識率が低下し間違ったボイスダイヤル(電話帳)を呼び出すことがあります。この場合、別のボイスダイヤル名で登録をやり直してください。
- ボイスダイヤル名として「ボイスケンサク」と「ボイスセッテイ」は登録できません。

ボイスダイヤル呼出で電話をかける

ボイスダイヤル一覧に設定した電話帳を音声で呼び出します。「音声読み上げ設定」を「ON」に設定して「ボイスダイヤル」にチェックを付けておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 (1秒以上)▶音声認識開始音が鳴ったらボイスダイヤル名を話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。

ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。

- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 「ボイス検索」と話すと、使いかたナビが起動します。P.37手順2へ進みます。
- 「ボイス設定」と話すと、ボイス設定の画面が表示されます。(P.95参照)
- 「ボイスダイヤル自動発信」が「ON」に設定されている場合、ボイスダイヤルが音声認識されるとボイスダイヤル自動発信の画面が表示されます。約2秒後に自動的に発信します。

2 認識結果を選んで または (発信)を押す

選択されている電話帳の1番目の電話番号に発信します。

- (詳細)を押すと電話帳詳細画面が表示されます。電話番号を選んで または (発信)を押すと音声電話をかけることができます。また、(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、 を押すとプッシュトーク発信になります。

お知らせ

- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、ボイスダイヤル名の発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。

平型スイッチ付イヤホンマイクを使ってボイスダイヤルを呼び出す

あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定し、FOMA端末を開いた状態にしておきます。

1 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを1秒以上押す

2 P.94「ボイスダイヤル呼出で電話をかける」手順1～手順2の操作を行う

- または の代わりに平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても発信できます。

Bluetooth機器を使ってボイスダイヤルを呼び出す

FOMA端末を閉じたままでもボイスダイヤルを呼び出すことができます。あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定し、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービスでBluetooth機器と接続しておきます。

- ハンズフリーサービスの場合は、Bluetooth機器が音声認識機能に対応している必要があります。

1 Bluetooth機器のスイッチを押す

- FOMA端末を閉じているときはBluetooth機器のスイッチかFOMA端末の▲を1秒以上押します。

2 音声ガイダンスに従ってボイスダイヤルを呼び出す

- ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果がプライベートウィンドウに表示されます。
- 発信を通知する音声ガイダンス終了後、約2秒後に自動的に発信します。

ボイス設定

1 MENU▶設定▶その他▶ボイス設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
ボイスダイヤル自動発信	ボイスダイヤルで呼び出した電話番号に自動的に電話をかけます。 ▶ON・OFF
ボイスイヤホン発信	平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)やBluetoothヘッドセット　F01(別売)を使ってボイスダイヤル呼出を行います。 ▶ON・OFF
音声読み上げ設定	P.333参照
音声読み上げ音量	P.333参照
音声読み上げ速度	P.334参照
音声読み上げ出力先	P.334参照
音声読み上げ有効設定	P.334参照

<電話帳お預かりサービス>

電話帳をお預かりセンターに保存(復元・更新)する

FOMA端末内に保存されている電話帳をお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元・更新できます。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

- ●ｉモードサービスエリア圏外・電源OFF時などでは利用できません。
- ●電話帳お預かりサービスの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 MENU▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
お預かりセンターに接続	▶端末暗証番号を入力▶YES
電話帳通信履歴表示	お預かりセンターに電話帳やメール、画像の保存などを行った通信記録をディスプレイに表示します。 ▶履歴を選択 ●一覧画面において通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。
電話帳内画像送信設定	電話帳に設定している画像をお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。 ▶する・しない

お知らせ

<お預かりセンターに接続>
- ●FOMAカードの電話帳は保存できません。
- ●お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。

<電話帳通信履歴表示>
- ●最大30件まで保存されます。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

<電話帳内画像送信設定>
- ●FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

自動更新

お預かりセンターのサイトで、FOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。
- ●詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ
- ●電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- ●電話帳の更新ができなかった場合、待受画面に「 」(電話帳更新通知あり)の「お知らせアイコン」が表示されます。「 」を選択すると、自動更新を設定しているときは更新画面が表示され、自動更新を設定していないときは端末暗証番号入力後に更新画面が表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

＜着信音選択＞

FOMA端末の着信音を変更する

着信音を着信の種類ごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。(着モーション)

●着信音は、PCM音源　128和音　ADPCM対応です。
●着信音を電話帳ごとに設定するには「電話帳登録」、グループごとに設定するには「グループ設定」参照。

■着信音一覧(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名·作曲者名
着信音1	−	−
着信音2	−	−
着信音3	−	−
着信音4	−	−
着信音5	−	−
YOU RAISE ME UP※1	YOU RAISE ME UP	作曲: LOVLAND ROLF
THIS LOVE※1	THIS LOVE	作曲: アンジェラ·アキ
はちすずめ	はちすずめ	作曲: SAGRERAS JULIO S
亜麻色の髪の乙女※1	亜麻色の髪の乙女	作曲: DEBUSSY CLAUDE ACHILLE
SOMEDAY MY PRINCE	SOMEDAY MY PRINCE WILL COME	作曲: CHURCHILL FRANK E
熊蜂の飛行※1	熊蜂の飛行	作曲: RIMSKIJ KORSAKOVICH NICOLAS ANDR
パガニーニの主題による	パガニーニの主題による狂詩曲	作曲: RACHMANINOFF SERGEI
JAZZ※1	−	−
3D twinkle※1	−	−
3D ガーデンテラス※1	−	−
3D propeller※1	−	−
3D 水の音※1	−	−
泡	−	−
ウォータードロップ	−	−
メール(ヒットサウンド)	−	−
メール(ウクレレ)	−	−
美ら海　カクレクマノミ※2	−	−

※1 3Dサウンド対応。3DサウンドについてはP.99参照。
※2 ｉモーション
(注)曲名·作詞者名·作曲者名のローマ字は大文字で表記しています。
作詞者名·作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。
曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

JASRAC 許諾番号:T-0790001

1 MENU▶設定▶サウンド▶着信音選択▶着信の種類を選択

●項目を選択して✉(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 着信音▶着信音の種類を選択

メロディ ……メロディを着信音に設定します。
ミュージック …着うたフル®を着信音に設定します。
ｉモーション …ｉモーションを着信音に設定します。(着モーション／着うた®)
おしゃべり……「おしゃべり機能」で録音した音を着信音に設定します。
設定が終了します。
OFF…………着信音をOFFにします。設定が終了します。

3 フォルダを選択▶着信音を選択

●手順2で「ミュージック」を選択した場合は、「まるごと着信音設定」または「オススメ着信音設定」を選択します。(P.327参照)
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

お知らせ

●「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。P.105手順2へ進みます。
●「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.104「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
●着信音の優先順位は、「音声読み上げ設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信音選択」の順になります。付加番号に着信した場合は、「マルチナンバー」の「着信音設定」で設定した着信音が鳴ります。
2in1を利用中にBナンバーへ着信した場合は、「音声読み上げ設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「Bナンバー着信設定」(P.373参照)の順になります。
●本機能の設定と「画面表示設定」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の着信音や画像が再生／表示されることがあります。

お知らせ

- 着信音に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。
- 映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、CLRなどを押すと着信音を停止できます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には「画面表示設定」よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には本機能よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した着信音が鳴ります。
- 映像のあるｉモーションはプッシュトークの着信音に設定できません。
- 異なる種類のｉモードメール･SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「チャットメール」→「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

<メロディ効果> MENU 6 4

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

メロディ再生音、着信音、効果音、ｉモーション再生音に音響効果を加えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**サウンド**▶**メロディ効果**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
ステレオ･3Dサウンド設定	3次元の立体音響をステレオスピーカーから再生します。 ｉアプリの効果音や着信音などに有効です。 ▶ON･OFF
再生位置選択	着信音やアラーム音などに設定したメロディの再生開始位置を設定します。 ▶**項目を選択** **フルコーラス再生** . . .メロディの最初から再生します。 **ポイント再生** . . .メロディに設定された開始位置から再生を開始します。

■3Dサウンドとは

ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音、ｉモーションを臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。
迫力ある3Dサウンドをお楽しみいただくためには、FOMA端末を約40cm離し、正面に持って聴いた場合に最も効果が現れます。
正面から左右にずらした位置で聴く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいますのでご注意ください。

お知らせ

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ステレオ･3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。

<バイブレータ> MENU 5 4

着信を振動で知らせる

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 **MENU▶設定▶着信▶バイブレータ▶着信の種類を選択▶バイブレータのパターンを選択**

パターン1 . . . . . 約0.5秒間振動ON→約0.5秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン2 . . . . . 約1秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン3 . . . . . 約3秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
メロディ連動 . . . メロディに登録されている振動パターンに合わせて振動します。
OFF . . . . 振動しません。

- 選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
- バイブレータ設定中は待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかの着信時に振動
  - ：メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの受信時に振動
  - ：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかと、メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの受信時に振動

お知らせ

- バイブレータの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「バイブレータ」の順になります。
- バイブレータの振動は、着信音量のレベルに関わらず、一定の強さとなります。
- 「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
- バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

<おしゃべり機能> MENU 5 5

録音した音を着信音などに使用する

FOMA端末で録音した音を各種着信音（2in1のBナンバー着信音を含む）、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
約15秒間、1件のみ録音できます。

1 **MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶おしゃべり機能▶録音**

- 録音を途中でやめるときは○（停止）、☎またはCLRを押します。それまでの録音内容は保存されます。
- 録音時間（約15秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。
- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
- 録音した音を再生するには「再生」を選択します。再生を途中でやめるときは○（停止）、☎またはCLRを押します。
- 録音した音を消去するには「消去」を選択し、「YES」を選択します。

<メロディコール設定>

呼び出し音を変える

メロディコールとは、音声電話をかけてきた相手に流れる「プルルル」という呼び出し音をお好みの楽曲などに変更できるサービスです。
詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **MENU▶設定▶メロディコール設定▶YES▶画面の表示に従って操作**

お知らせ

- テレビ電話、プッシュトークからの発信にはメロディコールは流れません。
- サイトへ接続するかどうかの確認画面で「YES」を選択するとｉモードサイトに接続されます。設定サイトはパケット通信料無料ですが、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

＜ボタン確認音＞ MENU 3 0

ボタンを押したときの音を設定する

1 MENU▶**設定**▶**サウンド**▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音（P.44参照）や各種警告音も鳴りません。
- ▲を押したときや、着信中、動画／ｉモーション再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。
- FOMA端末を閉じた状態で▼を押した場合は、P.112「確認機能設定」に従って動作します。

＜充電確認音＞

充電開始／終了時の音を設定する

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**電池**▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 充電確認音の音量は変更できません。
- 待受画面以外を表示中やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、充電確認音は鳴りません。

＜通話品質アラーム＞

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 MENU▶**設定**▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし．．．．お知らせしません。
アラーム高音．．．．高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音．．．．低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- テレビ電話中は、通話品質アラームは受話口からのみ鳴ります。

＜メール／メッセージ鳴動＞ MENU 6 8

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

ｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**サウンド**▶**メール／メッセージ鳴動**▶**メールやメッセージの種類を選択**▶**ON・OFF**▶**鳴動時間（秒）を入力**

- 「01」～「30」の2桁を入力します。

＜イヤホン切替設定＞ MENU 5 1

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続したとき、着信音やアラームの鳴る場所を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**サウンド**▶**イヤホン切替設定**▶**イヤホン＋スピーカー・イヤホンのみ**

お知らせ

- 「イヤホンのみ」に設定していても、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。ただし、電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合は、約20秒たってもスピーカーから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときや、静止画・動画の撮影開始時は、スピーカーから音が鳴ります。
- 以下の場合は本機能の設定に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカーから音が鳴ります。
  - ・ワンセグ視聴中
  - ・メロディ再生中
  - ・ｉモーション再生中
  - ・ビデオ再生中
  - ・ｉアプリ起動中
  - ・ミュージックプレーヤーで音楽を再生中
  - ・Music&Videoチャネルで番組を再生中
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
- 通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

<マナーモード>

電話から鳴る音を消す

FOMA端末の音を周囲に出したくないときに、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカーから出る音を鳴らさないようにできます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 待受中・通話中▶# (1秒以上)

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードに設定されます。
- マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。
  - :「バイブレータ」でお知らせ
  - ・・:「着信音量」を「消去」に設定

お知らせ

- 通話中、呼び出し中にマナーモードに設定したときは設定した旨のメッセージが表示されます。
- マナーモード設定中でも、静止画・動画の撮影開始音は鳴ります。
- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
- マナーモード設定中に以下の操作を行うと、音声や音楽を再生するかどうかの確認画面が表示されます。
  ・ワンセグの視聴　・ｉモーションの再生
  ・ビデオの再生
  ・ミュージックプレーヤーでの音楽再生
  ・Music&Videoチャネルでの番組再生
  「YES」を選択すると各プレーヤーで設定した音量で再生されます。音量を変更した場合、次回も設定した音量で再生されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときはイヤホンから音が鳴ります。マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面は表示されません。また、各プレーヤーで音声や音楽などを再生中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても、スピーカーから音は鳴りません。

■マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。通話中、呼び出し中は「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードが解除されます。

■着信中にマナーモードにするには

✉(メモ)または▼を押します。
マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件が録音・録画されます。
「伝言メモ設定」が「ON」に設定されていなくても伝言メモへ移ります。
音声電話に出るときは☎または●(通話)、テレビ電話に出るときは☎、●(通話)またはMENU(代替)を押してください。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されている場合や、プッシュトーク着信の場合は、伝言メモは動作しません。「マナーモード選択」で設定したマナーモードの着信動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。

MENU 2 0

マナーモードを選択する

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値		ONまたはOFF
バイブレータ※1	ON		ONまたはOFF
電話着信音量	消去		消去～レベル6・ステップ ①
メール着信音量	消去		消去～レベル6・ステップ ②
アラーム音量※2	消去		消去～レベル6・ステップ
メモ確認音	ON	OFF	ONまたはOFF ③
ボタン確認音	OFF		ONまたはOFF ④
通話中マイク感度	アップ		標準またはアップ
低電圧アラーム（電池切れアラーム）	OFF		ONまたはOFF ONのときは①と同じ設定値で動作※3
着信音選択中の確認音	消去		①・②と同じ設定値で動作
応答保留音	消去		①と同じ設定値で動作※4
通話中保留音	消去		①と同じ設定値で動作※5
トルカ取得音・取得失敗音	消去		①と同じ設定値で動作
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	③と同じ設定値で動作
電池残量確認音	消去		消去
音声認識開始音	消去		消去
不在着信・新着メールの確認音（電子音）	消去		①と同じ設定値で動作※6
不在着信・新着メールの確認音（ボイス）	消去		①と同じ設定値で動作※4
各種警告音	消去		④と同じ設定値で動作
スケジュールアラーム	消去		①と同じ設定値で動作
視聴予約アラーム	消去		①と同じ設定値で動作
録画予約アラーム	消去		①と同じ設定値で動作※7
静止画・動画の撮影開始音	レベル4		レベル4
シャッター音選択中の確認音	OFF		③と同じ設定値で動作
「テレビ電話ハンズフリー設定」 「プッシュトークハンズフリー設定」 によるハンズフリー切替	OFF		OFF
音声読み上げ音量	消去		P.333「音声読み上げ音量」 と同じ設定値で動作

※1 以下の音を振動でお知らせします。
　着信音・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラーム
　　バイブレータのパターンはP.100での設定と同じになります。ただし、P.100の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
　不在着信、新着メール確認音
　　・不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。
　　・不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。
※2 P.335「マナーモード優先」を「OFF」に設定しているときは、アラームで設定した音量で音が鳴ります。
※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。
※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。
※5 ①が「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。
※6 ①が「消去」以外のときはレベル6で鳴ります。
※7 ①が「ステップ」のときは鳴りません。

つづく

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」、動作をお好みで設定できる「オリジナルマナー」から選択できます。

1 MENU▶設定▶着信▶マナーモード選択▶マナーモード・スーパーサイレント・オリジナルマナー▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
伝言メモ	▶ON・OFF ●「ON」を選択しても、P.67の「伝言メモ設定」を「OFF」に設定していると、呼出時間は約13秒になり変更できません。 ●伝言メモ設定についてはP.67参照。
バイブレータ	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ▶ON・OFF ●バイブレータについてはP.100参照。
電話着信音量	音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量を調節します。 ▶◎で音量を調節 ●着信音量についてはP.64参照。
メール着信音量	iモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときの着信音量を調節します。 ▶◎で音量を調節 ●着信音量についてはP.64参照。
アラーム音量	▶◎で音量を調節 ●アラームについてはP.335参照。
メモ確認音	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時、動画メモの録画時の確認音を鳴らします。 ▶ON・OFF
ボタン確認音	▶ON・OFF ●ボタン確認音についてはP.101参照。
通話中マイク感度	▶標準・アップ
低電圧アラーム	▶ON・OFF ●低電圧アラーム（電池切れアラーム）についてはP.44参照。

2 ✉（完了）を押す

＜画面表示設定＞

画面の表示を変更する

待受画面を設定する

待受画面に表示する画像を設定します。FOMA端末で撮影したｉモーションやサイトから取得したｉモーションなども待受画面に設定できます。

1 MENU▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶画像の種類を選択

●「カレンダー」を選択した場合は、表示形式を選択し、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。

●「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択します。設定が終了します。

2 フォルダを選択▶画像を選択

●待受画面に表示されるとき、画面より大きいサイズの画像は縦横の比率を変えずに縮小され、全体表示されます。画面より小さいサイズの画像は等倍表示されます。

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

■カレンダーを設定したときは

設定した表示形式で待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールの設定（P.337参照）ができるようになります。

●待受画面で◎を押したあとに◎を押すと前のカレンダーが、◎を押すと次のカレンダーが表示されます。

待受画面に貼り付けアイコンがあるときは、◎を押すと前回使った貼り付けアイコンまたはカレンダーが選ばれます。

カレンダーを選んで◎（選択）を押してから◎で前後のカレンダーを表示します。

もう一度◎（選択）を押すと「スケジュール」を設定できます。

■自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に☎を押したとき、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

■Flash画像を設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に☎を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、最初に操作したときなど、画像が静止したときの画面が待受画面として表示されます。

■ｉモーションを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に( )を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

- 再生中に( )または( )( )を押すと、音量を調節できます。
  ( )、( )、( )、( )、( )、(CLR)、( )、( )、( )を押すと、再生が終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ

- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受（480×854）サイズを超える静止画や300Kバイトを超える静止画は待受画面に設定できません。
- 画像やｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

ウェイクアップ画面を設定する

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 (MENU)▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択

- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力します。全角50文字/半角100文字まで入力できます。
- 「マイピクチャ」、「ｉモーション」を選択した場合は、P.104「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

お知らせ

- 画像やｉモーションによってはウェイクアップ画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電話発着信時などの画面を設定する

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 (MENU)▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶画面の種類を選択

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択し、P.104「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話発信」「テレビ電話発信」「メール送信」「問い合わせ」「メール／メッセージ着信結果」を選択した場合は、P.104「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択して( )（デモ）を押すと、実際に表示／再生される内容を確認できます。

2 画像の種類を選択

P.104「待受画面を設定する」手順2へ進みます。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.98手順2へ進みます。
- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。
  2in1を利用中にBナンバーへ着信した場合も同様の順になります。ただし、「Bナンバー着信設定」で映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合は、本機能よりも優先して着モーションが再生されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には本機能よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には「着信音選択」よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「着信音選択」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の画像や着信音が表示／再生されることがあります。
- 画像によっては画面表示に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電池アイコンやアンテナアイコンを設定する

ディスプレイに表示される電池残量アイコンや電波の受信レベルアイコンを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**画面表示設定**▶**電池アイコン・アンテナアイコン**▶**パターンを選択**

お知らせ

●「 」や「self」のアイコンは変更できません。

＜電話帳画像着信設定＞

電話帳に登録した画像を着信中に表示する

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

1 MENU▶**設定**▶**着信**▶**電話帳画像着信設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

●電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の着信イメージ」→「グループの着信イメージ」→「電話帳の静止画」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。

＜プライベートウィンドウ＞

プライベートウィンドウの表示を設定する

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**プライベートウィンドウ**▶**ON・OFF**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
時計	時計の表示パターンを設定します。 ▶パターン1・パターン2・パターン3
表示方向	表示される時計などの向きを設定します。 ▶パターン1・パターン2
明るさ	レベル1(暗い)～レベル3(明るい)で調節します。 ▶明るさを選択
着信表示	着信中に電話をかけてきた相手の電話番号(電話帳に登録されている場合は名前)などを表示します。 ▶ON・OFF 着もじを表示するかどうかも設定します。 ▶ON・OFF
メール表示	メールやメッセージR/Fの受信日時などを表示します。(P.30参照) ▶ON・OFF ●セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメール、メッセージR/Fの受信日時などは表示されません。
ｉチャネルテロップ表示	▶ON・OFF ●2in1の各モードごとに設定ができます。2in1が「OFF」のときはAモード中の設定と共通になります。
通信中表示	通信中にアニメーションや文字を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

＜オープン新着表示＞

FOMA端末を開いたときに新着情報を表示する

不在着信・新着メール・新着チャットメール・新着メッセージR/Fがあった場合、FOMA端末を開くと不在着信履歴詳細画面・受信メール一覧画面・チャットメール画面・メッセージR/F一覧画面が表示されます。

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**オープン新着表示**▶**ON・OFF**

お知らせ

●シンプルメニューを使用中に着信があった場合は、着信履歴詳細画面が表示されます。

●新着受信と不在着信がある場合、不在着信履歴詳細画面が表示されます。

●新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fを同時に受信した場合は、チャットメール→メール→メッセージR→メッセージFの順で優先して表示されます。

<照明設定>

ディスプレイとボタンの照明を設定する

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
通常時	通常時にバックライトを点灯させるかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定したときは待受画面に「 」が表示されます。 メインディスプレイを省電力モードにするかどうかも設定します。 ▶**ON・OFF▶待ち時間(秒)を入力** ●「015」～「999」の3桁を入力します。
充電時	▶**標準・常時点灯** **標準**……通常時と同じ設定で充電中も点灯します。 **常時点灯**‥充電中にバックライトを常時点灯します。
範囲	バックライトが点灯する範囲を設定します。 ▶**液晶＋ボタン・液晶**
明るさ	メインディスプレイのバックライトの明るさをレベル1(暗い)～レベル5(明るい)で調節します。 ▶**明るさを選択** ●「自動設定」に設定すると、「範囲」で設定した箇所のバックライトが、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。
ふんわり点灯	メインディスプレイのバックライトをなめらかに点灯させるかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

■バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

5を1秒以上押します。

お知らせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が約15秒間点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
- テレビ電話中の照明設定についてはP.71参照。
- ワンセグ視聴中の照明設定についてはP.257参照。

お知らせ

- ACアダプタ(別売)などの外部電源から電源を供給されているときは、通常時のバックライトのON／OFF設定に関わらず、充電時の設定になります。
- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 「省電力モード」を「ON」に設定したときは、待受画面表示時に何も操作をしないで設定した時間が経過すると省電力モードに切り替わり、ディスプレイの表示が消えます。また、「イルミネーション」の「通話中イルミネーション」を「OFF」に設定したときは、音声通話中画面表示時のディスプレイの表示も同様に消えます。
- 待受画面に静止画以外を設定している場合は、画像の再生が終了したあと、待ち時間が経過すると省電力モードに切り替わります。
- データ通信中・充電中・待受ｉアプリ設定中は省電力モードに切り替わりません。
- 公共モード(ドライブモード)中に電話がかかってきたときはディスプレイは表示されません。

<液晶AI>

ディスプレイの画質を自動的に調整する

ｉモーション・PC動画・Music&Videoチャネル・ビデオの再生中や、テレビ電話中、ワンセグ視聴中にディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調整し、その明るさにあわせて画質補正をするかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**液晶AI**▶**ON・OFF**

- テレビ電話中やワンセグ視聴中の機能メニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話や視聴中のワンセグにのみ有効です。

お知らせ

- 「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内でバックライトの明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。
- バックグラウンド再生中は、本機能は無効になります。

<画質モード設定>

ディスプレイの画質を設定する

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**画質モード設定**▶**項目を選択**

ノーマル……標準的な画質
Vivid………鮮明な画質
ダイナミック…動きを強調したダイナミックな画質

＜カラーテーマ設定＞

画面の色の組み合わせを設定する

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 MENU▶**設定▶ディスプレイ▶カラーテーマ設定▶カラーテーマを選択**

●選択中は、確認のため選択しているカラーテーマで画面が表示されます。

お知らせ

●複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、iモード対応のインターネットホームページ（サイト）の色は変わりません。

＜メニューアイコン設定＞

メインメニューの表示を設定する

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 MENU▶iα（機能）▶**メニューアイコン設定▶パターンを選択**

ブラック

ホワイト

レッド

ピンクゴールド

拡大メニュー

ノーマル

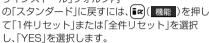
2 **手順1で「カスタマイズ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択▶フォルダを選択▶画像を選択**

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

●メニューアイコンまたは背景選択中に✉（デモ）を押すと、現在設定されている画像を確認できます。

●「カスタマイズ」に設定したメニューアイコンと背景を「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻すには、iα（機能）を押して「1件リセット」または「全件リセット」を選択し、「YES」を選択します。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

お知らせ

●カスタマイズで設定できる画像は、画像サイズが待受（480×854）以下で最大300KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。

●カスタマイズで設定した画像を削除した場合は、「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻ります。

●カスタマイズに設定中にパーソナルデータロックを設定した場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。

●カスタマイズに設定すると、「バイリンガル」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

<きせかえツール>
きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて変更できます。

●きせかえツールのダウンロードについてはP.161参照。

■きせかえツールで設定できる項目

・着信音選択
・画面表示設定
・カラーテーマ設定
・メニューアイコン設定
・プライベートウィンドウの「時計」「表示方向」
・着信イルミネーション
・通話中イルミネーション
・サイドボタンイルミネーション
・測位鳴動音・イルミネーション
・アラーム音

●設定できる項目はきせかえツールによって異なります。
●電話／テレビ電話着信音、メール着信音、待受画面の変更は2in1のAモードにのみ反映されます。その他の変更はすべてのモードに反映されます。

1 MENU▶設定▶きせかえ▶きせかえツールを選んで✉(設定)▶YES

●現在一括設定されているきせかえツールには、「★」マークが付いています。
●選んだきせかえツールによっては、文字のサイズを変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

お知らせ

●きせかえツールで設定した機能では、それぞれの設定画面は「きせかえツールに従う」が選択された状態で表示されます。各設定を個別に変更することもできますが、きせかえツールでの設定に戻すには再度一括設定してください。「きせかえツールに従う」は選択できません。
●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(メニュー番号)が適用されないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、「基本構造メニュー呼出」で「ノーマル」のメインメニューを表示するか、「メニュー画面リセット」でメインメニューをお買い上げ時の状態に戻してください。

メインメニューの機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
メニューアイコン設定	P.108参照
入替え機能	メインメニューの項目を手動で入れ替えます。 ▶入れ替え先を選択▶YES
基本構造メニュー呼出	一時的に「ノーマル」のメインメニューを表示します。 ●一度「ノーマル」の表示を終了すると、現在設定されているメインメニューに戻ります。
リセット機能	P.109参照

変更したデザインを元に戻す

きせかえツールで変更された項目をお買い上げ時の状態にリセットできます。

1 MENU▶(機能)▶リセット機能▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

画面／音設定初期化
. . .「■きせかえツールで設定できる項目」をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー画面リセット
. . .メインメニューをお買い上げ時の状態に戻します。待受画面でCLRを1秒以上押して「YES」を選択してもリセットできます。

メニュー操作履歴リセット
. . .メインメニューの操作履歴をリセットします。

お知らせ

●「画面／音設定初期化」「メニュー画面リセット」を行っても、「文字サイズ設定」はリセットされません。

<Feel機能設定>
Feel機能を使用する

Feel機能とは、45種類のキャラクタの動きによって「会話」や「メール」の雰囲気を再現する機能です。

●☎またはCLRを押すと、再生が終了します。
●FOMA端末を閉じているときは、または▲▼を押すと再生が終了します。

通話終了後

メール受信後

音／画面／照明設定

Feel＊Talk

Feel＊Talk（フィール・トーク）を設定すると通話終了後、Feel＊Talk画像が再生されます。また、リダイヤル、発信履歴、着信履歴の一覧画面または詳細画面からもFeel＊Talk画像を再生できます。
通話終了後にFOMA端末を閉じたとき、Feel＊Talkに連動して着信／充電ランプを点灯／点滅させることができます。

- テレビ電話／プッシュトーク通信では、Feel＊Talkは利用できません。

1 MENU▶**設定**▶**Feel機能設定**▶**Feel＊Talk**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
通話後表示	通話終了後の待受画面に、Feel＊Talk画像を再生します。 ▶ON・OFF ●「OFF」のときの通話は、「履歴表示」を「ON」に設定していても、各種履歴画面にFeel＊Talkアイコンは表示されません。
履歴表示	各種履歴画面に、Feel＊Talkアイコンを表示します。 ▶ON・OFF
イルミネーション	通話終了後、初めてFOMA端末を閉じたときに、着信／充電ランプがFeel＊Talkに連動して点灯／点滅します。 ▶ON・OFF ●「クローズイルミネーション」の設定に関わらず、点灯／点滅します。

お知らせ

- テレビ電話から音声電話に、または音声通話からテレビ電話に切り替えて通話を終了した場合でも、Feel＊Talk画像は再生されます。

Feel＊Mail

Feel＊Mail（フィール・メール）を設定するとｉモードメール、SMSを受信したあと、プライベートウィンドウにFeel＊Mail画像が再生されます。また、受信アドレスの一覧画面または詳細画面からもFeel＊Mail画像を再生できます。

1 MENU▶**設定**▶**Feel機能設定**▶**Feel＊Mail**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
新着表示	ｉモードメール、SMSを受信したあと、プライベートウィンドウにFeel＊Mail画像を再生します。 ▶ON・OFF ●「OFF」のときのメールは、「履歴表示」を「ON」に設定していても、各種履歴画面、受信アドレス一覧画面、受信メール一覧／詳細画面にFeel＊Mailアイコンは表示されません。
履歴表示	各種履歴画面、受信アドレス一覧画面、受信メール一覧／詳細画面に、Feel＊Mailアイコンを表示します。 ▶ON・OFF

各種履歴画面からFeel＊Talk／Feel＊Mail画像を再生する

1 **リダイヤル・発信履歴・着信履歴、受信アドレス一覧画面からFeel＊Talk／Feel＊Mailアイコンのある履歴を選択、または各詳細画面を表示**

リダイヤル一覧画面の場合

リダイヤル詳細画面の場合

- 選択／表示すると、Feel＊Talk／Feel＊Mailアイコンが動きます。

2 **📷（[Feel]）を押す**

Feel＊Talk／Feel＊Mail画像を再生します。

- CLRを押すと、再生が終了します。
- 他の機能から履歴画面を表示した場合は、📷（[Feel]）を押してもFeel＊Talk／Feel＊Mail画像は再生できません。

<イルミネーション>
着信／充電ランプの色などを設定する

1 MENU▶設定▶イルミネーション▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
イルミネーション一括設定	すべてのイルミネーションを一括で設定します。 ▶パターンを選択
着信イルミネーション	P.111参照
通話中イルミネーション	通話中の点滅色を設定します。 ▶Ｑで色を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。 ●伝言メモの動作中、応答保留中、通話中保留中なども通話中と同じ色で点滅します。
不在未読イルミネーション	不在着信、新着メール、新着メッセージR/Fがある場合に約5秒間隔で約30分間点滅します。 ▶ON・OFF
Music&Video chイルミネーション	Music&Videoチャネルの番組取得が完了すると約5秒間隔で約30分間点滅します。 ▶ON・OFF
クローズイルミネーション	FOMA端末を閉じたときに点灯します。 ▶ON・OFF
時報イルミネーション	音と着信／充電ランプの点灯で定時刻(毎時0分)をお知らせします。 ▶パターンを選択 ●待受画面以外を表示中やオールロック、おまかせロック中は動作しません。 ●時報は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。
ミュージックイルミネーション	ミュージックプレーヤー再生開始時に約15秒間点滅します。 ▶ON・OFF
Bluetoothイルミネーション	Bluetooth機器と接続中に点滅します。 ▶ON・OFF ●接続が完了すると、約5秒間隔で約5分間点滅します。
ICカードイルミネーション	FOMA端末をICカードの読み取り機にかざしたときやiC通信時に点灯／点滅します。 ▶ON・OFF ●ICカードロック中は点灯／点滅しません。
プッシュトークイルミネーション	プッシュトークの発言権を取得しようとしたときやメンバーの状態が「参加」になったときに点灯／点滅します。 ▶ON・OFF
サイドボタンイルミネーション	FOMA端末を閉じて▲を押したときの点灯色を設定します。 ▶Ｑで色を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。 ●点灯時間はイルミネーションによって異なります。
設定確認	「着信イルミネーション」、「通話中イルミネーション」、「時報イルミネーション」、「サイドボタンイルミネーション」の設定内容を確認します。

着信イルミネーション MENU 8 9

着信／充電ランプの点滅色を着信の種類ごとに設定します。

1 MENU▶設定▶イルミネーション▶着信イルミネーション▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
着信イルミネーション選択	▶着信の種類を選択▶Ｑで色を選択 ●色1～12を順番に点滅させる場合は「グラデーション」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。
パターン設定	着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。 ▶パターンを選択 固定パターン . . . 同じパターンを繰り返して点滅します。 メロディ連動 . . . 着信音に合わせて点滅します。
カラー設定(カラー名編集)	▶カラー名編集▶色を選択▶名前を入力 ●「色1～12」のみ編集できます。 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
カラー設定(カラー調節)	▶カラー調節▶色を選択▶カラーを調節 ●「色1～12」のみ調節できます。 ●Ｑで色を選びＱで色調を変更します。

お知らせ

<着信イルミネーション選択>

●着信イルミネーションの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信イルミネーション選択」の順になります。

つづく

お知らせ

<パターン設定>

●「メロディ連動」に設定しても以下の場合は「固定パターン」で点滅します。
 ・「着信イルミネーション選択」を「色1～12」、「グラデーション」以外に設定している場合
 ・点滅パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合

<確認機能設定> MENU 6 5

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

不在着信・新着メール・新着チャットメール・新着メッセージR/F・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま▼を押して確認します。本機能を利用するには、「サイドボタン操作」を「閉じた時有効」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶**設定**▶**着信**▶**確認機能設定**▶**項目を選択**

電子音．．．．不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

ボイス．．．．「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

OFF．．．．．確認の機能をOFFにします。

■FOMA端末を閉じた状態で▼を押すと

不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがあるとき

（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「新着メッセージR/Fあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）

「確認機能設定」を「電子音」に設定していると、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

「確認機能設定」を「ボイス」に設定していると、「ピピ」という音が鳴り「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

●「ボイス」に設定している場合、新着メッセージR/Fがあるときは「新着メールあり」とお知らせします。

●声でのお知らせが終了するまでに▼を再度押すと、お知らせを停止できます。

不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがないとき

「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していると、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。

「ボイス」に設定していても、声でお知らせはしません。

お知らせ

●ｉモードセンターに保管されているメールは本機能で確認できません。

●起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。

●電子音の音量は変更できません。

●ボイスは「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。

●「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メール、新着チャットメールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。

●振動でのお知らせは次のようになります。
 ・不在着信または新着メール、新着チャットメールがあるときは約1秒間振動します。
 ・不在着信も新着メール、新着チャットメールもないときは約0.2秒間振動します。

●お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

<デスクトップ>

デスクトップのアイコンを利用する

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。（お知らせアイコン）

また、よく使う電話番号やメールアドレスなどをアイコンとして貼り付けることができます。（貼り付けアイコン）

■お知らせアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
不在1	**不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示（P.54参照）
不在1	**2in1のBナンバーの不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示（P.54参照）
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示（P.68参照）
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話メモ一覧画面を表示（P.69参照）
メール1	**新着ｉモードメール・SMSあり** 受信メール一覧画面を表示（P.186参照）
チャット1	**新着チャットメールあり** チャットメールを起動（P.205参照）
メッセージR1 メッセージF1	**新着メッセージR/Fあり** メッセージR/F一覧画面を表示（P.201参照）
ソフト	**ｉアプリの自動起動ができなかったとき** ｉアプリの自動起動情報を表示（P.221参照）
トルカ	**読み取り機からトルカを取得** トルカ一覧画面を表示（P.226参照）

	ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生 セキュリティエラー履歴を表示（P.212参照）
	Music&Videoチャネルのダウンロードが成功 Music&Videoチャネルを起動（P.316参照）
	Music&Videoチャネルのダウンロードが失敗 Music&Videoチャネルを起動（P.317参照）
	未通知アラームあり 通知できなかったアラームの内容を表示（P.337参照）
	未視聴予約あり 通知できなかった視聴予約の内容を表示（P.256参照）
	予約録画が完了したとき 録画予約の内容と結果を表示（P.256参照）
	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり 留守番電話の画面を表示（P.364参照）
	電話帳お預かりサービスの更新ができなかったとき 電話帳お預かりサービスの更新画面を表示（P.95参照）
	自動で位置提供したとき 位置履歴を表示（P.238参照）
	自動で位置提供できなかったとき 位置履歴を表示（P.238参照）
	位置提供の要求に応えなかったとき 位置履歴を表示（P.238参照）
	ソフトウェア更新が必要になったとき ソフトウェア更新を起動（P.437参照）
	ソフトウェア更新を行ったとき 更新完了画面または完了しなかった理由を表示（P.436参照）
	ソフトウェアの書き換えが可能になったとき 書き換えの確認画面を表示（P.435参照）
	パターンデータの自動更新を行ったとき 更新結果を表示（P.441参照）
	FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）で接続 「USBモード設定」の設定画面を表示（P.300参照）

■貼り付けアイコンを選択したときの動作

	電話番号 電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面を表示（P.50、P.76参照）
	サイトのURL サイトを表示（P.152参照）
	フルブラウザ用URL フルブラウザでサイトを表示（P.260参照）
	ｉモードメールの送信元･宛先 宛先が入力された状態でメール作成画面を表示（P.172参照）
	SMSの送信元･宛先 宛先が入力された状態でSMS作成画面を表示（P.206参照）
	ｉアプリ※ ｉアプリを起動（P.211参照）
	ピクチャ※ ピクチャビューアで表示（P.274参照）
	ｉモーション※ ｉモーションプレーヤーで再生（P.280参照）
	ビデオ※ ビデオプレーヤーで再生（P.286参照）
	キャラ電※ キャラ電プレーヤーで再生（P.288参照）
	メロディ※ メロディプレーヤーで再生（P.290参照）
	PDFデータ※ PDF対応ビューアで表示（P.307参照）
	トルカ※ トルカビューアで表示（P.226参照）
	使いかたナビ 使いかたナビ画面を表示（P.36参照）
	カメラメニュー カメラメニューを表示（P.139、P.141参照）
	バーコードリーダー バーコードリーダーメニューを表示（P.147参照）
	テキストリーダー テキストリーダーメニューを表示（P.149参照）
	Music&Videoチャネル Music&Videoチャネル画面を表示（P.316参照）
	赤外線受信 赤外線受信の画面を表示（P.305、P.306参照）
	スケジュール カレンダー画面を表示（P.338参照）
	ToDo ToDoの一覧画面を表示（P.340参照）
	Bluetooth Bluetooth機能の選択画面を表示（P.350、P.351、P.353参照）
	プライベートメニュー プライベートメニューを表示（P.341参照）
	テキストメモ テキストメモを表示（P.345参照）

※登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電話番号やメールアドレスなどを「貼り付けアイコン」として合計15件まで貼り付けることができます。

1 **貼り付けたい項目の画面▶(機能)▶デスクトップ貼付▶YES**

●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択します。

お知らせ

●サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
●URLのタイトルは、全角16文字/半角32文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上あるときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが半角22文字まで表示されます。
●ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

1 **を押す**

2 **でアイコンを選んで(選択)を押す**

伝言メモのアイコンを選択した場合

●「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は「◁」「▷」が表示されます。
●「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、手順1の画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

●海外で「留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり」のお知らせアイコン( )が表示された場合、お知らせアイコンからの操作では留守番電話機能を使用できません。P.392「滞在先で留守番電話サービスの操作をする」の手順に従って操作してください。

貼り付けアイコンの詳細を確認する

1 **MENU▶設定▶ディスプレイ▶デスクトップ**

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

貼り付けアイコン一覧画面

2 **詳細を表示するアイコンを選択**

貼り付けアイコン一覧画面の機能メニュー

●待受画面で貼り付けアイコンを選んで(機能)を押しても機能メニューが表示されます。

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。ただし、アイコンを選んだときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11文字/半角22文字までです。
デスクトップ初期化	貼り付けアイコンをお買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

<フォント設定> MENU 6 6

文字のフォント(書体)を変更する

1 **MENU▶設定▶ディスプレイ▶フォント設定▶フォント1・フォント2**

お知らせ

●漢字など、文字によっては、本機能の設定に関わらず「フォント1」で表示されます。
●電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。

電話番号のフォント(書体)を変更する

以下の画面に表示される電話番号のフォントを設定します。

・発信／着信画面　・発信／着信履歴詳細画面
・リダイヤル詳細画面
・着もじの送信メッセージ詳細履歴画面

●2in1を利用する場合、ここでの設定はAナンバーのフォントが対象となります。Bナンバーのフォントを設定するには「2in1設定」の「発着信番号設定(発着信番号表示設定)」を操作してください。

1 MENU▶設定▶着信▶発着信番号表示設定▶フォントを選択

<文字サイズ設定>

文字のサイズを変える

1 MENU▶設定▶ディスプレイ▶文字サイズ設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
大きめフォント表示設定	「文字サイズ設定」の全項目を一括で設定します。 ▶拡大表示・標準表示・縮小表示 ●メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「YES」を選択すると、「拡大表示」に設定した場合はメニューアイコンが「拡大メニュー」に変更され、「標準表示」「縮小表示」に設定した場合はお買い上げ時の設定に戻ります。 ●「縮小表示」に設定した場合、「電話帳」「発着信履歴」「文字入力(入力サイズ)」は「標準表示」に設定されます。
メール	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面の本文の文字サイズを設定します。 ▶拡大表示・標準表示・縮小表示 ●ここでの設定は、メール設定の「文字サイズ設定」と共通です。 ●送信メールや受信メール表示中は3を押すか、i✉(機能)を押して「表示設定」を選択し、「文字サイズ設定」を選択します。 ●デコメ絵文字の文字サイズは変わりません。 ●メール本文表示中にOを1秒以上押しても、文字サイズを変更できます。(P.182、P.207参照)その場合、本機能の設定も変更されます。 ●「拡大表示」に設定すると、フォルダ一覧画面とメール一覧画面の文字サイズも大きくなります。
iモード	サイトや画面メモに表示される文字サイズを設定します。 ▶拡大表示・標準表示・縮小表示 ●ここでの設定は、iモード設定の「文字サイズ設定」と共通です。
電話帳	電話帳表示中の文字サイズを設定します。 ▶拡大表示・標準表示 ●「MENU▶電話帳▶電話帳設定▶文字サイズ設定▶電話帳」の操作を行っても設定できます。
発着信履歴	リダイヤル／発信履歴／着信履歴／送信アドレス／受信アドレス一覧画面の文字サイズを設定します。 ▶拡大表示・標準表示 ●「MENU▶電話帳▶電話帳設定▶文字サイズ設定▶発着信履歴」の操作を行っても設定できます。
文字入力(入力サイズ)	文字入力中やメール作成画面、SMS作成画面の文字サイズを設定します。 ▶入力サイズ▶拡大表示・標準表示
文字入力(候補表示サイズ)	文字入力(編集)画面の下に表示される変換候補リストの文字サイズを設定します。 ▶候補表示サイズ▶拡大表示・標準表示・縮小表示 ●ここでの設定は、文字入力(編集)中の機能メニュー「候補表示サイズ」と共通です。

■文字サイズ設定すると以下のように表示されます。

<メールの場合>

標準表示　縮小表示　拡大表示

お知らせ

●シンプルメニューに切り替えるときに、文字設定を大きくする旨の確認画面で「YES」を選択すると「拡大表示」になります。
●「拡大表示」に設定した場合、各操作手順で画面に表示される項目名が「標準表示」「縮小表示」に設定した場合とは一部異なります。

時計の表示を設定する

待受画面の時計の表示／非表示や表示方法を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**画面表示設定**▶**時計**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
時計表示	▶大きく表示・小さく表示・OFF ●プライベートウィンドウの時計、ワールドウォッチ、サブ時計の表示サイズは変更されません。
曜日表示	▶日本語・英語 ●ここでの設定はプライベートウィンドウの時計表示にも反映されます。 ●「英語」に設定すると、ワールドウォッチの地域名も英語で表示されます。
表示位置	▶パターンを選択
表示色	▶黒・白

お知らせ

<表示位置>

●「パターン3～13」に設定していても、以下の場合は「パターン2」で表示されます。
・待受画面にカレンダーを設定しているとき
・待受画面に表示している時計の下にワールドウォッチやサブ時計が表示されているとき※
・「オペレータ名表示設定」で待受画面に通信事業者名が表示されているとき
・「時計設定」の「タイムゾーン」が「GMT +9」以外のとき※
・オールロック中
・おまかせロック中
※「パターン1」に設定している場合でも、「パターン2」で表示されます。

●「パターン1」に設定した場合、「時計表示」「曜日表示」の設定は無効となります。

<バイリンガル>

画面を英語表示に切り替える

1 MENU▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**バイリンガル**▶**Japanese・English**

●Japanese(日本語表示)とEnglish(英語表示)では、以下の機能の項目が異なります。

機能	Japanese	English
確認機能設定	電子音 ボイス OFF	ON 選択不可 OFF
画面表示設定の「時計」→「曜日表示」	選択可能	選択不可
使いかたナビ	選択可能	選択不可
音声読み上げ	動作可能	動作不可

お知らせ

●FOMAカードを挿入している場合、「バイリンガル」の設定はFOMAカードに記憶されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.119参照)

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、○(確定)を押します。

設定リセット

端末暗証番号は？

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからはドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)

iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.156参照)

iモードから変更される場合は、「iMenu」→「料金&お申込・設定」→「オプション設定」→「iモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.119参照)

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号(コード)です。

PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、○(確定)を押します。

PIN1コードの場合

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。(入力可能な残りの回数は画面に表示されます)
  正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

電源を入れたときのセキュリティ → PIN1コードの入力
ユーザ証明書の操作 FirstPass対応サイトへの接続 → PIN2コードの入力
3回連続入力ミス → PINロック解除コードの入力
入力OK → 新しいPINコードの設定
10回連続入力ミス → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

<端末暗証番号変更> MENU 2 9

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号(4〜8桁)に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 MENU▶**設定**▶**ロック/セキュリティ**
▶**端末暗証番号変更**
▶**現在設定されている端末暗証番号を入力**

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号(4〜8桁)を入力**
▶**YES**

<FOMAカード(UIM)設定>

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ロック/セキュリティ**
▶**FOMAカード(UIM)設定**
▶**端末暗証番号を入力**
▶**PIN1コード入力設定**▶**ON・OFF**
▶**PIN1コードを入力**

- PIN1コードについてはP.118参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶**設定**▶**ロック/セキュリティ**
▶**FOMAカード(UIM)設定**
▶**端末暗証番号を入力**
▶**PIN1コード変更・PIN2コード変更**
▶**現在設定されているPIN1コード/PIN2コードを入力**

- PIN1コード/PIN2コードについてはP.118参照。

2 **新しいPIN1コード/PIN2コード(4〜8桁)を入力**

- 入力したPIN1コード/PIN2コードは「_」で表示されます。

3 **新しいPIN1コード/PIN2コードを再入力**

PINロックを解除する

PIN1コード/PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード/PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード/PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード/PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード/PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック解除コード(8桁)を入力**

- 入力した解除コードは「_」で表示されます。

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN2がﾛｯｸされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
あと10回

2 **新しいPIN1コード/PIN2コード(4〜8桁)を入力**

- 入力したPIN1コード/PIN2コードは「_」で表示されます。

3 **新しいPIN1コード/PIN2コードを再入力**

<オールロック>
他の人が使用できないようにする

オールロックをかけると電話の応答、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力

「 」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。
- オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもオールロックは解除されません。

お知らせ
- オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
- 電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信音はお買い上げ時の設定で鳴ります。
- オールロック中でもGPSの位置提供は可能です。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
- オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「 」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
- オールロック中は、デスクトップのアイコンは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
- オールロック中は、iチャネルのテロップは表示されません。
- オールロック中は、ウェイクアップ画面にiモーションを設定していても、お買い上げ時のウェイクアップ画面が表示されます。
- オールロックを設定しても、ICカードロックはかかりません。

<おまかせロック>
おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
※おまかせロック中も「位置提供設定」を「ON」にしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

■おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間
※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

待受画面に「おまかせロック中です」と表示され、おまかせロックが設定されます。

11/15(木) 10:00
おまかせロック中です

- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック中は、音声電話／テレビ電話の着信に対する応答･応答保留、電源ON／OFF、受話音量調節、着信音量調節の操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカード機能を含む）を使用できなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信（プッシュトークは除く）はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の画像、着信音、バイブレータはお買い上げ時の状態になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- おまかせロック中でもGPSの位置提供は可能です。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ
- 他の機能が起動中の場合でも、起動中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード（ドライブモード）を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。

お知らせ

- ●デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ●おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- ●おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>

セルフモードを利用する

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 **MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶セルフモード▶YES▶OK**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。

- ●セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ●セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。この場合、セルフモードは解除されます。
- ●セルフモード中は、メール、エリアメール、メッセージR/Fは受信できません。
- ●セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」のアイコンは表示されません。

<パーソナルデータロック>

個人情報に関する機能を操作できないようにする

個人情報を他人が見たり、不正に書き換えられたりするのを防ぐため、以下の機能が使用できないように設定します。

- ・伝言メモ
- ・メモの再生／消去
- ・画像選択
- ・遠隔監視設定
- ・プッシュトーク電話帳
- ・電話帳登録
- ・グループ設定
- ・電話帳登録件数
- ・電話帳設定
- ・電話帳検索
- ・ボイスダイヤル
- ・おしゃべり機能
- ・きせかえツール
- ・Feel画像の再生
- ・デスクトップ
- ・電話帳指定設定
- ・登録外着信拒否
- ・カメラ
- ・バーコードリーダー
- ・テキストリーダー
- ・ｉモード
- ・ブックマーク
- ・ｉチャネル
- ・メール
- ・えチャット
- ・メールグループ
- ・チャットグループ
- ・ｉアプリ
- ・ICカード一覧
- ・トルカ
- ・GPS機能
- ・ワンセグ
- ・フルブラウザ
- ・PC動画
- ・静止画
- ・動画
- ・ビデオ
- ・キャラ電
- ・メロディ
- ・microSDメモリーカード
- ・赤外線通信
- ・iC通信
- ・PDF対応ビューア
- ・ドキュメントビューア
- ・Music&Videoチャネル
- ・ミュージック
- ・ミュージックプレーヤー
- ・アラーム
- ・スケジュール
- ・ToDo
- ・アラーム通知設定
- ・自局番号表示
- ・音声メモ
- ・動画メモ
- ・テキストメモ
- ・FOMAカード(UIM)操作
- ・設定リセット
- ・端末初期化
- ・マルチナンバーの「電話番号登録」「着信音設定」
- ・データ転送

1 **MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶パーソナルデータロック▶端末暗証番号を入力**

「」が表示され、パーソナルデータロックが設定されます。

- ●パーソナルデータロックを解除するには、同様の操作を行います。閉じタイマーロックを設定している場合は、FOMA端末を開いてもパーソナルデータロック解除の画面が表示されます。
  「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.124「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
  「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.124の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

つづく

■パーソナルデータロックを一時解除するには

パーソナルデータロック中に使用できない機能を選択すると、機能によっては、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると「 」が消え、機能を一時的に使用できます。

- 他のメニュー機能が起動していない状態で待受画面を表示したときは、再度、パーソナルデータロックが設定されます。

お知らせ

- パーソナルデータロック中は、メッセージR/F、iモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。パーソナルデータロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、パーソナルデータロック解除後に再表示されます。
- パーソナルデータロック中は、FOMA端末を閉じた状態で を押して不在着信、新着メールを確認できません。
- パーソナルデータロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
- パーソナルデータロック中に「オールロック」を設定すると「 」が消え、「 」が表示されます。

<ロック設定>

いろいろなロックの設定をする

閉じタイマーロック設定

FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過したときに、自動的にパーソナルデータロックやICカードロックをかける「閉じタイマーロック」を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ロック／セキュリティ**▶**ロック設定**▶**閉じタイマーロック設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**パーソナルデータロック・ICカードロック**▶**経過時間を選択**

「OFF」以外に設定すると、「 」が表示され、閉じタイマーロックが設定されます。各ロックがかかると、FOMA端末を開いたときにロックの解除画面が表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。ただし、FOMA端末を閉じたあとに他の機能が終了した場合は、設定した時間が経過するとロックがかかります。
- FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。
- 本機能を設定しているときに各ロックの解除操作をすると、一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。

PIM／ICカードセキュリティモード

パーソナルデータロックとICカードロックの解除方法を設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ロック／セキュリティ**▶**ロック設定**▶**PIM／ICカードセキュリティモード**▶**端末暗証番号を入力**▶**セキュリティモードを選択**

端末暗証番号……端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。

フェイスリーダー……フェイスリーダーで認証してロックを解除します。

ダブルセキュリティ……フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。

2 **YES**

お知らせ

- フェイスリーダー設定で登録した顔データが3件未満のときやパーソナルデータロック中、ICカードロック中はPIM／ICカードセキュリティモードの変更はできません。

<フェイスリーダー設定>

フェイスリーダーを利用する

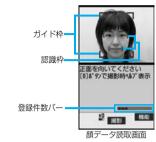
フェイスリーダーに顔データを登録し、ICカードロックやパーソナルデータロックを解除する際の認証に利用できます。フェイスリーダーを利用するには、あらかじめ顔データを3件以上登録し、「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定しておく必要があります。

■フェイスリーダー利用時のご注意

- ●カメラが汚れていたりすると誤作動の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- ●強く光が当たり、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きくなる環境では顔を識別しにくくなります。この場合、登録が困難になったり、認証率(本人が正しく本人と認識される確率)が低下することがあるため、顔に当たる光が一定になるようにしてください。
- ●顔に光が当たり顔全体が白くなる場合などは正常に認識できない場合があります。
- ●顔の状態が次のような場合には、顔の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。
  - ･髪や眼鏡、マスクなど顔の特徴(目、口、鼻、眉など)がはっきりと見えていない状態の場合
  - ･暗い場所の電灯下など、顔に当たっている光の明暗が大きい場合
- ●目、鼻、口、眉がはっきりと見えるように髪をあげる(眼鏡、マスクなどを取る)、顔が均一な明るさになるような場所に移動するなど、お客様の顔の状態に合わせて対処することで認証時の状況が改善される場合があります。また、顔データを追加登録すると、認証率が改善されます。
- ●顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、またはフェイスリーダーの誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録

フェイスリーダーを利用するには顔データを3件以上登録してください。顔データは10件まで登録できます。

1 **MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録▶OK**

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。登録時と認証時の顔の位置の違いによる認証失敗を減らせます。

認識されると目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠が目元、口元からずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

- ●顔データ読取画面の登録件数バーに顔データの登録件数が表示されます。

2 **●(撮影)を押す**

顔データを撮影します。

3 **●(登録)を押す**

撮影した顔データを登録します。手順1～手順3を繰り返して、顔データを3件以上登録します。

- ●3件目の顔データを登録すると、顔データを追加するとフェイスリーダーが使いやすくなる旨のメッセージが表示されます。
- ●CLRを押すと顔データを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。
- ●同じ環境で登録を行うと登録できない場合があります。向きや場所を変えるなどすると登録できます。

お知らせ

- ●撮影時には着信／充電ランプが赤色で点滅し、マナーモードなどの設定に関わらずシャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。なお、ミュージックプレーヤーで音楽またはMusic&Videoチャネルで番組を再生中、一時停止中は、シャッター音は鳴りません。

顔データ読取画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
明るさ調節 フェイスリーダー起動時 ±0	－3(暗い)～＋3(明るい)で調節します。 ▶明るさを選択 ●顔データ読取画面で3を押しても明るさを調節できます。
ヘルプ表示	撮影時の注意事項を確認できます。 ●顔データ読取画面で0を押してもヘルプを表示できます。

登録画像リセット

フェイスリーダーに登録した顔データをすべて消去し、リセットします。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録画像リセット▶YES

お知らせ

- パーソナルデータロック中、ICカードロック中はリセットできません。
- 顔データをリセットすると、「PIM／ICカードセキュリティモード」が「端末暗証番号」に設定されます。

認識失敗画像

フェイスリーダーで認識動作を行った際に他人と判断された画像が保存されます。不正にアクセスしようとした人間を特定するのに利用できます。
失敗画像が作成されるたびに上書きされます。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶認識失敗画像▶画像を選択

- 認識失敗画像を削除するには、iα(機能)を押して「1件削除」を選択し、「YES」を選択します。

フェイスリーダーセキュリティ

フェイスリーダーを利用する際にまばたきの動作も読み取るように設定します。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダーセキュリティ▶標準・高い

標準 . . .まばたきの動作を読み取りません。
高い . . .まばたきの動作を読み取ります。

フェイスリーダー暗証番号変更

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」や「ダブルセキュリティ」に設定しているときに、フェイスリーダー認証の代わりに入力する暗証番号を設定します。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダー暗証番号変更▶現在設定されているフェイスリーダー暗証番号を入力

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 新しいフェイスリーダー暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

フェイスリーダーでロックを解除する

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、端末暗証番号の代わりにフェイスリーダーで認証してロックを解除します。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。

1 パーソナルデータロック・ICカードロックの解除画面▶ガイド枠に顔を合わせ、●(開始)を押す

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠がずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

- 登録したときと同じ表情で認証操作を行ってください。
- ✉(暗証番号)を押してフェイスリーダー暗証番号を入力すると、フェイスリーダーの代わりに認証操作を行うことができます。
  フェイスリーダー暗証番号についてはP.124参照。

■認証に失敗したときは

顔データの追加登録が可能な場合は、「OK」を選択すると追加登録を行うかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、端末暗証番号を入力すると顔データが追加登録されます。顔データの追加登録ができない場合は、「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。撮影した顔が他人と判断された場合は、シャッター音が鳴り、認識失敗画像が保存されます。「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。再度フェイスリーダーで認証を行ってください。

- 顔データが10件登録されているときに追加登録を行うと、一番古いデータに上書きされます。

■「フェイスリーダーセキュリティ」が「高い」に設定されているときは

フェイスリーダー認証に成功するとまばたき検出を行います。ゆっくり目を閉じて開く動作を繰り返します。まばたき検出に失敗した場合は、認証が失敗となります。

- フェイスリーダー認証時と同じ環境でも、まばたき検出に失敗することがあります。向きや場所などを変えて操作してください。

<ダイヤル発信制限>

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作

・ダイヤルボタンでの発信
・初期値設定
・電話帳（登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、赤外線での送受信、iC通信での送受信、Bluetooth通信での送受信）
・Phone To／AV Phone To 機能
・Mail To 機能

■実行できる操作

・電話帳、ボイスダイヤルの呼出発信
・リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧による発信（電話帳に登録されている電話番号のみ）

1 **MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力**

「」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。

- ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧から電話帳に登録されている宛先を呼び出したときのみメールを送れます。

<サイドボタン操作>

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じたときに、▲、▼が効かなくなるよう設定します。
かばんの中での誤動作が防止できます。

1 **MENU▶＊（1秒以上）**

「」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。

- 「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「閉じた時無効」に設定していても、プッシュトーク着信中はを押して応答できます。また、プッシュトーク通信中はを押して発言権を取得できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの外部機器を接続しているときは、本機能の設定に関わらずサイドボタンの機能は有効になります。

<履歴表示設定>

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

1 **MENU▶設定▶着信▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

着信履歴. . . 着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。

リダイヤル／発信履歴
. . . . リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。

2 **ON・OFF**

- 「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、音声電話の伝言メモも再生できなくなります。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出し／参照できません。シークレットモードでは、登録／編集した電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するか通常のデータとして登録するかを選択でき、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。
シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出し／参照できます。

シークレットモードにする MENU 4 0
シークレット専用モードにする MENU 4 1

1 **MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力**

「シークレットモード」を選択したときは、「」が表示され、シークレットモードになります。
「シークレット専用モード」を選択したときは、「」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

- シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出した場合、通常の電話帳またはスケジュールでは「」が点灯したままとなり、シークレットデータのときは「」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で☎を押します。

■シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには
シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末(本体)の電話帳のみです。
- シークレット登録した相手に電話をかけたときは、発信中や通話中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

<シークレットメール表示設定>

送受信メールBOX内のメールにシークレットを設定する

シークレット登録した電話帳と一致する送信元／宛先のメール(シークレットメール)を表示するかどうかを設定します。

1 **✉▶メール設定▶シークレットメール表示設定▶端末暗証番号を入力▶表示する・表示しない**

お知らせ

- 「表示しない」に設定していても、シークレットモード、シークレット専用モードではシークレットメールを確認できます。
- 「表示しない」に設定している場合、同報メールの宛先にシークレット登録された宛先が含まれていると、そのメールは表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、チャットメンバーにシークレット登録されたメンバーが含まれていると、チャットメンバー全員のチャットメールが表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、シークレット専用モードではエリアメールは表示されません。

<メールセキュリティ設定>

送受信メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。
セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 **✉▶メール設定▶メールセキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶✉(完了)**

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXのアイコンに「」が付きます。

お知らせ

- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

＜電話帳指定設定＞
電話帳に指定機能を設定する

指定発信制限
指定した電話番号以外への音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して( )または( )(発信)を押します。(テレビ電話をかけるときは( )(テレビ電話)、プッシュトーク発信するときは( )を押します。)電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークがつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークだけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶( )(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

指定発信制限 . . . . 指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否 . . . . 指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可 . . . . 指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ. . . P.368参照
指定留守番電話. . . P.365参照

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で( )を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとに(CLR)を押して電話帳の詳細画面に戻り、( )で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。( )を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  - ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  - ・ダイヤル発信(指定した電話番号への発信を除く)
  - ・着信履歴からの発信(指定した電話番号からの着信を除く)
  - ・電話帳の登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、FOMAカードへのコピー
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。

つづく

お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

電話帳指定設定を確認／解除する

1 MENU▶**電話帳**▶**電話帳指定設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**項目を選択**

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- それぞれの電話帳指定設定に設定されている電話帳をすべて解除するには、iα(機能)を押して「設定解除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **電話帳を選択**

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

＜非通知着信設定＞ MENU 1 0

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

発信者番号非通知理由によって音声電話、テレビ電話、プッシュトークを受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 MENU▶**設定**▶**ロック／セキュリティ**▶**非通知着信設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**項目を選択**

通知不可能 . . 海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。)

公衆電話 . . . . 公衆電話などから発信した場合

非通知設定 . . 発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

2 **許可・拒否**

- 「許可」を選択した場合は、P.98手順2へ進み着信音を選択します。
  「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

お知らせ

- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても相手には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

＜呼出時間表示設定＞ MENU 9 0

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 MENU▶**設定**▶**着信**▶**呼出時間表示設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
呼出動作開始時間	電話帳に電話番号が登録されていない相手から音声電話、テレビ電話、プッシュトークがかかってきたときに呼出動作をすぐに開始しないように設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**ON・OFF**▶**開始時間(秒)を入力** ●「01」～「99」の2桁を入力します。
時間内不在着信表示	「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、パーソナルデータロック中やシークレットで登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

<登録外着信拒否>
電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを拒否できます。相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

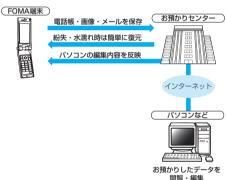
1 MENU▶**設定**▶**ロック/セキュリティ**▶**登録外着信拒否**▶**端末暗証番号を入力**▶**許可・拒否**

お知らせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のお知らせアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、「非通知着信設定」に従います。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 「呼出時間表示設定」の「呼出動作開始時間」を「ON」に設定中は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール(以下「保存データ」といいます。)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
(お申し込みにはｉモード契約が必要です。)

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照先
ICカード機能の不正使用を防止したい	ICカードロック	P.230
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.368
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.369
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.165
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.434
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.440
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.183

目的	機能／サービス名称	参照先
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	※
メールアドレスを変更したい	メールアドレス変更	※
URLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	※
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	※
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		※
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		※
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	※
1日に1台のｉモード端末から送信される500通目以降のｉモードメールを拒否します	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	※
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	※
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	※
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	※
メール機能の設定状況を確認したい	メール設定確認	※
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	※
紛失した携帯電話のおよその位置を確認したい	ケータイお探しサービス	※

※「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

カメラ

■著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

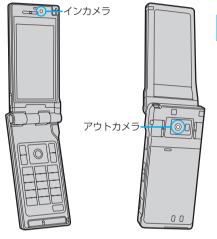
・ 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・ 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・ 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・ 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・ 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・ カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・ 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・ ●(撮影)を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、●(撮影)を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・ microSDメモリーカードへ保存中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
・ ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・ 本体またはmicroSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・ microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(P.293参照)

カメラの使用について

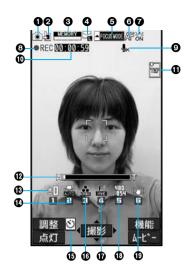
カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラは前面(インカメラ)と背面(アウトカメラ)の2カ所のカメラを切り替えて使います。
アウトカメラで撮影するとき、オートフォーカスにより、自動的にフォーカスを合わせることができます。(P.143参照)また、手ぶれ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.144参照)
撮影時の主な設定は、機能メニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。

■撮影時に使用するボタン

操作	ボタン
アイコンメニュー操作	
機能メニュー呼出	
フォトライト(アウトカメラ使用時) ●押すごとに「ON」と「OFF」を切り替え	MENU
シャッター・保存	
望遠	
広角	
フォーカス設定切替(アウトカメラ使用時) ●押すごとに「オート」→「接写」→「風景」の順に切り替え	
オートフォーカス(アウトカメラ使用時)	
カメラモード切替 ●押すごとに「フォトモード」→「ムービーモード」→「連写モード」の順に切り替え	
アイコン表示切替	▲
明るさ調節	1
ホワイトバランス設定	2
撮影モード選択	3
画質設定	4
画像サイズ設定	5
手ぶれ補正	6
セルフタイマー設定	7
記録媒体設定切替 ●押すごとに「本体」と「microSD」を切り替え	9
カメラ切替 ●押すごとにインカメラとアウトカメラを切り替え	
カメラ終了(通常時) フォーカスロック解除(フォーカスロック時)	CLR
カメラ終了	

お知らせ

- カメラ起動中はフォトライトが点滅します。点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影設定」の「撮影モード選択」を「ナイトモード」に設定してください。
- アイコンメニューで操作できるのは、「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「撮影モード選択」「画質設定」「画像サイズ設定」「手ぶれ補正」です。

カメラの設定と撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

アイコン・バー名		アイコン	説明	参照先
❶カメラモード			フォトモード	P.139
			ムービーモード	P.141
		・・	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	P.139
❷記録媒体設定			本体:FOMA端末に保存	P.144
			microSD:microSDメモリーカードに保存	
❸	記録可能枚数	–	静止画の残り撮影可能枚数 999枚まで表示されます。	–
	使用メモリ量バー		ムービーモード時のメモリ使用状況(目安) メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	–
❹動画容量設定			メール制限(小):500Kバイトまで保存可能	P.143
			メール制限(大):2Mバイトまで保存可能	
			長時間:長時間撮影可能	
❺フォーカスガイド		FOCUS MODE	フォーカスガイド	–
❻フォーカス設定		AF	オート	P.144
			接写	
			風景	
❼フォトライト		ON	フォトライトON	P.143
❽撮影状態		●REC	動画撮影中	P.141
❾撮影種別設定			映像のみ録画	P.145
❿記録可能時間		–	動画の記録可能時間(目安)	–
⓫天地アイコン		・TOP	静止画や動画の上下方向を示します。	–
⓬ズームバー		W T	望遠・広角の状態	P.142
⓭明るさ調節		～	撮影画像の明るさ	P.143

<table>
<tr><th>アイコン・バー名</th><th>アイコン</th><th colspan="4">説明</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="5">⑭ホワイトバランス設定</td><td></td><td colspan="4">オート:ホワイトバランスを自動で調整</td><td rowspan="5">P.143</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">晴天:屋外晴天下で撮影するとき</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">曇天:曇天や日陰で撮影するとき</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">電球:電球照明下で撮影するとき</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">蛍光灯:蛍光灯照明下で撮影するとき</td></tr>
<tr><td>⑮ 連続撮影枚数</td><td></td><td colspan="4">連写モードのマニュアル時の撮影枚数</td><td>P.145</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー設定</td><td></td><td colspan="4">セルフタイマーON</td><td>P.146</td></tr>
<tr><td rowspan="11">⑯撮影モード選択</td><td></td><td colspan="4">標準</td><td rowspan="11">P.144</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">ポートレート</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">スポーツ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">料理</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">風景</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">ナイトモード</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">逆光</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">文字</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">雪</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">夕焼け</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">ペット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑰画質設定</td><td></td><td colspan="4">ノーマル:標準画質</td><td rowspan="3">P.143</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">ファイン:やや高画質</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">スーパーファイン:高画質</td></tr>
<tr><td rowspan="11">⑱ 画像サイズ
(フォト・連写モード)</td><td></td><td rowspan="11">アウトカメラフォト</td><td colspan="3">5M(2592×1944)</td><td rowspan="16">P.143</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">3.7Mワイド(2592×1456)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">3M(2048×1536)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">2Mワイド(1920×1080)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">2M(1600×1200)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">待受(480×854)</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="5">インカメラフォト</td><td rowspan="5">連写</td><td>VGA(640×480)</td></tr>
<tr><td></td><td>CIF(352×288)</td></tr>
<tr><td></td><td>QVGA(240×320)</td></tr>
<tr><td></td><td>QCIF(176×144)</td></tr>
<tr><td></td><td>Sub-QCIF(128×96)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">画像サイズ
(ムービーモード)</td><td></td><td colspan="4">VGA(640×480)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">HVGAワイド(640×352)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">QVGA(320×240)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">QCIF(176×144)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">Sub-QCIF(128×96)</td></tr>
<tr><td>⑲手ぶれ補正</td><td></td><td colspan="4">手ぶれ補正(オート・OFF)</td><td>P.144</td></tr>
</table>

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
画素数	フォト:5M(2592×1944)、3.7Mワイド(2592×1456)、3M(2048×1536) 2Mワイド(1920×1080)、2M(1600×1200)、待受(480×854)、 VGA(640×480)、CIF(352×288)、QVGA(240×320)、 QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96) 連写:VGA(640×480)、CIF(352×288)、QVGA(240×320)、QCIF(176×144)、 Sub-QCIF(128×96)
拡張子	jpg
タイトル	保存日時と枚数により自動設定(2007年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「2007/11/15 10:00」
ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2007年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「200711151000000」(記録媒体設定:本体) 「P1000001」(記録媒体設定:microSD)
最大ファイルサイズ	1.8Mバイト
メール添付·出力	メール添付やmicroSDメモリーカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約101.6Mバイト(本体)

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。

※本体·microSDメモリーカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P905iに保存可能な枚数

画質設定 / 画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
5M (2592×1944)	約54枚	約74枚	約97枚
3.7Mワイド (2592×1456)	約81枚	約97枚	約121枚
3M (2048×1536)	約97枚	約120枚	約137枚
2Mワイド (1920×1080)	約139枚	約191枚	約237枚
2M (1600×1200)	約139枚	約191枚	約237枚
待受 (480×854)	約649枚	約880枚	約1080枚
VGA (640×480)	約950枚	約1131枚	約1320枚
CIF (352×288)	約1697枚	約2160枚	約2500枚
QVGA (240×320)	約1980枚	約2500枚	約2500枚
QCIF (176×144)	約2500枚	約2500枚	約2500枚
Sub-QCIF (128×96)	約2500枚	約2500枚	約2500枚

■microSDメモリーカード(64Mバイト)に保存可能な枚数

画質設定 / 画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
5M (2592×1944)	約34枚	約47枚	約62枚
3.7Mワイド (2592×1456)	約51枚	約62枚	約77枚
3M (2048×1536)	約62枚	約77枚	約87枚
2Mワイド (1920×1080)	約89枚	約122枚	約152枚
2M (1600×1200)	約89枚	約122枚	約152枚
待受 (480×854)	約411枚	約563枚	約691枚
VGA (640×480)	約608枚	約724枚	約845枚
CIF (352×288)	約1087枚	約1383枚	約1902枚
QVGA (240×320)	約1268枚	約1691枚	約2174枚
QCIF (176×144)	約2536枚	約3044枚	約3805枚
Sub-QCIF (128×96)	約3805枚	約5073枚	約5073枚

●保存可能な枚数は目安です。

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF
符号化方式	映像：MPEG4　音声：AMR、G.726
画素数	VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）、QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）
拡張子	3gp、mp4、asf
タイトル	撮影日時により自動設定（2007年11月15日10時00分に撮影した場合）「2007/11/15 10:00」
ファイル名	撮影日時により自動設定（2007年11月15日10時00分に撮影した場合）「200711151000」（記録媒体設定：本体）「MOL001」（記録媒体設定：microSD）
最大ファイルサイズ	2Mバイト（記録媒体設定：本体）撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。（P.143参照）
メール添付・出力	メール添付やmicroSDメモリーカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約101.6Mバイト（本体）

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

■P905iに録画可能な時間

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間 画質設定 スーパーファイン	ファイン	ノーマル	総録画可能時間 画質設定 スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA（640×480）	メール制限（小）	通常	約2秒	約4秒	約8秒	約349秒	約11分	約22分
		映像のみ	約2秒	約4秒	約8秒	約351秒	約11分	約22分
		音声のみ	約305秒			約957分		
	メール制限（大）	通常	約8秒	約16秒	約30秒	約349秒	約11分	約22分
		映像のみ	約8秒	約16秒	約30秒	約351秒	約11分	約22分
		音声のみ	約20分			約957分		
HVGAワイド（640×352）	メール制限（小）	通常	約3秒	約5秒	約10秒	約464秒	約15分	約29分
		映像のみ	約3秒	約5秒	約10秒	約468秒	約15分	約30分
		音声のみ	約305秒			約957分		
	メール制限（大）	通常	約11秒	約20秒	約40秒	約464秒	約15分	約29分
		映像のみ	約11秒	約20秒	約40秒	約468秒	約15分	約30分
		音声のみ	約20分			約957分		
QVGA（320×240）	メール制限（小）	通常	約4秒	約5秒	約15秒	約11分	約15分	約44分
		映像のみ	約4秒	約5秒	約15秒	約11分	約15分	約45分
		音声のみ	約305秒			約957分		
	メール制限（大）	通常	約16秒	約20秒	約59秒	約11分	約15分	約44分
		映像のみ	約16秒	約20秒	約60秒	約11分	約15分	約45分
		音声のみ	約20分			約957分		
QCIF（176×144）	メール制限（小）	通常	約10秒	約35秒	約69秒	約29分	約108分	約213分
		映像のみ	約10秒	約39秒	約78秒	約30分	約121分	約243分
		音声のみ	約305秒			約957分		
	メール制限（大）	通常	約39秒	約141秒	約279秒	約29分	約108分	約213分
		映像のみ	約40秒	約159秒	約318秒	約30分	約121分	約243分
		音声のみ	約20分			約957分		
Sub-QCIF（128×96）	メール制限（小）	通常	約19秒	約62秒	約122秒	約57分	約194分	約380分
		映像のみ	約20秒	約78秒	約156秒	約60分	約243分	約487分
		音声のみ	約305秒			約957分		
	メール制限（大）	通常	約75秒	約254秒	約497秒	約57分	約194分	約380分
		映像のみ	約80秒	約318秒	約10分	約60分	約243分	約487分
		音声のみ	約20分			約957分		

●録画可能な時間は目安です。

つづく

■microSDメモリーカード(64Mバイト)に録画可能な時間

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間 画質設定 スーパーファイン	ファイン	ノーマル	総録画可能時間 画質設定 スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA (640×480)	長時間	通常	約227秒	約447秒	約14分	約227秒	約447秒	約14分
		映像のみ	約231秒	約462秒	約15分	約231秒	約462秒	約15分
		音声のみ	約180分			約240分		
HVGAワイド (640×352)		通常	約301秒	約577秒	約18分	約301秒	約577秒	約18分
		映像のみ	約308秒	約10分	約20分	約308秒	約10分	約20分
		音声のみ	約180分			約240分		
QVGA (320×240)		通常	約447秒	約577秒	約26分	約447秒	約577秒	約26分
		映像のみ	約462秒	約10分	約30分	約462秒	約10分	約30分
		音声のみ	約180分			約240分		
QCIF (176×144)		通常	約18分	約60分	約96分	約18分	約60分	約96分
		映像のみ	約20分	約80分	約160分	約20分	約80分	約160分
		音声のみ	約180分			約240分		
Sub-QCIF (128×96)		通常	約34分	約96分	約137分	約34分	約96分	約137分
		映像のみ	約40分	約160分	約180分	約40分	約160分	約320分
		音声のみ	約180分			約240分		

●録画可能な時間は目安です。

＜静止画撮影＞
静止画を撮影する

カメラを使って静止画を撮影します。撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存設定（記録媒体設定）」、「保存先フォルダ選択」参照。
- 保存した静止画を再生するには、P.274参照。

静止画を撮影する

1 📷を押す

- 「MENU▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「フォトモード」を選択しても起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)
- 天地アイコンに合わせて、FOMA端末の向きを変えてください。

撮影画面

2 ●（撮影）を押す

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- アウトカメラで撮影するとき「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順4へ進みます。

3 ●（保存）▶保存したいフォルダを選択

撮影した静止画を保存します。

- 鏡像（左右反転）で保存する場合は、iα（機能）を押して「鏡像保存」を選択します。
- 「記録媒体設定」を「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。
- CLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

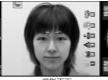
ポストビュー画面

4 カメラを終了するには☎を押す

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。(P.144参照)

1 📷▶📷（ムービー）▶📷（連写）

- 「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。

撮影画面

2 ●（撮影）を押す

連続撮影を開始します。

「連写モード設定」を「マニュアル」に設定している場合は、撮影枚数分●（撮影）を押します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- アウトカメラで撮影するとき「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- 撮影を途中で中止する場合はCLRを押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、✉（中止）を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順5へ進みます。

つづく↪

3 1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで[カメラ](詳細)▶[●](保存)

ポストビュー画面　　詳細表示画面

- 詳細表示画面で[◯]を押すと、前または次の静止画を表示します。
- 鏡像(左右反転)で保存する場合は、[iα](機能)を押して「鏡像保存」を選択します。

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画にチェック▶[✉](保存)▶保存・鏡像保存

すべての静止画を保存する場合

[✉](全保存)▶保存・鏡像保存

- ポストビュー画面で[CLR]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

4 保存したいフォルダを選択する

- 「記録媒体設定」を「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。

5 カメラを終了するには[☎]を押す

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
- フォトモード・連写モードのマニュアルは撮影時にフォトライトが点滅します。連写モードのオート・オートブラケットはフォトライトが点灯します。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保存	P.139、P.140参照
鏡像保存	P.139、P.140参照
iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶**フォルダを選択** P.172手順2へ進みます。 ●[✉](✉)を押してもiモードメールを作成できます。
位置情報付加	▶**項目を選択** **現在地確認から付加** . . 現在地を測位して位置情報を登録します。位置情報を確認し、[●](確定)を押します。 **位置履歴から付加** . . 位置履歴から位置情報を選択して登録します。 ●現在地の測位中に[iα](利用)を押すと測位の途中までの情報で結果を表示するかどうかの確認画面が表示されます。 ●現在地の測位を中止するには[CLR]または[✉](中止)を押します。 ●位置情報の確認画面で[✉](ﾘﾄﾗｲ)を押すと「品質重視モード」で再度測位されます。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**フォルダを選択** P.274「ピクチャ貼付」へ進みます。 ●「記録媒体設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**フレームを選択** ●[◯]を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は[✉](取消)を押します。 ▶[●](確定) ●フレームの解除はできません。
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
記録媒体設定	P.144参照
表示サイズ設定	P.145参照
ファイル制限	P.146参照
アイコン表示	アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

機能メニュー	操作・補足
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

●ポストビュー画面で静止画を選んで(選択)を押すと、「☑」が付きます。再度(選択)を押すと選択は解除されます。

機能メニュー	操作・補足
保存	P.140参照
全保存&自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶保存 ●鏡像(左右反転)で保存するには「鏡像保存」を選択します。 ▶フォルダを選択▶<未登録>
記録媒体設定	P.144参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
ファイル制限	ポストビュー画面の静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.146参照。
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存&自作アニメ>
●「記録媒体設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。
●1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>

動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。撮影した動画は本体の「ｉモーション」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。

●保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
●保存した動画を再生するには、P.280参照。

1 ▶(ムービー)

●「MENU▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「ムービーモード」を選択しても起動できます。
●カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)

撮影画面

2 (撮影)を押す

録画を開始します。
●アウトカメラで撮影するとき「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影が始まります。撮影中は「フォーカス設定」に関わらず、自動的に被写体にフォーカスを合わせます。
●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。

3 (終了)を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。
●録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
●「自動保存設定」を「ON」に設定している場合や「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「記録媒体設定」を「microSD」に設定している場合、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。手順5へ進みます。

4 (保存)▶保存したいフォルダを選択

撮影した動画を保存します。
●CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

5 カメラを終了するには を押す

つづく

■撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは
データの保存や削除を繰り返しているmicroSDメモリーカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDメモリーカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。
- パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDメモリーカード内のすべてのデータを削除する。
- フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDメモリーカードにコピーして戻す。
- 必ず同じmicroSDメモリーカードにコピーして戻してください。他のmicroSDメモリーカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ
- 撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録画中はフォトライトが点灯します。
- 撮影中、遠近の差のあるものに被写体を変えると、ピントが合うまでに時間がかかります。
- 被写体によりピントが合いにくい場合は、被写体を変えるとピントが合う場合があります。
- 暗いところではオートフォーカスの動作は遅くなります。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	P.280参照
保存	P.141参照
iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択 P.172手順2へ進みます。 ●(✉)(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。 ▶フォルダを選択
記録媒体設定	P.144参照
表示サイズ設定	P.145参照
ファイル制限	P.146参照
アイコン表示	アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ
<待受画面設定>
- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生についてはP.105参照。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(Wide)・望遠(Tele)で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

■アウトカメラ

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	5M(2592×1944)	1段階	約1.0倍
	3.7Mワイド(2592×1456)	1段階	約1.0倍
	3M(2048×1536)	6段階	約1.2倍
	2Mワイド(1920×1080)	6段階	約1.3倍
	2M(1600×1200)	11段階	約1.6倍
	待受(480×854)	11段階	約1.5倍
	VGA(640×480)	31段階	約3.0倍
	CIF(352×288)	31段階	約5.5倍
	QVGA(240×320)	31段階	約8.1倍
	QCIF(176×144)	31段階	約11.0倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約15.1倍
連写	VGA(640×480)	11段階	約1.9倍
	CIF(352×288)	21段階	約2.7倍
	QVGA(240×320)	31段階	約3.8倍
	QCIF(176×144)	31段階	約5.5倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約7.5倍
ムービー(手ぶれ補正:オート)	VGA(640×480)	11段階	約1.6倍
	HVGAワイド(640×352)	11段階	約1.6倍
	QVGA(320×240)	21段階	約2.4倍
	QCIF(176×144)	31段階	約4.4倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約6.0倍
ムービー(手ぶれ補正:OFF)	VGA(640×480)	11段階	約1.9倍
	HVGAワイド(640×352)	11段階	約1.9倍
	QVGA(320×240)	21段階	約3.0倍
	QCIF(176×144)	31段階	約5.5倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約7.5倍

■インカメラ

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト／連写	VGA（640×480）	1段階	約1.0倍
	CIF（352×288）	11段階	約1.6倍
	QVGA（240×320）	11段階	約1.5倍
	QCIF（176×144）	31段階	約3.3倍
	Sub-QCIF（128×96）	31段階	約5.0倍
ムービー	VGA（640×480）	1段階	約1.0倍
	HVGAワイド（640×352）	1段階	約1.0倍
	QVGA（320×240）	21段階	約2.0倍
	QCIF（176×144）	31段階	約3.5倍
	Sub-QCIF（128×96）	31段階	約5.0倍

1 撮影画面▶ でズーム倍率を調節

お知らせ
- ●広角･望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- ●以下の場合、望遠は解除されます。
  - ･ を押してカメラを終了したとき
  - ･サイズを変更したとき
  - ･カメラモードを切り替えたとき

オートフォーカスを使う

アウトカメラで撮影するとき、フォーカスの状態を確認してから撮影します。「フォーカス設定」を「接写」や「風景」にしていてもオートフォーカスを使えます。

1 撮影画面▶

フォーカスが合うと確認音が鳴って枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。
フォーカスが合わなかった場合は枠が赤色になります。
- ●フォーカスを設定し直す場合はCLRを押します。
- ●「フォーカス設定」が「オート」に設定されている場合は、撮影画面で（撮影）を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。

2 （撮影）を押す

お知らせ
- ●ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、オートフォーカスは使用できません。

フォトライト

カメラ起動時	OFF

暗い場所などでアウトカメラを使用して撮影するときに、フォトライトを補助光として点灯させます。フォトモードでは撮影の瞬間に強く光ります。

1 撮影画面▶（機能）▶フォトライト▶ON･OFF

- ●約30秒間何も操作をしなかった場合は点滅状態に戻ります。また、ポストビュー画面が表示されると消灯します。

お知らせ
- ●ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合、フォトライトは使用できません。

お知らせ
- ●電池残量がほとんど残っていないときは、フォトライトは使用できません。

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
インカメラ･アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。
カメラモード切替	**▶モードを選択** ●「連写モード」を選択した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモードで起動します。
画像サイズ設定	**▶画像サイズを選択** ●えチャット撮影時は「QCIF（176×144）」「Sub-QCIF（128×96）」のみ選択できます。
動画容量設定 ［ムービーモードのみ］	**▶項目を選択** **メール制限（小）** . . . 500Kバイトまで撮影できます。 **メール制限（大）** . . . 2Mバイトまで撮影できます。 **長時間** . . . 長時間撮影できます。microSDメモリーカードに保存します。
画質設定	保存する際の画質を設定します。 **▶画質を選択**
撮影設定（明るさ調節） カメラ起動時 ±0	−3（暗い）〜＋3（明るい）で調節します。 **▶明るさ調節▶明るさを選択**
撮影設定（ホワイトバランス設定） カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 **▶ホワイトバランス設定▶項目を選択** **オート**. . . ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天** . . . . 屋外晴天下で撮影するとき **曇天** . . . . 曇天や日陰で撮影するとき **電球** . . . . 電球照明下で撮影するとき **蛍光灯**. . . 蛍光灯照明下で撮影するとき
撮影設定（色調切替） カメラ起動時 通常	**▶色調切替▶色調を選択** **通常** . . . . .標準の色調で撮影します。 **セピア**. . . .セピア調で撮影します。 **白黒** . . . . .白黒調で撮影します。 **ヴィヴィッド** . . . . .輪郭をくっきりさせて彩度を上げて撮影します。 **ナチュラル** . . . . .輪郭をなめらかにさせて彩度を下げて撮影します。 **美白** . . . . .顔を明るめに撮影します。 **日焼け**. . . .顔の色合いを濃くして撮影します。

つづく

機能メニュー	操作・補足
撮影設定（撮影モード選択） カメラ起動時 標準	撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。 ▶**撮影モード選択**▶**撮影モードを選択** **標準**. . . 標準のモードです。 **ポートレート** . . . . . . 人物を撮影するのに適したモードです。 **スポーツ** . . . . . . スポーツ選手など動く被写体を撮影するのに適したモードです。 **料理**. . . 料理などを撮影するのに適したモードです。 **風景**. . . 風景を撮影するのに適したモードです。 **ナイトモード** . . . . . . 夜など暗い場所で撮影するのに適したモードです。 **逆光**. . . 逆光の際の撮影に適したモードです。 **文字**. . . 文字を撮影するのに適したモードです。 **雪** . . . . 雪がある場所で撮影するのに適したモードです。 **夕焼け** . . . . . . 夕焼け時に撮影するのに適したモードです。 **ペット** . . . . . . ペットなどを撮影するのに適したモードです。
撮影設定（フォーカス設定） カメラ起動時 オート	アウトカメラのフォーカスを設定します。 ▶**フォーカス設定**▶**項目を選択** **オート**. . . 撮影前に自動的にフォーカスを合わせます。(P.143参照) **接写**. . . . . 近くの物にフォーカスを合わせます。 **風景**. . . . . 遠い風景にフォーカスを合わせます。
撮影設定（シャッター音選択）	シャッター音を設定します。フォトモード時（連写モード時）とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音選択** ▶**シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
撮影設定（ちらつき補正設定）	アウトカメラで撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**ちらつき補正設定** ▶**自動・モード1（50Hz地域）・モード2（60Hz地域）**

機能メニュー	操作・補足
保存設定（記録媒体設定）	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶**記録媒体設定**▶**本体・microSD**
保存設定（自動保存設定）	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「記録媒体設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「記録媒体設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶**自動保存設定**▶**ON・OFF**
保存設定（ファイル制限）	P.146参照
手ぶれ補正 ［フォト・ムービーモード］	アウトカメラで撮影するときの手ぶれを補正します。 ▶**オート・OFF**
フォトライト	P.143参照
セルフタイマー設定	P.146参照
特殊撮影（フレーム撮影） カメラ起動時 OFF ［フォトモードのみ］	フレームを合成して撮影します。 ▶**フレーム撮影**▶**ON・OFF** ▶**フレームを選択**
特殊撮影（マジックスタンプ） カメラ起動時 OFF ［フォト・ムービーモード］	人物の顔などにマジックスタンプを貼り付けて撮影します。マジックスタンプは適切な位置に自動配置されます。 ▶**マジックスタンプ**▶**ON・OFF** ▶**マジックスタンプを選択**
連写設定（連写モード設定） ［連写モードのみ］	▶**連写モード設定**▶**モードを選択** **オート** . . 「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . 「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . 約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」を選択すると連続撮影枚数が表示されます。
連写設定（撮影間隔） ［連写モードのみ］	▶**撮影間隔**▶**撮影間隔を選択** ●連写モードのオート時のみ設定できます。

機能メニュー	操作・補足
連写設定（撮影枚数） [連写モードのみ]	▶撮影枚数▶撮影枚数(枚)を入力 ●「画像サイズ設定」が「VGA(640×480)」または「CIF(352×288)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶通常・映像のみ・音声のみ
表示サイズ設定	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
共通再生モード [ムービーモードのみ]	iモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 ▶YES ●画像サイズ設定が「QCIF」、動画容量設定が「メール制限(小)」、画質設定(ムービーモード)が「ノーマル」に設定されます。
アイコン表示	アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。

お知らせ

<インカメラ・アウトカメラ>
- 「画像サイズ設定」を「待受(480×854)」以上に設定している場合は、インカメラに切り替えると「VGA(640×480)」で起動します。

<動画容量設定>
- 「長時間」に設定した場合、「記録媒体設定」が「microSD」に設定されます。

<撮影設定>
- ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。
- ちらつき補正設定を「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。
- 「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」の設定を変更しても、「撮影モード選択」を変更すると、それぞれの設定は、各撮影モードに適した設定になります。

<保存設定>
- microSDメモリーカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「記録媒体設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- 「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

お知らせ

<手ぶれ補正>
- 本機能はあくまでも手ぶれを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。
- 以下のような場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  ・手ぶれが大きいとき　　・ズームを使っているとき
  ・動きのある被写体を撮影しているとき
- フォトモード時に「撮影モード選択」を「スポーツ」・「ナイトモード」・「ペット」に設定した場合は、「手ぶれ補正」は無効になります。
- 被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、本機能を「OFF」にしてください。
- ムービーモード時は手ぶれ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、「オート」「OFF」の設定によって撮影範囲が異なります。
- フォトモード時に本機能を有効にした場合、手ぶれ補正処理を行うため撮影後の処理時間が約2秒間長くなることがあります。
- インカメラでは手ぶれ補正は使用できません。

<特殊撮影>
- 「画像サイズ設定」を「2M(1600×1200)」以上に設定している場合はフレームを合成できません。
- インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。
- マジックスタンプはフォトモードの場合、「待受(480×854)」以上に設定していると貼り付けできません。

<連写設定>
- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。
  VGA(640×480)　：4枚
  CIF(352×288)　：4枚
  QVGA(240×320)　：5枚～10枚
  QCIF(176×144)　：5枚～20枚
  Sub-QCIF(128×96)　：5枚～20枚

<表示サイズ設定>
- 「画像サイズ設定」を「HVGAワイド(640×352)」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 「画像サイズ設定」を「QCIF(176×144)」、「sub-QCIF(128×96)」に設定している場合、「等倍表示」では縦横2倍のサイズで表示されます。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

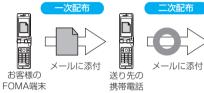
<共通再生モード>
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

ファイル制限

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。
一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。

1 **撮影画面▶**[iα]（機能）**▶保存設定▶ファイル制限**
または
フォトモード、ムービーモード、えチャットのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶[iα]（機能）**▶ファイル制限**

2 **なし・あり**

■ファイル制限「なし」の場合

■ファイル制限「あり」の場合

お知らせ

- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDメモリーカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- 保存後もP.275「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 **撮影画面▶**[iα]（機能）**▶セルフタイマー設定▶ON・OFF▶作動時間（秒）を入力**

- 「01」～「15」の2桁を入力します。

■セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは
撮影画面に「⏲」が表示されます。
[●]（撮影）を押すと確認音が鳴り、「⏲」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとにフォトライトが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとにフォトライトが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、フォトライトが点滅中に[✉]（中止）または[CLR]を押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に[●]（撮影）を押すとすぐに撮影できます。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

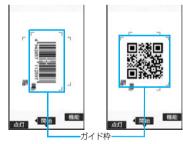
お知らせ

- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

■JANコードとは
幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
読み取れるのは8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のJANコードです。

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

●FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	フォトライト:OFF　明るさ:±0 ズーム:拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 MENU▶LifeKit▶バーコードリーダー▶コード読み取り

バーコードリーダーメニューが表示されます。

●バーコードリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)

2 読み取りたいコードをガイド枠に合わせて◯を押す

フォーカスロックされると確認音が鳴り、十字マークが緑色になります。

●MENUを押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。

●i α(機能)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを－3(暗い)～＋3(明るい)で調節できます。

コード読取画面

●◯を押すと縮小表示され、◯を押すと元の表示に戻ります。

3 ◉(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

●読み取りを中止する場合はCLRまたは◉(中止)を押します。

●読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。

●メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「☒」や「〜」で表示されます。

●文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は◉(確定)を押します。破棄する場合は✉(取消)またはCLRを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。

●読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。

●読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2～手順3の操作を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 i α(機能)▶認識結果保存▶OK

読み取ったデータが登録されます。

バーコードリーダー
株式会社NTTドコモ

コード読取結果画面

お知らせ

●JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取れません。

●読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。

●傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。

●バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
認識結果保存	P.147参照
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにｉモードまたはフルブラウザで接続します。 ▶ｉモード・フルブラウザ▶YES ●URLを選んで◉(選択)を押しても接続できます。

カメラ

つづく

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで◎(選択)を押してもiモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。 ▶**発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。 ●電話番号を選んで◎(選択)を押しても発信できます。 ▶**発信** ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.58参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.47手順2参照)
電話帳登録	P.87参照
Bookmark登録	サイト名とURLをブックマークに登録します。 ▶YES ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶OK▶**登録したいフォルダを選択**
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶**保存したいフォルダを選択** P.159手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶YES▶**保存したいフォルダを選択** P.160手順2へ進みます。 ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存しているメロディがいっぱいのときはP.162参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●「 」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.162参照。
iアプリ起動	読み取ったデータからiアプリを起動します。 ▶YES
コピー	▶**コピーする始点を選択** ▶**コピーする終点を選択** ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.361参照。

お知らせ

<Internet>
●URLは、バーコードリーダーでは半角512文字、テキストリーダーでは半角256文字まで表示されます。

<iモードメール作成>
●入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

<電話発信>
●「110」「119」「118」を読み取っても緊急通報することはできません。

<Bookmark登録>
●URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

<画像保存>
●保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。

<メロディ保存>
●保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。
●タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
●メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データ一覧を表示する

1 MENU▶**LifeKit**▶**バーコードリーダー**▶**保存データ一覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
●タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

バーコードリーダー
1 20071115_1045_0000
2 20071115_0944_0000

バーコードリーダー一覧画面

カメラ

お知らせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
(例)2007年11月15日10時00分に保存した場合
タイトル名:20071115_1000_0000
・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 全角9文字/半角18文字まで入力できます。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除(1件削除)	▶1件削除▶YES
削除(全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

<テキストリーダー>

テキストリーダーを利用する

アウトカメラを使って、印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどの英数記号を読み取り、文字情報として登録できます。文字情報を使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■テキストリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけ文字列がガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- 文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

ガイド枠

文字を読み取る

テキストリーダー起動時	フォトライト:OFF ズーム:拡大

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、8件まで登録できます。
一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取れます。

1 MENU▶LifeKit▶テキストリーダー▶テキスト読み取り

テキストリーダーメニューが表示されます。
- テキストリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)

2 読み取りたい文字をガイド枠に合わせて[O]を押す

フォーカスロックされると確認音が鳴り、ガイド枠が緑色になります。
- MENUを押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
- [O]を押すと縮小表示され、[O]を押すと元の表示に戻ります。

テキスト読取画面

3 [●](撮影)を押す

文字が読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)
- 読み取りを中止する場合はCLRを押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。

4 読み取り結果を確認する

読み取った文字に下線が付いて表示されます。読み取った文字が間違っていないか確認します。
- 読み取りをやり直す場合はCLRを押します。

変換候補
読み取り結果
テキスト読取結果確認画面

- 文字を修正せずに登録する場合は手順7へ進みます。

5 [O]を押して修正したい文字を選ぶ▶変換候補の番号を押す

- 変換候補はそれぞれの文字に最大4つまで表示されます。
- 変換候補以外の文字などに修正したい場合は、修正したい文字を選んで[✉](文字)を押し、「英字入力モード」または「数字入力モード」に切り替えて文字を入力します。ただし、[*]による「.ne.jp」や「.co.jp」などの文字入力はできません。

6 [●](確定)を押す

読み取った文字が確定します。
- 文字を結合させる場合は、手順2～手順6を繰り返します。
- 確定を解除する場合は、CLRを押します。

7 [iα](機能)▶登録

読み取った文字が登録されます。
- 読み取った文字に「tel」「@」「http://」などが含まれる場合は、文字を選択することによってPhone To機能やWeb To機能などが起動できます。(P.163参照)ただし、複数ある場合でも、最初の1つ目のみ選択できます。
- [✉](上書)を押すと、読み取り結果を上書きしてテキストリーダーを起動します。手順2へ進みます。

テキスト読取結果画面

カメラ

つづく

お知らせ

- ●読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- ●読み取りできる文字は、英字(大文字・小文字)、数字、記号(# & ( ) ー. / : @ [ ] _ ˜ ? = % +)です。漢字やひらがななどは読み取りできません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく読み取りできない場合があります。
- ●手書きの文字は正しく読み取りできません。
- ●FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく読み取りできない場合があります。

保存データ一覧を表示する

1 MENU▶LifeKit▶テキストリーダー▶保存データ一覧

登録済みの場合は、最初の半角22文字までが表示されます。

- ●項目を選択すると、テキスト読取結果画面が表示されます。
- ●✉(✉)を押すと、項目の文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。(P.172手順3参照)

テキストリーダー
1 docomo. taro. ΔΔ@docomo.
2 docomo. ΔΔΔ. taro@docomo

テキストリーダー一覧画面

テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	P.149参照
編集	読み取った文字列を編集して登録します。 ▶文字を編集
認識モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の種類に合わせて認識モードを設定できます。 ▶項目を選択 **自動設定**....文字の種類を自動で判別します。 **URL**.......URLを読み取る場合に選択します。登録する際に文字列の先頭を自動で「http://」または「https://」にします。 **アドレス**...メールアドレスを読み取る場合に選択します。 **電話番号**...電話番号を読み取る場合に選択します。 **数字**........数字を読み取る場合に選択します。 **フリー文字列** ....特に指定せずに英文字を読み取る場合に選択します。
反転モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の印刷の状態に合わせて反転モードを設定できます。 ▶項目を選択 **自動設定** ...印刷の状態を自動で判別します。 **無反転固定** ...薄い色地に濃い色の文字が印刷されている場合に選択します。 **反転固定** ...濃い色地に薄い色の文字が印刷されている場合に選択します。

テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶文字を編集
Internet	P.147参照
ｉモードメール作成	読み取ったメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。
電話発信	P.148参照
メールアドレス登録	P.87参照
電話番号登録	P.87参照
Bookmark登録	読み取ったURLをブックマークに登録します。 ▶OK ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶登録したいフォルダを選択
電話帳検索	読み取った電話番号やメールアドレスを使って電話帳検索を行います。 ▶検索方法を選択▶◎ 電話番号やメールアドレスに該当する電話帳の一覧が表示されます。
詳細表示・一覧表示	テキスト読取結果画面とテキストリーダー一覧画面を切り替えます。
削除(1件削除)	▶1件削除▶YES
削除(全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

ｉモード/ｉモーション/ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ｉモードのご利用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やｉモード端末外へ出力することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画･動画･メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画･動画･メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示･再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面･指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

<ｉMenu>

サイトに接続する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。(IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 ▶ｉMenu

ｉモードメニュー

通信中は「」が点滅します。

- ｉモードのサービスを受けているとき(ｉモード待機中)は「」が点滅します。
- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は(中止)を押します。
- ｉモードを終了するにはサイト表示中にを押して「YES」を選択します。「」が消灯し、ｉモードが終了します。
  ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。

2 項目(リンク先)を選択

項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。(サイトによっては接続できない場合があります。)
- サイト表示中にを押すと行単位でスクロールできます。また、MENU(▲ページ)(▼ページ)やを押すと画面単位でスクロールできます。

■SSLに対応したサイト(SSLページ)を取得するときは

右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、「🔒」が点灯します。

- 認証中に中止する場合は「Cancel」を選択します。認証後のページを取得中に中止する場合は✉(中止)を押します。

■SSLに対応していないサイトに戻るときは

右の画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示され、「🔒」が消灯します。

お知らせ

- サイトによっては、利用する前に別途書面などで申し込みが必要なものや、利用するために情報料が必要なものがあります。
- サイトで表示される画像の最大表示サイズは1400×480ドットです。1400×480ドットを超える場合、縦横比を固定して縮小して表示されます。
- サイトによっては、画像を正しく表示できず、「 」が表示される場合があります。
- サイトやデータによっては、メロディやPDFデータ、ソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
- ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。
- サイトから、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報(タイトル名、アーティスト名、再生日時)が送信されます。送信される楽曲情報は、IP(情報サービス提供者)がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

取得済みのページに戻る・進む

FOMA端末は、表示したインターネットホームページなどのデータをキャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に保存します。Oを押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。

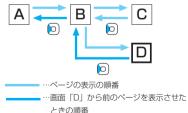
- FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、通信を行います。
- ｉモードを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 前のページを表示させるときはOを押す
次のページを表示させるときはOを押す

■ページを移動するには

Oを続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ(「B」)から他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」からOを2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページが表示されます。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>

…ページの表示の順番
…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

お知らせ

- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

サイトで選択・入力する

サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□：非選択状態 ☑：選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0. 検索	文字を入力できます。テキストボックスを選んで◎(選択)を押すと文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	東京 0. 検索 ↓ 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選んで◎(選択)を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。◎で項目を選んで◎(選択)を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら✉(完了)を押します。

お知らせ

●サイトによってはUser IDやPasswordなどの認証画面が表示される場合があります。
User IDとPasswordを入力して「OK」を選択します。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

お知らせ

●サイトで表示されるFlash画像の表示サイズは最大700×480ドットです。700×480ドットを超える場合は縦横比を固定して縮小して表示されます。
●Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。(お買い上げ時は「利用する」に設定されています。)
●Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「効果音設定」を「効果音OFF」に設定してください。

お知らせ

●待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
●バックグラウンド再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
●Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ」の設定に関わらず振動します。
●Flash画像をデータBOXやmicroSDメモリーカード、画面メモなどに保存して再生すると、保存した場所によって見えかたが異なる場合があります。
●Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
●再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
●Flash画像によっては◎や◎で操作できることがあります。「◂ ▴▾ ▸」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。
●Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号について

項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

●送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
●送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
i Menu	「i Menu」に戻ります。
Bookmark(Bookmark登録)	P.157参照
Bookmark(Bookmark一覧)	▶Bookmark一覧 P.157「ブックマークからホームページやサイトを表示する」手順1へ進みます。
画面メモ(画面メモ保存)	P.158参照
画面メモ(画面メモ一覧)	▶画面メモ一覧 P.158手順2へ進みます。

機能メニュー	操作･補足
Internet（URL入力）	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 ▶URL入力▶テキストボックスを選択 P.156「インターネットホームページを表示する」手順2へ進みます。 ●あらかじめ表示中のサイトのURLが入力されています。
Internet（フルブラウザ切替）	P.262参照
再読み込み	サイトの内容が最新の情報に更新されます。
画像保存	P.159参照
ｉモードメール作成	表示中のサイトや画面メモのURL、画像をｉモードメールの本文に貼り付けたまたは添付して作成します。 ▶項目を選択 **URL貼付** . . . .URLをｉモードメールの本文に貼り付けます。 **画像添付** . . . .画像を選択してｉモードメールに添付します。 **デコメ挿入**. . .画像を選択してデコメールに貼り付けます。 P.172手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.175参照。
電話帳登録	P.87参照
デスクトップ貼付	P.114参照
その他（文字コード変換）	文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ▶文字コード変換 ●表示中のサイト、インターネットホームページにのみ有効です。
その他（タイトル表示）	表示中のサイトのタイトルを表示します。 ▶タイトル表示
その他（URL表示）	表示中のサイトのURLを表示します。 ▶URL表示
その他（証明書表示）	SSL通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。 ▶証明書表示
その他（画像表示設定）	P.164参照
その他（効果音設定）	P.164参照
その他（リトライ）	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ▶リトライ ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。

お知らせ

＜ｉモードメール作成＞
- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字以上あるときは貼り付けできません。
- 画像によってはｉモードメールに添付または貼り付けできない場合があります。

＜その他（文字コード変換）＞
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

＜その他（タイトル表示）＞
- タイトルは半角128文字/全角64文字まで表示されます。

＜ラストURL＞
最後に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。
ｉモードメニューで「ラストURL」を選択すると、最後に見たページを表示します。

1 iα▶**ラストURL**

お知らせ

- URLが半角2048文字を超えるページ、メロディやｉモーションなどの取得完了画面、FirstPassセンターのページなど、ページによっては「ラストURL」に記憶されません。

ラストURL初期化

最後に見たページのURLを初期化（ｉMenuのURLに）します。

1 iα▶**ｉモード設定**▶**ラストURL初期化**▶**YES**

＜マイメニュー＞
マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶ｉモードパスワードを入力▶決定

- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワードについてはP.118参照。

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 iα▶ｉMenu▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択

お知らせ

- デュアルネットワークサービスを利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末で利用できない場合があります。

＜ｉモードパスワード変更＞
ｉモードパスワードを変更する

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 iα▶ｉMenu▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶ｉモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶ｉモードパスワード（4桁）を入力

- 初回は契約時にｉモードパスワードとして設定されている「0000」（数字のゼロ4つ）を入力します。
- 入力した数字は「＊」で表示されます。

2 「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力

- お客様独自のｉモードパスワードを入力してください。

3 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶決定

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、契約された本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

＜URL入力＞
インターネットホームページを表示する

1 iα▶Internet▶＜新規入力＞

2 URLを入力▶OK

- 半角の英数字や記号で256文字まで（フルブラウザの場合は512文字まで）入力できます。
- フルブラウザの場合、表示できない場合がある旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードの場合、ｉモードに対応していないインターネットホームページや接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 受信したページのデータが1ページの取得可能な最大サイズを超えたときは、受信を中断します。「OK」を選択すると、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として10件まで記憶されます。

1 iα▶Internet▶表示したいURLを選択▶OK

- 「http://」または「https://」以下の半角22文字までが表示されます。
- URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。

URL入力履歴一覧画面

お知らせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

お知らせ

- ●URLを新規入力してアクセスした場合は、同じURLでも別の履歴として記録されます。

URL入力履歴一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●[メール]([メール])を押してもｉモードメールを作成できます。
デスクトップ貼付	P.114参照
ホーム登録	フルブラウザのホームURLとして登録します。 ▶YES ●フルブラウザのURL入力履歴一覧画面でのみ操作できます。
削除（1件削除）	▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	▶選択削除▶削除したいURL入力履歴にチェック▶[メール]([完了])▶YES
削除（全削除）	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

＜ブックマーク＞

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

ブックマークに登録する

よく見るサイトのURLをブックマークに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。ｉモード、フルブラウザそれぞれ100件まで登録できます。

1 **登録したいページを表示中▶[iα]([機能])▶Bookmark▶Bookmark登録▶YES▶登録したいフォルダを選択**

お知らせ

- ●登録できる1件あたりのURLの文字数は半角256文字まで（フルブラウザの場合は半角512文字まで）です。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
- ●タイトルは全角12文字/半角24文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
- ●ブックマークに登録時は、サイトで入力した内容は登録されません。
- ●ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 **[iα]▶Bookmark▶フォルダを選択▶表示したいブックマークを選択**

Bookmarkフォルダ一覧画面　Bookmark一覧画面

- ●ブックマークを使ってページを表示させると、次回はそのブックマークがBookmark一覧画面の先頭に表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作（フォルダ追加）	新規フォルダを追加します。「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダ以外にそれぞれ9件まで追加できます。 ▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作（フォルダ名編集）	▶フォルダ名編集▶フォルダ名を編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作（フォルダ削除）	フォルダとフォルダ内のすべてのブックマークや画面メモを削除します。 「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダは削除できません。 ▶フォルダ削除▶端末暗証番号を入力▶YES
赤外線／iC送信（赤外線全件送信）	P.305参照
赤外線／iC送信（iC全件送信）	P.307参照
登録件数確認	全フォルダに登録されているブックマークの件数を表示します。
Bookmark全削除	フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

Bookmark一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●[メール]([メール])を押してもｉモードメールを作成できます。

つづく

機能メニュー	操作・補足
iモードメール添付	ブックマークをiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。
フォルダ移動	ブックマークや画面メモを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先のフォルダを選択**▶**移動したいブックマークや画面メモにチェック**▶✉(完了)▶YES
タイトル編集	▶**タイトルを編集** ●ブックマークの場合、一覧画面、詳細画面でMENU(編集)を押してもタイトル編集できます。 ●ブックマークの場合、全角12文字/半角24文字まで入力できます。空白で●(確定)を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。 ●画面メモの場合、全角11文字/半角22文字まで入力できます。空白で●(確定)を押した場合は、「無題」と登録されます。
コピー(URLコピー)	ブックマークのURLをコピーします。 ▶**コピーする始点を選択** ▶**コピーする終点を選択** ●コピーした文字を貼り付けるにはP.361参照。
コピー(microSDへコピー)	P.295参照
ホーム登録	フルブラウザのホームURLとして登録します。 ▶YES ●フルブラウザのBookmark一覧画面でのみ操作できます。
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線/iC送信(赤外線送信)	P.305参照
赤外線/iC送信(iC送信)	P.306参照
登録件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。
削除(1件削除)	▶**1件削除**▶YES
削除(選択削除)	▶**選択削除**▶**削除したいブックマークや画面メモにチェック**▶✉(完了)▶YES
削除(全削除)	フォルダ内に登録されているすべてのブックマークや画面メモを削除します。 ▶**全削除**▶**端末暗証番号を入力**▶YES

<画面メモ>

サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存できます。画面メモに保存したページは、iモードに接続せずに表示できます。
最大100件まで保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。

1 保存したいページを表示中▶iα(機能)▶画面メモ▶画面メモ保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

●保存している画面メモがいっぱいのときはP.162参照。

お知らせ

●タイトルは全角11文字/半角22文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。
●取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。(着うたフル®、再生期限付きのiモーション、FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの取得完了画面は保存できません。)取得完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。取得完了画面以外は、そのページのURLが半角256文字まで保存されます。
●SSL対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL証明書も保存されます。
●テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
●1件あたり100Kバイトまでのページを保存できます。ただし、iモーションの取得完了画面は500Kバイトまで、テンプレートの取得完了画面は200Kバイトまで、トルカの取得完了画面は1Kバイトまで、ダウンロード辞書の取得完了画面は20Kバイトまで保存できます。

画面メモを表示する

1 iα▶画面メモ

画面メモフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶画面メモを選択

画面メモ一覧画面　画面メモ詳細画面

●◎で他の画面メモを確認できます。

お知らせ

●画面メモに保存したページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作（フォルダ追加）	P.157参照
フォルダ操作（フォルダ名編集）	P.157参照
フォルダ操作（フォルダ削除）	P.157参照
セキュリティ設定／解除	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES フォルダが「 」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	全フォルダに保存している画面メモの件数と保護している画面メモの件数を表示します。
画面メモ全削除	すべての画面メモを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

画面メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	P.158参照
タイトル編集	P.158参照
保護／保護解除	画面メモを削除されないように保護します。最大50件まで保護できますが、データ量により保護件数は少なくなります。 保護すると「 」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	表示しているフォルダ内に保存している画面メモの件数と保護している画面メモの件数を表示します。
削除（1件削除）	P.158参照
削除（選択削除）	P.158参照
削除（全削除）	P.158参照

画面メモ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	( )を押してもiモードメールを作成できます。（P.155参照）
タイトル編集	P.158参照
保護／保護解除	P.159参照
画像保存	P.159参照
電話帳登録	P.87参照
その他（URL表示）	画面メモのURLを表示します。 ▶URL表示
その他（証明書表示）	P.155参照
その他（効果音設定）	P.164参照
その他（リトライ）	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ▶リトライ ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
削除	▶YES

サイトからファイルやデータをダウンロードする

サイトから画像やメロディなどのファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDメモリーカードに直接保存できるものもあります。

画像ダウンロード

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。デコメール用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。（P.444参照）

1 **サイト表示中・画面メモ詳細画面▶ (機能)▶画像保存▶画像保存・背景画像保存**

●画像保存の場合は保存したい画像を選択します。

2 **YES▶保存したいフォルダを選択**

●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。

3 **ピクチャ貼付するには「YES」を選択**

P.274「ピクチャ貼付」へ進みます。

iモード／iモーション／iチャネル

つづく

お知らせ

- ファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
- 以下の条件を満たす画像は、デコメ絵文字として保存されます。
  ･GIFまたはJPEGの画像
  ･20ドット×20ドットの画像
  ･ファイル制限なしの画像
  ･6Kバイト以下の画像
- 以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
  ･透過GIF(アニメーションGIFを除く)
  ･拡張子が「ifm」
  ･待受(480×854)以下の画像
  待受(480×854)、VGA(640×480)
  CIF(352×288)、QVGA(240×320)、
  QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の画像はフレーム、それ以外はスタンプとなります。
- ｉモードでは1件あたり100Kバイトまで、フルブラウザでは1件あたり500Kバイトまでの画像を保存できます。
- フルブラウザの場合、画像によっては保存できない場合があります。また、BMP形式、PNG形式の画像はmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

メロディダウンロード

サイトからメロディをダウンロードして、着信音などに設定できます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

1 メロディダウンロードが可能なサイトを表示▶メロディを選択▶保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

- メロディ再生中の操作についてはP.290参照。
- 「情報表示」を選択するとメロディの情報が表示されます。(P.291参照)
- 保存しているメロディがいっぱいのときはP.162参照。
- 画面メモを保存したいときはP.158参照。

取得完了画面

2 着信音に設定するには「YES」を選択▶着信の種類を選択

お知らせ

- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは「メロディ効果」の「再生位置選択」の設定に従って再生されます。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- ファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「melodyXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- タイトルが付けられていないメロディは取得完了画面や一覧では「無題」と表示されます。
- 1件あたり100Kバイトまでのメロディを保存できます。

PDFデータダウンロード

サイトからPDFデータをダウンロードして表示します。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

1 PDFデータダウンロードが可能なサイトを表示▶PDFデータを選択

- すべてのページをダウンロードしないと表示されないPDFデータの場合、すべてダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して保存したいフォルダを選択します。
- すべてのページをダウンロードしていない場合は、「残り全てを取得」で残りページを追加でダウンロードできます。
- 表示しているPDFデータをFOMA端末に保存するにはP.310をご覧ください。ダウンロードできていないページがあるPDFデータやダウンロードが途中で中断されたPDFデータなども保存できます。
- PDFデータによっては表示する際にパスワードの入力画面が表示される場合があります。パスワードを入力して「OK」を選択します。
- PDFデータ表示中の操作についてはP.307参照。

お知らせ

- ｉモードでサイトからダウンロードできるPDFデータの最大データサイズは2Mバイトまでです。2Mバイトを超えるデータはダウンロードできません。
- ダウンロードに失敗したPDFデータは再ダウンロードすると表示できる場合があります。

きせかえツールダウンロード

サイトから着信音や待受画面、アイコンなどを一括で変更できるきせかえツールをダウンロードします。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

●お買い上げ時に登録されているきせかえツールは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.163参照)

1 きせかえツールダウンロードが可能なサイトを表示▶きせかえツールを選択▶保存▶YES▶本体･microSD

取得完了画面

●FOMA端末に保存した場合、きせかえツールを一括で設定するかどうかの確認画面が表示されます。
●「情報表示」を選択するときせかえツールの情報が表示されます。(P.292参照)
●保存しているきせかえツールがいっぱいのときはP.162参照。
●画面メモを保存したいときはP.158参照。

■きせかえツールのダウンロードが中断したときは
✉(中止)を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると取得完了画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「本体」か「microSD」を選択して保存します。
部分保存した残りのデータは「データBOX」の「きせかえツール」から再ダウンロードできます。

お知らせ

●1件あたり2078Kバイトまでのきせかえツールを保存できます。

トルカダウンロード

サイトからトルカをダウンロードします。容量は他のデータと共通で、合わせて最大495件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

1 トルカダウンロードが可能なサイトを表示▶トルカを選択▶保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

取得完了画面

●「表示」を選択すると、トルカのプレビューが表示されます。プレビュー表示中に●(保存)を押しても保存できます。
●保存しているトルカがいっぱいのときはP.162参照。
●i∝(機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.158参照)

テンプレートダウンロード

サイトからデコメール用のテンプレートをダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて最大100件まで保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。

●お買い上げ時に登録されているテンプレートは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.163参照)

1 テンプレートダウンロードが可能なサイトを表示▶テンプレートを選択▶保存▶YES

取得完了画面

●「情報表示」を選択するとテンプレートの情報が表示されます。(P.179参照)
●保存したテンプレートの確認方法についてはP.178参照。
●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.162参照。
●画面メモを保存したいときはP.158参照。

お知らせ

●テンプレートにデコレーションが1つもない場合は保存できません。
●テンプレートにファイルが添付されている場合は、添付ファイルは削除されます。
●FOMA端末外への出力が禁止されている画像が挿入されていた場合、挿入画像は保存時に削除されます。ただし、挿入画像が削除されたことによりデコレーションが1つもなくなった場合、テンプレートは保存できません。
●ダウンロードしたテンプレートのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
●1件あたり200Kバイトまでのテンプレートをダウンロードできますが、メール本文が全角5000文字、半角10000文字を超えている場合や、挿入画像の合計サイズが90Kバイトを超えている場合は保存できません。

辞書ダウンロード

サイトから辞書をダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて10件まで保存できます。

- お買い上げ時に登録されている辞書は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.163参照)

1 辞書ダウンロードが可能なサイトを表示▶辞書を選択▶保存▶YES

- 「情報表示」を選択すると、辞書の情報が表示されます。(P.362参照)
- 画面メモを保存したいときはP.158参照。

取得完了画面

2 <未登録>▶辞書ファイルに設定するには「YES」を選択

- ダウンロードした辞書の操作方法についてはP.361参照。

お知らせ

- 1件あたり20Kバイトまでの辞書を保存できます。
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードします。お買い上げ時のものを含めて3件まで保存できます。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.163参照)

1 キャラ電ダウンロードが可能なサイトを表示▶キャラ電を選択▶保存▶YES

- 「情報表示」を選択するとキャラ電の情報が表示されます。(P.288参照)
- 保存しているキャラ電がいっぱいのときはP.162参照。
- 画面メモを保存したいときはP.158参照。

取得完了画面

お知らせ

- 1件あたり100Kバイトまでのキャラ電を保存できます。

ｉモードで探す

サイトから好みのデータを探してダウンロードします。保存できる件数はそれぞれダウンロードするデータによって異なります。サイトの変更はできません。

1 各種選択画面▶ｉモードで探す▶YES▶データを選択

- ダウンロードの方法はデータによって異なります。

お知らせ

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■保存しているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存している場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 本操作は以下のデータを保存するときに行います。
  - ·画像　·ｉモーション　·メロディ　·キャラ電
  - ·番組　·着うたフル®　·PDFデータ　·ｉアプリ
  - ·トルカ　·テンプレート　·画面メモ
  - ·きせかえツール

1. YES▶削除したいデータにチェック▶[メール]([完了])▶YES

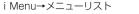
キャラ電、テンプレート、画面メモ以外のデータは同じ保存領域に保存されているため、データを削除する際に、別のデータを選択できます。フォルダを選択して削除したいデータにチェックを付けます。チェックの付いたデータがあるフォルダには「＊」が表示されます。不足している容量分にチェックを付けると「[完了]」が表示されます。

- [iα]([機能])を押して「ページ内全選択／ページ内選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
- [電話]または[iα]([容量])を押すか、[iα]([機能])を押して「表示モード切替」を選択するごとに、フォルダ容量やデータ容量の表示／非表示が切り替わります。
- 「ミュージック」内のファイルを選択する場合、[メール]([フォルダ])を押して下の階層のフォルダを表示できます。
- [CLR]を押すごとに上の階層に戻ります。
- 番組の場合、1番組分のデータ量が多いため、他のデータを削除する場合は多くのデータを削除する必要があります。
- 番組で「番組移動」を行ったときや、ｉアプリ·トルカを保存したときに、最大保存件数まで保存されていた場合は、同じ種類のデータを1件以上削除する必要があります。
- 画面メモの場合、セキュリティ設定しているフォルダがあると、セキュリティ設定中のフォルダ内の画面メモも選択できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、端末暗証番号の入力が必要です。
- 他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いています。
- メール連動型ｉアプリの削除についてはP.214参照。
- microSDメモリーカード内のｉアプリをFOMA端末に移動する際に、本操作を行う場合、ICカード内にデータがあるｉアプリは削除できません。

■「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているきせかえツール、テンプレート、辞書、キャラ電は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。

サイト接続用QRコード

ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など)を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、ワンセグの起動や視聴予約・録画予約を登録したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、Media To、住所リンク機能が使用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To 機能を利用できる場合もあります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、Mail To機能は利用できません。

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択 ▶発信方法を選択

- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 発信

- 国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.58参照)
- 発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.47手順2参照)

お知らせ

- ヨコオープンスタイルの場合は発信できません。

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択

宛先にはメールアドレスなどがすでに入力されています。

P.172手順3へ進みます。

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報から、ｉモードまたはフルブラウザを使って、インターネットホームページに接続します。

1 URLなどの情報を選択 ▶ｉモード・フルブラウザ▶YES

- URLなどの情報が、それぞれｉモード、フルブラウザの情報を含んでいる場合は、情報に対応した機能で接続します。
- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は[✉]([中止])を押します。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からｉアプリを起動します。

1 ｉアプリの情報を選択▶YES

ｉアプリが起動します。

お知らせ

- ｉモードメール本文にｉアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとｉアプリを起動させるリンクは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時もｉアプリを起動させるリンクは引用できません。

Media To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている情報(リンク)からワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行います。

1 ワンセグの情報を選択▶YES

ワンセグや視聴予約・録画予約が起動します。

- 予約機能が起動したときは[✉]([完了])を押して視聴予約・録画予約を登録します。
  予約したい内容を変更する場合はP.253「視聴予約」手順1、P.253「録画予約」手順1へ進みます。

お知らせ

- 反転表示されていてもMedia To 機能が利用できない場合があります。

住所リンク機能

サイトなどの中に表示されている住所などから地図を表示したり、GPS対応ｉアプリで位置情報を利用したりできます。また、位置情報をｉモードメールで送信することもできます。

1 住所などの位置情報を選択▶項目を選択

対応ｉアプリを利用 . . GPS対応ｉアプリを選択して起動します。

地図を見る . . . . 地図サイトに接続して地図を表示します。

メール貼り付け . . . . . . 位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。

位置情報確認. . . . . 選択した位置情報の内容を表示します。

＜ｉモード設定＞

ｉモードの設定を行う

1 [iα]▶ｉモード設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定	サイトや画面メモを表示している画面で[O]を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶行数を選択
文字サイズ設定	P.115参照
画像表示設定	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶表示する・表示しない
接続待ち時間設定	P.164参照
接続先選択	P.165参照
ｉモーション自動再生設定	P.169参照
端末情報データ利用設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。 ▶利用する・利用しない
効果音設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶効果音ON・効果音OFF
ドキュメント表示設定	P.310参照
ｉモード通信中着信設定	P.82参照
ｉモード設定確認	「ｉモード設定」の各設定内容を確認します。
ラストURL初期化	P.155参照

お知らせ

＜画像表示設定＞
- ●「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「[×]」が表示されます。
- ●「表示しない」に設定すると、「[画像]」で表示され、データの受信を行いません。
- ●本機能の設定を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。

＜端末情報データ利用設定＞
- ●利用できる情報は以下のとおりです。
  - ･「時計設定」で設定した日付時刻
  - ･電波の受信レベル
  - ･電池残量
  - ･「着信音量」の「電話」で設定した音量
  - ･「バイリンガル」で設定した言語
  - ･FOMA端末の機種や製造番号

＜効果音設定＞
- ●「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

＜接続待ち時間設定＞

接続待ち時間を設定する

サイトを取得するまでしばらく時間がかかることがあります。取得を中止するまでの時間を設定します。「無制限」に設定すると、自動的には中止しません。

1 [iα]▶ｉモード設定▶接続待ち時間設定▶待ち時間を選択

お知らせ

- ●「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

<接続先選択>

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先(APN)の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 ▶ｉモード設定▶接続先選択▶<未登録>を選んで(編集)▶端末暗証番号を入力

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するには(機能)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。
接続先アドレス2	▶接続先アドレス2を入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。

3 (完了)を押す

お知らせ
- 接続先をｉモード以外に設定した場合、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルは適用されません。

<SSL証明書操作>

SSL証明書を操作する

1 ▶証明書操作▶証明書▶証明書を選んで(機能)▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●(機能)を押す代わりに(選択)を押しても証明書を確認できます。
有効／無効設定	無効に設定され、「」が「」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

■SSL通信で使用する証明書について

証明書
. . .認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書
. . .FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色／白色)内に保存されています。

ユーザ証明書
. . .ｉモードメニューから「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色／白色)内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

- FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPass対応サイトはフルブラウザでもご利用になれます。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- 海外ではご利用になれません。

つづく

■クライアント認証について
●FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
●クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには付属のCD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照してください。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

1 iα▶証明書操作▶ユーザ証明書操作▶次へ

FirstPassセンターのサイト画面

お知らせ
●FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
●FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面
▶証明書発行▶実行

●更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
●ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択し、手順3へ進みます。

2 PIN2コードを入力

●PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
●PIN2コードについてはP.118参照。

3 ダウンロード▶実行
●すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSLページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ
●ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 FirstPass対応サイトを表示
▶項目を選択▶YES

2 PIN2コードを入力
●PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
●PIN2コードについてはP.118参照。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフルに含まれます。

ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 **FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES▶PIN2コードを入力**

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.118参照。

2 **実行▶次へ▶実行**

FirstPass
失効を実施してよろしいですか?(実行後は処理を中断することは出来ません。)
実行/メニュー

お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合はP.165参照。

＜証明書センター接続設定＞

証明書発行接続先を変更する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 **[iα]▶証明書操作▶証明書センター接続設定▶＜未登録＞を選んで[✉](編集)**

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するには[iα](機能)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 **端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う**

項目	操作･補足
初期画面URL	▶初期画面URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。

3 **[✉](完了)を押す**

■FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用下さい。

ｉモーションとは

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。
ｉモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したｉモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。
1件あたり10Mバイトまで取得できます。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
スタンダード（標準）タイプ（保存可）	データ取得後の再生	ｉモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中の再生	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中の再生	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。

＜ｉモーション取得＞

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得して再生する

1 ｉモーション取得可能なサイトでｉモーションを選択▶再生

再生中の操作についてはP.281参照。

- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。
- 「ｉモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取得したあと自動的にｉモーションが再生されます。
- 「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます（P.282参照）
- 画面メモを保存したいときはP.158参照。

データ取得完了
Completed
ドコモのムービー
再生
保存
情報表示
戻る

取得完了画面

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のｉモーションは取得できません。

お知らせ

- 再生できるｉモーションのファイル形式についてはP.281参照。
- スタンダード（標準）タイプの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- 「ｉモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生回数･再生期間･再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕘」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションは再生できません。再生制限を確認するには「ｉモーション情報」参照。
- ｉモーションの「ｉモーション情報」や再生期限を通知する画面の期限情報は、「サマータイム」が「OFF」の日時で表示されます。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。スタンダード（標準）タイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションをFOMA端末に保存し、着信音や待受画面、ウェイクアップ画面に設定できます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大約101.6Mバイト保存できます。（P.443参照）

1 取得完了画面▶保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

- 保存しているｉモーションがいっぱいのときはP.162参照。

2 ｉモーション貼付するには「YES」を選択

P.282「ｉモーション貼付」へ進みます。

■ｉモーションのダウンロードが中断したときは

(中止)を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると、部分保存可能なｉモーションの場合は取得完了画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ｉモーション」内の任意のフォルダを選択して保存します。
部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

- 部分保存したｉモーションのファイル名は「movie」となります。
- 部分保存したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際、部分保存されていたデータを削除できます。

お知らせ

- ｉモーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- 部分保存したｉモーションをデータBOXから再生することはできません。

<ｉモーション自動再生設定>

ｉモーションの自動再生を設定する

サイトからスタンダード(標準)タイプのｉモーションを取得した場合や、スタンダード(標準)タイプのｉモーションが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ▶ｉモード設定
▶ｉモーション自動再生設定
▶自動再生する・自動再生しない

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されますので、ご注意ください。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP(情報サービス提供者)がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧画面に表示されます。(P.170参照)
さらに、チャネル一覧画面でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用できます。「ベーシックチャネル」に関しては配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP(情報サービス提供者)が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧画面から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約が必要です。)
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、を押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、を押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
- ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります(国内の無料通話適用外)。
- ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが「OFF」に設定されます
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは「ON」に設定されたままになります。

iチャネルを使う

「テロップ表示設定」を「ON」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 Oを押す

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。

●情報を受信中は「」が点滅します。

チャネル一覧画面

2 項目（リンク先）を選択

お知らせ

●情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも点灯／点滅しません。

●以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、Oを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
・FOMAカードを差し替えた場合
・「接続先選択」を変更した場合
・「iチャネル初期化」を行った場合
・「設定リセット」を行った場合
・「端末初期化」を行った場合
ただし、「接続先選択」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、Oを押してチャネル一覧画面を表示してください。

●「接続先選択」を変更した場合は、iチャネルの接続先も変更されます。（通常は、設定を変更する必要はありません。）

●利用している状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。

＜テロップ表示設定＞

テロップの表示を設定する

1 iα▶iチャネル▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
チャネル一覧	チャネル一覧画面を表示します。 P.170手順2へ進みます。
テロップ表示設定	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
テロップ速度設定	テロップが流れる速度を設定します。 ▶速度を選択
iチャネル初期化	テロップ情報を初期化し、「テロップ表示設定」を「ON」、プライベートウィンドウの「iチャネルテロップ表示」を「OFF」に設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●「テロップ表示設定」「テロップ速度設定」「iチャネル初期化」は2in1の各モードごとに設定や初期化ができます。ただし、iチャネルの情報は全モード共通で初期化されます。また、2in1が「OFF」のときはAモード中の設定と共通になります。

＜テロップ表示設定＞

●公共モード（ドライブモード）中、オールロック中は、テロップは表示されません。

＜iチャネル初期化＞

●初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、Oを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

メール

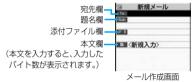
ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付できます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色･大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

● ｉモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

<ｉモードメール作成>

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
送信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。
デコメールを作成するにはP.175を参照してください。

1 ▶ ( )

メール作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧 . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
受信アドレス一覧 . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
メールグループ . . . . メールグループを選択します。
直接入力 . . . . メールアドレスや電話番号を入力します。

●半角50文字まで入力できます。
●送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
●複数の宛先に送信する場合はP.173参照。
●追加した宛先を削除する場合はP.173参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

●全角100文字/半角200文字まで入力できます。

4 添付ファイル欄を選択▶項目を選択

●添付ファイルの選択方法についてはP.179参照。

5 本文欄を選択▶本文を入力

メール本文入力画面

●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
●冒頭文／署名を貼り付けるときはP.174参照。
●(☎)を1秒以上押すと、デコメピクチャを選択できます。

6 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

●送信を途中で中止する場合は、●(中止)または(CLR)(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

7 OK

お知らせ

●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
●絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または＝に変換されることがあります。
●FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
●送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、ｉモードメールを作成できません。
送信メールの保護を解除するか、保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
●電話番号入力中などの機能メニューから「ｉモードメール作成」を選択した場合、電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
●宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- ●宛先に「,(カンマ)」が入力されている場合は送信できません。
- ●宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。
- ●入力した宛先がシークレットコードを設定して電話帳に登録している場合、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは電話帳にシークレットコードを登録していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- ●シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- ●受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- ●movaサービスのｉモード端末へは、本文は全角2000文字まで送信できます。
- ●改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。
- ●デコメ絵文字を入力するとデコメールになります。
- ●2in1のモードがBモードの場合は、ｉモードメール作成はできません。

メール作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	メールを送信します。 P.172手順7へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。 ●✉(送信)を押すとメールを送信できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。
宛先操作(宛先追加)	宛先を追加すると、同じ内容のｉモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。 **▶宛先追加▶項目を選択** **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **直接入力** . . . メールアドレスや電話番号を入力します。 ●続けて追加する場合は<未入力>を選択し、上記の手順を繰り返します。 ●iα(機能)を押して「宛先削除」を選択すると、選択している宛先を削除できます。「YES」を選択します。 ●iα(機能)を押して「宛先タイプ変更」を選択すると、メールのタイプを変更できます。(P.173参照) ●メール作成画面で入力済みの宛先を選択すると、宛先の一覧が表示されます。 **▶✉(完了)**
宛先操作(宛先削除)	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 **▶宛先削除▶YES**
宛先操作(宛先タイプ変更)	**▶宛先タイプ変更▶宛先のタイプを選択** To . . . .直接の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※ Cc . . . .直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※ Bcc . . .他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。 ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
添付ファイル操作(カメラ起動)	画像やｉモーションを撮影して添付します。 **▶カメラ起動▶撮影モードを選択** ●撮影方法についてはP.139、P.141参照。

つづく

機能メニュー	操作・補足
添付ファイル操作(添付ファイル追加)	P.179参照
添付ファイル操作(添付ファイル削除)	P.180参照
テンプレート(テンプレート読込み)	テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。 ▶テンプレート読込み ●すでに本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶テンプレートを選択 テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に✉(デモ)を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメールの作成についてはP.175参照。
テンプレート(テンプレート保存)	作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶テンプレート保存▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.162参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.178参照。
冒頭文/署名貼付	冒頭文/署名をｉモードメールの本文の先頭/最後に貼り付けます。 ▶冒頭文貼付・署名貼付 ●あらかじめ冒頭文/署名を登録しておく必要があります。(P.199参照)

お知らせ

<宛先操作>

●「To」、「Cc」、「Bcc」合わせてすでに宛先が5件入力されているときや、宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加できません。

●宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。

<テンプレート(テンプレート保存)>

●作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

お知らせ

<冒頭文/署名貼付>

●冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。

●本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

メール本文入力画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デコレーション	P.176参照
テンプレート(テンプレート読込み)	P.174参照
テンプレート(テンプレート保存)	P.174参照
全角切替・半角切替	P.358参照
コピー	P.360参照
切り取り	P.360参照
貼り付け	P.361参照
元に戻す(UNDO)	文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。2回まで戻せます。 ●MENU(UNDO)を押しても戻せます。
絵文字/記号入力(絵文字入力)	P.358参照
絵文字/記号入力(記号入力)	P.358参照
絵文字/記号入力(スペース入力)	P.358参照
定型文/区点/引用(定型文入力)	P.358参照
定型文/区点/引用(区点入力)	P.359参照
定型文/区点/引用(日付/時刻入力)	P.359参照
定型文/区点/引用(電話帳引用)	P.359参照

機能メニュー	操作・補足
定型文／区点／引用（個人データ引用）	P.359参照
定型文／区点／引用（現在地貼付）	GPS機能を利用して現在地情報を取得し、位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 **▶位置情報貼り付け▶現在地貼付▶◎(確定)▶YES**
定型文／区点／引用（位置履歴より参照）	GPS機能の位置履歴に残っている位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 **▶位置情報貼り付け▶位置履歴より参照▶位置履歴を選択▶YES**
定型文／区点／引用（電話帳より参照）	電話帳に登録している位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 **▶位置情報貼り付け▶電話帳より参照▶電話帳を選択▶◎(選択)▶YES**
定型文／区点／引用（バーコードリーダー）	P.146参照
文字入力／辞書設定（ユーザ辞書）	P.361参照
文字入力／辞書設定（学習履歴）	P.361参照
文字入力／辞書設定（入力モード切替）	P.359参照
文字入力／辞書設定（候補表示サイズ）	P.359参照
文字入力／辞書設定（予測機能）	P.358参照
文字入力／辞書設定（関係候補表示）	P.359参照
文字入力／辞書設定（文字確定時間）	P.359参照
文字入力／辞書設定（2タッチ／ニコタッチガイダンス）	P.359参照

機能メニュー	操作・補足
ヘルプ	P.359参照
JUMP	P.359参照
プレビュー	送信する前に本文の内容を確認します。 ●[P]を押してもプレビューを表示できます。

お知らせ

<元に戻す(UNDO)>
- 「元に戻す(UNDO)」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す(UNDO)」の取り消しはできません。
- メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す(UNDO)」でひとつ前の状態には戻せません。(「プレビュー」でプレビューを表示後の場合は戻せます。)

<定型文／区点／引用>
- 位置情報貼り付けは半角512文字まで貼り付けでき、貼り付けたURLはメール本文の文字数としてカウントされます。
- 位置情報貼り付けで貼り付けたURLの前には「♪」が挿入されます。ただし、編集時に削除できます。

デコメールを作成して送信する

ｉモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート(ひな形)を使用して作成できます。(P.178参照)

本文入力中

プレビュー表示中

1 P.172の手順1～手順3の操作を行う

メール

つづく

2 本文欄を選択▶パレットを使って本文をデコレーションする

●パレットの使いかたについてはP.176参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

(📞)▶デコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶(📞)▶(範囲選択)

P.177「範囲選択」へ進みます。

●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。(デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。)

●メール本文をデコレーションすると、「」が表示されます。

●(P)を押すと、本文のプレビューを表示できます。(iα)(閉)を押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。

3 (●)(確定)を押す

メール作成画面が表示されます。
P.172手順6へ進みます。

お知らせ

●デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、(CLR)を1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。

●受信したデコメールを引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。

●メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。

●送信先のｉモード端末によっては、10000バイトを超えるデコメールを送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。

●パソコンなどとデコメール送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。

●テロップ・スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーションについて

パレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。

1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

●文字位置･テロップ･スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。

●ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。

●画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置･テロップ･スウィングで指定している状態で挿入されます。

●デコメ絵文字は「画像挿入」で入力できますが、機能メニューの「絵文字入力」からも入力できます。

■パレットの使いかた

メール本文入力画面で(📞)を押すとパレットが表示されます。

●デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
押された状態のアイコンを選んで(●)(選択)を押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
範囲選択中は(CLR)を押しても範囲選択を解除できます。

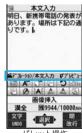
●(iα)(閉)を押すと、パレットが閉じます。パレット操作中に(CLR)を押しても、パレットが閉じます。

操作を切り替える

(📞)を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。

●文字を入力後は「本文入力操作」になります。
続けてパレットを操作する場合は、(📞)を押してから操作します。

パレット操作

メール

■デコレーションの操作方法

機能	操作・補足
(画像挿入／文字スタンプ作成)	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 **▶ ▶動く文字スタンプを選択▶文字を入力** ●動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、CLRを押します。
(画像挿入／マイピクチャ)	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 **▶ ▶フォルダを選択▶画像を選択** ●メール本文入力画面で を1秒以上押すと、デコメピクチャを選択できます。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、CLRを押します。
(画像挿入／カメラ)	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 **▶ ▶静止画を撮影** ●カメラの画像サイズはSub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)、QVGA(240×320)、CIF(352×288)です。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、CLRを押します。 ●撮影方法についてはP.139「静止画を撮影する」手順2、手順3参照。
(文字色)	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 **▶色を選択▶文字を入力** ●文字色を変更中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(背景色)	メール本文の背景色を変更します。 **▶色を選択**
(ライン挿入)	メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、CLRを押します。
(元に戻す(UNDO))	設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。2回まで戻せます。 ●MENU(UNDO)を押しても戻せます。

機能	操作・補足
ALL CLEAR (デコレーション全解除)	すべてのデコレーションを解除します。 **▶YES** ●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。
(範囲選択)	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 **▶始点を選択** ●(全選択)を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 **▶終点を選択** 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「 選択/SELECT 」が表示されます。 **<デコレーションを設定、変更、追加する>** **▶アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 **▶** ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 **<点滅、テロップ、スウィングを解除する>** **▶点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択▶再度同じアイコンを選択**
(文字サイズ)	入力する文字のサイズを変更します。 **▶サイズを選択▶文字を入力** ●文字サイズを変更中は画面の右上に「 」「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(点滅設定)	入力する文字を点滅表示させせます。 **▶文字を入力** 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 **▶ ▶ (点滅解除)**

機能	操作・補足
(テロップ設定)	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶( )▶ (テロップ解除) 自動的に改行が挿入されます。
(スウィング設定)	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶( )▶ (スウィング解除) 自動的に改行が挿入されます。
(文字位置)	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 ▶文字位置を選択▶文字を入力 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。

お知らせ

<画像挿入>

●画像は20種類まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、操作によっては20種類以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。

●同一の画像を複数挿入した場合、挿入数は1種類として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1種類として扱われます。

<文字色>

●別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。

●絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

●デコメ絵文字の色は変更できません。

<背景色>

●冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

お知らせ

<文字サイズ>

●別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

●デコメ絵文字のサイズは変更できません。

<点滅設定>

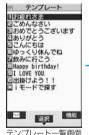
●デコメ絵文字は点滅させることはできません。

<テンプレート>

テンプレートを利用してデコメールを作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションがすでに指定されているデコメール用のひな形データです。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたり(P.161参照)、送受信したデコメールや作成中のデコメールをテンプレートとしてメールメニューの「テンプレート」に保存したりできます。(P.174、P.194参照)
保存したテンプレートはパレットで編集できます。

●お買い上げ時に保存されているテンプレートは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.163参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。

1 ( )▶テンプレート▶テンプレートを選択

テンプレート一覧画面

テンプレート詳細画面

●( )( )を押すと、テンプレートの内容でデコメールの作成になります。P.172手順2へ進みます。

●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

テンプレート一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。

メール

機能メニュー	操作・補足
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角30文字まで入力できます。
情報表示	テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。
削除 (1件削除)	▶1件削除▶YES
削除 (選択削除)	▶選択削除▶削除したいテンプレートにチェック▶(✉)(完了)▶YES
削除 (全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

テンプレート詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶(◎)(保存)▶YES・NO YES. . . 上書きして保存します。 NO . . . 別データとして保存します。 ●本文の編集方法についてはP.176手順2、手順3参照。 ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.162参照。
挿入画像保存	テンプレートやデコメールの本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶画像を選択▶YES ▶保存したいフォルダを選択 P.159手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。

お知らせ

<編集>

●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>

●デコメ絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに保存されます。

<添付ファイル>

ファイルを添付する

iモードメールにファイルやデータを添付して送信します。
以下のファイルを添付できます。

・静止画　・動画／iモーション　・メロディ
・PDF　・トルカ　・電話帳
・スケジュール　・ToDo
・Bookmark(iモード、フルブラウザ)　・Word
・Excel　・PowerPoint
・SDその他ファイル

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
●自端末で撮影した静止画や動画／iモーション、赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず添付できます。
●ファイルを添付するとメール作成画面に添付ファイル欄が1つ増えます。
●送信先のiモード端末によっては、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。
●添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。

1 メール作成画面▶添付ファイル欄を選択▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
ピクチャ	▶フォルダを選択▶画像を選択 ●添付した画像を選んで(◎)(選択)を押すと、画像を表示できます。元の画面に戻るには(CLR)を押します。
メロディ	▶フォルダを選択▶メロディを選択 ●添付したメロディを選んで(◎)(選択)を押すと、メロディを再生できます。いずれかのボタンを押すと再生は停止します。
iモーション	▶フォルダを選択▶iモーションを選択 ●添付したiモーションを選んで(◎)(選択)を押すと、iモーションを再生できます。 元の画面に戻るには再生中に(CLR)を押すか、再生を停止します。
トルカ	トルカがトルカ(詳細)の場合はトルカ(詳細)として添付されます。 ▶フォルダを選択▶トルカを選択 ●添付したトルカを選んで(◎)(選択)を押すと、プレビューが表示されます。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。

つづく↓

項目	操作・補足
PDF	▶フォルダを選択▶PDFを選択 ●添付したPDFを選んで[○](選択)を押すと、PDFを表示できます。元の画面に戻るには[CLR]を押します。
電話帳	▶検索方法を選択▶電話帳を選択▶[○](選択) ●前回、検索方法を指定している場合は、その検索方法で検索されます。
スケジュール	▶日付を選択▶スケジュールを選択▶[○](選択)
ToDo	▶ToDoを選択▶[○](選択)
Bookmark	▶ｉモード・フルブラウザ▶ブックマークを選択
ドキュメントファイル	Word、Excel、PowerPointのファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択
その他	「SDその他ファイル」に保存しているファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択

2 **P.172手順2へ進む**

お知らせ

<ピクチャ>

●movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）です。（受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合）
複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

●GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

●Flash画像も添付できます。

●受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<メロディ>

●microSDメモリーカードに保存しているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。（P.297参照）

●受信側がFOMA P905i以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。

●添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

お知らせ

<ｉモーション>

●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。

●microSDメモリーカードに保存している動画は添付できません。動画をFOMA端末にコピーしてください。（P.297参照）

●受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、動画が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。
2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
動画容量設定：メール制限（小）
画質設定：ノーマル

<トルカ>

●microSDメモリーカードに保存しているトルカは添付できません。トルカをFOMA端末にコピーしてください。（P.227参照）

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除／全削除します。

1 **メール作成画面▶[iα](機能)▶添付ファイル操作▶添付ファイル削除▶1件削除・全削除▶YES**

●1件削除の場合は削除したい添付ファイルを選んでおきます。

メール

<えチャット>

えチャットを使う

音声電話中の相手に静止画を送ります。静止画はｉモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。
えチャットを利用するには、あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを同じ電話帳に登録しておく必要があります。
相手側の機種によっては、通話中に画像を見られない場合があります。

静止画を撮影して送信する

音声電話中に静止画を撮影して送信します。

1 音声電話中▶ℹα(機能)▶えチャット撮影／送信▶フォトモード

カメラが起動します。

2 ●(撮影)を押す

静止画が撮影されます。

- 撮影画面で☎を押すと通話画面に戻ります。
- 撮影画面の操作についてはP.143参照。

3 ●(送信)▶フォルダを選択▶メールアドレスを選択

静止画が保存され、送信されます。

- ℹα(機能)を押して「保存＆メール送信」を選択しても送信できます。
- ℹα(機能)を押して「ピクチャ貼付」「ファイル制限」を設定することもできます。（P.140、P.146参照）
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。
- 「中止」を選択した場合は、画像添付メールとして保存BOXに保存されます。

お知らせ

- カメラの画像サイズは、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）です。

静止画を選択して送信する

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中▶ℹα(機能)▶えチャット撮影／送信▶マイピクチャ

2 フォルダを選択▶静止画を選択▶メールアドレスを選択

静止画が送信されます。

- QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）のファイルのみ選択できます。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。

■えチャットを受信したときは

「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で静止画が表示されます。
複数のえチャットを受信したときは◎で静止画を切り替えることができます。

- 音声電話中にℹα(機能)を押して「えチャット表示」を選択すると、受信している静止画を表示できます。
- 音声電話中にℹα(機能)を押して「ｉモード問い合わせ」を行うこともできます。（P.183参照）

お知らせ

- 次の場合、えチャットは利用できません。
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスが同じ電話帳に登録されていないとき
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスがシークレットデータとして電話帳に登録されているとき
  - ･音声電話を受けた側に、電話番号が通知されない状態（非通知設定、公衆電話、通知不可能など）のとき（ただし、電話をかけた側からは送信可能です。）
  - ･指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - ･送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護しているとき、または保存メールが20件あるときや保存BOXの容量がいっぱいのとき（送信できません。）
  - ･受信BOXが未読または保護しているメールでいっぱいのとき（受信できません。）
  - ･キャッチホン中のとき
  - ･2in1のモードがBモードのとき
- Flash画像はえチャット送信できません。
- 画像によってはえチャット送信できない場合があります。
- 送受信したえチャットは、画像添付メール（題名は電話番号）として送信BOX／受信BOXに保存されます。

＜メール自動受信＞

ｉモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的にｉモードメール･SMS･SMS送達通知が送られてきます。（ｉモードメールを選択して受信するにはP.183参照。）
メールが届くと画面の上部に「✉（白色）」が表示されます。
受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。

1 ｉモードメールを受信すると「✉（白色）」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

受信結果画面

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間に「中止」を選択するかCLRを1秒以上押します。ただし、タイミングによっては受信されます。
- 何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「メール1」（P.112参照）が表示され、元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）
  ●を押し、「メール1」を選んで●（選択）を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.30参照。

お知らせ

- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。（P.185参照）
- 受信メールの最大保存件数や最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護している受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉（黒色）」が表示されます。ｉモードメールを受信するには、「✉（黒色）」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「ｉモード問い合わせ」を行ってください。
- ｉモードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。

お知らせ

- 以下のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ･電源OFFのとき
  - ･テレビ電話中
  - ･セルフモード設定中
  - ･圏外のとき
  - ･赤外線通信中
  - ･FirstPassセンター接続中
  - ･プッシュトーク通信中
  - ･おまかせロック中
  - ･iC通信中
  - ･microSDへコピー中
  - ･お預かりセンターに接続中
  - ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
- ｉモードセンターにｉモードメールが保存されているときは「（白色）」が、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯のときは「（黒色）」が表示されます。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択

- ｉモードメールの詳細画面で●を1秒以上押すと、本文の文字の大きさが変わります。「拡大表示」に設定すると、フォルダ一覧画面とメール一覧画面の文字サイズも大きくなります。

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

メール

<メール選択受信>

iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
なお、「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。メールがiモードセンターに届くと「」が表示されます。

メール選択受信設定

iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 **▶メール設定▶メール選択受信設定▶ON・OFF**

メールを選択受信する

1 **▶メール選択受信▶「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」の手順に従って操作**

- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。
  (選択)を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
- 「▶iMenu▶メニューリスト▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「iモード問い合わせ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してください。(P.199参照)
- メール選択受信画面を表示した場合、「」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

<iモード問い合わせ>

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

iモードセンターに届いたiモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、iモードセンターに保管されます。
「(白色)」が表示された場合は、iモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 **を1秒以上押す**

「(白色)」と「(白色)・(白色)」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、iモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 受信を途中で中止する場合は、CLRを1秒以上押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「(黒色)」「(黒色)・(黒色)」「(黒色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「(白色)」や、iモードセンターのiモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「(黒色)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「iモード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

＜返信＞＜引用返信＞

受信したｉモードメールに返信する

送信元に返信します。「引用返信」では、受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。SMSは引用返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶i𝛼(機能)▶返信／転送▶返信・引用返信

●✉(返信)を押しても返信できます。
●自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
●引用符(P.199参照)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。

2 題名、本文を入力して送信する

ｉモードメールを選択していた場合はP.172手順3へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。
送信すると「✉」が「↩」に変わります。

お知らせ

●返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「Fm」が表示されます。
●返信または引用返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)
●ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.188参照。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

＜転送＞

受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶i𝛼(機能)▶返信／転送▶転送

●受信メール一覧画面表示中は、MENU(転送)を押しても転送できます。

2 宛先を入力して送信する

ｉモードメールを選択していた場合はP.172手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.206手順2へ進みます。
送信すると「✉」が「↪」に変わります。

お知らせ

●転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。)
●取得されていないファイルがあるｉモードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
●ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.188参照。
●FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。
●microSDメモリーカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。
●2in1のモードがデュアルモード中にBナンバー／Bアドレス宛のメール・SMSを「転送」した場合は、Aモードに切り替えても送信BOXまたは保存BOXに送信メールが残ります。

ファイルが添付または貼り付けられたｉモードメールを受信したときは

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、100Kバイトを超えるファイルは添付ファイルの情報だけが受信されますので、改めてｉモードセンターから取得する必要があります。
FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

・静止画	・動画／ｉモーション	・メロディ
・PDF	・PC動画	・トルカ
・電話帳	・スケジュール	・ToDo
・Bookmark(ｉモード、フルブラウザ)		・Word
・Excel	・PowerPoint	

上記以外のファイルはFOMA端末で再生・表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはｉモードメールで転送できます。
「添付ファイル優先受信」で受信するファイルを選択できます。

●複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

メール

選択受信添付ファイルを取得する

ｉモードセンターに保管されている選択受信添付ファイルを取得します。

1 受信メール詳細画面
▶取得前の添付ファイルを選択

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。

お知らせ
- ●受信BOX内の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付または貼り付けられたファイルを再生／表示する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面
▶添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。
- ●PC動画、ドキュメントファイルの場合は、再生または表示できない旨の確認画面が表示されます。microSDメモリーカードに保存してから再生／表示してください。
- ●電話帳、スケジュール･ToDo、ブックマーク、FOMA端末では対応していないファイルの場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ
- ●送信元がFOMA P905i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- ●添付ファイルの1件目が取得済みの静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。自動的に表示される静止画のサイズは5M（2592×1944）サイズまでです。
- ●画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- ●100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- ●100Kバイトを超えるFlash画像の場合は再生できません。
- ●トルカの場合1Kバイト、トルカ（詳細）の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

添付または貼り付けられたファイルを保存する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着信音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面
▶添付ファイルを選んで[iα]（機能）
▶ファイル操作▶添付ファイル保存
▶YES

- ●PC動画の場合は、「PC動画」内の「microSD」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。
- ●ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- ●FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- ●FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できないものがあります。この場合microSDメモリーカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- ●添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.160手順2へ進みます。
静止画の場合はP.159手順3へ進みます。
ｉモーションの場合はP.168手順2へ進みます。
- ●ブックマークはｉモード、フルブラウザのそれぞれの情報に従って保存されます。
- ●SDその他ファイル、PC動画、ドキュメントファイルを保存する際に、microSDメモリーカードにすでに最大保存件数まで保存されている場合や、保存容量がいっぱいの場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとデータBOX内の一覧が表示されますので、不要なファイルを選択して削除します。SDその他ファイル、PC動画、ドキュメントファイル以外のファイルがいっぱいのときはP.162参照。

お知らせ
- ●100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- ●100Kバイトを超えるFlash画像の場合、FOMA端末には保存できません。
- ●トルカの場合1Kバイト、トルカ（詳細）の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

<受信BOX><送信BOX><保存BOX>

受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

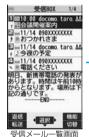
受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。
エリアメールはｉモードメール、SMSとは別に30件まで保存できます。
受信したｉモードメールやSMS、エリアメールを確認できます。

1 ✉▶受信BOX▶フォルダを選択

- メッセージR、メッセージFを表示する場合はP.201参照

受信フォルダ一覧画面

2 メールを選択

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

- 未読のメールを選択した場合は「✉（ピンク）」が「✉」に変わります。
- ◎で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。また、MENU（▲ページ）📷（▼ページ）や▼▲を押すと画面単位でスクロールします。
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。（「開封時メロディ再生設定」で変更できます。）
- Feel＊MailについてはP.110参照。

送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大1000件まで保存できます。
送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 ✉▶送信BOX▶フォルダを選択

送信フォルダ一覧画面

2 メールを選択

送信メール一覧画面

送信メール詳細画面

- ◎で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。また、MENU（▲ページ）📷（▼ページ）や▼▲を押すと画面単位でスクロールします。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。ｉモードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 ✉▶保存BOX

保存メール一覧画面

2 メールを選択

ｉモードメールを選択していた場合はP.172手順2へ進みます。SMSを選択していた場合はP.206手順2へ進みます。

お知らせ

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

■メールメニュー

アイコンには以下のマークが付くことがあります。

NEW	受信BOXに未読メール、メッセージあり
!	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
(鍵)	「メールセキュリティ設定」設定中（チャットメールにも表示されます。）

■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「NEW」、メールセキュリティを設定すると「(鍵)」が表示されます。

(アイコン)	通常のフォルダ
(アイコン)	ｉアプリメール用フォルダ
(アイコン)	メッセージR用フォルダ
(アイコン)	メッセージF用フォルダ
(アイコン)	ゴミ箱フォルダ

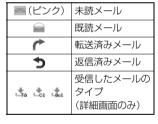
❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「(アイコン)」が表示されます。

(ピンク)	未読メール
(アイコン)	既読メール
(アイコン)	転送済みメール
(アイコン)	返信済みメール
To Cc Bcc	受信したメールのタイプ（詳細画面のみ）

受信メール一覧画面
日時＋差出人／宛先　題名の場合

受信メール一覧画面
日時＋題名の場合

受信メール詳細画面

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付・時刻はセンターから受信した日本時間が表示されます。

❸送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス

From	送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
Fm	返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
To　Cc	同報メールアドレス（詳細画面のみ）
(アイコン)	返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

メール

つづく

❹題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人／宛先　題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMS、エリアメールの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」、「エリアメール」と表示されます。）
2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bナンバー／Bアドレス宛のSMS／ｉモードメールの題名または送信元アドレスの後ろに「」が表示されます。

（青色）	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	エリアメール

❺添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<受信メール一覧画面（日時＋差出人／宛先　題名）と受信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「」が付きます。（詳細画面のみ）

	メロディデータ		ブックマークデータ
	画像データ		その他ファイルデータ
	挿入画像データ（一覧画面のみ）		取得前の添付データ（詳細画面のみ）
	ｉモーションデータ		取得途中で中断された添付データ（詳細画面のみ）
	PC動画データ		取得に失敗した添付データ（詳細画面のみ）
	トルカデータ		ｉアプリ起動情報（一覧画面のみ）
	PDFデータ		ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	ドキュメントデータ		複数のデータ（一覧画面のみ）
	電話帳データ		複数の貼付データ
	スケジュールまたはToDoデータ		FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

<受信メール一覧画面（日時＋題名）（日時＋差出人／宛先）>

	添付データ		FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
	ｉアプリメール		

❻Feel＊Mailアイコン

Feel＊MailについてはP.110参照。

❼本文

■送信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

メールセキュリティを設定すると「 」が表示されます。

	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

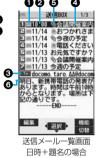
❷フォルダ名

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「 」が表示されます。

(ピンク)	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール
(グレー)	一部の宛先に送信できた同報メール
(ピンク)	すべての宛先に送信できなかった同報メール

送信メール一覧画面
日時+差出人／宛先　題名の場合

送信メール一覧画面
日時＋題名の場合

送信メール詳細画面

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。日付･時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

ToOK　CcOK　BccOK	送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
To×　Cc×　Bcc×	送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人／宛先　題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

(青色)	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済み[一覧画面（日時＋差出人／宛先　題名）と詳細画面のみ]

❺添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面（日時＋差出人／宛先　題名）と送信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「 」が付きます。（詳細画面のみ）

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ（一覧画面のみ）
	ｉモーションデータ
	PC動画データ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳データ
	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

<送信メール一覧画面（日時＋題名）（日時＋差出人／宛先）>

	添付データ
	ｉアプリメール
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

❻本文

つづく

■保存メール一覧画面

❶メールの状態

（ピンク）	通常のメール		同報メール

❷保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。日付･時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

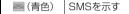
日時＋差出人／宛先　題名の場合

日時＋題名の場合

❹題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人／宛先　題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

（青色）	SMSを示す

❺添付されているデータ

＜日時＋差出人／宛先　題名の場合＞

	メロディデータ		ドキュメントデータ
	画像データ		電話帳データ
	挿入画像データ		スケジュールまたはToDoデータ
	ｉモーションデータ		ブックマークデータ
	PC動画データ		その他ファイルデータ
	トルカデータ		複数のデータ（一覧画面のみ）
	PDFデータ		FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

＜（日時＋題名）（日時＋差出人／宛先）の場合＞

	添付データ
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

❻本文

お知らせ

- 受信メール／送信メール／保存メール一覧画面の表示を変更するには、P.198「メール一覧表示設定」をご覧ください。
- 「メール一覧表示設定」で「電話帳登録名で表示」にチェックをしていると、送信元や送信先は電話帳に登録されている名前が表示されます。ただし、送信元が「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話帳のメールアドレス欄に「電話番号@docomo.ne.jp」を登録していても名前表示されません。電話番号のみを登録すると名前表示されます。
また、送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。
送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。
- 「メール一覧表示設定」で「本文表示」にチェックをしていないと、受信メール／送信メール／保存メール一覧画面に本文は表示されません。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作（フォルダ追加）	新規フォルダを追加します。受信、送信それぞれ22件までフォルダを追加できます。 ▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作（フォルダ名編集）	追加したフォルダのみ編集できます。 ▶フォルダ名編集▶フォルダ名を編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作（フォルダ並び替え）	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダのみ並べ替えできます。 ▶フォルダ並び替え ▶[O]でフォルダの順番を変更 ▶[O]（選択）
フォルダ操作（フォルダ削除）	フォルダ内のメールもシークレットメールを含めてすべて削除します。 ▶フォルダ削除▶端末暗証番号を入力 ▶YES
フォルダ内表示	メール連動型iアプリを起動することなくiアプリ用メールフォルダ内のメールを表示できます。
全件既読 [受信フォルダのみ]	フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。 ▶YES
振分け（自動振分け設定）	P.196参照
振分け（再振り分け）	「自動振分け設定」で設定した振分け条件に従ってメールを再振分けします。 ▶再振り分け▶YES ●メールセキュリティ（P.191参照）が設定されているフォルダがある場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
メールセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線／iC送信（赤外線全件送信）	P.305参照
赤外線／iC送信（iC全件送信）	P.307参照
保存件数確認	受信メール、メッセージR/F、送信メールの保存件数を表示します。
削除（既読メール全削除） [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内の既読メールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶既読メール全削除▶YES
削除（受信メール全削除） [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶受信メール全削除▶端末暗証番号を入力 ▶YES
送信メール全削除 [送信フォルダのみ]	全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<フォルダ操作（フォルダ削除）>
- 対応するメール連動型iアプリがある場合、iアプリメール用フォルダは削除できません。
  ソフトがない場合はiアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

<振分け（再振り分け）>
- 「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダのメールは再振分けされません。
- 「自動振分け設定」を設定していないメールは「受信BOX」フォルダに振分けられます。

<メールセキュリティ>
- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

受信メール一覧画面・送信メール一覧画面・保存メール一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信／転送（返信） [受信メールのみ]	P.184参照
返信／転送（引用返信） [受信メールのみ]	P.184参照
返信／転送（転送） [受信メールのみ]	P.184参照

メール

つづく

機能メニュー	操作・補足
再編集 [送信メールのみ]	送信したメールを再編集して送信します。 iモードメールを選択していた場合はP.172手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.206手順2へ進みます。
保護 **(保護/保護解除)** [受信メール・送信メール]	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メール、送信メールともに全件保護できます。(受信メール2500件、送信メール1000件) 保護すると「🔒」が表示されます。 ▶**保護/保護解除** ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で1を押しても、保護/保護解除が切り替わります。
保護 **(選択保護/保護解除)** [受信メール・送信メール]	▶**選択保護/保護解除**▶**保護したいメールにチェック/保護解除したいメールのチェックを外す**▶✉(完了) ●すでに保護されているメールにはチェックが付いています。
移動/コピー **(フォルダ移動)** [受信メール・送信メール]	▶**フォルダ移動**▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいメールにチェック** ▶✉(完了)▶YES
移動/コピー **(ゴミ箱へ捨てる)** [受信メールのみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶**ゴミ箱へ捨てる** ▶**ゴミ箱に捨てたいメールにチェック** ▶✉(完了)▶YES
移動/コピー **(FOMAカード操作)** [受信メール・送信メール]	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.346参照)
移動/コピー **(microSDへコピー)**	P.295参照
移動/コピー **(お預かりセンターに保存)**	FOMA端末内に保存されているメールをお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。 ▶**お預かりセンターに保存** ▶**端末暗証番号を入力** ▶**保存したいメールにチェック** ▶✉(完了)▶YES ●10件まで選択できます。 ●受信メール詳細画面、送信メール詳細画面表示中は、メールをチェックする操作は不要です。

機能メニュー	操作・補足
検索/並び替え **(送信元検索/宛先検索)** [受信メール・送信メール]	送信元/宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 受信メールの場合は「送信元検索」、送信メールの場合は「宛先検索」と表示されます。 ▶**メール検索**▶**送信元検索/宛先検索** ▶**項目を選択** **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **直接入力** . . .メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。
検索/並び替え **(題名検索)** [受信メール・送信メール]	題名からメールを検索します。 ▶**メール検索**▶**題名検索**▶**題名を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
検索/並び替え **(題名+本文検索)** [受信メール・送信メール]	題名・本文からメールを検索します。 ▶**メール検索**▶**題名+本文検索** ▶**題名・本文の一部を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
検索/並び替え **(ソート)** [受信メール・送信メール]	表示される順番を変更します。 ▶**ソート**▶**順番を選択**
検索/並び替え **(フィルタ)** [受信メール・送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**フィルタ**▶**種類を選択**
検索/並び替え **(全表示)** [受信メール・送信メール]	メール検索・ソート機能・フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。 ▶**全表示**

機能メニュー	操作・補足
送信＋受信メール ［受信メール・送信メール］	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。日付・時刻の新しい順に1000件まで表示します。 ▶**送信元または宛先を選択** 対象の送受信メールが表示されます。 . . . 送信メール . . . 受信メール ●履歴を選択すると受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で7を押しても、送信+受信メールを表示します。
カラーラベル ［受信メール・送信メール］	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択**
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを選択できます。「メール一覧表示設定」の設定よっては題名で表示するように設定できます。 ▶**表示する内容を選択** ●(切替)を押すごとに切り替えることができます。
赤外線／iC送信（赤外線送信）	P.305参照
赤外線／iC送信（赤外線全件送信） ［保存メールのみ］	P.305参照
赤外線／iC送信（iC送信）	P.306参照
赤外線／iC送信（iC全件送信） ［保存メールのみ］	P.307参照
保存件数確認	受信メール、送信メール、保存メールの保存件数を表示します。
削除（1件削除）	▶**1件削除**▶**YES**
削除（選択削除）	▶**選択削除**▶**削除したいメールにチェック**▶(完了)▶**YES**
削除（既読削除） ［受信メールのみ］	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶**既読削除**▶**YES**
削除（SMS送達通知全削除） ［受信メールのみ］	SMS送達通知をすべて削除します。 メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示させているときは、表示されているSMS送達通知のみ削除されます。 ▶**SMS送達通知全削除** ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
削除（フォルダ内全削除） ［受信メール・送信メール］	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶**フォルダ内全削除**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
削除（全削除） ［保存メールのみ］	保存メールをすべて削除します。 ▶**全削除**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<再編集>

●宛先に「メールグループ」を利用する場合は入力済みの宛先をすべて削除し、(完了)で宛先削除を完了してから、再び宛先欄を選択してください。

<保護>

●「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。

●送信メールが最大保存件数である状態で、送信メールを全件保護するとｉモードメールの作成ができません。

<移動／コピー(ゴミ箱へ捨てる)>

●未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。

<移動／コピー(お預かりセンターに保存)>

●FOMAカードに保存されているSMSは保存できません。

●メールに添付されたデータは保存されません。

●圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。

●電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

●お預かりセンターに保存したメールは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

<検索／並び替え>

●メール検索の題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<カラーラベル>

●microSDメモリーカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー・移動、FOMAカードからコピー・移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、カラーラベルは解除されます。

●FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

受信メール詳細画面・送信メール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信／転送（返信）［受信メールのみ］	P.184参照
返信／転送（引用返信）［受信メールのみ］	P.184参照
返信／転送（転送）［受信メールのみ］	P.184参照
再編集［送信メールのみ］	P.192参照
再送信［送信メールのみ］	送信したメールを再送信します。 ▶YES
保護／保護解除	P.192参照
移動／コピー（コピー）	▶コピー▶コピーしたい項目を選択 ●コピーの方法についてはP.360参照。 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。
移動／コピー（フォルダ移動）	▶フォルダ移動▶移動先のフォルダを選択
移動／コピー（ゴミ箱へ捨てる）［受信メールのみ］	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。 ▶ゴミ箱へ捨てる▶YES
移動／コピー（FOMAカード操作）	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.346参照）
移動／コピー（microSDへコピー）	P.295参照
移動／コピー（お預かりセンターに保存）	P.192参照
ファイル操作（添付ファイル保存）	P.185参照
ファイル操作（挿入画像保存）	P.179参照
ファイル操作（デコメ絵文字一括保存）［受信メールのみ］	メール本文中にあるデコメ絵文字を一括して保存します。20個まで保存できます。 ▶デコメ絵文字一括保存▶YES ●保存しているデコメ絵文字がいっぱいのときはP.162参照。 ●保存したデコメ絵文字の確認方法についてはP.274参照。
ファイル操作（テンプレート保存）	送受信したデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶テンプレート保存▶YES ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.162参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.178参照。
ファイル操作（プロパティ）	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶プロパティ▶画像を選択
ファイル操作（添付ファイル削除）	▶添付ファイル削除▶YES
登録（アドレス登録）	P.87参照
登録（電話帳登録）	P.87参照
登録（自動振分け登録）	送信元や題名を振分け条件に登録します。（P.196参照）
登録（デスクトップ貼付）	P.114参照
送信＋受信メール	P.193参照
カラーラベル	P.193参照
表示設定（アドレス表示切替）	送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶アドレス表示切替 ●5を押しても切り替わります。
表示設定（スクロール設定）	P.198参照
表示設定（文字サイズ設定）	P.115参照
SMS送達通知表示［送信メールのみ］	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。

機能メニュー	操作・補足
赤外線／iC送信（赤外線送信）	P.305参照
赤外線／iC送信（iC送信）	P.306参照
削除	▶YES ●O を押しても削除できます。

お知らせ

＜再送信＞

●送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

＜送信アドレス一覧＞＜受信アドレス一覧＞

送受信したメールの履歴を表示する

iモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

●2in1のモードがデュアルモードの場合は、受信アドレス一覧にはAナンバー／AアドレスとBナンバー／Bアドレスの履歴を合わせて60件まで記憶します。

1 送信アドレス一覧の場合

Oを1秒以上押す

SMS：送信に成功したSMS
MAIL：送信に成功したiモードメール
SMS：送信に失敗したSMS
MAIL：送信に失敗したiモードメール
：時差補正による時刻

送信アドレス一覧 1/2
11/15 10:00 MAIL docomo.taro.ΔΔ@docomo.
11/14 23:00 SMS 090XXXXXXXX
11/14 19:00 MAIL ドコモ太郎

送信アドレス一覧画面

●送信アドレス一覧画面でMENU（切替）を押すとリダイヤルが表示されます。発信履歴から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、MENU（切替）を押すと発信履歴が表示されます。

受信アドレス一覧の場合

Oを1秒以上押す

SMS：SMS
MAIL：iモードメール
：時差補正による時刻
：Bナンバー／Bアドレス宛のSMS／iモードメール（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

受信アドレス一覧 1/2
11/15 10:00 MAIL docomo.taro.ΔΔ@docomo.
11/14 23:00 SMS 090XXXXXXXX
11/14 19:00 MAIL ドコモ太郎

受信アドレス一覧画面

●受信アドレス一覧画面でMENU（切替）を押すと着信履歴が表示されます。

2 **表示したい履歴を選択**

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

●相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。

●表示されたアドレスにiモードメールを送るには O（✉）を押してP.172手順3へ進みます。電話番号にSMSを送るには O（✉）を押してP.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。

●電話帳に登録する場合は、MENU（登録）を押します。P.88「表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」手順2へ進みます。

送信アドレス一覧・受信アドレス一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
文字サイズ変更	一覧画面の文字サイズを切り替えます。 ●ここでの設定は、「文字サイズ設定」の「発着信履歴」と共通です。
Feel＊Mail表示［受信アドレス一覧のみ］	P.110参照
電話帳登録	P.87参照
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール作成	iモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 P.172手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.206「SMSを作成して送信する」手順3へ進みます。
電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。 ▶**発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 ▶**発信** ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択し、国際電話アクセス番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。（P.58参照） ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。（P.47手順2参照）

つづく↓

機能メニュー	操作・補足
リダイヤル表示・発信履歴表示 [送信アドレス一覧のみ]	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
着信履歴表示 [受信アドレス一覧のみ]	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<自動振分け設定>

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、ｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面▶iα(機能)▶振分け▶自動振分け設定

P.196の機能メニュー表の操作を行って自動振分けを設定します。
すでに振り分け条件を設定しているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

自動振分け登録

送受信したメールの詳細画面から振り分ける条件とフォルダを設定します。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶iα(機能)▶登録▶自動振分け登録▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
アドレス振分け	表示している送信元や宛先を振り分け条件として設定します。 **▶フォルダを選択** ●複数の宛先があるときは、アドレスを選択します。
題名振分け	表示している題名を編集して振り分け条件として設定します。 **▶題名を編集▶フォルダを選択**

■条件を変更するときは
再設定または上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

■同じ条件が他のフォルダに設定されているときは
変更するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

■「アドレス振分け」が設定されているフォルダに別のアドレスを登録するときは
追加するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ
●各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
①全件振分け
②題名振分け
③返信不可振分け・送信失敗振分け
④アドレス振分け(アドレス参照入力・直接入力)
⑤アドレス振分け(メールグループ参照)
⑥アドレス振分け(グループ参照)
●同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けされません。
●エリアメールは「アドレス振分け」では振り分けされません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け(アドレス参照入力)	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や送信・受信アドレス一覧から設定します。 **▶アドレス参照入力▶項目を選択** **電話帳** …電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** …電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
アドレス振分け(グループ参照)	フォルダに振り分けるグループを設定します。 **▶グループ参照▶グループを選択**
アドレス振分け(メールグループ参照)	フォルダに振り分けるメールグループを設定します。 **▶メールグループ参照** **▶メールグループを選択**

メール

機能メニュー	操作･補足
アドレス振分け（直接入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶**直接入力** ▶**メールアドレスや電話番号を入力** ●半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け	フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶**題名を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
返信不可振分け	返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け	送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
全件振分け	ｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶YES
アドレス／題名編集	フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集･登録します。 ▶**メールアドレス、電話番号、題名を編集**
一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶**名前表示･アドレス表示** ●[カメラ]（切替）を押しても切り替えることができます。
解除（1件解除）	振り分け条件を解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶**1件解除**▶YES
解除（選択解除）	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶**選択解除**▶**解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック** ▶[メール]（完了）▶YES
解除（全解除）	振り分け条件をすべて解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶**全解除**▶YES

お知らせ

<アドレス振分け（グループ参照）>
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- FOMAカード内のグループは設定できません。
- 通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）でシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<アドレス振分け（メールグループ参照）>
- 自動振分け設定画面では、メールグループ名の前に「[メールグループ]」が表示されます。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」や「送信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<全件振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

<メールグループ> [MENU][2][6]

メールグループを作成する

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 [MENU]▶**電話帳**▶**電話帳設定**▶**メールグループ**▶**登録したいメールグループを選択**

●メールグループにメールアドレスを登録している場合、画面左下に「[メール]」が表示されます。[メール]（[メール]）を押すと、選択しているメールグループを宛先としたｉモードメールを作成します。P.172手順3へ進みます。

メールグループ一覧画面

2 **<未登録>を選んで[メール]（編集）を押す**

●登録済みのメールアドレスを選択すると、メールグループアドレス確認画面が表示されます。

メールグループ詳細画面

3 **メールアドレスを入力**

●半角50文字まで入力できます。
手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

メールグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	メールグループ宛のｉモードメールを作成します。 P.172手順3へ進みます。
グループ名編集	▶メールグループ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	メールグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールグループ詳細画面・メールグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス編集	P.197手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<メール設定>

メールやメッセージR/Fの設定を行う

✉▶メール設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で◯を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶行数を選択
文字サイズ設定	P.115参照
メール一覧表示設定	メール一覧画面で表示したい項目をラジオボタンやチェックボックスを使って設定します。 ▶表示方法を選択▶✉(完了)
本文表示設定	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。 ▶通常表示・本文から表示
メールブラインド	メールの詳細画面やメール作成画面などの文字をグレー表示にして、周りの人から見えにくくします。(文字入力中の画面では、グレー表示にはなりません) ▶ON・OFF ●送信メールや受信メール表示中は8を1秒以上押します。
メールセキュリティ設定	P.126参照
シークレットメール表示設定	P.126参照
カラーラベル自動設定	受信メール一覧画面での送信元や受信した日付・時刻などの表示色をメールアドレスごとに指定します。10件まで登録できます。 ▶<未登録>▶項目を選択 **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **直接入力** . . . メールアドレスや電話番号を入力します。 ●設定済みのカラーを変更するには、iα(機能)を押して「カラー選択」を選択します。 ●設定済みの項目を削除するにはiα(機能)を押して「削除」→「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。 ▶カラーを選択
返信時自動学習設定	受信メールへの返信・引用返信・転送時に、メールの題名・本文にある単語を変換候補に優先して表示するかどうかを設定します。 ▶学習する・学習しない

項目	操作・補足
冒頭文／署名設定	P.199参照
ｉモード問い合わせ設定	「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をｉモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。 ▶問い合わせたい項目にチェック ▶[メール]（完了）
メッセージ自動表示設定	P.200参照
受信表示設定	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ▶通知優先・操作優先 **通知優先**．．．メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。 **操作優先**．．．メール受信時に操作中の画面を優先します。
メール選択受信設定	P.183参照
添付ファイル優先受信	ｉモードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルはｉモードセンターに保管されます。（チェックを付けていても100Kバイトを超える添付ファイルはｉモードセンターに保管されます。） ▶受信したい項目にチェック ▶[メール]（完了） ●「ツールデータ」にチェックを付けると電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマークを受信します。 ●「その他」にチェックを付けるとPC動画、ドキュメントファイル、FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
開封時メロディ再生設定	受信メールの本文を表示時またはメッセージR/F表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。 ▶自動再生する・自動再生しない
えチャット表示設定	えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかを設定します。 ▶自動表示する・自動表示しない
チャット設定	P.205参照
メール設定確認	「メール設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<本文表示設定>
- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

<メールブラインド>
- デコメールはグレー表示になりません。

<カラーラベル自動設定>
- 本機能を設定しても、すでに受信したメールの表示色は変更されません。

<ｉモード問い合わせ設定>
- メッセージRやメッセージFをｉモード問い合わせで受信したくない場合は、「□」にしてください。

<開封時メロディ再生設定>
- バックグラウンド再生中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 [メール]▶メール設定▶冒頭文／署名設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
冒頭文	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶冒頭文の欄を選択▶冒頭文を入力 ▶[メール]（完了） ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。1通ごとの冒頭文貼付についてはP.174参照。
署名	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶署名の欄を選択▶署名を入力 ▶[メール]（完了） ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。1通ごとの署名貼付についてはP.174参照。
引用符	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶引用符を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

お知らせ
- 冒頭文や署名にもデコレーションを設定できます。

つづく

お知らせ

- 「自動貼付」にチェックを付けていても、えチャット･テンプレート･iアプリからiモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

<メッセージR/F受信>

メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が通話圏内にあるときには、iモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R(白色)」や「F(白色)」が表示されます。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 メッセージR/Fを受信すると「R(白色)」または「F(白色)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。自動表示は、「メール／メッセージ鳴動」の設定が0〜10秒の場合は15秒、設定が11秒以上の場合は設定した時間に5秒足した時間行われます。
- 何も操作しないで設定時間が経過するとデスクトップに「R」「F」(P.112参照)が表示され、元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
  Ⓞを押し、「R」「F」を選んでⓄ(選択)を押すと、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.30参照。

■未読のメッセージR/Fがあるときは
iモードメニューの「メッセージR/F」に「NEW」が付きます。

お知らせ

- 待受画面以外を表示中、iアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
- 最大保存件数を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。未読または保護しているメッセージR/Fは上書きされません。

お知らせ

- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R(黒色)」または「F(黒色)」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。
- 「R(白色)」または「F(白色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「R(黒色)」または「F(黒色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「iモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
  ･電源OFFのとき
  ･テレビ電話中
  ･セルフモード設定中
  ･圏外のとき
  ･赤外線通信中
  ･FirstPassセンター接続中
  ･プッシュトーク通信中
  ･おまかせロック中
  ･iC通信中
  ･microSDへコピー中
  ･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき

メッセージ自動表示設定

待受中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ✉▶メール設定 ▶メッセージ自動表示設定 ▶自動表示の方法を選択

お知らせ

- 「受信BOX」に「メールセキュリティ設定」が設定されている場合や、「メッセージR」フォルダ、「メッセージF」フォルダにメールセキュリティが設定されている場合は、自動表示されません。

<メッセージR/F表示>

受信したメッセージR/Fを見る

1 **[✉]▶受信BOX**
▶メッセージR・メッセージF
▶表示したいメッセージR/Fを選択

メッセージR/F一覧画面

メッセージR/F詳細画面

- 「[iα]▶メッセージR/F▶メッセージR・メッセージF」の操作を行ってもメッセージR/Fを表示できます。
- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「（ピンク）」が「」に変わります。
- [◎]で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合は[◎]で画面をスクロールして確認できます。また、[MENU]（▲ページ）[📷]（▼ページ）や[▲][▼]を押すと画面単位でスクロールします。

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面について

メッセージR/F一覧画面　メッセージR/F詳細画面

❶**メッセージR/Fの状態**

保護設定すると「🔒」が表示されます。

（ピンク）	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F

❷**受信した時刻や日付**

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸**題名**

❹**添付または貼り付けられているデータ**

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

	正常なメロディデータ
	正常な画像データ
	正常なトルカデータ
	複数の添付データ
	複数の貼付データ
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

❺**本文**

電話帳に登録されている電話番号は、電話帳に登録されている名前で表示されます。

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保護（保護／保護解除）	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件（メッセージRとメッセージFそれぞれ）まで保護できます。 保護すると「🔒」が表示されます。 ▶保護／保護解除 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護（保護全解除）	▶保護全解除▶YES
検索／並び替え（ソート）	表示される順番を変更します。 ▶ソート▶順番を選択
検索／並び替え（フィルタ）	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶フィルタ▶種類を選択
検索／並び替え（全表示）	ソート機能やフィルタ機能を行ったあとに、それらを解除してすべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。 ▶全表示
保存件数確認	FOMA端末に保存しているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除（1件削除）	▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	▶選択削除▶削除したいメッセージR/Fにチェック▶[✉]（完了）▶YES
削除（既読削除）	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。 ▶既読削除▶YES
削除（フォルダ内全削除）	メッセージR/Fをすべて削除します。 ▶フォルダ内全削除 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<検索／並び替え>
- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示に戻ります。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保護／保護解除	P.201参照
ファイル操作（添付ファイル保存）	添付または貼り付けられているファイルを保存します。（P.185参照）

つづく↵

機能メニュー	操作・補足
ファイル操作（挿入画像保存）	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。（P.179参照）
ファイル操作（背景画像保存）	▶背景画像保存▶YES ▶保存したいフォルダを選択 P.159手順3へ進みます。
ファイル操作（デコメ絵文字一括保存）	本文に挿入されているデコメ絵文字をすべて保存します。（P.194参照）
電話帳登録	P.87参照
削除	▶YES

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- エリアメール受信には受信設定が必要です。
  ※エリアメール受信設定についてはP.202参照
- 下記のような場合は受信できないことがあります。
  ・通話中（音声電話中、テレビ電話中）
  ・パケット通信中（ｉモード通信中、データ通信中、プッシュトーク中）
  ・ソフトウェア更新中
- 下記のような場合は受信できません。
  ・おまかせロック中
  ・国際ローミング中
  ・セルフモード設定中

※上記のような理由により受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。「着信音量」や「鳴動時間」「バイブレータ」は「メール」の設定に従います。
緊急地震速報を受信した場合は、専用のブザー（警報音）が鳴り、バイブレータでお知らせします。「着信音量」は「レベル4」、「バイブレータ」は「メロディ連動」に固定されており、変更できません。「鳴動時間」については、「エリアメール設定」で設定できます。
受信したエリアメールは受信BOXに保存され、ｉモードメール、SMSとは別に30件まで保存されます。

1 エリアメールを受信すると「　」が点滅し、受信した旨のメッセージが表示される

- いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- エリアメールによっては、受信時に内容が表示されるものがあります。表示を消すには(●)を押すか(CLR)または(☎)を押します。
- エリアメールを表示するにはP.186参照。

エリアメール
エリアメール
を受信しました

受信結果画面

お知らせ

- 「オリジナルマナー」で以下のいずれかの音が鳴るマナー設定の場合、緊急地震速報を受信したときは、ブザーが鳴ります。
  ・メール着信音量　・電話着信音量　・アラーム音量
  ・メモ確認音　・ボタン確認音
- 「オリジナルマナー」で「バイブレータ」を「OFF」に設定していても、緊急地震速報を受信した場合は、バイブレータは振動します。
- 保存しているエリアメールが30件のときに、新しいエリアメールを受信した場合は、既読のエリアメールで古いものから上書きされます。30件すべて未読のエリアメールの場合は、古いものから上書きされます。
- 受信時に内容が表示されるかどうかについては、エリアメールの提供者側の設定によります。

<エリアメール設定>

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

1 (✉)▶エリアメール設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。 ▶免責事項をよく読む ▶利用する・利用しない
受信登録	緊急情報の他に受信したい情報のMessage IDを登録します。20件まで登録できます。 ▶<新規登録>▶端末暗証番号を入力 ▶登録名を入力▶Message IDを入力 ●登録済みのMessage IDを選んで(✉)(編集)を押して端末暗証番号を入力すると編集できます。 ●登録名は任意の名称を全角15文字/半角30文字まで入力できます。 Message IDはサービス提供者から連絡を受けた半角4文字で入力します。 ●機能メニューから「編集」を選択しても編集できます。「1件削除」を選択すると1件削除、「全削除」を選択して端末暗証番号を入力するとすべてのMessage IDを削除します。 ●「緊急情報」は編集／削除できません。
ブザー鳴動設定	ブザー（警報音）が鳴るエリアメールを受信する際にブザーを鳴らすかどうかを設定します。 ▶許容・非許容 ●「非許容」に設定した場合は、エリアメール専用の着信音が鳴ります。
ブザー鳴動時間	ブザーが鳴る時間を設定します。 ▶鳴動時間（秒）を入力 ●「01」～「30」の2桁を入力します。

<チャットメール>

チャットメールを利用する

チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。チャットメールを行うには、チャットメンバーを登録しておく必要がありますが、チャットグループを作成しておくと簡単に登録できます。

チャットメンバーを登録する

チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

1 ✉▶チャットメール▶i α(機能)▶チャットメンバー▶<未登録>▶メールアドレスを入力

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。

チャットメンバー一覧画面

お知らせ

- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.203「チャットメンバーを登録する」手順1へ進みます。
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
メンバー入れ替え(チャットグループ)	チャットグループに登録しているメンバーをチャットメンバーに登録します。 ▶チャットグループ ▶グループ一覧・メンバー一覧 **グループ一覧** . . チャットグループ単位で選択します。 **メンバー一覧** . . チャットグループに登録されている全メンバーから選択します。 ●「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択します。選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 ●「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、✉(完了)を押します。 ●すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
メンバー入れ替え(メールグループ)	メールグループに登録しているメールアドレスをチャットメンバーに登録します。 ▶メールグループ ▶メールグループを選択 ●すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ●◯でメンバーを切り替えることができます。 ●ユーザ(自分)のメールアドレスは表示されません。
削除(1件削除)	▶1件削除▶YES
削除(全削除)	▶全削除▶YES

チャットメールをやりとりする

1 ✉▶チャットメール

チャットメール画面

2 ●(選択)▶文字を入力

- 全角250文字/半角500文字まで入力できます。

メール

つづく

3 ✉(送信)を押す

チャットメールが送信されます。
送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。

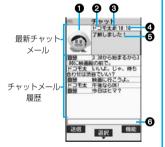
4 受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する

受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

5 CLR▶YES・NO

YES . . .既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。
NO . . . .既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。
チャットメールが終了します。
- ☎を押してもチャットメールを終了できます。
- 送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

■チャットメール画面について

❶画像
チャットグループで登録した画像が表示されます。
❷メンバー名
チャットグループに登録しているメンバー名が表示されます。また、設定している背景色で表示されます。
- チャットグループに登録していない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスを電話帳に登録しているときは、電話帳に登録している名前の先頭から全角4文字/半角8文字までが表示されます。

❸同報マーク
複数の宛先を設定しているチャットメールを受信した場合に表示されます。
(青色):すべての宛先をチャットメンバーに登録している場合
(紺色):チャットメンバーに登録していない宛先がある場合
❹送受信日時
送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。
❺本文
チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250文字/半角500文字までです。
本文が4行を超える場合は が表示され、 を押してページを切り替えることができます。
- チャットメール履歴の本文はページを切り替えることができません。
- 正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。

❻入力ボックス
入力した文字(送信する文字)の先頭から1行分を表示します。

お知らせ
- 複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。)
- 「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールは行えません。
- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールは行えません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」(半角)となります。
- チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれていても、Phone To／AV Phone To 機能・Mail To 機能・Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。
- ミュージックプレーヤーで音楽を再生中は、チャットメールのお知らせ音は鳴りません。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに「 」が表示されます。
◎を押し、「 」を選んで◎(選択)を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ
- 以下の場合に、チャットメールと認識します。
  ・送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
  ・題名に「チャットメール」(すべて全角、またはすべて半角)が含まれている場合
- チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も「 」が表示されます。

■デスクトップ･チャットグループからチャットメールを起動すると

チャットメンバーに登録していないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録しているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。

「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。

デスクトップから起動した場合

送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスをチャットグループに登録している場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先に選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

チャットグループから起動した場合

チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 ▶**送信したい宛先にチェック** ▶[メール](完了)
チャットメンバー	チャットメンバーを登録します。 (P.203参照)
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●チャットメンバーに登録していない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして[メール](完了)を押します。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをシークレットメールや送信に失敗したチャットメールも含めてすべて削除します。 ▶YES

お知らせ

<同報宛先確認>

●チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

チャット設定

1 [メール]▶**メール設定**▶**チャット設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
お知らせ音設定	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 ▶**フォルダを選択**▶**お知らせ音を選択** ●チャットメンバーに登録していないメンバーから受信したときは鳴りません。
チャットメール画像設定	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 ▶**有効･無効**
ユーザ詳細設定	ユーザ(自分)の名前、画像を設定します。 ▶**ユーザ名欄を選択**▶**ユーザ名を入力** ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶**画像欄を選択**▶**フォルダを選択** ▶**画像を選択**

<チャットグループ> MENU 2 6

チャットグループを作成する

チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。
複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは5件まで作成できます。

1 [MENU]▶**電話帳**▶**電話帳設定**▶**チャットグループ**▶**登録したいチャットグループを選択**

●チャットグループにメンバーを登録している場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。[メール](CHAT)を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.203手順2へ進みます。

チャットグループ一覧画面

2 **<未登録>を選んで[メール](編集)を押す**

●登録済みのメールアドレスを選択すると、チャットグループアドレス確認画面が表示されます。

チャットグループ詳細画面

つづく

3 メールアドレスを入力

●半角50文字まで入力できます。
●入力したメールアドレスが電話帳に登録されており、電話帳に画像が登録されているときは、画像も設定されます。
●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。

手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.203手順2へ進みます。
グループ名編集	▶チャットグループ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

チャットグループ詳細画面・チャットグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.206「チャットグループを作成する」手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。
メンバー入れ替え	メールグループに登録しているメンバーをチャットグループに登録します。 ▶メールグループ ▶メールグループを選択 ●すでにチャットグループにメンバーが登録されている場合は、すべてのメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
メンバー詳細設定	メンバーのメンバー名、画像を設定します。◎を押してメンバーを切り替えることができます。 ▶メンバー名欄を選択 ▶メンバー名を入力 ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶画像欄を選択▶フォルダを選択 ▶画像を選択
削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<SMS作成>

SMSを作成して送信する

SMSを作成して送信します。送信したSMSは、iモードメールと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。

●ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
●送信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.345参照)

1 ✉▶SMS作成

SMS作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 . . . . 電話帳を呼び出して電話番号を選択します。
送信アドレス一覧 . . . . 電話番号を選択して◎(選択)を押します。
受信アドレス一覧 . . . . 電話番号を選択して◎(選択)を押します。
直接入力 . . . . 電話番号を入力します。

宛先は1件しか指定できません。
●21桁まで入力できます。(「+」を含む)
●宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」(0を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)

3 本文欄を選択▶本文を入力

●入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護している送信メールは上書きされません。
- 送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、SMSを作成できません。
  送信メールの保護を解除するか保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」にしている場合は、movaサービスのｉモード端末へ送ることができません。
- 「＋」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」、「＃」、「＋」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文編集中に改行できません。
- 本文に特殊記号(P.414参照)を入力した場合、半角スペースに置き換えられます。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMS作成はできません。

SMS作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	SMSを送信します。 P.207手順5へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 ●✉(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	P.208参照
SMS有効期間設定	P.208参照
SMS本文入力設定	P.208参照

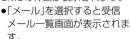
<SMS受信>

SMSを自動的に受信する

受信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大2500件まで保存できます。

- 受信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.345参照)

1 SMSを受信すると「✉(白色)」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

受信結果画面

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「メール1」(P.112参照)が表示され、元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
  ●を押し、「メール1」を選んで●(選択)を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.30参照。

お知らせ

- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(黒色)」が表示されます。SMSを受信するには、「✉(黒色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したいSMSを選択

- SMSの詳細画面で○を1秒以上押すと、本文の文字の大きさが変わります。「拡大表示」に設定すると、フォルダ一覧画面とメール一覧画面の文字サイズも大きくなります。

お知らせ

- 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。

メール

つづく

お知らせ

- 表示したSMSの送信元(電話番号)を反転表示した状態で(●)(選択)を押すと、表示されている電話番号に音声電話･テレビ電話･プッシュトーク発信できます。(Phone To/AV Phone To 機能)
また、送信元の電話番号を電話帳に登録しているときは、登録している「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

＜SMS問い合わせ＞

SMSがあるかどうかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 (✉)▶**SMS問い合わせ**

2 **戻る**

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
- 「✉(黒色)」「📱(黒色)」などが表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- 本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fは「ｉモード問い合わせ」で受信してください。

＜SMS設定＞

SMSの設定を行う

SMS送達通知設定

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。

1 (✉)▶**SMS設定**▶**SMS送達通知設定**▶**要求する･要求しない**

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS有効期間設定

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 (✉)▶**SMS設定**▶**SMS有効期間設定**▶**保存期間を選択**

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送され、SMSセンターから削除されます。
- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS本文入力設定

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 (✉)▶**SMS設定**▶**SMS本文入力設定**▶**項目を選択**

日本語入力(70文字)
. . . . .全角文字、半角文字が入力できます。「♥」「☎」(P.411参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。

半角英数入力(160文字)
. . . . .半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS center設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。
現在利用しているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 (✉)▶**SMS設定**▶**SMS center設定**▶**ユーザ設定**▶**アドレスを入力**

- 半角20文字まで入力できます。
- ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには、「リセット▶端末暗証番号を入力▶YES」の操作を行います。

2 **International･Unknown**

- 入力したアドレスに「＊」や「＃」が含まれている場合、「International」に設定できません。

＜WEBメール＞

WEBメールを利用する

ｉモードのサイト上でメールの送信や受信メールの閲覧などを行います。

- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合のみ利用できます。
- WEBメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。

1 (✉)▶**WEBメール**▶**画面の表示に従って操作**

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末がさらに便利になります。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存･画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

- iアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

<iアプリダウンロード>
サイトからiアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。容量は他のデータと共通で、最大100件登録できますが、データ量により登録件数は少なくなります。(P.444参照)

1 **iアプリダウンロードが可能なサイトを表示▶ソフトを選択**

2 **ダウンロードが完了したら「OK」を選択**

- 保存しているiアプリがいっぱいのときはP.162参照
- ダウンロード完了後にソフト設定（通信設定、待受画面設定、位置情報利用、番組表ボタン設定）の画面が表示されることがあります。設定が終われば[メール]（完了）を押します。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 **YES･NO**

YES . . . iアプリが起動します。
NO . . . .サイト画面に戻ります。

■ダウンロードが中断したときは
100Kバイト以上のiアプリをダウンロード中に[CLR]や[電話]を押してダウンロードを中断したり、電波状況などによりダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。
「NO」を選択すると途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択した場合は部分保存できます。
部分保存した残りのデータはソフト一覧画面から再ダウンロードできます。

■メール連動型iアプリをダウンロードしたときは
送信／受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成され、メール連動型iアプリのタイトルがフォルダ名になります。
- メール連動型iアプリは5件まで保存できます。
- 同じフォルダを利用するメール連動型iアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メールセキュリティ設定中はメール連動型iアプリをダウンロードできません。
- 送信／受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型iアプリはダウンロードできません。
- iアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型iアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のiアプリメール用フォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、既存のフォルダを利用します。利用しない場合は「NO」を選択すると、既存のフォルダを削除し、フォルダを新規作成するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを新規作成せずにメール連動型iアプリをダウンロードすることはできません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているiアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- iアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定（通信設定）」での設定が必要です。
- SSL対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「[SSLアイコン]」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

お知らせ

- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。（ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。）
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 1件あたり1Mバイトまでのｉアプリを保存できます。
- 「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信・保存、メール連動型ｉアプリ用として受信したメールのことです。ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

ソフト情報表示設定

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する・表示しない**

＜ｉアプリ実行＞

ｉアプリを起動する

1 **ｉα（1秒以上）▶起動したいソフトを選択**

ソフト一覧画面

- ：GPS対応ｉアプリ
- ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
- ：管理情報ｉアプリ
- ：microSDメモリーカード対応ｉアプリ
- ：縦全画面表示対応ｉアプリ
- ：横表示対応ｉアプリ（全画面非対応）
- ：横全画面表示対応ｉアプリ
- ：ｉアプリDX
- ：メール連動型ｉアプリ
- ：部分保存しているｉアプリ
- ：自動起動に設定中
- ：ｉアプリ待受画面に設定中
- ：自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
- ：ｉアプリ待受画面に設定可能
- SSL：SSLページからダウンロードしたことを表します。
- ：異なるFOMAカードでダウンロード／バージョンアップされていることを表します。

- microSDメモリーカード内のソフト一覧画面を表示するには、「MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ（microSD）▶ソフト一覧（microSD）」の操作を行います。
- FOMA端末内のソフト一覧画面で📷（切替）を押すごとに表示方法を変更します。
- ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
- 部分保存しているｉアプリを選択した場合は、残りのデータを取得できます。
- ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
- ｉアプリを終了するにはCLRを1秒以上または☎を押して「YES」を選択します。
- 最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

ICカード一覧を表示する

おサイフケータイ対応ｉアプリを一覧表示します。

1 MENU▶**おサイフケータイ▶ICカード一覧**

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

ICカード一覧画面

お知らせ

●起動するソフトが指定されていない場合はソフトを選択します。
●ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
●ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、通話中は再生されません。
●ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
●ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
●ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面として実行している場合は利用できません。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、画像サイズや画質などを設定できることがあります。
●ｉアプリからカメラを利用してQRコード、JANコードを読み取れます。読み取った結果はソフトで利用･保存されます。
●ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ｉアプリで利用する画像とは
･カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像
･ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
･サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
･ｉアプリがデータBOXから取得した画像
●メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
●ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池切れアラームが鳴ったり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「▮」のときは、☎を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。

お知らせ

●ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものもありますが、他の機種では利用できないことがあります。microSDメモリーカードを利用するソフトは「ｉアプリデータ（microSD）」で確認できます。
●ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
●ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
●IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止･再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「▯」が表示されます。この際、通信料はかかりません。
●ｉアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
トレース情報の確認方法は、P.212「トレース情報」をご覧ください。

トレース情報

ソフトに異常があった場合に、その内容を確認できます。

1 MENU▶**ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶トレース情報**

●トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
●機能メニューから「情報コピー」「情報削除」ができます。

セキュリティエラー履歴

セキュリティエラーによりｉアプリが終了した場合に、その内容を確認できます。

1 MENU▶**ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶セキュリティエラー履歴**

●機能メニューから「情報コピー」「情報削除」ができます。
●デスクトップに表示された「エラー」を選択してもセキュリティエラー履歴が表示されます。

ソフト一覧画面・ICカード一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉアプリ To設定	サイトやメールの中のリンクからｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り機にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。ソフトごとに設定できます。 ▶設定したい項目にチェック ▶[✉](完了) ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定	P.221参照
ソフト設定（待受画面設定）	P.221参照
ソフト設定（通信設定）	ｉアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 ▶通信設定 ▶通信する・通信しない・起動ごとに確認 ▶[✉](完了) ●「起動ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリを起動するたびに確認画面が表示されます。
ソフト設定（待受画面通信）	P.222参照
ソフト設定（アイコン情報）	ｉモードメール、SMS、メッセージ（R/F）、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報をｉアプリが利用するかどうかを設定します。 ▶アイコン情報▶利用する・利用しない ▶[✉](完了)
ソフト設定（着信音／画像変更）	ｉアプリが着信音・待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶着信音／画像変更 ▶許可する・許可しない・変更ごとに確認 ▶[✉](完了) ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音・待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。
ソフト設定（電話帳／履歴参照）	ｉアプリが電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶電話帳／履歴参照 ▶許可する・許可しない▶[✉](完了)
ソフト設定（トルカ参照）	ｉアプリがトルカの参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶トルカ参照▶許可する・許可しない ▶[✉](完了)
ソフト設定（位置情報利用）	ｉアプリが位置情報を利用するかどうかを設定します。ｉアプリDXのみ設定できます。 ▶位置情報利用▶利用する・利用しない ▶[✉](完了)
ソフト設定（番組表ボタン設定）	ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定します。ワンセグと連携機能があるｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶番組表ボタン設定 ▶設定する・設定しない▶[✉](完了)
ソフト情報	ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。
バージョンアップ	▶YES
デスクトップ貼付	P.114参照
削除（1件削除）	▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	▶選択削除▶削除したいソフトにチェック ▶[✉](完了)▶YES
削除（全削除）	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES
microSDへ移動	P.298参照
本体へ移動	P.298参照
省電力設定	「α省電力設定」を「設定する」にしているときに、ｉアプリごとに省電力モードを有効にするかどうかを設定します。 ▶有効にする・無効にする

お知らせ

<ソフト設定（アイコン情報）>

- ｉアプリ待受画面の「ソフト設定（アイコン情報）」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- ソフト設定（アイコン情報）が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

つづく↓

お知らせ

<バージョンアップ>
- ソフトによっては、起動時にバージョンアップできるものもあります。
- バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
  - ・メールセキュリティ設定中
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているとき

■メール連動型ｉアプリを削除するときは

ｉアプリメール用フォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

YES. . . . . .ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除します。
NO. . . . . . .ソフトのみ削除して、ｉアプリメール用フォルダは残します。
Cancel . . .ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  - ･フォルダの詳細を表示中
  - ･メールセキュリティ設定中
  - ･フォルダにセキュリティが設定されているとき
  - ･フォルダに保護メールが含まれているとき

■microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

YES. . . . . ソフト･microSDメモリーカード内のデータとも削除します。確認画面で再度「YES」を選択します。「削除」または「選択削除」を実行した場合は端末暗証番号の入力が必要になります。
NO. . . . . . ソフトのみ削除して、microSDメモリーカード内のデータは残します。
Cancel . . ソフト･microSDメモリーカード内のデータとも削除せず元の画面に戻ります。

■おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できない場合があります。
- ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「Gガイド番組表リモコン」を除き削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイト(P.163参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。
- 再ダウンロードサービス期限
  - ･「リッジレーサーズモバイル」:2011年10月末日
  - ･「ぷよぷよ～ん＆COLUMNS」:2011年10月末日
  - ･「英語辞典」:2011年10月末日
  - ･「カウントダウントレインGPS」:2010年11月末日
  - ･「しゃべって翻訳 for P」:2011年9月末日
- 再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。
- ｉアプリ用追加データダウンロードなどの期限
  - ･「リッジレーサーズモバイル」:2011年10月末日
  - ･「英語辞典」:2011年10月末日
  - ･「カウントダウントレインGPS」:2010年12月末日
  - ･「しゃべって翻訳 for P」:2011年10月末日

リッジレーサーズモバイル

あのレースゲームが携帯ゲームで登場。横全画面対応で限界ギリギリのレースが楽しめます。

1 **ソフト一覧画面 ▶リッジレーサーズモバイル**

ノーマルスタイルで起動した場合は、ヨコオープンスタイルを推奨する旨の画面が表示されます。

2 **「お知らせ」をよく読む▶はい**

- 「いいえ」を選択すると、次に起動するときには「お知らせ」は表示されません。

3 **メニューを選択**

ARCADE . . . . .全12台でレースを行います。
DUEL . . . . .別の1台と1対1でレースを行います。
SURVIVAL. . . . . . . .全4台でレースを行います。1周ごとに最下位の車が失格になります。
TIME ATTACK . . .自分の車のみでコースを走り、ベストタイムを目指します。
HELP . . . . .ゲームの操作方法の説明を表示します。
OPTIONS. . . . . .キー操作のタイプやミッションの選択、音量、バイブレータの設定、直感操作(モーショントラッキング)の設定を行います。
RECORD . . . . .過去の記録を表示します。
DOWNLOAD . . . . .一定条件をクリアするとコースや車を追加できるようになります。
INFORMATION . . .最新情報や攻略情報を掲載したサイトに接続します。
EXIT . . . . .アプリを終了します。

- メニュー画面で一定時間何も操作しなかった場合は、タイトル画面に戻ります。
- タイトル画面で一定時間何も操作しなかった場合は、デモ画面が表示されます。
- コースや車の追加データはmicroSDメモリーカードに保存されます。

■モーショントラッキングとは
インカメラの認識技術を使用してｉアプリを操作(FOMA端末を傾けたり振ったり)する方法です。
- 以下のような場合はご利用になれないことがあります。
  ･インカメラのレンズが汚れているとき
  ･着用している服が背景と似通っているとき
  ･移動中など、背景が一定していないとき
  ･暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

お知らせ
- このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損等につながる可能性があります。遊ぶ際はFOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

ぷよぷよ～ん＆COLUMNS

家庭用ゲーム機などで大ヒットしたパズルゲーム「ぷよぷよ～ん」と「コラムス」の移植作です。
また、Bluetooth対戦にも対応し、より遊びの幅を広げます。

1 **ソフト一覧画面▶ぷよ＆コラ(ぷよ)またはぷよ＆コラ(コラ)▶Oまたは5**

- ぷよぷよ～んを遊びたいときは「ぷよ＆コラ(ぷよ)」を選択します。COLUMNSを遊びたいときは「ぷよ＆コラ(コラ)」を選択します。
- ✉を押すと音量を調節できます。

2 **ゲームを選択**

ぷよぷよ～ん . . .ぷよぷよ～んが遊べます。
COLUMNS . . . .コラムスが遊べます。
オプション . . . . .アプリの音量やバイブレータのON･OFFを設定します。また、データの初期化も行えます。
終了 . . . . .アプリを終了します。

- 手順1で起動したアプリと逆のゲームを選択しても遊ぶことができます。

■ぷよぷよ～ん

1 **メニューを選択**

© SEGA

ひとりでぷよぷよ
. . .対コンピュータ戦です。全10回戦を勝利すればゲームクリアとなります。「最初から」を選択します。途中のデータがある場合は、「続きからSTAGEXX」が選択できます。
※XXはステージの数字です。

ふたりでぷよぷよ
. . .Bluetooth通信を利用して対戦できるモードです。Bluetooth対戦についてはP.216「Bluetooth対戦について」参照。

とことんぷよぷよ
. . .スコアアタックモードです。最初にぷよの大きさや難易度を選択します。難易度によってぷよの色の数が変わります。

ハイスコア
. . .とことんぷよぷよモードのハイスコアが表示されます。

BGMへんこう
. . .BGMを変更します。

ヘルプ
. . .ぷよぷよ～んの遊びかたを表示します。

つづく

■COLUMNS

1 メニューを選択

© SEGA

VS CPU
. . . 対コンピュータ戦です。全10回戦を勝利すればゲームクリアとなります。「最初から」を選択します。途中のデータがある場合は、「続きからSTAGEXX」が選択できます。
※XXはステージの数字です。

VS HUMAN
. . . Bluetooth通信を利用して対戦できるモードです。Bluetooth対戦についてはP.216「Bluetooth対戦について」参照。

エンドレス
. . . スコアアタックモードです。最初に難易度を選択します。難易度によってスタート時のレベルとスコア、および宝石の色の数が変わります。

ハイスコア
. . . エンドレスモードのハイスコアが表示されます。

BGM変更
. . . BGMを変更します。

ヘルプ
. . . コラムスの遊びかたを表示します。

■Bluetooth対戦について

ぷよぷよ～んで「ふたりでぷよぷよ」を選択したときや、コラムスで「VS HUMAN」を選択したときは、Bluetoothで対戦相手と接続するために、以下の操作を行う必要があります。

未登録の相手（初めての相手）と対戦する場合

自分側の操作（1P側）		相手側の操作（2P側）
「未登録の相手と対戦（1P側）」を選択して「YES」を選択	←	「未登録の相手と対戦（2P側）」を選択して端末暗証番号を入力
↓		
見つかった相手のFOMA端末を選択し、「YES」を選択して端末暗証番号を入力	→	接続要求を受けたら「YES」を選択
		↓
相手側と同じ任意のBluetoothパスキーを入力して「確定」を選択	←	相手側と同じ任意のBluetoothパスキーを入力して「確定」を選択
↓		
2P側がリクエスト待ちになっているのを確認して「準備完了」を選択	→	1P側から対戦リクエストを受けたら「はい」を選択

登録済みの相手と対戦する場合

自分側の操作（1P側）		相手側の操作（2P側）
「登録済の相手と対戦（1P側）」を選択	→	「登録済の相手と対戦（2P側）」を選択
		↓
相手のFOMA端末を選択	←	相手のFOMA端末を選択
↓		
2P側がリクエスト待ちになっているのを確認して「準備完了」を選択	→	1P側から対戦リクエストを受けたら「はい」を選択

お知らせ

- 機器登録されているBluetooth機器が1件もない状態で「登録済の相手と対戦（1P側）」または「登録済の相手と対戦（2P側）」を選択した場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は「未登録の相手（初めての相手）と対戦する場合」参照。
- 接続する際に、FOMA端末以外のBluetooth機器を選択した場合は接続エラーになります。
- BluetoothについてはP.348参照。

英語辞典

「英会話とっさのひとこと辞典」、「英和辞典」、「和英辞典」の3つの辞典を利用できます。「英会話とっさのひとこと辞典」の音声データ、「英和辞典」「和英辞典」の辞典データはmicroSDメモリーカードに保存されます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」の音声データ、「英和辞典」「和英辞典」の辞典データのダウンロードにはパケット通信料が発生します。音声データ、辞典データは大容量なため、パケ·ホーダイでのご利用がおすすめです。
- microSDメモリーカードにアクセス中は、ボタン操作を行わずに、そのままお待ちください。
  microSDメモリーカード内の音声データの数によって、アクセスに時間がかかることがあります。

1 ソフト一覧画面▶英語辞典▶「ご利用の前に」をよく読む▶OK

- 画面の文字サイズを設定するには「大」「中」「小」を選択します。
- 「次回からこの画面を表示しない。」にチェックを付けると、次に起動するときには「ご利用の前に」は表示されません。

2 利用したい辞書を選択

英会話とっさのひとこと辞典
. . . 英会話とっさのひとこと辞典を起動します。日常生活における様々な場面やキーワードを指定して調べます。また、調べた英会話を音声で確認したり、クイズ形式で英会話を楽しむことができます。

旺文社監修英和辞典
. . . 英和辞典を起動します。入力ボックスに調べたい英語のスペルを入力します。
英和辞典をダウンロードしていない場合は、ダウンロードする旨の確認画面が表示されます。「OK」を選択してダウンロードします。

旺文社監修和英辞典
. . . 和英辞典を起動します。入力ボックスに調べたい日本語の読みを入力します。
和英辞典をダウンロードしていない場合は、ダウンロードする旨の確認画面が表示されます。「OK」を選択してダウンロードします。

文字サイズ変更
. . . 文字サイズを変更します。文字サイズを選んで(●)を押します。

- それぞれの辞書で調べた結果をお気に入りに登録できます。(✉)(機能)を押して「お気に入り登録」を選択して登録します。

カウントダウントレインGPS

時刻表をダウンロードして、乗りたい列車の発車時刻まで分/秒単位でカウントダウン表示します。発車5～30分前を知らせるアラーム機能もついています。時刻表はメニューから更新できるため、常に最新のものをお使いいただけます。さらに、GPS機能を利用して最寄り駅を探せます。

Powered by
JRトラベルナビゲータ

- 詳しくは、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。

1 ソフト一覧画面▶カウントダウントレイン-P

2 「免責事項」をよく読む▶(iα)(次へ)▶はい

3 (✉)(メニュー)▶最寄駅検索(GPS)·駅名入力検索

最寄駅検索(GPS) . . . 現在地を測位し、周辺の駅を検索します。
駅名入力検索 . . . . 駅名を入力し、(iα)(決定)を押します。駅名はすべて入力しなくても構いません。

4 駅名を選択▶路線方面を選択▶列車を選んで(iα)(保存)▶はい

しゃべって翻訳 for P

FOMA端末に翻訳したい文章を声で話すだけで日本語を英語に、英語を日本語に翻訳してくれるアプリです。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面▶しゃべって翻訳_P

2 「しゃべって翻訳とは」と「ご利用規約」をよく読む▶同意する

- はじめてご利用される際には、「ご利用規約」に同意いただく必要があります。

つづく

3 「ご利用注意事項」をよく読む▶OK▶はい

●「いいえ」を選択すると、次に起動するときには「しゃべって翻訳とは」、「ご利用規約」、「ご利用注意事項」は表示されません。

4 はい▶OK

●初回起動時には「アプリの使い方」が表示されます。

5 メニューを選択

翻訳 . . . . 翻訳を開始します。
プロフィール編集 . . . 名前、性別、年齢を編集します。
履歴 . . . . 翻訳した履歴を表示します。
メニュー . . . . 設定の確認や変更をします。

●iαを押すと、画面表示が日本語と英語で切り替わります。

地図アプリ

GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
音声を入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

●ご利用には別途、パケット通信料がかかります。
本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめいたします。
●本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
●本ソフトはメール連動型ｉアプリのため、2in1のモードがBモード中には利用できません。
●地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
●走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
●詳しい操作については、P.233参照。

楽オク出品アプリ2

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。ガイド表示付きで、はじめて出品する方にもわかりやすく使えます。また、写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

●はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。
●楽オクの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
●楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
●楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
ｉモードサイト：
ｉMenu→楽オク-オークション-

サイト接続用QRコード

ｉアプリバンキング

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

●モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申込が必要です。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。
●ｉアプリバンキングの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
●ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
ｉモードサイト：
ｉMenu→メニューリスト
→モバイルバンキング
→ｉアプリバンキング

サイト接続用QRコード

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料は無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル･番組内容･開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動したり、ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になった番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約できます。(リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。)さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレーヤーのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります。)

- 赤外線リモコンの詳細については、P.306「赤外線リモコン機能を利用する」参照。
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時計設定を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- Gガイド番組表リモコンは削除できません。
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

■視聴予約機能について
本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約ができます。
視聴予約の方法
1.ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン
▶視聴予約したい番組を選んで(iα)(メニュー)
▶視聴予約▶予約実行▶画面に従って操作

■録画予約機能について
本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約ができます。
録画予約の方法
1.ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン
▶録画予約したい番組を選んで(iα)(メニュー)
▶#ワンセグ録画予約▶予約実行▶画面に従って操作
(録画予約したい番組を選んで(#)を押しても録画予約ができます。)

■リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約ができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。
初期設定方法
1.DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をする
(ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください)
2.ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶(iα)(メニュー)
▶リモート録画予約▶ガイダンスに従って操作
番組予約の方法
初期設定完了後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーを接続し、録画予約ができます。
- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

iD 設定アプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単･便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
ｉモードサイト:
ｉMenu→メニューリスト→「iD」

サイト接続用QRコード

DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

入会申し込み・審査※1
↓
カード情報設定
↓

使う	確認する※2 / 変更する
面倒なチャージは不要！設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。	**確認する※2** 当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！ **変更する** お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。
※2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。
※3 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については、DCMXのiモードサイトをご覧ください。
  ・iモードサイト：i Menu→DCMX iD

サイト接続用QRコード

お知らせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時には、パケット通信料がかかります。

■おサイフケータイ対応iアプリに関するご注意
ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用の注意」に同意したうえでご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

<iアプリ設定>

iアプリの設定を行う

1 MENU▶iアプリ▶iアプリ設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
自動起動設定	P.221参照
ソフト情報表示設定	P.211参照
iアプリ音優先設定	ミュージック再生中にiアプリを起動した際に、音声の出力をミュージック優先にするかiアプリ優先にするかを設定します。 ▶ミュージック優先・iアプリ優先
α照明設定	iアプリ起動中のバックライトの点灯のしかたを設定します。 ▶項目を選択 **システム依存**. . .「照明設定」に従います。 **ソフト依存**. . . . .ソフトの設定に従います。 **常時点灯**. . . . . . .常時点灯します。
α省電力設定	iアプリ起動中にFOMA端末を閉じた際に、iアプリを一時停止状態にして電池の消費を減らす省電力モードに設定します。 ▶設定する・設定しない ●iアプリを起動したときから終了するまでが有効です。 ●本機能を「設定する」にしていても、iアプリごとに設定できる「省電力設定」を「無効にする」にした場合は、省電力モードは無効になります。

項目	操作・補足
αバイブレータ	ｉアプリ起動中のバイブレータの振動のしかたを設定します。 ▶システム依存・ソフト依存 システム依存 ．．．．．「バイブレータ」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。 ソフト依存 ．．．．．ソフトの設定に従います。
ｉアプリ設定確認	「ｉアプリ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<α照明設定><αバイブレータ>

●ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しないので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶自動起動設定▶許可する・許可しない

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 ソフト一覧画面・ICカード一覧画面▶iα(機能)▶自動起動時刻設定

2 設定したい項目にチェック▶✉(完了)

時間間隔設定．．．ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。

起動時刻設定．．．設定した時刻に自動的に起動します。

3 起動時刻を選択▶設定する日付・時刻を入力

4 繰り返しなし▶繰り返しの種類を選択

●「設定なし」を選択した場合は、自動起動を繰り返しません。

●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。

5 ✉(完了)を押す

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ｉアプリから設定された自動起動は1件、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件記憶されます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶自動起動情報

起動○ ．．．． 正常に自動起動しました。

起動× ．．．． 自動起動しませんでした。「起動」が表示されている場合は、●(起動)を押してソフトを起動できます。

未起動 ．．．． まだ自動起動していません。

お知らせ

●次の場合、ソフトは自動起動しません。

・FOMA端末の電源がOFFの場合
・日付・時刻が設定されていない場合
・他の機能が起動中の場合
・オールロック中
・パーソナルデータロック中
・アニメーション、Flash画像再生中
・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合

●自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報が表示されます。

<ｉアプリ待受画面>

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定(待受画面設定)

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 ソフト一覧画面・ICカード一覧画面▶iα(機能)▶ソフト設定▶待受画面設定▶設定する・設定しない▶✉(完了)

待受画面に設定すると「」が表示されます。ｉアプリ待受画面実行中は「」や「」が表示されます。

ｉアプリ

つづく

■ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

ｉアプリ待受画面でCLRを押します。
「[icon]」や「[icon]」が「[icon]」や「[icon]」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。
- ｉアプリ待受画面に戻る場合は、CLRを1秒以上押すか、☎を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択し、「YES」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が起動中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。
- 「ソフト設定（待受画面通信）」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能などは利用できません。
- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- メニュー機能の起動中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を実行中にｉアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。CLRを押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはパーソナルデータロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了になります。オールロックを設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示され、パーソナルデータロックを設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。各ロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定（待受画面通信）

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 **ソフト一覧画面・ICカード一覧画面 ▶ iα（機能）▶ソフト設定 ▶待受画面通信▶通信する・通信しない ▶✉（完了）**

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 **MENU▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定 ▶待受画面▶ｉアプリ待受画面終了 ▶終了・設定解除**

- 「設定解除」を選択した場合は「YES」を選択します。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報 ▶待受画面終了情報**

- 待受画面終了情報の画面で「機能」が表示されているときは、iα（機能）を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

＜ｉアプリデータ（microSD）＞

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する

ｉアプリによってはmicroSDメモリーカード内にデータを保存できるものがあります。
microSDメモリーカード内に保存されているｉアプリデータを表示します。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ（microSD） ▶ｉアプリデータ（microSD）**

ｉアプリデータ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来の FeliCa に対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります［詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください］。
※ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やiCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失・変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。（P.120、P.230参照）

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時にICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1 iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります。（一部手数料がかからない場合もあります。）
また、ICアプリのダウンロード・各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※3 iCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがiCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面やICカード一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード（UIM）情報とICカードの対応付けを行いますか？」と表示されます。「YES」を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し、一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  ・電池が切れた場合

1 **（1秒以上）**
▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択

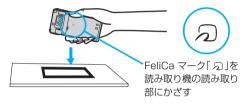
おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中は、FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。

1 **FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する**

- FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが点灯します。

お知らせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからも FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池切れアラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 読み取り機にかざすと、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動する場合があります。

<トルカ>

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざして
トルカを取得。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

■トルカの取得手段

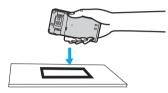
おサイフケータイ／トルカ

＜トルカ取得＞
トルカを取得する

読み取り機から取得する

ICカード機能を利用して、読み取り機からトルカを取得します。詳細を取得する前のトルカの場合は詳細情報を取得することにより、より詳しい情報を持ったトルカ(詳細)になります。

- トルカがトルカ(詳細)の場合は1件あたり100Kバイトまで、詳細を取得する前のトルカの場合は1件あたり1Kバイトまでダウンロードできます。

1 FOMA端末の FeliCa マーク「 」を読み取り機にかざす

■トルカを取得したときは

トルカ取得音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。

- 「受信表示設定」が「表示する」に設定されていると、取得したトルカの詳細画面が表示されます。
- 詳細を取得する前のトルカの場合は、詳細をダウンロードするためサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると詳細を取得したトルカ(詳細)を表示します。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカを表示します。
- 何も操作しないで約15秒経過した場合や、「受信表示設定」が「表示しない」に設定されていた場合は、デスクトップに「 」が表示されます。
  を押し、「 」を選んで(選択)を押すと、トルカ一覧画面が表示されます。

■トルカの自動読み取り機能について

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際に、「自動読取設定」を「許容する」に設定していると、利用可能なトルカが自動的に認識されます。利用したトルカは「利用済み」に変更され「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。利用済みトルカは20件まで保存され、20件を超えると取得日時の古いものから順に削除されます。

- 「自動読取設定」を「許容しない」に設定していても、読み取り機にかざすと、「自動読取設定」を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
  トルカを利用する場合は「YES」を選択して、「自動読取設定」を「許容する」にしてください。

お知らせ

- トルカの取得に失敗した場合は、トルカ取得失敗音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。
- トルカ取得音や取得失敗音は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。
- IP(情報サービス提供者)の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線などで送付できないことがあります。

＜トルカビューア＞
トルカを表示する

ICカード機能を利用して取得したり、サイトやメールなどから取得したトルカを表示します。

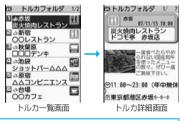
1 MENU ▶おサイフケータイ▶トルカ ▶フォルダを選択

- トルカフォルダ一覧画面で MENU を押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。

トルカフォルダ一覧画面

- フォルダ内に未読のトルカがある場合は「NEW」が表示されます。

2 トルカを選択

トルカ一覧画面　　トルカ詳細画面

■トルカから詳細情報を取得するときは

詳細を取得する前のトルカはそのままでは詳細な情報は表示されません。トルカに表示されている「詳細」を選択し、「YES」を選択すると、サイトに接続して詳しい情報を取得できます。
トルカは詳細を取得すると上書き保存されます。

お知らせ

- 取得の際は通常のパケット料金がかかります。

トルカフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作(フォルダ追加)	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力 ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。

おサイフケータイ／トルカ

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作（フォルダ名編集）	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名編集▶フォルダ名を入力 ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ操作（フォルダ削除）	フォルダ内のトルカもすべて削除されます。 ▶フォルダ削除▶端末暗証番号を入力▶YES
全フォルダ検索	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ（「利用済みトルカ」フォルダ内は除く）から検索条件を指定して検索します。 ▶検索条件を選択 **ジャンル検索** .....ジャンルを選択します。 [✉]（詳細）を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索** .....タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索** .....場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字/半角40文字まで、インデックス検索では全角10文字/半角20文字まで入力できます。
自動振分け設定	読み取り機からトルカを取得した際に、フォルダに設定した条件に合うトルカを自動で振り分けて保存するように設定します。 ▶振り分け条件を選択 **ジャンル振分け** .....振り分けたいジャンルにチェックして[✉]（完了）を押します。複数チェックできます。 **タイトル振分け** .....振り分け条件とする、タイトル内の文字を入力します。 **インデックス振分け** .....振り分け条件とする、場所データ内の文字を入力します。 **解除** .....「YES」を選択すると設定済みの振り分け条件を解除します。 ●タイトル振分けでは全角20文字/半角40文字まで、インデックス振分けでは全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●すでに振り分け条件が設定されているフォルダの場合は振り分け条件が表示されます。[iα]（機能）を押すと、再度振り分け条件を設定できます。
コピー（microSDへコピー）	FOMA端末内のトルカをmicroSDメモリーカードへフォルダごとコピーします。 ▶microSDへコピー
コピー（全件microSDへコピー）	FOMA端末内のトルカをフォルダごと全件microSDメモリーカードへコピーします。 ▶全件microSDへコピー ▶端末暗証番号を入力▶YES
コピー（本体へコピー）	microSDメモリーカード内のトルカをFOMA端末へフォルダごとコピーします。 ▶本体へコピー
コピー（全件本体へコピー）	microSDメモリーカード内のトルカをフォルダごと全件FOMA端末へコピーします。 ▶全件本体へコピー ▶追加コピー・上書きコピー ▶端末暗証番号を入力▶YES
赤外線／iC送信（赤外線全件送信）	P.305参照
赤外線／iC送信（iC全件送信）	P.307参照
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
トルカ全削除	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	FOMA端末からmicroSDメモリーカードへコピーする際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

<自動振分け設定>

- ジャンル振分けを設定している場合は「[icon]」、タイトル振分けを設定している場合は「[icon]」、インデックス振分けを設定している場合は「[icon]」が表示されます。
- 複数の条件にあてはまる場合、トルカフォルダ一覧画面で並び順が上のフォルダに振り分けられます。

<コピー（microSDへコピー）>

- FOMA端末外へ出力が禁止されているデータまたはFOMAカード動作制限機能が設定されているデータを含むトルカ（詳細）の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーします。

<コピー（全件microSDへコピー）>

- FOMA端末の「トルカフォルダ」内のトルカはmicroSDメモリーカードの「SDトルカ」に保存されます。

つづく↓

お知らせ

<コピー(全件本体へコピー)>

●microSDメモリーカードの「SDトルカ」内のトルカはFOMA端末の「トルカフォルダ」に追加保存または上書き保存されます。

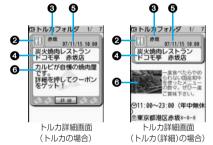
<保存先フォルダ選択>

●保存先に設定されたフォルダには「 」のアイコンが表示されます。

●microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

トルカ一覧画面

トルカ詳細画面（トルカの場合）　トルカ詳細画面（トルカ(詳細)の場合）

❶**トルカの状態を表示します。**

※1	未読のトルカ
	既読のトルカ
※2	FOMA端末に対応していないトルカ

※1 サイトからダウンロードしたトルカは、未読にはなりません。

※2 microSDメモリーカード内のトルカにのみ表示されます。

●有効期限切れのトルカには「 」が付きます。

●FOMA端末外への出力が禁止されているトルカには「 」が付きます。

❷**カテゴリを表示します。**

トルカの内容に応じたカテゴリアイコンが表示されます。

❸**インデックスデータを表示します。**

トルカの情報を発行している発行元の場所データが表示されます。

❹**タイトルを表示します。**

❺**取得した時刻や日付を表示します。**

❻**トルカの情報を表示します。**

トルカの場合は簡単な説明文と詳細ボタンが、トルカ(詳細)の場合は発行元の情報が表示されます。

トルカ一覧画面・詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール添付	トルカを添付し、iモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●（ ）を押してもiモードメールを作成できます。
フォルダ移動	▶移動先を選択 ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
検索／並び替え(検索) [一覧画面のみ]	フォルダ内のトルカから検索条件を指定して検索します。 ▶検索▶検索条件を選択 **ジャンル検索** .....ジャンルを選択します。 （詳細）を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索** .....タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索** .....場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字/半角40文字まで、インデックス検索では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
検索／並び替え(ソート) [一覧画面のみ]	表示される順番を変更します。 ▶ソート▶順番を選択
コピー(コピー)	表示または選択中のトルカを別のフォルダにコピーします。 ▶コピー▶コピー先を選択 ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
コピー(microSDへコピー)	P.227「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダにコピーします。 ▶microSDへコピー
コピー(本体へコピー)	microSDメモリーカード内のトルカをFOMA端末内のトルカフォルダにコピーします。 ▶本体へコピー

おサイフケータイ／トルカ

機能メニュー	操作･補足
複数選択 [一覧画面のみ]	複数のトルカを選択して操作します。 ▶**選択したいトルカにチェック** ▶[iα](機能)▶**項目を選択** **フォルダ移動**. . . . . . . P.228参照 **コピー**. . . . . P.228参照 **microSDへコピー**. . . P.228参照 **本体へコピー**. . . . . . . P.228参照 **赤外線送信**. . . . . P.305参照 **全選択**. . . . . 全選択します。 **全選択解除**. . . . . 選択をすべて解除します。
トルカ更新 [詳細画面のみ]	トルカの情報を再取得します。再取得したトルカ(詳細)は自動で上書き保存されます。 ▶**YES** ●トルカによってはトルカ更新できない場合があります。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.162参照。
画像操作 **(画像保存)** [詳細画面のみ]	トルカに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。 ▶**画像保存**▶**画像を選択**▶**YES** ▶**保存したいフォルダを選択** P.159手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。
画像操作 **(背景画像保存)** [詳細画面のみ]	トルカの背景画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。 ▶**背景画像保存**▶**YES** ▶**保存したいフォルダを選択** P.159手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。
画像操作 **(リトライ)** [詳細画面のみ]	トルカ内のアニメーション画像やFlash画像を最初から再生します。 ▶**リトライ** ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
電話帳登録 [詳細画面のみ]	P.87参照
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線/iC送信 **(赤外線送信)**	P.305参照
赤外線/iC送信 **(iC送信)**	P.306参照
保存容量確認 [一覧画面のみ]	保存容量(目安)/件数を表示します。

機能メニュー	操作･補足
削除 **(1件削除)**	▶**1件削除**▶**YES**
削除 **(選択削除)** [一覧画面のみ]	▶**選択削除** ▶**削除したいトルカにチェック** ▶[✉](完了)▶**YES**
削除 **(全削除)** [一覧画面のみ]	フォルダ内のすべてのトルカを削除します。 ▶**全削除**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<iモードメール添付>

●FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして添付されます。

●トルカのサイズによっては、iモードメール添付できない場合があります。

<コピー(コピー)>

●FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、コピーできません。

<コピー(microSDへコピー)>

●FOMA端末外への出力が禁止されているデータまたはFOMAカード動作制限機能が設定されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーされます。

●microSDメモリーカードの保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成され、その中にトルカが保存されます。
コピーが完了すると、「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。

●コピーしたトルカのファイル名はTORUCXXX(XXXは数字)になります。

●microSDメモリーカードの保存先フォルダを設定していない場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、その中にトルカが保存されます。保存後は新しく作成されたフォルダが保存先フォルダに設定されます。

●トルカのサイズによっては、「microSDへコピー」できない場合があります。

<コピー(本体へコピー)>

●トルカのサイズによっては、「本体へコピー」できない場合があります。

<画像操作>

●以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
・アニメーションGIFではない透過GIFファイル
・ファイルの拡張子が「ifm」
・フレームは画像サイズが待受(480×854)、VGA(640×480)、CIF(352×288)、QVGA(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の画像、スタンプはフレーム画像以外の待受(480×854)サイズ以下の画像

<トルカ設定>
トルカについて設定する

1 MENU▶**おサイフケータイ**▶**設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
トルカ取得設定	ICカード機能を利用して読み取り機からトルカを取得するかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない**
受信表示設定	待受画面表示中にトルカを取得したときに、トルカ詳細画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
重複チェック設定	トルカを読み取り機から取得する際に、すでに同じトルカが取得済みかを確認するかどうかを設定します。 ▶**行う・行わない** **行う**. . . . . . . .確認を行い、取得済みの場合は再取得しません。 **行わない** . . .確認を行わず、同じトルカでも再度取得します。
自動読取設定	読み取り機にFOMA端末をかざした際に、利用可能なトルカを自動的に認識させるかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない**

お知らせ

<重複チェック設定>
- 「利用済みフォルダ」に保存されているトルカや有効期限切れのトルカはチェック対象に含まれません。

<自動読取設定>
- 「自動読取設定」を「許容しない」に設定していると、トルカを利用できない場合があります。

<ICカードロック>
ICカード機能をロックする

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。
- ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

1 MENU**を1秒以上押す**

「IC」が表示され、ICカードロックが設定されます。
- ICカードロックを解除するには、同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。閉じタイマーロックを設定している場合は、FOMA端末を開いてもICカードロック解除の画面が表示されます。
「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.124「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.124の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

電源OFF時ICロック設定

電源を切っているときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**ロック／セキュリティ**▶**ロック設定**

または

MENU▶**おサイフケータイ**▶**ICカードロック設定**

2 **電源OFF時ICロック設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**項目を選択**

電源OFF直前の設定
. . . . .電源を切る直前のICカードロックの設定に従います。
ロックする. . . ICカードロックを設定します。

GPS機能

GPS機能のご利用について

- ●GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- ●FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ●高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ●FOMA端末が圏外のとき(または海外では)、GPS機能をご利用いただけません。

お知らせ

- ●以下の場合はGPS機能を利用できません。
  - ･オールロック中※
  - ･セルフモード設定中　･おまかせロック中※
  - ･FOMAカードを挿入していないとき

  ※位置提供は可能です。
- ●GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ･建物の中や直下　･地下やトンネル、地中、水中
  - ･かばんや箱の中　･ビル街や住宅密集地
  - ･密集した樹木の中や下　･高圧線の近く
  - ･自動車、電車などの室内　･大雨、雪などの悪天候
  - ･FOMA端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ･FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。

＜現在地確認＞

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して表示します。
地図を表示したり、現在地情報をメールで送信したりすることもできます。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶現在地確認

現在地が緯度･経度などで表示されます。

❶…測位日時　❷…緯度　❸…経度　❹…測地系
❺…測位レベル

★★★：ほぼ正確な位置情報です。(誤差がおおむね50m未満)
★★☆：比較的正確な位置情報です。(誤差がおおむね300m未満)
★☆☆：おおよその位置情報です。(誤差がおおむね300m以上)

測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- ●✉(リトライ)を押すと、「品質重視モード」(P.239「測位モード設定」参照)で再度測位されます。
- ●測位中に画面右下に「利用」が表示された場合は、iαを押して「OK」を選択すると、測位途中の情報で現在地を表示できます。
- ●待受画面で1を1秒以上押しても現在地を測位できます。測位後は「GPSボタン設定」(P.239参照)の設定に従って動作します。

現在地表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
地図を見る	地図サイトに接続して地図を表示します。 ▶YES ●地図を表示したあと、「iエリア」を使って周辺情報を調べることができます。「iエリア」に関しての詳細はドコモのホームページをご覧ください。
対応iアプリを利用	現在地情報をGPS対応iアプリで利用します。 ▶iアプリを選択

GPS機能

機能メニュー	操作･補足
メール貼り付け	現在地情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 ▶YES P.172手順2へ進みます。 ●送付する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。
電話帳登録	現在地情報を電話帳に登録します。 ▶YES P.88「表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」手順2へ進みます。
画像に付加	現在地情報を画像に登録します。 ▶フォルダを選択▶画像を選択 ▶YES･NO YES. . . 上書きして保存します。 NO . . . 別データとして保存します。

<GPS対応ｉアプリ>

GPS対応ｉアプリを利用する

1 MENU▶LifeKit▶GPS▶対応ｉアプリ

GPSに対応したｉアプリの一覧が表示されます。
ｉアプリを選択すると起動します。
●ソフト一覧画面についてはP.211参照。

お知らせ

●GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
●GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、「ソフト設定」の「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

地図アプリを利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
音声で入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

●ご利用には別途、パケット通信料がかかります。地図アプリはパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフルでのご利用がおすすめです。
●本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリアー周辺情報ー」からダウンロードしてください。
●本ソフトはメール連動型ｉアプリのため、2in1のモードがBモード中には利用できません。
●地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
●走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

■**基本サービスと付加サービスについて**

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。
基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス
はじめて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。
91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン地図+ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内容	90日まで	91日以降
今いる場所	●GPSを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。 ●今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を確認したり、みんなの足あとを見たりします。	無料	無料
周辺を調べる	●今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 ●周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	●フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	●本ソフトやサーバ、電話帳に登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 ●サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有できます。	無料	有料
ナビをする	●目的地までの乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルナビをします。 ●登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
乗換案内	●電車の乗り換え案内や時刻表を確認します。 ●電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
おしゃべり検索	●音声で入力して、簡単に周辺情報を調べたり、地図を見たりします。	無料	無料
	●音声で入力して、簡単に乗換案内をします。	無料	有料
設定／直感★	●FOMA端末を傾けて、3D地図や地図を動かします。	無料	無料
	●地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたの確認をします。	無料	無料

つづく

■TOPメニューの画面と操作について

TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

●初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOP画面

◆会員登録をせずに91日以降過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

※会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン 地図+ナビ」のサイトで会員登録します。

■地図の画面と操作について

© ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

地図表示画面

◆地図表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[✉](メニュー)	メニューを表示します。
[●]	クイックアクセスメニューを表示します。
[iα](拡縮)	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は[▲]、詳細表示する場合は[▼]を押します。[iα](閉じる)を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
[◆]	地図を上下左右に移動します。
[CLR]	メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻ります。
[＊]	地図を左に回転します。
[0]	地図を北向きにします。
[＃]	地図を右に回転します。

◆クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[▲] (周辺を調べる)	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
[▼] (ココへナビ)	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
[◀] (ココを送信)	表示している地図のURLをメールで送信します。
[▶] (ココを登録)	地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有できます。
[●](地図へ)	クイックアクセスメニューを閉じます。
[1] (3D／パノラマ)	3D交差点やパノラマ画像が閲覧できるポイントを表示します。ポイントを選択すると、3D交差点やパノラマ画像を表示できます。
[2] (ビル／テナント)	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、クリックで確認できます。

■周辺情報の検索結果の画面と操作について

●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

●検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

◆周辺情報の検索結果画面

© ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

◆周辺情報の検索結果表示時のボタン操作

※検索結果の店舗などにカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。

ボタン操作	動作
[●]	検索結果の詳細情報を確認します。
[◆]	地図を上下左右に移動します。
[5]	表示している地図を中心にして再検索します。
[4]	前の検索結果を見ます。
[6]	次の検索結果を見ます。
[✉](メニュー)	メニューを表示します。

ボタン操作	動作
(拡縮)	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。(閉じる)を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内(ナビゲーション)する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内(ナビゲーション)します。

1 地図表示画面▶(メニュー)▶ナビをする▶ナビをする

2 出発地▶設定方法を選択

現在地(GPS) . . 現在地を測位して設定します。
フリーワード検索
. . . . キーワードで検索して設定します。
地図上で指定 . . . 地図で出発地を設定します。
TEL／〒検索 . . . 電話番号・郵便番号で検索して設定します。
住所一覧から . . . 住所を選択して設定します。
ジャンルから . . . ジャンルを選択して設定します。
履歴から . . . . . . 過去に表示した地図から設定します。
登録地点から . . . 本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅. . . . . 自宅の位置情報を設定します。
出発地の確認 . . . 出発地の情報を確認します。

3 目的地▶設定方法を選択

フリーワード検索
. . . . キーワードで検索して設定します。
地図上で指定 . . . 地図で目的地を設定します。
TEL／〒検索 . . . 電話番号・郵便番号で検索して設定します。
住所一覧から . . . 住所を選択して設定します。
ジャンルから . . . ジャンルを選択して設定します。
履歴から . . . . . . 過去に表示した地図から設定します。
登録地点から . . . 本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅. . . . . 自宅の位置情報を設定します。
目的地の確認 . . . 目的地の情報を確認します。

4 時間指定▶項目を選択

現時刻で検索 . . . 現在の時間でルートを調べます。
出発時刻指定 . . . 出発時間を指定してルートを調べます。
到着時刻指定 . . . 到着時間を指定してルートを調べます。
終電を利用. . . . . 当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 条件設定▶条件を選択

乗換条件. . . . . . . 乗り換えの選択基準を「早い」、「安い」、「楽々」から選択します。
徒歩ルート . . . . . ルートの選択基準を「おまかせ」、「屋根多い」、「階段少ない」から選択します。
特急利用. . . . . . . ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。
通常利用車種 . . . 利用する車種を選択します。

6 上記で設定

7 ルートを検索

トータルナビの「で検索」と自動車だけの「のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート(最大6件まで)が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。
早:到着時間が早いルート
安:運賃が安いルート
楽:乗換えが少ないルート
オススメ:「早」、「安」、「楽」の3つの条件が揃ったルート
有料:有料道路を使った自動車ルート
一般:一般道路を使った自動車ルート
●ルートを登録する場合は「ルートを登録」を選択します。

8 ルートを選択▶ナビ・ルート確認▶ナビ／ナビ(省電力)

目的地までのナビゲーションを開始します。
●ルートを確認する場合は「ルート確認」を選択します。
●時刻表を確認する場合は「時刻表」を選択します。

つづく

■ルート(自動車)／ナビゲーション(自動車)表示の画面と操作について

●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

ルート(自動車)表示画面　　ナビゲーション(自動車)表示画面

◆ナビゲーション利用時のボタン操作

ボタン操作	動作
✉(メニュー)	ナビを終了し、TOPメニューを表示します。
●	クイックアクセスメニューを表示します。
iα(拡縮)	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は○、詳細表示する場合は○を押します。iα(閉じる)を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
○	地図を上下左右に移動します。
CLR	現在地の位置に戻ります。
2	交差点モードに切り替えます。
5	ナビゲーションの中止／開始を行います。
＊	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

◆クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
○(結果＆設定)	ルートの検索結果(時刻や料金など)を表示したり、ナビの設定をしたりします。
○(経由地を設定)	目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索します。
○(リルート)	現在地から目的地までのルートを再度検索します。
1(ルート消去)	表示しているルートを消去します。
2(モード切替)	交差点モードに切り替えます。
3(渋滞情報) ※自動車ルート時のみ	表示されている地図と連動した渋滞情報を表示します。

おしゃべり検索を利用する

おしゃべり検索メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内したり、地図を見ることができます。

<例>周辺情報のおしゃべり検索を利用する場合

1 TOP画面▶おしゃべり検索▶周辺を調べる

音声入力方法の説明が表示されます。

2 音声入力の説明画面▶音声入力開始

音声を入力する画面です。音声入力画面が表示された後、検索したい周辺情報を音声で入力します。

例:「この辺のコンビニ」

音声を認識して確認画面が表示されます。

認識が間違っていた場合は、「音声再入力」を選択します。

1 TOP画面▶設定／直感★▶設定・ヘルプ▶項目を選択

項目	動作
会員情報確認	「ゼンリン 地図+ナビ」に会員登録しているかどうかを確認できます。
α基本設定	地図表示色や文字サイズの設定など、ソフト全般に関する設定をします。
ナビ設定	リルートや音声案内の音量などのナビ全般に関する設定をします。
自宅設定	自宅の場所を登録します。
履歴系クリア	地図やナビなどを利用した履歴を削除します。
使い方の説明／よくある質問／利用規約	使い方の説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

<位置提供>

要求に応えて現在の位置情報を提供する

現在地を知らせるように要求があった場合に、現在地を相手に通知できます。利用するサービスによっては、あらかじめ、GPSサービス利用設定を設定する必要があります。(P.239参照)また、「位置提供設定」を「ON」に設定、または「許可期間設定」で許可する期間を設定しておく必要もあります。

<サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合>

1 位置提供要求を受信▶YES・NO

YES . . . 現在地を測位して位置情報を送信します。

NO . . . . 位置情報の提供を拒否します。

- 約20秒間何も操作しないと、現在地を提供せず元の画面に戻ります。

<サービスごとの利用設定が「許可」の場合>

1 位置提供要求を受信▶OK

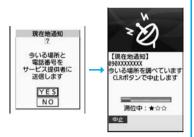
- 「OK」を選択するか、約3秒経過すると、現在地の提供を開始します。
- 提供先の情報が表示されないこともあります。
- CLRを押すと提供を中止できます。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

お知らせ

- 測位結果画面や失敗画面において約15秒間何も操作しないと、元の画面に戻ります。
- 「イマドコサーチ」を利用する場合は、i Menuの「料金＆お申込･設定」の「オプション設定」の「位置情報利用設定」(イマドコサーチ設定)の設定が必要です。
- 位置提供を利用するには、位置提供機能に対応したサービス提供者への申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 「位置提供設定」を「OFF」に設定している場合は、画面表示されずに要求を拒否します。
- GPSサービス利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- GPSサービス利用設定で、位置提供を許可に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は測位鳴動音･バイブレータ･イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- 「イマドコかんたんサーチ」を利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき、要求があるたびに今いる場所を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択したあと、GPS測位画面が表示され、GPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。GPS測位中に位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーでのみ利用できます。
  相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。
- 位置提供機能の機能利用料は無料です。
- 利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

＜現在地通知＞
現在の位置情報を通知する

現在地をサービス提供者に通知します。

1 MENU▶**LifeKit**▶**GPS**▶**現在地通知**▶**直接入力**▶**通知先を入力**▶**YES**

- 数字、#、*で12文字まで入力できます。
- あらかじめ「現在地通知先登録」で通知先を登録しておくと、「通知先一覧参照」から通知先を選択できます。
- ✉(中止)を押すと測位を中止できますが、タイミングによっては通知される場合があります。

2 **OK**

お知らせ

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 現在地通知機能の機能利用料は有料です。
- 現在地通知を利用するには、現在地通知に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、現在地通知に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。
- ダイヤル発信制限中は直接入力できません。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーにて位置情報を通知します。
- 利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

＜位置履歴＞
確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認・現在地通知・位置提供の履歴が50件まで記憶されます。

1 MENU▶**LifeKit**▶**GPS**▶**位置履歴**▶**位置履歴を選択**

確認 現在地確認
提供 位置提供
通知 現在地通知

位置履歴一覧
1 確認 11/15 10:00
2 通知 11/15 9:30
3 確認 11/15 8:00
4 提供 11/15 7:30

お知らせ

- 履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

お知らせ

- 位置履歴に記録されている位置情報、測位レベルは、電波状況などにより位置提供先、現在地通知先に送信された位置情報、測位レベルとは異なる場合があります。
- 現在地確認を途中で中止したときや測位に失敗したとき、「位置提供設定」を「OFF」に設定しているときは履歴に記憶されません。
- 位置提供、現在地通知の履歴が記憶されていても、サービス提供者には届いていないことがあります。
- 位置提供や現在地通知の際に測位に失敗した履歴は「iモードメール作成」、「電話発信」、「1件削除」、「全削除」以外操作できません。
- 位置提供利用時には、2in1の各モードで表示される電話帳と照合して位置提供要求者名が表示されます。
- 測位に成功した履歴には「⚑」が表示されます。

位置履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
地図を見る	P.232参照
対応iアプリを利用	位置情報をGPS対応iアプリで利用します。(P.232参照)
メール貼り付け	位置情報をURL化し、本文に貼り付けてiモードメールを作成します。(P.233参照)
電話帳登録	位置情報を電話帳に登録します。(P.233参照)
画像に付加	位置情報を画像に登録します。(P.233参照)
iモードメール作成	位置提供要求者へiモードメールを作成します。P.172手順3へ進みます。
電話発信	P.148参照
削除(1件削除)	▶1件削除▶YES
削除(全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

<サービス利用設定>
GPSサービス利用設定を行う

GPSサービス利用設定(「サービス利用接続先選択」で設定している接続先)に接続して、位置情報の検索許可やパスワードなど、位置提供に対応したサービスの設定を行います。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶サービス利用設定

●サイト表示中の操作についてはP.153参照。

お知らせ

●ブックマークや画面メモの機能は利用できません。

<GPS設定>
GPSの設定を行う

GPSボタン設定

待受画面で 1 を1秒以上押して現在地を測位したあとの動作を設定します。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶GPSボタン設定▶動作を選択

地図を見る. . . 地図サイトに接続して地図を表示します。

対応ｉアプリを利用
. . . . 対応しているｉアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け
. . . . 現在地情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。

電話帳登録. . . 電話帳に現在地情報を登録します。

画像に付加. . . 画像に現在地情報を登録します。

都度選択 . . . . 測位するごとに動作を選択します。

測位鳴動音・イルミネーション

現在地確認を行うときや位置情報の提供要求があったときなどに鳴る音を選択します。また、着信／充電ランプの色やバイブレータのパターンなども設定できます。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶測位鳴動音・イルミネーション▶設定したい動作を選択▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
測位鳴動音選択	▶フォルダを選択▶着信音を選択 ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
鳴動時間設定	測位鳴動音の鳴動時間を設定します。 ▶鳴動時間(秒)を入力 ●「00」～「30」の2桁を入力します。ただし、「位置提供/毎回確認」の場合のみ「00」～「20」の2桁を入力します。0秒に設定した場合は、音は鳴りません。
バイブレータ選択	▶バイブレータのパターンを選択 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
イルミネーション選択	▶色を選択 ●選択中は、確認のため選択している色で点灯します。

測位モード設定

現在地を測位する際のモードを「標準モード」または「品質重視モード」から選択します。
「品質重視モード」にすると時間をかけて測位を行います。その結果、測位の精度がよくなることがあります。
現在地確認・現在地通知・位置提供のそれぞれに測位モードを設定できます。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶測位モード設定▶設定したい動作を選択▶標準モード・品質重視モード

現在地通知先登録

あらかじめ通知先を登録しておくと、現在地を通知する際に通知先を選択できます。また、登録した電話番号に電話をかけるときに、自動的に現在地を通知することもできます。5件まで登録できます。

1 MENU ▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶現在地通知先登録▶<未登録>を選んで ✉(編集)または ●(選択)▶以下の操作を行う

●登録済みの通知先を選択すると、登録内容を確認できます。

項目	操作・補足
現在地通知先名称	▶通知先名称を入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
通知先ID	▶通知先IDを入力 ●数字、#、*で12文字まで入力できます。 ●サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。

GPS機能

つづく

項目	操作・補足
電話番号	▶電話番号を入力 ●26桁まで入力できます。 ●電話番号欄を選んでiα(機能)を押し、「電話帳参照入力」を選択すると、電話番号を電話帳から呼び出して入力できます。 ●「現在地通知先名称」を入力していないときに、「電話帳参照入力」から電話番号を入力すると、電話帳の名前が入力されます。
発信時通知設定	登録している電話番号に音声電話やテレビ電話をかけるときに現在地を通知するかどうか設定します。 ▶ON・OFF・随時確認 ●電話をかけるたびに確認する場合は、「随時確認」を選択します。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

●発信時通知設定を「ON」や「随時確認」に設定していても、発信者番号を通知しないで電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

通知先表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
削除 (1件削除)	▶1件削除▶YES
削除 (全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES
電話帳登録	現在地通知先に登録されている現在地通知先名称と電話番号を電話帳に登録します。(P.233参照)
編集	P.239「現在地通知先登録」手順1へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照

位置提供設定

現在地を知らせるように要求があった場合に、許可する(提供する)かどうかを設定します。また、許可する期間を設定できます。

1 MENU▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶位置提供設定▶端末暗証番号を入力▶ON・OFF・許可期間設定

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始時刻	▶許可する開始時刻を入力
終了時刻	▶許可する終了時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、許可期間を繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。
有効期間	繰り返す設定にしている場合は、有効にする期間を設定できます。 ▶設定する・設定しない▶開始日を入力 ▶設定する・設定しない▶終了日を入力

3 ✉(完了)を押す

お知らせ

●「初期値設定」(P.45参照)でも「位置提供設定」を設定できます。
●「ON」に設定している場合は、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
●「OFF」に設定している場合は、位置提供の要求を受信しても位置提供を拒否し、位置履歴には履歴が記憶されません。
●「許可期間設定」の有効期間として設定できるのは、2007年1月1日から2037年12月31日までです。

■位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「2007/11/15 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2007/11/15 14:00～ 2007/11/15 21:00

GPS機能

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
毎日	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の毎日 14:00～21:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15～ 2007/11/30の毎日 14:00～21:00
	設定なし	2007/11/15以降毎日 14:00～21:00
曜日指定	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の指定した曜日の 14:00～21:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15～ 2007/11/30の指定した曜日の 14:00～21:00
	設定なし	2007/11/15以降の指定した曜日の 14:00～21:00

<例>現在の日時が「2007/11/15 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	ー	2007/11/15 12:00～ 2007/11/15 21:00
毎日	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の毎日 10:00～21:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15 12:00～ 2007/11/15 21:00と 2007/11/16～ 2007/11/30の毎日 10:00～21:00
	設定なし	2007/11/15 12:00～ 2007/11/15 21:00と 2007/11/16以降毎日 10:00～21:00
曜日指定	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の指定した曜日の 10:00～21:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15が指定した曜日なら、 2007/11/15 12:00～ 2007/11/15 21:00と 2007/11/16～ 2007/11/30の指定した曜日の10:00～21:00
	設定なし	2007/11/15が指定した曜日なら、 2007/11/15 12:00～ 2007/11/15 21:00と 2007/11/16以降の 指定した曜日の 10:00～21:00

<例>現在の日時が「2007/11/15 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	ー	2007/11/15 14:00～ 2007/11/16 10:00
毎日	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の間 14:00～翌日10:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15～ 2007/11/30の間 14:00～翌日10:00
	設定なし	2007/11/15以降 14:00～翌日10:00
曜日指定	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の間、指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15～ 2007/11/30の指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	設定なし	2007/11/15以降の指定した曜日の 14:00～翌日10:00

<例>現在の日時が「2007/11/15 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	ー	2007/11/15 12:00～ 2007/11/16 10:00
毎日	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20 10:00～ 2007/12/1 10:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15 12:00～ 2007/12/1 10:00
	設定なし	2007/11/15 12:00～ 2007/11/16 10:00と 2007/11/16以降毎日 10:00～翌日10:00
曜日指定	開始日： 2007/11/20 終了日： 2007/11/30	2007/11/20～ 2007/11/30の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	開始日： 2007/11/10 終了日： 2007/11/30	2007/11/15が指定した曜日なら、 2007/11/15 12:00～ 2007/11/16 10:00と 2007/11/16～ 2007/11/30の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	設定なし	2007/11/15が指定した曜日なら、 2007/11/15 12:00～ 2007/11/16 10:00と 2007/11/16以降の 指定した曜日の 10:00～翌日10:00

サービス利用接続先選択

※通常は、設定を変更する必要はありません。

サービス利用設定の接続先を変更するときに設定します。

1 **MENU▶LifeKit▶GPS▶GPS設定▶サービス利用接続先選択▶<未登録>を選んで✉(編集)**

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するには、iα(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **以下の操作を行う**

項目	操作・補足
接続先名称	▶**接続先名称を入力** ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶**接続先を入力** ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶**URLを入力** ●半角英数字で100文字まで入力できます。

3 **✉(完了)を押す**

ワンセグ

ワンセグとは

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像音声と共にデータ放送を受信することができます。また、iモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン:http://www.dpa.or.jp/
iモード:http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

■ワンセグのご利用にあたって
- ●ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- ●放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料サービスです。
- ●データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。また、「iモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途iモードのご契約が必要です。
- ●「データ放送サイト」「iモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(iモード有料サイト)があります。

■電波について
ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外/圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
・放送波が送信される電波塔から離れている場所
・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示について
お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
[ワンセグキー]または[TVキー]を押して、[●](OK)を押します。
続けて表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。
- ●別のFOMAカードに差し替えたときも免責事項の確認画面が表示されます。

■放送用保存領域とは
放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者(放送局)の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者(放送局)へ送信される場合があります。
- ●放送用保存領域の情報を消去するにはP.257参照。
  別のFOMAカードに差し替えた場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示について
番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか? 同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。
「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

<例>はじめてワンセグを視聴するとき

ステップ
1 チャンネル設定

ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。(P.245参照)

ステップ
2 ワンセグの起動

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。(P.247参照)

■ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。

- ●ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

■電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- ●確認画面で約1分間何も操作をしないと、自動的にワンセグが終了します。
- ●「電池少量時録画設定」を「録画を継続する」に設定しておくと、録画中は確認画面が表示されません。(P.256参照)
- ●録画中に電池残量が少なくなり録画が終了した場合、それまで録画したビデオは自動的に保存されます。
- ●マルチタスク中は、電池残量警告音は鳴りますが、確認画面は表示されません。視聴画面に切り替えて操作してください。

■視聴中や録画中に着信などがあったときは

視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。録画は中断されません。

各機能終了後は視聴を再開できます。iモードメール、SMS受信についてはP.250参照。

- ●音声電話着信
- ●テレビ電話着信
- ●プッシュトーク着信
- ●iモードメール、SMS、メッセージR/F受信（「受信表示設定」が「通知優先」のとき）
- ●アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約の通知（「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき）
- ●録画予約の通知（開始日時になったときは「録画動作」の設定に従って動作します。）

お知らせ

- ●FOMAカードを挿入していない場合、ドコモとの契約を解約している場合、またはFOMAサービスを利用休止している場合はワンセグを視聴できません。
- ●ドコモと契約中のFOMAカードを挿入していても、FOMAサービスエリア外である場合など通信ができない状態でワンセグ視聴を繰り返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。
- ●初めてワンセグを視聴するときは、FOMAサービスエリア内でワンセグを起動してください。
- ●「USBモード設定」を「microSDモード」または「MTPモード」に設定してパソコンと接続しているときは、ワンセグを利用できません。
- ●通話中にFOMA端末を閉じて通話を終了すると、自動的にワンセグ視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量でワンセグの音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- ●充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

<チャンネル設定>

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。チャンネルリストは10件まで登録できます。

- ●受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先などの地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。
- ●各放送局には、選局のときに利用するリモコン番号があらかじめ設定されています。
- ●ワンセグの録画中はチャンネル設定できません。

自動チャンネル設定

現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。

- ●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で、ワンセグアンテナを伸ばして設定してください。

1 **MENU▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定▶YES**

検索を開始します。

- ●チャンネルリスト一覧画面や視聴画面では iα(機能)を押して「チャンネル設定」を選択し、「自動チャンネル設定」を選択します。

つづく

2 YES▶タイトルを入力

●全角11文字/半角22文字まで入力できます。
●タイトルを入力せずに(確定)を押した場合、タイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
●検索を途中で中止する場合は(中止)またはCLRを押して「YES」を選択します。検索された放送局は、チャンネルリストに登録できます。

お知らせ

●リモコン番号が同じ放送局が複数見つかったときは、リモコン番号が重複した旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択し、地域の選択画面でお使いの地域を選択してください。選択した地域の放送局がリモコン番号1～12に優先的に割り当てられ、選択しなかった地域の放送局はリモコン番号13以降に割り当てられます。
●チャンネルの検索には約30～60秒かかります。ただし、放送局の数や放送電波の状態によってかかる時間は異なり、60秒を超える場合もあります。

地域選択

都道府県ごとに設定されている放送局をチャンネルリストに登録します。

1 MENU▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択▶地域を選択▶都道府県を選択▶YES

●チャンネルリスト一覧画面や視聴画面では(機能)を押して「チャンネル設定」を選択し、「地域選択」を選択します。

お知らせ

●地域によっては「地域選択」では放送局が正しく登録できないことがあります。その場合は、「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。

チャンネルリスト選択

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。また、登録済みのチャンネルリストを編集できます。

1 MENU▶ワンセグ▶チャンネルリスト選択▶チャンネルリストを選択

チャンネルリスト一覧画面　チャンネルリスト詳細画面

受信するチャンネルリストが設定され、詳細画面が表示されます。
●放送局を選択するとワンセグを視聴できます。
●視聴画面の機能メニューから「チャンネルリスト選択」を選択した場合、チャンネルリストを選択すると視聴画面に戻ります。
●チャンネルリスト一覧画面で(詳細)を押し、放送局を選択してもワンセグを視聴できます。

チャンネルリスト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャンネル設定	P.245参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角11文字/半角22文字まで入力できます。
1件削除	▶YES ●現在設定しているチャンネルリストは削除できません。

チャンネルリスト詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
リモコン番号設定	リモコン番号に設定されている放送局を変更します。 ▶変更したい放送局を選択 ▶設定先のリモコン番号を選択 ●設定先のリモコン番号に放送局が登録されていた場合は放送局が入れ替わります。操作を繰り返してリモコン番号に放送局を設定します。 ▶(完了)▶YES
1件削除	▶YES ●チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。 ●現在設定しているチャンネルリスト内の放送局は削除できません。

ワンセグを見る

視聴中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面が自動で切り替わります。

●初めてワンセグを利用する場合は免責事項の確認画面が表示されます。(P.244参照)

●番組表iアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使ってワンセグを起動することもできます。

●市販のBluetooth機器を利用して、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます。(P.352参照)

1 (カメラ)を1秒以上押す

前回視聴していたチャンネルでワンセグが起動します。

視聴中は「(アイコン)」が表示されます。

- チャンネルリストを登録していない場合は確認画面が表示されます。「OK」を選択し、チャンネル設定を行います。(P.245参照)
- ノーマルスタイルでワンセグ機能の選択画面などを表示中に、ヨコオープンスタイルに切り替えてもワンセグを起動できます。
- 「スタイル連動設定」を「ワンセグ」に設定しているときは、待受画面でヨコオープンスタイルに切り替えてもワンセグを起動できます。
- 視聴を終了するときは(終話)を押して「YES」を選択します。

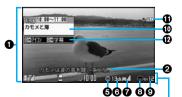
視聴画面

■視聴画面について

(「画面表示切替」が「映像+字幕+データ放送」の場合)

縦画面表示

横画面表示　ガイド表示

❶映像　❷字幕　❸データ放送

❹操作モード
- (アイコン)映像モード:
  映像や音声を操作します。(P.247参照)
- (アイコン)データ放送モード:
  データ放送を操作します。(P.250参照)

❺ECOモード
ECOモード中は「(アイコン)」が表示されます。

❻チャンネル(リモコン番号)

❼放送電波の受信レベル(目安)
強 ←→ 弱
放送圏外の場合は「(アイコン)」が表示されます。

❽字幕受信
字幕情報を受信しているときは「(アイコン)」が表示されます。

❾音量

❿番組情報(概要)
縦画面表示では番組名、横画面表示ではチャンネル・開始時間・終了時間・番組名が表示されます。
ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。

⓫ビデオ録画
ビデオ録画中は「●REC」が表示されます。
録画予約による録画中は「⊘REC」が表示されます。

⓬アイコン/字幕設定値
アイコン:「アイコン常時表示設定」のON/OFF
字幕:字幕のON/OFF
ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。

●チャンネルサーチなどで選局したときは、チャンネル(リモコン番号)が表示されない場合があります。

●横画面では、「アイコン常時表示設定」を「OFF」に設定していると、ガイド表示はボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。

■チャンネルの切り替え操作(映像モードのみ)

操作	ボタン操作
ダイレクト選局	リモコン番号1~9. . . 1~9 リモコン番号10. . . . . * リモコン番号11. . . . . 0 リモコン番号12. . . . . #
順送り選局	(左右キー)
チャンネルサーチ	(左右キー)(1秒以上) ●押すごとに受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替え ●中止するには(メール)(中止)またはCLR

つづく

■視聴時の操作

操作	ボタン操作
音量調節	※1または▲▼ ●押し続けると連続して音量調節 ●レベル0(消去)～25まで設定可能
消音	CLR※1 ●音を鳴らすにはCLR※1または音量調節
番組表 iアプリ起動	✉(番組表)※2
番組情報表示	✉(1秒以上)※2
番組情報 (概要)表示	MENU(表示)
画面表示切替	番組情報(概要)表示中にMENU(切替) ●横画面表示では、押すごとに「アイコン常時表示設定」と字幕のON／OFFを切り替え
縦画面／ 横画面切替	📷(横画面)※1※2※3 ●押すごとに表示方向を切り替え
ビデオ録画	●(録画)※1またはP(1秒以上) ●終了するには●(停止)※1またはP
静止画録画	P
操作モード 切替	☎※2 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。
※2 ヨコオープンスタイルでは操作できません。
※3 FOMA端末を閉じると縦画面表示に戻ります。
また、ヨコオープンスタイルでは自動的に横画面表示になり、縦画面表示にはできません。

お知らせ

●視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合でも、ワンセグの音声は流れます。(バックグラウンド再生)ただし、機能や番組によっては音声が流れない場合もあります。(P.419参照)
●「クローズ音声継続設定」が「ON」の場合、視聴中にFOMA端末を閉じても音声が流れます。閉じた状態では音量調節以外の操作はできません。
●電波の状態などにより、以下のようになることがあります。
・音声がとぎれる　・データ放送が操作できない
・映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
・映像やデータ放送が表示されない(黒い画面が表示される)
●番組によっては字幕が表示されない場合があります。
●横画面ではデータ放送を表示できません。
●場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。

お知らせ

●場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。
●ワンセグ起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

視聴画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。
番組情報表示	視聴している番組の情報を表示します。 ●番組情報を取得できていないときは表示できません。
チャンネル リスト選択	P.246「チャンネルリスト選択」手順1へ進みます。
チャンネル設定	P.245参照
チャンネル 追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ▶YES ●リモコン番号13以降で空いているリモコン番号の中で、最も小さいリモコン番号に登録されます。
番組表表示	P.250参照
画面表示切替 ワンセグ起動時 字幕表示設定ON時: 映像+字幕+データ放送 字幕表示設定OFF時: 映像+データ放送	視聴画面の表示内容を切り替えます。 ▶項目を選択 ●「映像拡大+データ放送」に設定すると、縦画面表示の映像を拡大します。ただし、番組によっては映像の左右が切り取られて表示される場合があります。 ●「データ放送」に設定してもワンセグの音声は流れます。
操作モード切替 ワンセグ起動時 映像モード	縦画面で視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時 表示設定	P.257参照
メール作成	P.249参照

機能メニュー	操作・補足
各種設定（明るさ設定）	ディスプレイのバックライトの明るさをレベル1（暗い）～レベル5（明るい）で設定します。 ▶明るさを選択 ●「自動設定」に設定すると、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。 ●ここでの設定は視聴を終了するまで有効です。ワンセグ起動時の設定はP.107「照明設定」の「明るさ」の設定に従います。
各種設定（画質モード設定）	P.256参照
各種設定（液晶AI）	P.107参照
各種設定（自動音量設定）	P.256参照
各種設定（リ.マスター設定）	P.256参照
各種設定（リスニング設定）	P.256参照
各種設定（イコライザー設定）	P.256参照
各種設定（主／副音声設定） ワンセグ起動時 主音声	▶音声設定▶主／副音声設定 ▶主音声・副音声・主／副同時
各種設定（音声切替）	▶音声設定▶音声切替▶音声1・音声2 ●切り替えできる音声があるときのみ操作できます。
各種設定（クローズ音声継続設定）	P.256参照
各種設定（ECOモード）	P.257参照
データ放送操作（コンテンツ再読み込み）	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ▶コンテンツ再読み込み ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
データ放送操作（証明書表示）	P.155参照
データ放送操作（画像表示設定）	P.164参照
データ放送操作（効果音設定）	P.257参照
データ放送操作（確認表示初期化）	P.257参照
データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
サービス選局	同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。 ▶チャンネルを選択
テレビリンクリスト	テレビリンク一覧画面を表示します。（P.251参照）
AV出力	P.313参照

視聴中にｉモードメールを送信する

ワンセグを視聴しながらｉモードメールを作成して送信できます。（マルチウィンドウ）
「お勧めメール作成」で、「Media To 機能」に対応したFOMA端末へｉモードメールを送信した場合、受信側では「Media To 機能」を利用してワンセグを起動できます。

●メール作成画面表示中はワンセグの操作はできません。また、字幕やデータ放送は表示されません。
●メール作成画面表示中にヨコオープンスタイルに切り替えた場合は、視聴画面のみが横画面で表示されます。
●SMSを作成する場合もワンセグを視聴しながら操作できます。

1 視聴画面▶i𝛼（機能）▶メール作成▶新規メール作成・お勧めメール作成

新規メール作成．．．．新しくｉモードメールを作成します。
P.172手順2へ進みます。

お勧めメール作成．．．視聴中のチャンネル情報が本文に入力されたｉモードメールを作成します。
P.172手順2へ進みます。

お知らせ
●視聴中にマルチタスクでメール作成画面・送信メール詳細画面を表示した場合でもマルチウィンドウになります。

つづく

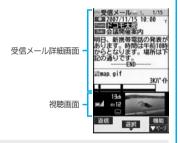
お知らせ

- 視聴中にマルチタスクでメール一覧画面･メール詳細画面の機能メニューから「送信＋受信メール」を選択して、電話帳にメールアドレスが登録されていない相手への送信メール詳細画面を表示した場合は、視聴画面は表示されず、ワンセグの音声のみが流れます。
- 画面の左下に「」が表示された場合は、ヨコオープンスタイルに切り替えるなどして、視聴画面に切り替えて操作してください。
- 2in1のモードがBモードの場合は、iモードメールを作成･送信できません。(P.372参照)

視聴中にiモードメールを受信する

電話帳にメールアドレスが登録されている相手からのiモードメールを受信した場合は、ワンセグを視聴しながら受信メール詳細画面を表示できます。(マルチウィンドウ)

- 受信メール詳細画面表示中はワンセグの操作はできません。また、字幕やデータ放送は表示されません。
- 受信メール詳細画面表示中にヨコオープンスタイルに切り替えた場合は、視聴画面のみが横画面で表示されます。
- SMSを表示する場合もワンセグを視聴しながら操作できます。

1 **視聴画面表示中にiモードメールを受信▶受信結果画面▶メール▶表示したいiモードメールを選択▶OK**

お知らせ

- 視聴中にマルチタスクで受信メール詳細画面を表示した場合でもマルチウィンドウになります。
- 電話帳にメールアドレスが登録されていない相手からのメールを表示した場合は、視聴画面は表示されず、ワンセグの音声のみが流れます。
- マルチウィンドウで表示されている場合や、受信メール詳細画面表示中にワンセグの音声のみが流れている場合は、Oで他のメールを表示することはできません。ただし、視聴中にマルチタスクでメール一覧画面･メール詳細画面の機能メニューから「送信＋受信メール」を選択して受信メール詳細画面を表示した場合は、Oで他のメールを表示することができます。
- 画面の左下に「」が表示された場合は、ヨコオープンスタイルに切り替えるなどして、視聴画面に切り替えて操作してください。

<番組表iアプリ>

番組表iアプリを利用する

番組表iアプリを利用して、番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約･録画予約を行ったりできます。(P.219参照)

1 **MENU▶ワンセグ▶番組表**

Gガイド番組表リモコンが起動します。

- Gガイド番組表リモコンの画面で✉(TV起動)を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 番組表iアプリは「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。
- 初めてGガイド番組表リモコンを利用するときは、初期設定をする必要があります。
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

<データ放送>

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像･音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

1 **視聴画面(映像モード)▶**

データ放送モードに切り替わり、「」が表示されます。

- データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。
- 視聴画面でiα(機能)を押して「画面表示切替」を選択し、「データ放送」を選択すると、データ放送のみを表示できます。

2 **項目(リンク先)を選択**

- データ放送、データ放送サイトによっては、iモード接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- サイト表示中の操作についてはP.153参照。

ワンセグ

お知らせ

- ●(📞)を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- ●データ放送モード中にチャンネルを切り替えると、映像モードに戻ります。
- ●横画面ではデータ放送を表示できません。
- ●データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。
- ●番組によってはｉモードサイトの表示中にワンセグの音声が再生されることがあります。ただし、ワンセグの映像は表示されません。
- ●番組によってはデータ放送、データ放送サイト表示時に音が鳴ることがあります。その場合、ワンセグの映像の音声が一時的に停止し、データ放送の音が優先して再生されます。
- ●データ放送、データ放送サイトを表示中に、サイトで入力した内容を送信したり、携帯電話情報の取得を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- ●データ放送の確認画面で「YES（以後確認しない）」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。（P.257参照）
- ●視聴中に放送電波が不安定な場所で移動すると、映像およびデータ放送･データ放送サイトが自動的に更新される場合があります。その場合、データ放送のトップページが表示され、データ放送･データ放送サイトへ接続して入力した情報はクリアされます。データ放送･データ放送サイトを利用するときは、放送電波が安定した場所で視聴してください。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

データ放送サイトで反転表示された情報を利用して簡単な操作で電話発信、メール送信などの機能が利用できます。
項目（リンク先）を選択することで、Phone To／AV Phone To、Mail To 機能などを利用できます。（P.163参照）

お知らせ

- ●データ放送、データ放送サイトによっては、自動的にｉモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用する場合があります。それぞれの機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

<テレビリンク>

テレビリンクを利用する

データ放送には、番組の詳細や関連情報サイトに導くテレビリンクが用意されている場合があります。
テレビリンクを利用するとサイトのアドレス情報などがテレビリンクリストに登録でき、あとで簡単に呼び出して閲覧できます。

テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
テレビリンクは50件まで登録できます。

1 データ放送モードで、テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択▶YES

- ●同じURLやメモ情報を登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
- ●すでにテレビリンクが最大保存件数まで登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- ●リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。有効期限が切れている場合は登録できません。
- ●登録できる1件あたりのURLの文字数は半角60文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
- ●タイトルは全角20文字/半角40文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、一覧画面ではURLが表示されます。
- ●サイトで入力した内容は、テレビリンクには登録されません。

登録したテレビリンクを表示する

1 (MENU)▶ワンセグ▶テレビリンク▶表示したいテレビリンクを選択

テレビリンク
1 ○○○○
2 △△△△
3 □□□□

テレビリンク一覧画面

- ●ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- ●有効期限が切れたテレビリンクの場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- ●テレビリンクを使ってサイトを表示すると、次回はそのテレビリンクがテレビリンク一覧画面の先頭に表示されます。

つづく

■テレビリンク一覧画面のアイコンについて

アイコン	種別	説明
	メモ情報	メモ情報を表示
	リンク通信コンテンツ	データ放送サイトに接続（映像･字幕は表示されません。）
	iモードコンテンツ	iモードサイトに接続

テレビリンク一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
詳細表示	テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。
登録件数確認	登録されているテレビリンクの件数を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテレビリンクにチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

視聴中にワンセグを録画する

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

●ワンセグには、コピー制御信号(「録画不可(コピーネバー)」、「1回だけ録画可能(コピーワンス)」、「録画制限なし(コピーフリー)」を制御する信号)が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。

●コピー制御信号が「録画不可(コピーネバー)」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可(コピーネバー)」に変化した場合、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

ビデオ録画

録画したビデオはmicroSDメモリーカード(「データBOX」→「ワンセグ」→「ビデオ」→「microSD」)に保存されます。1件につき2Gバイトまで録画できます。

●録画したビデオを再生するにはP.286参照。

●FOMA端末には保存できません。

1 視聴画面▶(1秒以上)

確認音が鳴り、「●REC」が表示され、録画が開始されます。

●映像モードでは◉(録画)を押しても録画が開始されます。

●電波の受信レベルが「」のときは録画できません。また、「」のときでも電波状況によっては録画できないことがあります。

●録画中はチャンネルを変えられません。

2 を押す

確認音が鳴り、ビデオが保存されます。

●映像モードでは◉(停止)を押してもビデオが保存されます。

●ファイルサイズが2Gバイトを超えたときや、保存領域がいっぱいになったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■保存件数と録画時間の目安

最大保存件数	99件
最大録画時間(合計)	約740分

●データ量により保存件数は少なくなります。

●最大録画時間は2GバイトのmicroSDメモリーカードの場合の目安です。また、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。

お知らせ

●電波状況によっては、保存したデータの再生時間が録画した時間より短くなる場合があります。

●録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。

●録画中に電波状況が「」になったときは、録画は継続されますが、その間の映像･音声は保存されません。

●録画中に電池パックやmicroSDメモリーカードを外した場合は、それまでに録画したデータが再生できないファイルとして保存されます。

●放送局、番組によっては、録画開始操作から数秒程度の誤差が生じて、映像･音声が保存される場合があります。

●ビデオの保存領域がいっぱいの場合は録画できません。また、保存領域の残りが少ない場合、録画できない場合があります。不要なビデオを削除してから再度操作してください。

●保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名:PRGXXX
タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
(X:数字、Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

●録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。

●データ放送はビデオ録画できません。

●AV出力中はビデオ録画できません。

静止画録画

録画した静止画はFOMA端末(「データBOX」→「ワンセグ」→「イメージ」)に保存されます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

- 録画した静止画を再生するにはP.274参照。
- microSDメモリーカードには保存できません。

1 **視聴画面▶[キー]**

確認音が鳴り、静止画が保存されます。

- 電波の受信レベルが「[アイコン]」のときは録画できません。

お知らせ

- 保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
  ファイル名:YYYYMMDDhhmmXXX
  タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
  (Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分、X:数字)
- 録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。
- 保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。
- 字幕やデータ放送は静止画録画できません。
- AV出力中は静止画録画できません。

<視聴予約><録画予約>

ワンセグの視聴・録画を予約する

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組の開始をお知らせします。

- 番組表iアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。

視聴予約

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。視聴予約は100件まで登録できます。

1 **MENU▶ワンセグ▶視聴予約▶[メール](新規)▶以下の操作を行う**

- 登録済みの視聴予約を選択すると登録内容を確認でき、[メール](編集)を押すと編集できます。

項目	操作・補足
(開始日時)	視聴を開始する日付、時刻を入力します。 ▶項目を選択 **直接入力** ……日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力** ……カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。
ch(チャンネル)	▶チャンネルを選択
名(番組名)	▶番組名を入力 ●全角48文字/半角96文字まで入力できます。
(繰り返し)	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、視聴予約を繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて[メール](完了)を押します。 ●繰り返す設定にした視聴予約も1件としてカウントされます。
(アラーム通知)	▶通知方法を選択 **通知する**……開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する**……設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**……通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何秒(分)前に通知するかを選択
♪(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
(アラーム音量)	▶[キー]で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
(連携起動)	「ON」に設定すると、予約アラーム通知の画面から直接ワンセグを起動できます。 ▶ON・OFF

2 **[メール](完了)を押す**

録画予約

日時、チャンネル、番組名などを設定して録画予約を登録します。録画予約は100件まで登録できます。

1 **MENU▶ワンセグ▶録画予約▶[メール](新規)▶以下の操作を行う**

- 登録済みの録画予約を選択すると登録内容を確認でき、[メール](編集)を押すと編集できます。
- [キー](容量)を押すと、保存容量(目安)を表示します。

項目	操作・補足
(開始日時) (終了日時)	録画を開始・終了する日付、時刻を入力します。開始日時の約1分前になると、予約アラーム通知します。 ▶項目を選択 **直接入力** ……日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力** ……カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。

つづく

項目	操作・補足
ch（チャンネル）	▶チャンネルを選択
名（番組名）	▶番組名を入力 ●全角48文字/半角96文字まで入力できます。
（繰り返し）	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、録画予約を繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて（完了）を押します。 ●繰り返す設定にした録画予約も1件としてカウントされます。
♪（アラーム音）	予約アラーム通知時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON･OFF ●アラーム音の設定に関わらず、マナーモード中はバイブレータが動作します。
（アラーム音量）	▶で音量を調節 ●「ステップ」には設定できません。
（録画動作）	同時に起動できない機能を操作中に開始日時になったときの動作を設定します。 ▶録画優先・操作優先 **録画優先** . . . 操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 **操作優先** . . . 録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 ●同時起動が可能な場合は、マルチタスク機能により録画を開始します。 ●通話中（発着信中を含む）に開始日時になったときは、通話を終了すると録画が開始されます。通話中に他の機能を使用していた場合は、通話と他の機能を終了すると録画が開始されます。

2 （完了）を押す

●録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後確認しない）」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

お知らせ

●番組表ｉアプリや、サイトやメールなどの中に表示されている番組などの情報を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で登録画面が表示される場合があります。

お知らせ

●同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、あとから登録した視聴予約の通知が優先されます。

●録画時間が重複する複数の録画予約は登録できません。なお、録画終了時間と録画開始時間が同時刻となる2つの録画予約を登録した場合は、前の番組の録画が約1分間早く終了します。

●開始日時や予約アラーム通知日時（録画予約の場合は開始日時の約1分前）を過ぎた視聴予約・録画予約は登録できません。

●予約アラーム通知日時を過ぎた視聴予約・録画予約は自動的に削除されます。ただし、繰り返す設定にした予約や、「アラーム通知」を「通知しない」に設定した視聴予約は削除されません。また、通知日時に視聴予約・録画予約機能を操作していた場合も削除されません。

●チャンネルリストが設定されていない場合、視聴予約・録画予約はできません。

●「録画動作」を「操作優先」に設定した場合、確認画面表示中は録画開始時間を過ぎても録画されず、「YES」を選択した時点から録画されます。ただし、録画終了時間を過ぎていたときは録画されません。

●録画したビデオのタイトルは、録画予約で登録した番組名になります。

●録画予約による録画中は、視聴画面に「REC」が表示されます。

●録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調節を行うと音声が流れます。

視聴予約・録画予約表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	視聴予約はP.253「視聴予約」手順1へ進みます。 録画予約はP.253「録画予約」手順1へ進みます。
編集	視聴予約はP.253「視聴予約」手順1へ進みます。 録画予約はP.253「録画予約」手順1へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
1件削除	▶YES
過去削除	開始日時・終了日時が現在の日付、時刻より前に設定されている視聴予約・録画予約を削除します。 ▶YES
選択削除	▶削除したい視聴予約・録画予約にチェック▶（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存容量確認［録画予約のみ］	保存容量（目安）を表示します。

■視聴予約･録画予約のアラームを設定したときは
デスクトップにアイコンが表示されます。
「🔔」. . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。
「🔔」. . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
●「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」を「OFF」に設定した場合や、視聴予約の「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■視聴予約･録画予約で設定した時刻になったときは
<視聴予約>
アラーム音が約5分間鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されます。
<録画予約>
開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、終了日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されたあと、視聴画面が表示されます。

●通話中は
受話口からアラームが鳴ります。

●操作中は
<視聴予約>
「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合は、待受画面表示中にのみ予約アラーム通知します。「通知優先」に設定している場合は、操作中や通話中も予約アラーム通知します。(P.341参照)
<録画予約>
「録画動作」の設定に従って動作します。(P.254参照)
ただし、microSDメモリーカードの読み書きを行っているときや、お預かりセンターに接続中は、録画されないことがあります。

●予約アラーム通知の設定を「アラーム」、「ToDo」、「スケジュール」と同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかった視聴予約または録画予約についてはデスクトップにアイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。
電源をONにしたあともデスクトップにアイコンは表示されません。

●マナーモード中は
バイブレータとメッセージ表示、イルミネーションの点灯でお知らせします。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.103参照)

●オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。
各ロックの解除後にデスクトップにアイコンを表示してお知らせします。

●SD-PIM動作中、赤外線通信中、iC通信中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各機能が終了していないと録画されません。
各機能の終了後にデスクトップにアイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前にソフトウェア更新が終了していないと録画されません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後もデスクトップにアイコンは表示されません。

お知らせ
●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合の視聴予約や録画予約では、発信中に予約アラーム時刻になったときは、相手を呼び出したあとにお知らせします。着信中に予約アラーム時刻になったときは、通話を開始したあとにお知らせします。
●着うたフル®によっては視聴予約のアラーム音に設定できない場合があります。
●着うたフル®を視聴予約のアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションは異なります。

■視聴予約でアラーム音／予約アラームメッセージ･アニメーションの表示を消すには
いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーションは静止画になり、予約アラームメッセージは表示されたまま残ります。「連携起動」が「OFF」の場合、もう一度いずれかのボタンを押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンで予約アラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

■視聴予約で「連携起動」を「ON」に設定しているときは
予約アラーム通知画面で◉(起動)を押して「YES」を選択するとワンセグが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。録画中に視聴予約した番組の視聴を開始すると、それまでに録画したビデオが自動的に保存され、視聴予約した番組を表示します。

つづく

■「予約アラーム通知」がされなかったときや録画が完了したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかった予約アラームの内容(予約情報)や録画結果を確認できます。
予約情報や録画結果は通知できなかった最新のものを表示します。

- ●「連携起動」が「ON」に設定されていた場合は、予約情報の画面で[●]([起動])を押してもワンセグを起動できます。
- ●録画したビデオが保存されている場合は、録画結果の画面で[●]([再生])を押してもビデオを再生できます。

予約録画結果

録画結果を最新のものから最大20件まで表示します。

1 [MENU]▶**ワンセグ**▶**予約録画結果**▶**録画結果を選択**

- ●録画結果をすべて削除するには[iα]([全削除])を押して端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。

<ユーザ設定>

ワンセグの設定を行う

1 [MENU]▶**ワンセグ**▶**ユーザ設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
字幕表示設定	視聴開始時に字幕を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
電池少量時録画設定	録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するかどうかを設定します。 ▶**録画を継続する・録画を終了する** **録画を継続する** ……確認画面は表示されず、録画を継続します。 **録画を終了する** ……録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
画質モード設定	画質を変更します。 ▶**項目を選択** **スタンダード**…標準的な画質 **スポーツ**……スポーツ番組などに適した画質 **シネマ**………映画などに適した画質 **ダイナミック**…動きを強調したダイナミックな画質
音声設定(自動音量設定)	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 ▶**サウンド効果**▶**自動音量設定** ▶**ON・OFF**
音声設定(リ.マスター設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**サウンド効果**▶**リ.マスター設定** ▶**ON・OFF**
音声設定(リスニング設定)	リスニングの効果を設定します。 ▶**サウンド効果**▶**リスニング設定** ▶**項目を選択** **サラウンド** …… 自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2** …… イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**‥ リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1・2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。
音声設定(イコライザー設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**サウンド効果**▶**イコライザー設定** ▶**項目を選択** **ノーマル**…通常の音質です。 **ダイナミック** …………メリハリ感を強調したダイナミックな音にします。 **ボイス**……会話を聞き取りやすくします。 **トレイン**…音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
音声設定(クローズ音声継続設定)	視聴中にFOMA端末を閉じたときに、音声の出力を継続するかどうかを設定します。 ▶**クローズ音声継続設定**▶**ON・OFF** ●「OFF」に設定した場合、FOMA端末を閉じると音声は消音されます。FOMA端末を開き、「OK」を選択すると再び音声が鳴ります。

項目	操作・補足
ECOモード	一部の設定を固定して電池の消費を減らすECOモードを設定します。 ▶YES ●ECOモードを解除するには、同様の操作を行います。 ●ECOモードを設定すると、以下の設定内容は固定され、変更できません。ただし、ECOモードを解除すると、設定内容は元に戻ります。 画質モード設定：スタンダード リ. マスター設定：OFF リスニング設定：OFF イコライザー設定：ノーマル
照明設定	視聴中にディスプレイのバックライトが点灯する時間を設定します。 ▶常時点灯・時間設定 ▶点灯時間(分)を入力 ●「01」～「30」の2桁を入力します。
データ放送設定（画像表示設定）	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。(P.164参照)
データ放送設定（効果音設定）	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶効果音設定▶ON・OFF
データ放送設定（確認表示初期化）	データ放送の確認画面では「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されなくなります。確認表示初期化を行うと、それらの確認画面が再度表示されるようになります。 ▶確認表示初期化▶YES
アイコン常時表示設定	横画面表示でのガイド表示(P.247参照)を常時行うかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「アイコン常時表示設定」を「OFF」、「受信表示設定」を「操作優先」に設定していても、メールやメッセージR/Fを受信した場合は「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
TV設定確認	「ユーザ設定」の各設定内容を確認します。
チャンネル設定初期化	チャンネルリストをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
放送用保存領域消去	▶iα(機能)▶1件削除・全削除 1件削除 . . . 放送用保存領域のうち、選んでいる系列放送局の情報のみを削除します。 全削除 . . . . 放送用保存領域に作成されたすべての系列放送局の情報を削除します。 ▶YES ●「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。
TV設定リセット	「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。(P.394参照) ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<音声設定(クローズ音声継続設定)>

●「ON」に設定した場合はFOMA端末を閉じた状態でも、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。

●本機能の設定に関わらず、視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合やマルチウィンドウで表示されている場合は、FOMA端末を閉じても音声は流れます。

<ECOモード>

●ECOモード中はAV出力できません。

●ECOモード中に縦画面表示から横画面表示に切り替えた場合、データ放送の情報が破棄されます。縦画面表示に戻すと、再度データ放送を受信できます。

<データ放送設定(画像表示設定)>

●本機能の設定を変更した場合は、「ｉモード設定」の「画像表示設定」も変更されます。

<データ放送設定(確認表示初期化)>

●ワンセグ起動時の確認画面(P.244参照)や録画予約時の確認画面(P.254参照)は初期化されません。

<アイコン常時表示設定>

●「OFF」に設定していても、電波の状態が悪くなった場合は、ガイド表示が表示される場合があります。

フルブラウザ／PC動画

<フルブラウザ>

パソコン向けのホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。iモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、表示が可能です。ただし、インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。
フルブラウザを起動中にスタイルを変更すると、縦画面と横画面が自動で切り替わります。ただし、データ通信中やメッセージ表示中などの場合は、自動で切り替わらない場合があります。手動で切り替える場合は、機能メニューの「横画面モード切替」を選択してください。

- フルブラウザで登録したホームURL、Bookmarkなどのデータはiモードで利用することはできません。また、フルブラウザで設定した内容はiモードには反映されません。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- フレームで構成されたインターネットホームページも閲覧できます。また、選択したフレームごとに表示することもできます。(P.261参照)
- フルブラウザでSSL/TLS※対応のページを表示できます。
  ※SSL、TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、書き換えを防止できます。また、サーバ認証によりなりすましを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

1 **[iα]▶フルブラウザ▶項目を選択**

ホーム……ホームURLに設定したインターネットホームページを表示します。
Bookmark……Bookmarkに登録したインターネットホームページを表示します。(P.157参照)
ラストURL……最後に表示したインターネットホームページを表示します。
Internet……URLを入力してインターネットホームページを表示します。(P.156「インターネットホームページを表示する」参照)
フルブラウザ設定……フルブラウザについての設定を行います。(P.263参照)

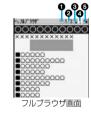
- 「アクセス設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「利用する」を選んで「OK」を選択すると「アクセス設定」の設定が切り替わり、フルブラウザが起動します。
- フルブラウザを終了するにはインターネットホームページを表示中に[☎]を押して「YES」を選択します。
- ホームURLを登録していない場合、「ホーム」を選択するとホームURLが登録されていない旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択するとホームURLの登録画面が表示されます。(P.263参照)

お知らせ
- インターネットホームページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザでは以下の機能は利用できません。
  ・Phone To 機能　・画面メモ
  ・Flash画像　・PDF

フルブラウザの表示について

❶…[icon]:マルチウィンドウで表示中
❷…ウィンドウ番号／ウインドウ数
❸…[icon]:別ウィンドウ通信中
　[icon]:別フレーム通信中
❹…[icon]:ケータイモード
　[icon]:PCモード
❺…[icon]:フレーム拡大表示中

フルブラウザ画面

■**フルブラウザ画面の操作**

操作	ボタン操作	
	ケータイモード	PCモード
前のページへ戻る	[◀]または[1]	[1]
次のページへ進む	[▶]または[3]	[3]
画面をスクロール	[▲▼]	[✣]
ページ単位に画面をスクロール	[▲][▼]または[MENU]([▲ページ])[📷]([▼ページ]) ●ページの先頭／末尾に移動するには、[▲][▼](1秒以上)または[MENU]([▲ページ])[📷]([▼ページ])(1秒以上)または[＊][＃]	
再読み込み	[2]	
画面を拡大・縮小	縮小するには[7]、標準に戻すには[8]、拡大するには[9]	
ブックマーク一覧を表示	[0]	

表示モードを切り替える

フルブラウザ画面には「ケータイモード」と「PCモード」の2つのモードがあります。

1 **iα▶フルブラウザ▶フルブラウザ設定▶表示モード設定▶ケータイモード・PCモード**

ケータイモード
. . . FOMA端末の画面幅でインターネットホームページを表示します。横スクロールは不要で、上下のスクロール操作だけでインターネットホームページを閲覧できます。

PCモード
. . . パソコン上で横800×縦600ドットの表示をしたときと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右にスクロールしてインターネットホームページを閲覧できます。

- インターネットホームページ表示中は機能メニューから「表示モード切替」を選択するごとに表示モードが切り替わります。
- 横画面で表示する場合は自動でPCモードに設定され変更できません。

操作モードを利用する

フルブラウザ画面で✉(操作)を押すと「操作モード」に切り替わります。操作モードに切り替えると操作パレットが表示され、前後のページへの移動と画面の拡大／縮小が行えます。

○:前後のページに戻る／進む
○:画面の拡大／縮小

マルチウィンドウで表示する

フルブラウザでは最大5つのインターネットホームページを同時に開くことができます。

- 同時に開いたインターネットホームページは1つずつ切り替えて表示します。

1 **フルブラウザ画面▶iα(機能)▶新ウィンドウで開く▶項目を選択**

Bookmark . . . Bookmarkに登録したインターネットホームページを新しいウィンドウで開きます。(P.157参照)

URL入力 . . . . . URLを入力して新しいウィンドウで開きます。(P.156「インターネットホームページを表示する」参照)

ホーム . . . . ホームURLに設定したインターネットホームページを新しいウィンドウで開きます。

リンク . . . . フルブラウザ画面で反転表示したリンクを新しいウィンドウで開きます。

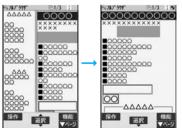
- ウィンドウの切り替えかた、閉じかたについてはP.262参照。

お知らせ

- インターネットホームページによっては、新しいウィンドウで開くように設定されたリンクがある場合があります。そのリンクを開いたときは、上記の操作を行わなくても新しいウィンドウが開きます。

フレームで構成されたページを表示する

フレームで構成されたインターネットホームページを表示します。フレームを選択し、フレームごとに拡大して表示できます。

1 **フレームのあるインターネットホームページ▶○でフレームを選んで●(選択)**

全体表示　　フレーム拡大表示

- 全体表示に戻るには、CLRを押すか機能メニューから「フレーム表示へ戻る」を選択します。

お知らせ

- フレームでの分割数が多いインターネットホームページでは、すべてのフレームを表示できない場合があります。表示できなかったフレームには「 」が表示されます。

フルブラウザ／PC動画

画像をアップロードする

FOMA端末に保存しているJPEGまたはGIF形式の画像をインターネットホームページにアップロードします。

●画像をアップロードする方法はインターネットホームページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

お知らせ

●選択した複数の画像の合計が80Kバイトを超える場合、または選択した画像以外のデータとの合計が100Kバイトを超える場合はアップロードできません。
●インターネットホームページによってはアップロードできない場合があります。
●FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

1 フルブラウザで表示したいページを表示中 ▶iα(機能)▶Internet ▶フルブラウザ切替▶OK

お知らせ

●インターネットホームページによっては、正しく表示できない場合があります。

フルブラウザ画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
Bookmark登録	P.157参照
Bookmark一覧	P.157参照
URL入力	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 ▶**テキストボックスを選択** P.156「インターネットホームページを表示する」手順2へ進みます。 ●あらかじめ表示中のサイトのURLが入力されています。
再読み込み	インターネットホームページの内容が最新の情報に更新されます。
表示モード切替	P.261参照
横画面モード切替	画面を90度右方向に回転して横画面で表示します。 ●すでに横画面で表示しているときは縦画面に戻ります。
新ウィンドウで開く	P.261参照
ウィンドウ切替	マルチウィンドウでインターネットホームページを表示しているときに、表示するウィンドウを切り替えます。 ▶**ウインドウを選択**
ウィンドウを閉じる	マルチウィンドウでインターネットホームページを表示しているときに、表示しているウィンドウを閉じます。 ▶**YES**
画像保存	P.159参照
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール作成	表示中のインターネットホームページのURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.172手順2へ進みます。
ホーム登録／表示(ホーム登録)	表示中のインターネットホームページをホームURLに登録します。 ▶**ホーム登録**▶**YES**
ホーム登録／表示(ホーム表示)	ホームURLに登録したインターネットホームページを表示します。 ▶**ホーム表示**
スクロール設定(速度設定)	P.263参照
スクロール設定(スクロール中のフォーカス表示)	P.263参照
拡大縮小設定	P.263参照
フレーム表示へ戻る	フレームの拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
リトライ	アニメーションを最初から再生します。
ページ情報	表示しているインターネットホームページの情報を表示します。 ▶**URL表示・タイトル表示**
その他(画像表示設定)	画像を表示するかどうかを設定します。 ▶**画像表示設定** P.263参照
その他(文字コード変換)	P.155参照
その他(Cookie設定)	Cookieを有効にするかどうかを設定します。 ▶**Cookie設定** P.264「Cookie設定」手順1へ進みます。
その他(Cookie削除)	Cookieを削除します。 ▶**Cookie削除** P.264「Cookieを削除する」手順1へ進みます。

機能メニュー	操作・補足
その他 (Referer設定)	Refererを送信するかしないかを設定します。 ▶Referer設定 P.264「Referer設定」手順1へ進みます。
その他 (証明書表示)	P.155参照

お知らせ

<ｉモードメール作成>

- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角512文字までです。半角512文字以上あるときは貼り付けできません。

<フルブラウザ設定>

フルブラウザの設定をする

1 ▶フルブラウザ▶フルブラウザ設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
表示モード設定	P.261参照
スクロール設定 (速度設定)	スクロールの速度を設定します。 ▶速度設定▶高速・低速
スクロール設定 (スクロール中のフォーカス表示)	スクロール中にリンク先を反転表示するかどうかを設定します。 ▶スクロール中のフォーカス表示 ▶表示する・表示しない
拡大縮小設定	インターネットホームページの画面の表示サイズを設定します。 フルブラウザ画面の機能メニューでは、ウィンドウごとに拡大／縮小できます。 ▶表示サイズを選択 ●PCモードの場合、フルブラウザ画面の機能メニューでは「表示領域選択」で表示領域を選択できます。
アクセス設定	フルブラウザを利用するかどうかを設定します。 **利用する** . . . . .フルブラウザを利用します。 **利用しない** . . . .フルブラウザの起動時に注意事項を表示します。注意事項を確認し、「利用する」を選んで「OK」を選択すると「利用する」に設定が変更され、フルブラウザを利用できます。
ホーム設定	ホームURLを設定します。 ▶URL欄を選択▶URLを入力▶OK
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。 ▶表示する・表示しない
PC動画自動再生設定	ダウンロードタイプのPC動画を取得しながら再生するかどうかを設定します。 ▶自動再生する・自動再生しない
Cookie設定	P.264参照
Cookie削除	P.264参照
Referer設定	P.264参照
Script設定	Javascriptを有効にするかどうかを設定します。Javascriptは、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。 「有効」に設定すると、フルブラウザでのインターネットホームページ閲覧時にJavascriptの機能を利用できます。 ▶有効・無効
ウィンドウオープンガード設定	Javascriptで新規ウィンドウを自動で開かないようにするかどうかを設定します。 ▶有効・無効
フルブラウザ設定確認	フルブラウザ設定の各設定内容を確認します。
ラストURL初期化	最後に見たインターネットホームページのURLを消去します。 ▶YES

お知らせ

<アクセス設定>

- 「利用する」に設定しているときに別のFOMAカードに差し替えると、「利用しない」に設定が変更されます。

<画像表示設定>

- 「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。

<Script設定>

- インターネットホームページによっては、「有効」に設定しないと正常に表示できない場合があります。
- 「有効」に設定してもJavascriptによっては動作しない場合があります。

Cookieについて

Cookieを利用すると、一度アクセスしたインターネットホームページに効率よくアクセスできます。
Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておく仕組みです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。

- Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookie設定

Cookieを有効にするかどうかを設定します。

1 **▶フルブラウザ▶フルブラウザ設定▶Cookie設定▶項目を選択**

有効 . . .Cookieを常に有効にします。Cookieの送受信時に確認画面は表示されません。
無効 . . .Cookieを常に無効にします。
毎回確認(送信時)
. . . . . . .Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの送信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(受信時)
. . . . . . .Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの受信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(送受信時)
. . . . . . .Cookieの送受信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。

- 別のFOMAカードに差し替えると、「無効」に設定されます。別のFOMAカードのまま設定を変更すると、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。

お知らせ

- 「毎回確認」に設定すると、インターネットホームページによってはCookieを送受信(更新)するかどうかの確認画面が連続して表示される場合があります。

Cookieを削除する

1 **▶フルブラウザ▶フルブラウザ設定▶Cookie削除▶端末暗証番号を入力▶YES**

Refererについて

Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Referer設定

インターネットホームページ表示中にRefererを送信するかしないかの設定をします。

1 **▶フルブラウザ▶フルブラウザ設定▶Referer設定▶項目を選択**

送信する . . . .Refererを送信します。
送信しない. . .Refererを送信しません。
毎回確認. . . . .Refererを送信するときに送信するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「毎回確認」に設定すると、インターネットホームページによってはRefererを送信するかどうかの確認画面が連続して表示される場合があります。

PC動画とは

高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なPC動画を、滑らかに高画質で再生できます。

●PC動画プレーヤーはWindows Media® Videoの再生に対応しています。
●PC動画のダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中に再生	PC動画を受信しながら同時に再生を行います。長時間の再生が可能です。
ダウンロードタイプ（保存可）	データ取得中に再生	「PC動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、PC動画を受信しながら同時に再生を行います。ダウンロードが完了したあとに、microSDメモリーカードに保存することで通信せずに再生できます。1件あたり10Mバイトまでダウンロードできます。
	microSDメモリーカードに保存されたデータの再生	FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したPC動画をmicroSDメモリーカードに保存して、映像を再生できます。1件あたりの容量は、microSDメモリーカードの容量内なら無制限に保存できます。

●ストリーミングタイプの配信サーバはWindows Media Services 9のみに対応しています。Windows Media Services 9以外から配信されるストリーミングタイプのPC動画の再生はできません。
●サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、PC動画の再生ができないことがあります。
●対応するPC動画のファイル形式についてはP.267参照。

PC動画をダウンロードする

ストリーミングタイプのPC動画を再生する

1 PC動画取得可能なサイトでPC動画を選択▶YES

再生中の操作についてはP.266参照。

■ライセンス（Windows Media DRM）について
●ライセンスにより保護されたPC動画で再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのPC動画は再生できません。
●PC動画のライセンス設定によってはPC動画の再生ができない場合があります。
●ライセンスを取得してFOMA端末に保存する際、データがいっぱいのときはすでに保存されているライセンスを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとすでに保存されているライセンスをすべて削除して保存します。ライセンスを削除してしまったPC動画を再生する場合は、再度ライセンスを取得する必要があります。

ダウンロードタイプのPC動画を再生する

1 PC動画取得可能なサイトでPC動画を選択▶YES

再生中の操作についてはP.266参照。

取得完了画面

●「PC動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されているときは、取得中にPC動画が再生されます。「自動再生しない」に設定されているときは、取得完了画面で「再生」を選択すると再生されます。
●ダウンロードタイプのPC動画をサイトから取得する場合、再生を行いながらデータを取得しますが、再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。

つづく

■PC動画の取得が中断したときは
取得中のPC動画のタイプや中断理由によって、それぞれ動作が異なります。
ストリーミングタイプの場合
着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後は一時停止状態となります。Ⓞ(▶)を押すと、続きから再生を再開します。
CLRや☎を押して中断した場合は、再生前の画面に戻ります。
ダウンロードタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後は取得完了画面が表示されます。ただし、データ取得中に再生していた場合は一時停止画面が表示されます。「再生」を選択すると取得したところまでの再生を行います。「再DL」を選択すると続きから取得を再開します。
CLRや☎を押して中断した場合は、データを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。
- ダウンロードタイプの場合、音声電話着信、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知によって中断したときは、中断中もダウンロードは継続されます。
- 接続するサイトおよびPC動画によっては、Ⓞ(▶)を押したり、「再DL」を選択したりしても、続きから再開できない場合があります。その場合、ファイルの先頭から取得を再開します。

お知らせ
- ストリーミングタイプのPC動画はサイズに上限がないため、容量に制限のないデータのやりとりが発生する場合がありますのでご注意ください。取得の際には再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続するサイトやPC動画によっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。ダウンロードタイプのPC動画はデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのPC動画は再生できません。
- 再生できる期間が制限されているPC動画は、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているPC動画は再生できません。再生制限を確認するには「コンテンツ情報」参照。
- 電池残量が少ない状態でPC動画を再生しようとした場合は、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- PC動画の「コンテンツ情報」や再生期限を通知する画面の期限情報は、「サマータイム」が「OFF」の日時で表示されます。

PC動画を保存する

取得したPC動画をmicroSDメモリーカードに保存します。ただし、ストリーミングタイプのPC動画は保存できません。

1 取得完了画面▶保存▶YES

「保存先フォルダ選択」で設定した保存先フォルダに保存されます。
- microSDメモリーカードにすでに最大保存件数まで保存されている場合や、保存容量がいっぱいの場合は不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとデータBOX内の一覧が表示されますので、不要なファイルを選択して削除します。削除時に確認のためmicroSDメモリーカード内のPC動画を再生できますが、前／次ファイル表示などは行えません。

お知らせ
- 保存したPC動画をｉモードメールに添付して送信することはできません。

<PC動画プレーヤー>
データBOXからPC動画を再生する

インターネット上で公開されているパソコン向けの動画や、パソコンなどでmicroSDメモリーカードへ保存したPC動画を再生します。
- 市販のBluetooth機器を利用して、動画の音声をBluetooth機器から再生できます。(P.352参照)

1 MENU▶データBOX▶PC動画

PC動画種別選択画面

2 microSD▶フォルダを選択▶ファイルを選択

PC動画フォルダ一覧画面　PC動画一覧画面

- 再生中･一時停止中･停止中にを1秒以上押すか☎を押すとPC動画プレーヤーが終了します。取得しながらの再生中でも終了します。

■PC動画再生時の操作
- 機能メニューから操作する場合はP.269参照。

操作	ボタン操作
一時停止※1	Ⓞ(❚❚)または ●再生するにはⒺ(▶)または

操作	ボタン操作
早送り※1	✉(▶▶) ●再生するには✉(▶)
次のファイルを表示※2※3	○
前のファイルを表示※2※3	○※4
再生位置選択※1※5	○を押し続ける
音量調節	○または▲▼ ●押し続けると連続して音量調節 ●レベル0(消去)～25まで設定可能
消音	iα( ) ●音を鳴らすにはiα( )または音量調節
縦画面／横画面切替※6※7	📷(横画面) ●押すごとに表示方向を切り替え
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「S-XBS1」→「S-XBS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 PC動画によっては操作できない場合があります。
※2 PC動画を取得しながら再生しているときやストリーミングタイプのPC動画では操作できません。また、取得したPC動画を未保存状態のまま取得完了画面から再生した場合も操作できません。
※3 PC動画一覧画面の並び順で表示します。PC動画一覧から再生した場合に操作できます。ただし、ファイル形式がWVX、ASX、WAXのPC動画はスキップされます。
※4 再生時間が3秒以上過ぎた場合は、頭出しになります。ただし、PC動画を取得しながら再生しているときやストリーミングタイプのPC動画は操作できない場合があります。
※5 早戻し中は操作できません。
※6 横画面再生は再生中のみ有効です。再生画面を終了すると縦画面に戻ります。
※7 映像データが非対応のPC動画や音声データのみのPC動画の場合は操作できません。

●一時停止中に横全画面再生を行うと、画面表示が暗くなる場合がありますが、再生を再開してしばらくすると映像が表示されます。

PC動画再生時、一時停止時に、平型ステレオイヤホンセット(別売)または平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを使って、下記の操作を行えます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押します。再生するには再度1回押します。
次の曲を再生	連続2回押します。
前の曲を再生	連続3回押します。また、再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。

■PC動画再生の仕様について

ファイル形式	WMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX	
拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx	
コーデック	ビデオ	Windows® Media Video 8～9
	オーディオ	Windows® Media Audio 2～9
ビットレート	映像のみ	512kbps
	音声のみ	192kbps
	映像+音声	512kbps+64kbps
ビデオサイズ	QVGA(横320ドット×縦240ドット)	
フレームレート	30fps	

上記を超えるビットレートでも再生できる場合があります。
●対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。
●映像と音声どちらか一方が対応していないファイル形式であった場合、対応しているもう一方のみで再生を行う場合があります。

お知らせ

●wvx、wax、asxの拡張子を持つファイルは、インターネット上のPC動画のURLが指定されているファイルです。microSDメモリーカードに保存されているこれらのファイルを選択した場合、指定されたURLからストリーミングもしくはダウンロード再生を行います。

■PC動画一覧表示中のアイコンについて

アイコン	ファイル形式
🎞	WMV、ASF
🎞	WVX、ASX
♪	WMA
♪	WAX

アイコン	説明
■	インターネット上の動画
■	microSDメモリーカードに保存した動画

●「しおり」内と「再生履歴」内でのみ表示されます。

つづく

■PC動画種別選択画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1～9」を選択すると、登録していた箇所からPC動画が再生されます。

復旧しおり	PC動画再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなる場合、再生中にPC動画プレーヤーを終了した場合などに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめPC動画の任意の場面に登録しておくもので、9つまで作成できます。(P.269参照)

- ●しおりの情報を表示するには(機能)を押して「しおり情報」を選択します。
- ●「指定しおり」を削除するには(機能)を押して「複数選択」「1件削除」「全削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
- ●しおりを登録したPC動画を削除していた場合や他のフォルダに移動した場合、ファイル名を変更していた場合は、再生できません。
- ●しおりから再生した場合でも、PC動画によっては、冒頭からの再生となる場合があります。

■PC動画種別選択画面で「再生履歴」を選択したときは

PC動画を再生すると、ファイルのURLまたは保存場所が履歴として記憶されます。30件まで記憶され、これを超えると一番古い履歴に上書きされます。再生履歴を選択すると記憶された履歴情報に基づきPC動画が再生されます。

再生履歴一覧画面

- ●再生履歴に記憶されたPC動画を削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。
- ●取得したPC動画を未保存状態のまま取得完了画面から再生した場合は、再生履歴に記憶されません。

PC動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	ダウンロードしたPC動画をmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

<保存先フォルダ選択>
- ●保存先に設定されたフォルダには、「 」が表示されます。

PC動画一覧画面・再生履歴一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
コンテンツ情報	PC動画のタイトル、ファイル名などを表示します。
フォルダ移動	PC動画を別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択
タイトル編集(タイトル編集)	▶タイトル編集▶タイトルを入力 ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
タイトル編集(タイトル初期化)	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶タイトル初期化▶YES
コピー	PC動画を別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
履歴情報	再生履歴の情報が表示されます。
しおり登録	再生履歴に記憶されているPC動画のURL情報をしおりに登録します。しおりから再生する際は先頭から再生されます。 ▶登録したいしおり番号を選択 ●「復旧しおり」は選択できません。
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶操作したいファイルにチェック ▶(機能)▶項目を選択 削除 . . . . .P.268「1件削除」参照 コピー . . . . .P.268参照 フォルダ移動 . . .P.268参照
説明	PC動画の歌詞や説明を表示します。 ▶歌詞表示・説明表示 ●それぞれ全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存しているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
一覧表示切替	PC動画一覧画面の表示方法を変更します。 ▶タイトル表示・ファイル名表示

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
早送り	早送り再生します。 ●早送り再生を解除するには、[✉](▶)を押します。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ●早戻し再生を解除するには、[✉](▶)を押します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	PC動画の再生を開始する位置を設定します。 **▶[○]でタイムバーのカーソルを移動させて[●](確定)を押す** ●中止する場合は[CLR]を押します。
サウンド効果(リ.マスター設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 **▶リ.マスター設定▶ON・OFF**
サウンド効果(リスニング設定)	リスニングの効果を設定します。 **▶リスニング設定▶項目を選択** **サラウンド** . . . . . 自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2** . . . . . イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 OFF. . リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1･2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。
サウンド効果(イコライザー設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 **▶イコライザー設定▶項目を選択** **ノーマル** . . . 通常の音質です。 **S-XBS1** . . . 低音を強調します。 **S-XBS2** . . . S-XBS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン** . . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
コンテンツ情報	PC動画のタイトル、ファイル名などを表示します。
しおり登録	PC動画にしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に操作します。 **▶登録したいしおり番号を選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
説明	P.268参照
URLコピー	インターネット上で公開されているPC動画を再生中に、PC動画のURLをコピーします。 ●URLは半角512文字までコピーできます。
表示サイズ設定	PC動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 **▶等倍表示・画面サイズで表示** ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超えるPC動画は画面サイズに縮小されます。

お知らせ

<再生位置選択>
- PC動画によっては、再生位置を選択できない場合があります。

<サウンド効果>
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<しおり登録>
- PC動画によっては、しおりを登録できない場合があります。

<表示サイズ設定>
- 画像サイズによっては、映像の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメピクチャ		デコメール作成で使用できる静止画
	ｉモードで探す	データサイトに接続
デコメ絵文字	お気に入り※1	デコメール作成で使用できる絵文字 ●お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字は削除できます。「P-SQUARE」(P.163参照)のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。
	ｉ絵文字※1	
	装飾※1	
	ハート・キラキラ※1	
	天気・季節※1	
	移動・生活※1	
	電話・メール※1	
	食べ物※1	
	キャラクター※1	
	文字※1	
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
フレーム		フレームに使用できる静止画
スタンプ		マーカースタンプ、マジックスタンプに使用できる静止画
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール用の絵文字

ミュージック			
ｉモード	初期フォルダ		サイトから取得した着うたフル®
		ｉモードで探す	データサイトに接続
	ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内の着うたフル®
	ｉモードで探す		データサイトに接続
	microSD		ダウンロードしたり、FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®
WMA			パソコンから取り込んだWMAファイル

Music&Videoチャネル	
配信番組	Music&Videoチャネルでダウンロードした番組
保存番組	FOMA端末に保存した番組

ｉモーション		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電ムービーなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内のｉモーション
プレイリスト		プレイリスト再生
しおり		しおり再生
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	ムービー	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーした動画
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある動画
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション※3、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション※3、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーション※3

メロディ		
ｉモード		ダウンロードしたメロディなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されているメロディ
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内のメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		プログラム再生
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ

マイドキュメント	
ｉモード	ダウンロードしたPDFデータなど
microSD	ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ

きせかえツール	
ｉモードで探す	データサイトに接続
microSD	ダウンロードしたきせかえツールやFOMA端末から移動したきせかえツール

キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		
PC動画		
microSD		ダウンロードしたり、パソコンなどで保存したPC動画
しおり		しおり再生
再生履歴		PC動画の再生履歴
ワンセグ		
イメージ		ワンセグで録画した静止画
ビデオ	microSD	ワンセグで録画したビデオや、他のAV機器で作成したワンセグ対応の著作権保護対応動画
	しおり	しおり再生
ドキュメントビューア		
メール(添付ファイル)から保存したドキュメントファイル		
SDその他ファイル		
SDその他		メール(添付ファイル)から保存した非対応のファイルやフルブラウザで取得したBMP形式とPNG形式のファイル

※1 「フォルダ名編集」を行うと、フォルダ名が変更されます。また、デコメ絵文字はフォルダに直接保存され、フォルダにはデコメ絵文字以外は保存できません。

※2 「フォルダ追加」で入力したフォルダ名が表示されます。

※3 AAC形式の音楽データを含みます。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

①ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
	静止画	JPEG
	位置情報付き静止画	JPEG
	静止画／アニメーション画像	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	マジックスタンプ	GIF
	Flash	SWF
	iモーション	MP4(AMR)
	iモーション	MP4(AAC)
	iモーション	MP4(AAC+[HE-AAC])
	iモーション	MP4(Enhanced aacPlus)
	iモーション	ASF
	ビデオ	MPEG2-TS
	部分保存されているiモーション	—
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	完全なPDFデータ	PDF
	部分的なPDFデータ	PDF
	不完全なPDFデータ	PDF
	壊れているPDFデータ	PDF
	きせかえツール	—
	部分保存されているきせかえツール	—
	キャラ電	—
	Wordファイル	WORD
	Excelファイル	EXCEL
	PowerPointファイル	POWERPOINT
	非対応ファイル	—

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「 」が付きます。
- ファイルによっては、再生できる回数･期限･期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。

②取得元

アイコン	説明
※	サイトやiモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影
	赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカードなどから取得
	キャラ電撮影
	ワンセグで録画

※ 著作権のあるファイルでmicroSDメモリーカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

③可能な操作

アイコン	説明
	iモードメール添付
	デコメールに画像挿入
	ピクチャ貼付
	赤外線送信･iC送信
	microSDメモリーカードへコピー
	アップロード

＜ピクチャビューア＞

画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した静止画を表示します。

1 MENU▶**データBOX**▶**マイピクチャ**▶**フォルダを選択**▶**ファイルを選択**

フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。
- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

- フォルダは右のプレビュー画像が表示されます。

保存先に設定されている場合

- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に✉(デモ)を押して静止画を確認できる場合があります。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

ワンセグで録画した静止画を表示する場合

1 MENU▶**データBOX**▶**ワンセグ**▶**イメージ**▶**ファイルを選択**

■静止画再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.277参照。

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	◯(右)
前のファイルを表示※1	◯(左)
ズーム(拡大／縮小)※2	●(ズーム) ●ズーム中にiα(＋)／✉(－)で拡大／縮小 ●元に戻すには●(戻る)

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	5M(2592×1944)サイズ以下のファイル※2
ファイルサイズ	2Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合は、VGA(640×480)サイズ以下のファイルまで表示できます。
- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

静止画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ編集	P.277参照
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ピクチャ表示	画像を表示します。
ピクチャ貼付	画像を待受画面などに貼り付けて表示します。貼り付ける画像の位置については「貼付表示位置」参照。 ▶**貼付先を選択** ●貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。 ●「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、状態に応じたメッセージが静止画の中央に表示されます。
ピクチャ情報	静止画のタイトル、ファイル名などを表示します。 ●自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。

機能メニュー	操作･補足
位置情報 (位置情報付加)	▶位置情報付加▶項目を選択 **現在地確認から付加** . . 現在地を測位して位置情報を登録します。位置情報を確認し、[■](確定)を押します。 **位置履歴から付加** . . 位置履歴から位置情報を選択して登録します。 **電話帳から付加** . . 位置情報を登録した電話帳を選択して登録します。 ●登録済みの位置情報を削除する場合は「位置情報削除」を選択します。 ●現在地の測位中に[iα](利用)を押すと、測位の途中までの情報で結果を表示するかどうかの確認画面が表示されます。 ●現在地の測位を中止するには(CLR)または[✉](中止)を押します。 ●位置情報の確認画面で[✉](ﾘﾄﾗｲ)を押すと「品質重視モード」で再度測位されます。
位置情報 (位置情報削除)	画像に登録済みの位置情報を削除します。 ▶位置情報削除▶YES
位置情報 (位置情報詳細)	位置情報の詳細を確認できます。 ▶位置情報詳細 ●詳細を表示中に[iα](機能)を押すと、位置情報の機能メニューが表示されます。(P.232参照)
ｉモードメール添付	P.172手順2へ進みます。 ●[✉](✉)を押してもｉモードメールを作成できます。
デコメ作成	「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.175参照。
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
デスクトップ貼付	P.114参照
microSDへコピー	P.296参照

機能メニュー	操作･補足
お預かりセンターに保存	FOMA端末内に保存している静止画をお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスは申し込みが必要な有料サービスです。 ▶端末暗証番号を入力 ▶保存したい静止画にチェック ▶[✉](完了)▶YES ●10件まで選択できます。 ●[iα](機能)を押して「ピクチャ一覧」「タイトル名一覧」を切り替えることができます。 ●静止画再生中は、静止画をチェックする操作は不要です。
本体へコピー	P.297参照
microSDへ移動	P.298参照
本体へ移動	P.298参照
貼付表示位置	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。 ピクチャ貼付についてはP.274参照。 ▶表示位置を選択
ファイル名編集	▶ファイル名を入力 ●半角英数字で36文字まで入力できます。
ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶なし･あり ●ファイル制限についてはP.146参照。
DPOF設定	P.311参照
スライドショー	フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶標準･スロー [■](停止)を押すとスライドショーが停止します。再度[■](再開)を押すとスライドショーが再開します。
コピー	microSDメモリーカード内の静止画･動画･PDFデータ･ドキュメントファイル･SDその他ファイルをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
フォルダ移動	静止画･動画･PDFデータ･ドキュメントファイル･きせかえツール･SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択 ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[✉](📁)を押すと表示できます。上の階層に戻すには(CLR)を押します。
1件削除	▶YES

つづく↳

機能メニュー	操作･補足
全削除	フォルダ内に保存しているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶**操作したいファイルにチェック** ▶[iα](機能)▶**項目を選択** **ピクチャ一覧･タイトル名一覧･一覧表示切替** . . . . P.276、P.293、P.308参照 **削除**. . . . . P.275「1件削除」参照 **DPOF設定** . . . . P.311参照 **コピー**. . . . . P.275参照 **フォルダ移動**. . . P.275参照 **microSDへコピー** . . . . P.296参照 **本体へコピー**. . . P.297参照 **赤外線送信** . . . . P.305参照 **全選択**. . . . . 全選択します。 **全選択解除** . . . . 選択をすべて解除します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択** ●microSDメモリーカード内のファイルはソートできません。
ピクチャ一覧･タイトル名一覧	静止画の一覧表示を切り替えます。 ●静止画一覧画面で[📷](切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<タイトル編集>

●microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、タイトル編集できない場合があります。

●ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。

●お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、フレーム、スタンプ、プリインストールフォルダ内の画像はタイトル編集できません。

<ピクチャ表示>

●ファイルによってはピクチャ表示できない場合があります。

●Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

お知らせ

<ピクチャ貼付>

●Flash画像は待受画面、ウェイクアップ表示、音声電話／テレビ電話の発着信画面、メールの送受信画面、問い合わせ、メール／メッセージ着信結果以外には貼り付けできません。

●アニメーションGIF形式の画像はテレビ電話の発着信画面以外のテレビ電話関連項目には貼り付けできません。

●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。

●ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

<ｉモードメール添付>

●画像によってはｉモードメール作成できない場合があります。

●ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.146参照。

<デコメ作成>

●画像サイズがSub-QCIF(128×96)サイズより大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小します。
「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小･切り出しします。
ファイルサイズがデコメール作成可能サイズを超える場合は、デコメール作成可能サイズ以下に変換します。

●Sub-QCIF(128×96)サイズに縮小または切り出しした場合、[✉](取消)を押すか[iα](機能)を押して「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、[iα](機能)を押して「確定」を選択するとｉモードメール作成画面が表示されます。

●画像によってはデコメール作成できない場合があります。

<お預かりセンターに保存>

●以下の静止画は保存できません。
･1件あたりのサイズが100Kバイトを超える画像
･FOMA端末外への出力が禁止されている画像
･JPEG形式、GIF形式以外の画像

●圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。

●電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

●お預かりセンターに保存した静止画は、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

<貼付表示位置>
- Flash画像に貼付表示位置は設定できません。
- 設定した表示位置は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置が機能しない場合があります。

<ファイル名編集>
- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

<ファイル制限>
- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。

<スライドショー>
- Flash画像は表示されません。
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

<コピー><フォルダ移動>
- 複数のファイルをコピー･移動中に着信があった場合、コピー･移動は途中でも中止されます。

<1件削除><全削除>
- 他の機能で設定していたファイルを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目にピクチャ貼付した画像は変更されません。
- 添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。
- 複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。また、削除中は圏外と同じ状態になります。
- 録画時間の長いビデオを削除する場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。
- FOMA端末に対応していないデータが含まれているビデオは削除できないことがあります。
- お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、フレーム、スタンプ、プリインストールフォルダ内の画像は削除できません。

<複数選択>
- 静止画、動画、メロディ、PDFデータ、きせかえツールは3500件、ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルは100件まで選択できます。

<ピクチャ一覧･タイトル名一覧>
- 「ピクチャ一覧」で表示すると、画像によっては見えかたが異なる場合があります。

静止画再生中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
ピクチャ編集	P.277参照
ピクチャ貼付	P.274参照
ピクチャ情報	P.274参照
位置情報（位置情報付加）	P.275参照
位置情報（位置情報削除）	P.275参照
位置情報（位置情報詳細）	P.275参照
iモードメール添付	P.275参照
デコメ作成	P.275参照
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
表示サイズ設定	静止画を本来のサイズ（等倍）で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶標準･画面サイズで表示 ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF（176×144）サイズ以下の静止画は、縦横2倍のサイズで表示されます。
デスクトップ貼付	P.114参照
microSDへコピー	P.296参照
お預かりセンターに保存	P.275参照
本体へコピー	P.297参照
貼付表示位置	P.275参照
DPOF設定	P.311参照
削除	P.275「1件削除」参照
リトライ	アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

<ピクチャ編集>
静止画を編集する

1 静止画一覧画面･静止画再生中 ▶ [i*α]（機能）▶ ピクチャ編集

- 待受サイズ以外の静止画で、VGAサイズより大きい静止画の場合、VGAサイズに縮小されます。
- 編集する静止画がディスプレイより大きい場合は、[◎]でスクロールできます。

ピクチャ編集画面

データ表示／編集／管理

つづく

2 **i α(機能)▶静止画を編集**

操作方法についてはP.278～P.280をご覧ください。

3 **●(保存)▶YES•NO**

YES . . .上書きして保存します。
NO . . . .新しい静止画として保存します。
編集した静止画が保存されます。

- ●microSDメモリーカード内の静止画を編集して保存する場合は、手順3で●(保存)を押すと「ｉモード」フォルダに新規保存されます。
- ●編集した静止画を保存しない場合は、CLRまたは☎を押して「YES」を選択します。
- ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。

■ピクチャ編集ができる静止画のサイズ

編集メニュー	5M 3M 2M VGA CIF QVGA QCIF Sub-QCIF	3.7Mワイド 2Mワイド	待受	VGAより小さいその他のサイズ
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	○	×	○	×
文字スタンプ	○	○	○	○※1
マジックスタンプ	○	○	×	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○※2
フォトレタッチ	○	○	×	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
ｉモードメール添付	○	○	○	○

○…ピクチャ編集可　×…ピクチャ編集不可
※1 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
※2 チャット画像サイズ(80×80)以下の静止画は編集できません。

- ●1920×1440ドット、1616×1212ドット、1632×1224ドット、1280×960ドットの画像も編集できます。

お知らせ

- ●カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのファイルのみピクチャ編集できます。
- ●静止画によってはピクチャ編集できない場合があります。

お知らせ

- ●撮影した静止画の画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- ●静止画によっては編集効果が現れにくいものもあります。
- ●静止画によってはサイズ変更をするとピクチャ編集ができなくなる場合があります。
- ●編集中に電池がなくなった場合は、編集した内容は破棄されます。
- ●新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ･ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnnn
    (Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号)
  - ･タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
    (Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分)
  - ･保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ(microSDメモリーカード内の静止画の場合は「ｉモード」フォルダ)
  - ･取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
マーカースタンプ	スタンプフォルダのマーカースタンプを合成します。 **▶マーカースタンプを選択** ●i α(機能)を押して「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大･縮小できます。 ●✉(取消)を押すとマーカースタンプを選択し直せます。 **▶○で位置を決めて●(配置)を押す** ●✉(追加)を押すとマーカースタンプを追加できます。 **▶●(確定)**
フレーム合成	**▶フレームを選択▶●(確定)** ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●○を押すと、前または次のフレームを表示します。○を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●i α(機能)を押して「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●✉(取消)を押すとフレームを選択し直せます。

機能メニュー	操作･補足
文字スタンプ	文字を合成します。 ▶**文字を入力** 全角15文字/半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●iα(機能)を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。📷(切替)を押して16色･256色を切り替えることができます。 「フォント」を選択すると、文字のフォント(書体)を変更できます。 「文字サイズ」を選択すると、文字を拡大･縮小できます。 「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶**Oで位置を決めて●(配置)を押す** ▶**●(確定)** ●✉(取消)を押すと配置する位置を選択し直せます。
マジックスタンプ	スタンプフォルダのマジックスタンプを合成します。人物の顔の部分を自動で認識し、ふさわしい位置に貼り付けます。 ▶**マジックスタンプを選択** ●iα(機能)を押して「スタンプ拡大／スタンプ縮小」を選択すると、マジックスタンプを拡大･縮小できます。 ●中止する場合は✉(取消)を押します。 ▶**Oで位置を決めて●(配置)を押す** ●静止画からはみ出したマジックスタンプは、切り取られます。 ●✉(追加)を押すとマジックスタンプを追加できます。 ▶**●(確定)**
サイズ変更	▶**変更したい画像サイズを選択** ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 ▶**●(確定)** ●✉(取消)を押すとサイズを選択し直せます。

機能メニュー	操作･補足
トリミング	一定の大きさに切り出します。 ▶**切り出したい画像サイズを選択** ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●「発着信画像(480×288)」「VGA(640×480)」を選択した場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縦横ともに1／2に縮小して表示されます。 ▶**Oでトリミングする部分を決めて●(確定)を押す** ●✉(取消)を押すとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶**●(確定)** ●✉(取消)を押すとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 ▶**項目を選択** **シャープ**．．．．輪郭を強調します。 **ソフト**．．．．．．輪郭をぼかします。 **セピア**．．．．．．色調をセピアにします。 **浮き彫り**．．．．でこぼこの質感にします。 **ネガ**．．．．．．．色調を反転します。 **ミラー**．．．．．．左右を反転します。 **スーパークリアシャドウ** ．．．．．．．．．．．．暗い静止画を見やすくします。 **記憶色補正**．．色やコントラストを補正します。 ▶**●(確定)** ●✉(取消)を押すと効果を選択し直せます。
回転	▶**右90度･左90度･180度** ▶**●(確定)** ●✉(取消)を押すと角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から＋3(明るい)で調節します。 ▶**明るさを選択**
iモードメール添付	P.275参照
保存	P.278参照

つづく

お知らせ

<マーカースタンプ>
- 以下のサイズのマーカースタンプは選択できません。
  - ･編集する静止画より大きいサイズ
  - ･CIF(352×288)　･VGA(640×480)
  - ･QVGA(240×320) ･QCIF(176×144)
  - ･Sub-QCIF(128×96)
- 編集する静止画より大きく拡大できません。

<文字スタンプ>
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

<マジックスタンプ>
- VGA(640×480)サイズより大きいマジックスタンプは選択できません。
- 拡大や縮小は最大3回まで操作できますが、VGA(640×480)サイズより大きく拡大できません。
- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は、1人の顔のみ認識します。

<自作アニメ>
アニメを作成する

ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ内の待受(480×854)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶自作アニメ▶<未登録>**
- 変更する場合は、設定済みの自作アニメを選択します。

自作アニメ 1/2
1 <未登録>
2 <未登録>
3 <未登録>
4 <未登録>

自作アニメ一覧画面

2 **コマ順<1コマ目>～<20コマ目>を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択**
- 登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

3 **手順2を繰り返す▶✉(完了)**

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.280手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	P.274参照
ピクチャ情報	P.274参照
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ貼付	P.274参照
表示サイズ設定	P.277参照
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ
- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

<ｉモーションプレーヤー>
動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した動画を再生します。
- 市販のBluetooth機器を利用して、動画の音声をBluetooth機器から再生できます。(P.352参照)

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

フォルダ一覧画面

→

動画一覧画面

- フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.162参照。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

再生制限期限切れ など

ダウンロード未完了

- 他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に✉(デモ)を押してｉモーションを確認できる場合があります。
- ｉモーションによっては、設定されているチャプターを選択して再生できる場合があります。(P.282参照)

■動画再生時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.282参照。

操作	ボタン操作
早見再生	[メール]([早見])(P.283参照)
消音	[iα]([消音]) ●音を鳴らすには[iα]([音])または音量調節
一時停止※1	[決定]([一時停止]) ●再生するには[決定]([再生])
コマ送り再生※2	一時停止中に[メール](コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節	[上下]または[▲][▼] ●押し続けると連続して音量調節 ●レベル0(消去)〜6まで設定可能
次のファイルまたはチャプターを表示※3	[右]
前のファイルまたはチャプターを表示※3	[左]※4
サーチ(早送り)※2	[右]を押し続ける
サーチ(早戻し)※2	[左]を押し続ける
縦画面/横画面/全画面切替	[カメラ](横画面) ●押すごとに表示方法を切り替え
リ.マスター設定	[9] ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	[8] ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	[7] ●押すごとに「ノーマル」→「S-XBS1」→「S-XBS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1ストリーミングタイプのｉモーションでは操作できません。

※2ｉモーションを取得しながら再生しているときやストリーミングタイプのｉモーションでは操作できません。また、ｉモーションによっては操作できない場合があります。

※3チャプターがない動画は動画一覧画面の並び順で動画を切り替えます。動画一覧から再生した場合に操作できます。チャプターがある動画はチャプターの登録されている順でチャプターを切り替えます。

※4再生時間が3秒以上過ぎた場合は、頭出しになります。(チャプターのある動画はチャプターの先頭に戻ります。)

■動画再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像:MPEG4、H.263、H.264 音声:AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像:MPEG4 音声:G.726
画素数	MPEG4:VGA(640×480)以下のファイル	
	H.263:Sub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)のファイルのみ	
	H.264:QVGA(240×320)以下のファイル	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■動画フォルダー一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所から動画が再生されます。

復旧しおり	動画再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなる場合、再生中にｉモーションプレーヤーを終了した場合などに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめ動画の任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.283参照)

●「指定しおり」を削除するには[iα](機能)を押して「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。

●しおりを登録した動画を削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。

お知らせ

●サーチ(早送り･早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。サーチ(早送り･早戻し)は、動画を一時停止･再生中(スロー再生･早見再生も含む)に実行できます。

●ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

動画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモーション編集	P.284参照
タイトル編集	P.274参照
iモーション貼付(着信音)	動画を着信音に設定します。 ▶**着信音**▶**着信の種類を選択** ▶[✉]([完了]) ●設定された項目には「★」マークが付きます。
iモーション貼付(待受画面)	動画を待受画面に設定します。 ▶**待受画面**▶**YES**▶[✉]([完了])
iモーション貼付(ウェイクアップ表示)	動画をウェイクアップ表示に設定します。 ▶**ウェイクアップ表示**▶**YES** ▶[✉]([完了])
iモーション情報	iモーションのタイトル、ファイル名などを表示します。
iモードメール添付	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●[✉]([✉])を押してもiモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
microSDへコピー	P.296参照
本体へコピー	P.297参照
microSDへ移動	P.298参照
本体へ移動	P.298参照
コピー	P.275参照
フォルダ移動	P.275参照
デスクトップ貼付	P.114参照
ファイル名編集	P.275参照
ファイル制限	P.275参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶**YES**
1件削除	P.275参照
全削除	P.276参照
複数選択	P.276参照
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
ソート	P.276参照
一覧表示切替	動画一覧画面の表示内容を変更します。microSDメモリーカードの一覧画面では、タイトルで表示するかファイル名で表示するかを選択できます。 ▶**表示方法を選択** **タイトル** . . .タイトルまたはファイル名が一覧表示されます。 **タイトル+画像** . . .タイトルまたはファイル名と画像が同時に表示されます。表示される画像は動画の1コマ目です。 **タイトル表示/ファイル名表示** . . .タイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択します。 ●microSDメモリーカードの一覧画面の場合、「タイトル」「タイトル+画像」は「名前」「名前+画像」と表示されます。 ●動画一覧画面で[📷]([切替])を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<iモーション貼付>
- 取得元が「[icon]」のiモーションは着信音に設定できません。
- 着信音や着信画面に設定可能なiモーションかどうかを確認するには「iモーション情報」参照。

<iモードメール添付>
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいときはメールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとiモーションの先頭から約2Mバイトまでを切り出します。
- iモーションによってはiモードメール作成できない場合があります。
- iモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
- iモーション編集画面から2Mバイトを超えるiモーションは添付できません。iモードメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
通常再生	通常の速度で再生します。
チャプター一覧	動画に登録されているチャプターの一覧を表示し、再生したいチャプターを選択します。 ▶**再生したいチャプターを選択**
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。 ●スロー再生を解除するには、[✉]([▶])を押すか「通常再生」の操作を行います。

機能メニュー	操作･補足
早見再生（1.25倍速）	通常の約1.25倍の速度で再生します。 ●[✉]([⏩])を押すと2倍速再生されます。[✉]([▶])を押すと通常再生に戻ります。
早見再生（2倍速）	通常の約2倍の速度で再生します。 ●早見再生を解除するには、[✉]([▶])を押すか「通常再生」の操作を行います。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	動画の再生を開始する位置を設定します。 ▶**[○]でタイムバーのカーソルを移動させて[●]([確定])を押す** ●中止する場合は[CLR]を押します。
サウンド効果（リ.マスター設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**リ.マスター設定**▶**ON･OFF**
サウンド効果（リスニング設定）	リスニングの効果を設定します。 ▶**リスニング設定**▶**項目を選択** **サラウンド** ．．．．．自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1･2** ．．．．．イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**．．リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1･2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。
サウンド効果（イコライザー設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**イコライザー設定**▶**項目を選択** **ノーマル**．．．通常の音質です。 **S-XBS1**．．．低音を強調します。 **S-XBS2**．．．S-XBS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン**．．．音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
しおり登録	動画にしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**しおり1に登録･しおり2に登録**
iモーション編集	P.284参照
iモードメール添付	P.282参照 ●再生終了画面で[✉]([✉])を押してもiモードメールを作成できます。
iモーション貼付	P.282参照
iモーション情報	P.282参照
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
本体へコピー	P.297参照
デスクトップ貼付	P.114参照
表示サイズ設定	動画を本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示･画面サイズで表示** ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超える動画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF（176×144）サイズ以下の動画は、縦横2倍のサイズで表示されます。
全画面モード切替	動画の表示方法を切り替えます。項目を選択するごとに、縦画面での再生→画面サイズに合わせて横画面での再生→拡大して全画面での再生に切り替えられます。

お知らせ

<チャプター一覧>

●チャプター送り制限がかかっている場合、現在再生している地点より後のチャプターは選択できません。また、チャプター戻し制限がかかっている場合、現在再生している地点より前のチャプターは選択できません。

<スロー再生>

●スロー再生中は無音です。

●以下のiモーションはスロー再生できません。
･ストリーミングタイプのiモーション
･データを取得しながら再生中のiモーション
･待受画面から再生したiモーション

<早見再生>

●iモーションによっては、早見再生されない場合があります。

●以下のiモーションは早見再生できません。
･ストリーミングタイプのiモーション
･データを取得しながら再生中のiモーション
･待受画面から再生したiモーション

●早見再生中はステレオで再生されません。

●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<再生位置選択>

●動画／iモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<サウンド効果>

●イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

●音声形式がAMRやG.726のiモーションの場合、サウンド効果が無効になる場合があります。

<しおり登録>

●動画／iモーションによっては、しおりを登録できない場合があります。

つづく↓

お知らせ

<表示サイズ設定>

- 画像サイズによっては、映像の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

<全画面モード切替>

- QCIF(176×144)以下の動画は全画面では再生されません。
- 画像サイズによっては、映像の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

プレイリストを利用する

動画をプレイリストに登録して、好きな順に連続で再生できます。プレイリストは5件まで作成でき、1件あたり30件の動画を登録できます。

プレイリスト登録

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション▶プレイリスト▶プレイリスト1～5を選択**

プレイリスト一覧画面

2 **<1番目>～<30番目>を選択▶フォルダを選択▶動画を選択**

3 **手順2を繰り返す▶✉(完了)**

- 登録した動画を解除するには、iα(機能)を押して「1件解除」を選択します。「全解除」を選択すると、登録済みのすべての動画を解除できます。
- 登録した動画の順番を変更するには、iα(機能)を押して「曲順変更」を選択し、順番を変更したい動画を選択します。つづいて変更先を選択すると順番を変更できます。

お知らせ

- 部分保存したｉモーションはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 **プレイリスト一覧画面▶プレイリストを選んで✉(再生)**

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	P.284参照
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。 P.284「プレイリスト登録」手順2へ進みます。
プレイリスト解除	プレイリストに登録されている動画をすべて解除します。 ▶YES
プレイリスト名編集	プレイリスト名を編集します。 ▶プレイリスト名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

<ｉモーション編集>

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。編集した動画／ｉモーションは、編集元の動画／ｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 **動画一覧画面・一時停止中・再生終了時▶iα(機能)▶ｉモーション編集**

- ◎または▲▼で音量を調節できます。

ｉモーション編集画面

2 **iα(機能)▶動画／ｉモーションを編集**

操作方法についてはP.285をご覧ください。

3 **●(保存)を押す**

- 編集した動画／ｉモーションを保存しない場合は、CLRまたは☎を押して「YES」を選択します。

4 **YES**

編集した動画／ｉモーションが保存されます。

- 保存しているｉモーションがいっぱいのときはP.162参照。

■ ｉモーション編集中・デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
一時停止	●(❚❚) ●再生するには●(▶)
早送り	◎(右)を押し続ける
早戻し	◎(左)を押し続ける
コマ送り	一時停止中に◎(右)
コマ戻し	一時停止中に◎(左)
音量調節	◎(上下)または▲▼

- 状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ

- 以下の動画／ｉモーションは編集できません。
  - ・サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」がありのファイル
  - ・VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）、QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）サイズ以外のファイル
  - ・microSDメモリーカードに保存されているファイル
- ｉモーションによっては編集できない場合があります。
- ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
- 編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を閉じた場合は、確定した編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉモーション編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
ｉモーション切り出し	ｉモーションから任意の範囲を切り出します。 ▶Oで開始フレームを表示して ✉（始点）を押す 開始フレームが設定され、動画／ｉモーションが再生されます。 ▶切り出したいところまで再生したら ●（❚❚）を押す 動画／ｉモーションの再生が一時停止します。 ▶Oで終了フレームを表示して ✉（終点）を押す 切り出した範囲が再生されます。 ●ファイルサイズが約10Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。 ▶●（確定）を押す ●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶Oでフレームを表示して✉（確定） ▶YES▶フォルダを選択 ●保存している画像がいっぱいのときはP.162参照。
メールサイズ切り出し	動画／ｉモーションをｉモードメールに添付可能なサイズに切り出します。 ▶メールサイズ(小)･メールサイズ **メールサイズ(小)** . . . 約500Kバイト以下のサイズに切り出します。 **メールサイズ** . . . 約2048Kバイト以下のサイズに切り出します。 ▶Oで開始フレームを表示して ✉（始点）を押す 動画／ｉモーションが再生されます。約500Kバイトまたは2048Kバイトのサイズ、または再生終了時点になると、自動的に再生が停止します。 ▶●（確定） ●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。
ｉモードメール添付	P.282参照
ファイル制限	P.275参照

お知らせ

<ｉモーション切り出し>
- ｉモーション切り出しを行うと、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

ｉモーション編集中･デモ再生一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。
早見再生（1.25倍速）	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生（2倍速）	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	ｉモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	ｉモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。

<ビデオプレーヤー>

ビデオを再生する

microSDメモリーカード内に保存したビデオを再生します。
ヨコオープンスタイルでは横画面で再生します。再生中にスタイルを切り替えることもできます。

- 市販のBluetooth機器を利用して、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます。(P.352参照)

1 MENU▶データBOX▶ワンセグ▶ビデオ▶microSD▶ファイルを選択

フォルダ一覧画面

ビデオ一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

■ビデオ再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.287参照。

操作	ボタン操作
早見再生	(早見)(P.283参照)
消音	(消音) ●音を鳴らすには(音)または音量調節
一時停止	(Ⅱ) ●再生するには(▶)
コマ送り再生	一時停止中に(コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節	またはⓐⓥ ●押し続けると連続して音量調節 ●レベル0(消去)～25まで設定可能
次のビデオを表示※1	
前のビデオを表示※1	※2
30秒スキップ(送り)※3	再生中、一時停止中に(1秒以上)または#
30秒スキップ(戻し)※3	再生中、一時停止中に(1秒以上)または*
番組名表示	MENU(表示) ●横画面表示ではアイコンやタイムバーなども表示
字幕表示切替	番組名表示中にMENU(切替) ●横画面表示では押すごとに「アイコン常時表示設定」と字幕のON／OFFを切り替え ●横画面表示では字幕の有無に関わらず、タイムバーの表示位置も切り替え
縦画面／横画面切替	(横画面)※4※5 ●押すごとに表示方向を切り替え

※1 ビデオ一覧画面の並び順で表示します。
※2 再生時間が10秒以上過ぎた場合は、頭出しになります。
※3 再生時間が30秒未満のファイルでは操作できません。
※4 ヨコオープンスタイルでは操作できません。
※5 FOMA端末を閉じると縦画面表示に戻ります。また、ヨコオープンスタイルでは自動的に横画面表示になり、縦画面表示にはできません。

■ビデオフォルダ一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所からビデオが再生されます。

復旧しおり	ビデオ再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなる場合などに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめビデオの任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.287参照)

- 「指定しおり」を削除するには(機能)を押して「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
- しおりを登録したビデオを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。

お知らせ

- コマ送り再生中は無音です。
- 30秒スキップ中は無音です。また、字幕は表示されません。
- 表示されるタイムバーは目安です。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。
- 電池残量が少ない状態で、ビデオを再生しようとした場合は、電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 編集機能が搭載された携帯電話やパソコンなどを利用してビデオを編集（分割）した場合、FOMA端末では正しく再生できないことがあります。

ビデオ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
情報表示	ビデオの番組、チャンネル名などを表示します。
デスクトップ貼付	P.114参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
1件削除	P.275参照
選択削除	複数のビデオを選択して削除します。 ▶**削除したいビデオにチェック** ▶✉（完了）▶YES
全削除	P.276参照
保存容量確認	保存容量（目安）を表示します。
一覧表示切替	ビデオ一覧画面の表示内容を変更します。 ▶**表示方法を選択** **タイトル** . . . タイトルが一覧表示されます。 **タイトル＋画像** . . . タイトルと画像が同時に表示されます。表示される画像はビデオの1コマ目です。

お知らせ

<一覧表示切替>
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。 ●スロー再生を解除するには、「通常再生」の操作を行います。
早見再生（1.25倍速）	通常の約1.25倍の速度で再生します。（P.283参照）
早見再生（2倍速）	通常の約2倍の速度で再生します。（P.283参照）
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ▶**Oでタイムバーのカーソルを移動させて●（確定）を押す** ●中止する場合はCLRを押します。
しおり登録	ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**しおり1に登録・しおり2に登録**
情報表示	P.287参照
デスクトップ貼付	P.114参照
アイコン常時表示設定	横画面表示で再生中にアイコン表示を行うかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「アイコン常時表示設定」を「OFF」、「受信表示設定」を「操作優先」に設定していても、メールやメッセージR/Fを受信した場合は「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
画質モード設定	画質を変更します。 ▶**項目を選択** **スタンダード** . . 標準的な画質 **スポーツ** . . . . . . スポーツ番組などに適した画質 **シネマ** . . . . 映画などに適した画質 **ダイナミック** . . 動きを強調したダイナミックな画質
音声設定（自動音量設定）	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 ▶**サウンド効果**▶**自動音量設定** ▶ON・OFF
音声設定（リ.マスター設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**サウンド効果**▶**リ.マスター設定** ▶ON・OFF
音声設定（リスニング設定）	リスニングの効果を設定します。 ▶**サウンド効果**▶**リスニング設定** ▶**項目を選択** **サラウンド** . . . . . . 自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2** . . . . . . イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF** . . リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1・2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。

つづく↪

機能メニュー	操作・補足
音声設定(イコライザー設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶サウンド効果▶イコライザー設定▶項目を選択 ノーマル……通常の音質です。 ダイナミック…メリハリ感を強調したダイナミックな音にします。 ボイス………会話を聞き取りやすくします。 トレイン……音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
音声設定(主／副音声設定) プレーヤー起動時 主音声	▶主／副音声設定 ▶主音声・副音声・主／副同時
字幕表示切替	字幕を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

お知らせ

<スロー再生>

- スロー再生中は無音です。

<再生位置選択>

- ビデオによっては、再生位置を選択できない場合があります。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。

<キャラ電>

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーで再生、撮影することもできます。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.163参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。
- キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

1 [MENU]▶データBOX▶キャラ電▶キャラ電を選択

→
キャラ電一覧画面　キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当

「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

- 操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

ボタン操作	内容
[1]～[9] [#][1]～[#][9]※1※2 (全体アクションモード時)	全体アクション： 身体全体でアクションを表現します。
[1][1]～[9][9]※1 (パーツアクションモード時)	パーツアクション： 身体の一部でアクションを表現します。
[0]	実行中のアクションを中断します。
[MENU]	「アクション一覧」を表示します。
[✉]	テレビ電話発信になります。
[📷]	キャラ電を撮影します。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の[#]を取り消すにはもう一度[#]を押します。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
キャラ電発信	P.69参照
代替画像設定	P.69参照
キャラ電撮影	P.289参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
情報表示	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

機能メニュー	操作・補足
デスクトップ貼付	P.114参照
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック ▶[iα](機能)▶削除▶YES
表示サイズ設定	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

＜情報表示＞

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

＜1件削除＞＜全削除＞＜複数選択＞

●代替画像に設定している「カンガルー」以外のキャラ電を削除した場合、代替画像は「カンガルー」に設定されます。「カンガルー」を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
キャラ電発信	P.69参照
代替画像設定	P.69参照
キャラ電撮影	P.289参照
デスクトップ貼付	P.114参照
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで[●](選択)を押すとアクションを実行でき、[✉](詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●[MENU]を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 キャラ電表示時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード( )またはパーツアクションモード( )に切り替えます。
情報表示	P.288参照
表示サイズ設定	P.289参照

＜キャラ電撮影＞

キャラ電を撮影する

表示されているキャラ電を、静止画や動画として撮影します。

1 [MENU]▶データBOX▶キャラ電▶撮影したいキャラ電を選択▶[📷](撮影)

●キャラ電一覧画面、キャラ電表示画面の機能メニューからも選択できます。

キャラ電撮影画面

静止画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「 」を表示して[●](撮影)を押す

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。

●「 」が表示されているときは[📷](フォト)を押して「 」を表示します。

2 [●](保存)を押す

撮影した静止画を「カメラ」フォルダに保存します。

動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「 」を表示して[●](撮影)を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。

●「 」が表示されているときは[📷](ﾑｰﾋﾞｰ)を押して「 」を表示します。

2 [●](停止)▶[●](保存)

撮影した動画を「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●画像サイズはQCIF（176×144）に固定されます。

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、撮影確認音・撮影開始音・撮影終了音は鳴りません。

●「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。）

キャラ電撮影画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択
代替画像設定	P.69参照
アクション一覧	P.289参照
アクション切替	P.289参照
表示サイズ設定	P.289参照
記録サイズ設定	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF(176×144)・縮小サイズ(117×96)
映像／音声選択	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像・音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声・映像のみ
記録品質設定	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶標準・画質優先・動き優先

お知らせ

<キャラ電切替>

●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。

<メロディプレーヤー>

メロディを再生する

1 MENU▶データBOX▶メロディ

●フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。

フォルダ一覧画面

●フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。

2 フォルダを選択▶メロディを選択

メロディ一覧画面

メロディ再生画面

●他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 MENU▶データBOX▶メロディ▶プログラム

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、☎、0〜9、＊、＃、✉、📷、P
音量調節	◎または▲▼※1 ●押し続けると連続して音量調節 ●レベル0(消去)〜6まで設定可能
次のファイルを再生※2	◎(右)
前のファイルを再生※2	◎(左)

※1 FOMA端末を閉じている場合は、停止します。
※2 メロディ一覧画面から再生した場合、有効です。

お知らせ

●メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合、鳴りません。

●再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角31文字/半角63文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●半角英数字で36文字（拡張子を除く）まで入力できます。
メロディ再生	P.290参照
着信音設定	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.146参照。
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール添付	選択しているメロディをiモードメールに添付して作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●（✉）（✉）を押してもiモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
microSDへコピー	P.296参照
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。
本体へコピー	P.297参照
本体へ移動	P.298参照
コピー	microSDメモリーカード内のメロディをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
保存容量確認	保存容量（目安）を表示します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除（1件削除）	FOMA端末内のメロディを1件削除します。 ▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	FOMA端末内のメロディを選択して削除します。 ▶選択削除▶削除したいメロディにチェック ▶（✉）（完了）▶YES
削除（全削除）	FOMA端末内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES
1件削除	microSDメモリーカード内のメロディを1件削除します。 ▶YES
全削除	microSDメモリーカード内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
複数選択	microSDメモリーカード内の複数のメロディを選択して操作します。 ▶操作したいメロディにチェック ▶（iα）（機能）▶項目を選択 **削除** . . . . P.291「1件削除」参照 **コピー**. . . . . . . P.291参照 **フォルダ移動** . . . . P.291参照 **全選択**. . . . . . . 全選択します。 **全選択解除** . . . 選択をすべて解除します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●microSDメモリーカード内のファイルはソートできません。
フォルダ移動	メロディを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択▶移動したいメロディにチェック▶（✉）（完了）▶YES ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、（✉）（📁）を押すと表示できます。上の階層に戻すには（CLR）を押します。 ●microSDメモリーカード内の場合は、メロディをチェックする操作は不要です。
microSDへ移動	P.298参照

お知らせ

<ファイル名編集>
- 取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
- 記号など、一部の文字はファイル名に使用できません。

<ファイル制限>
- 取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
- ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。

<iモードメール添付>
- 取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。

つづく

お知らせ

<メロディ情報>

●メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、i モードメールに添付できないことがあります。

<削除>

●他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

●お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

メロディ再生画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
着信音設定	P.291参照
デスクトップ貼付	P.114参照
i モードメール添付	P.291参照
メロディ情報	P.291参照
microSDへコピー	P.296参照
本体へコピー	P.297参照
フルコーラス再生・ポイント再生	メロディの再生開始位置を一時的に切り替えます。

<きせかえツール>

きせかえツールを確認する

きせかえツールの詳細を確認できます。

●お買い上げ時に登録されているきせかえツールは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.163参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。

1 **MENU▶データBOX▶きせかえツール▶きせかえツールを選択▶項目を選択**

きせかえツール一覧画面　きせかえツール詳細画面

選択した画像、着信音、イルミネーションがデモ再生されます。カラーテーマを選ぶと、選択したカラーテーマでディスプレイが表示されます。

●きせかえツール一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードの一覧が切り替わります。microSDメモリーカード内のフォルダ一覧画面でフォルダを選択すると、きせかえツール一覧画面が表示されます。

●フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。

●プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

●「i モードで探す」を選択した場合はP.162参照。

お知らせ

●microSDメモリーカード内のきせかえツールは一括設定できません。

●時計表示はデモ再生できません。

きせかえツール表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	P.274参照
プレビュー	きせかえツールをプレビューします。
一括設定	きせかえツールを一括で設定します。(P.109参照) ●✉を押しても一括設定できます。
ファイル情報	きせかえツールのタイトル、ファイル名などを表示します。
microSDへ移動	P.298参照

機能メニュー	操作・補足
本体へ移動	P.298参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
フォルダ移動	P.275参照
1件削除	P.275参照
全削除	フォルダ内に保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
複数選択	P.276参照
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を確認します。
ソート	P.276参照
一覧表示切替	きせかえツール一覧画面の表示内容を変更します。 ▶タイトル・画像 ●きせかえツール一覧画面で📷(切替)を押しても切り替えることができます。

microSDメモリーカードについて

microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

●FOMA P905iでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカード、4GバイトまでのmicroSDHCメモリーカードに対応しています。(2008年3月現在)
microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
・iモードから
P-SQUARE(2008年3月現在)
iMenu→メニューリスト
→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
・パソコンから
http://panasonic.jp/mobile/

サイト接続用QRコード

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

●カード処理を行っているときは「」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDメモリーカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDメモリーカードを抜いてください。

●microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルは約65500件までしか認識できません。

●本体・microSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。

●microSDメモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。

●FOMA端末では、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、iモーション、メロディ、きせかえツール、着うたフル®、iアプリをmicroSDメモリーカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

お知らせ

●パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは使用できないことがあります。必ずFOMA P905iでフォーマットしたmicroSDメモリーカードをご使用ください。

●フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

●本FOMA端末以外の機器でmicroSDメモリーカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。

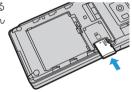
●パソコンなど他機器で使用しているmicroSDメモリーカードをFOMA P905iで使用すると、FOMA P905iで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

microSDメモリーカードの取り付けかた/取り外しかた

■取り付けかた

1 リアカバーを取り外す(P.41参照)

2 microSDメモリーカードのおもて面を上に向けて差し込む

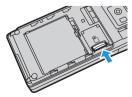
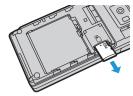
●「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

3 リアカバーを取り付ける(P.41参照)

■取り外しかた

1 リアカバーを取り外し、microSDメモリーカードをいったん奥まで押し込む

●奥まで押し込むとmicroSDメモリーカードが出ます。

データ表示/編集/管理

つづく

2 microSDメモリーカードを抜き取る

■画面表示について

microSDメモリーカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

- SD :データを保存したり読み出したりできます。
- SD :microSDメモリーカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。
- SD :microSDメモリーカードを使用できません。microSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けてください。それでも「SD」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- ●FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- ●microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- ●microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- ●microSDメモリーカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

<SD-PIM>

microSDメモリーカードのデータを表示する

microSDメモリーカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク（iモード、フルブラウザ）を表示します。

- ●電話帳、メール、ブックマークの詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示したときと同様の操作が行えます。
  電話帳の詳しい操作についてはP.92参照。
  メールの詳しい操作についてはP.194参照。
  ブックマークの詳しい操作についてはP.157参照。

1 MENU ▶LifeKit▶SD-PIM▶分類を選択

分類一覧表示画面　microSDファイル画面（電話帳の場合）

- ●「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

2 ファイルを選択▶データを選択

データ一覧画面（電話帳の場合）　データ詳細画面（電話帳の場合）

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角31文字まで入力できます。
本体へ追加コピー	P.296参照
本体へ上書コピー	P.296参照
1件本体へ追加コピー	P.295参照
全件本体へ追加コピー	P.295参照
全件本体へ上書コピー	P.296参照
microSDへコピー	P.295参照

機能メニュー	操作･補足
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
microSD情報表示	P.299参照
プロパティ表示	データ詳細画面を表示します。
microSDフォーマット	P.299参照
microSDチェックディスク	P.299参照

お知らせ

<1件削除><全削除>
- パソコンなどでアクセス権が読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1件microSDへコピー

FOMA端末内の1件のデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 **コピーしたいデータの画面▶ⅰα(機能)▶microSDへコピー▶YES**

全件microSDへコピー

分類一覧画面で選択している分類やmicroSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードやボイスダイヤルはコピーされません。

1 **分類一覧表示画面･microSDファイル画面▶ⅰα(機能)▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES**

- スケジュールをコピーするときは、「スケジュール」･「ToDo」･「すべて」(スケジュールとToDo)のいずれかを選択します。
- ブックマークをコピーするときは、「ｉモード」･「フルブラウザ」･「すべて」(ｉモードとフルブラウザ)のいずれかを選択します。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳を全件コピーした場合、プッシュトーク電話帳の情報や「自局番号表示」の内容もコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク(ｉモード、フルブラウザ)をFOMA端末にコピーします。
- microSDメモリーカードに保存できる件数についてはP.301参照。

1件本体へ追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 **データ一覧画面･データ詳細画面▶ⅰα(機能)▶1件本体へ追加コピー･本体へコピー▶YES**

全ファイル本体へ追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 **分類一覧表示画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES**
または
microSDファイル画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

つづく

1ファイル本体へ追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 microSDファイル画面▶ⅰα(機能)▶本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
データ一覧画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

全ファイル本体へ上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 分類一覧表示画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
microSDファイル画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

1ファイル本体へ上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 microSDファイル画面▶ⅰα(機能)▶本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
データ一覧画面▶ⅰα(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。

お知らせ

- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号･グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号･グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 電話帳をコピーすると、プッシュトーク電話帳にも登録されます。上書きでコピーするとプッシュトークグループの内容も上書きされます。
「1件本体へ追加コピー」した場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択する(複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択する)とプッシュトーク電話帳にも登録されます。
- 電話帳を上書きでコピーすると、ボイスダイヤルは削除されます。
- 電話帳を上書きでコピーした場合は、先頭のデータを「自局番号表示」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。
- 送信BOX、受信BOXがいっぱいのときにメールを1件コピーすると、保護されていない最も古いメール(受信メールの場合は既読メール)に上書きされます。
- 「全件本体へ追加コピー」した場合、以下のデータはコピーされません。
･日付時刻の設定が同じスケジュール
･同じURLのブックマーク
- microSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへコピーする

コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画 (DCF規格)	「ピクチャ」内の保存先フォルダ PXXXXXXX(Xは数字)
静止画 (DCF規格外)	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX(Xは数字)
静止画 (デコメ絵文字)	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX(Xは数字)
動画 (映像あり)	「ムービー」内の保存先フォルダ MOLXXX(Xは英数字)
動画 (映像なし)	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX(Xは数字)
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX(Xは数字)
PDF	保存先フォルダ PDFDCXXX(Xは数字)

- FOMA端末、microSDメモリーカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換される場合があります。

データ表示／編集／管理

1 静止画一覧画面・静止画再生中・動画一覧画面・メロディ一覧画面・メロディ再生中・PDFデータ一覧画面▶ⓘα(機能)▶microSDへコピー

●「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。

お知らせ

● ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、ユーザフォルダ内のJPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータをコピーできます。
●JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。
●保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されて保存されます。静止画以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
●以下のファイルはコピーできません。
・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
・お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ
・再生制限付きファイル
・部分保存したｉモーションまたは着うたフル®
・ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
●microSDメモリーカードへコピーすると、画質が劣化したりファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカード内にあるファイルを、本体内のｉモードフォルダにコピーします。(デコメ絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダにコピーされます。)

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・静止画再生中・動画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・メロディ一覧画面・メロディ再生中・PDFデータ一覧画面▶ⓘα(機能)▶本体へコピー

●「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。
●保存されている画像・ｉモーション・メロディ・PDFデータがいっぱいのときはP.162参照。

お知らせ

●コピー処理中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。

お知らせ

●JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータをコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディ、SWFファイルはコピーできません。
●JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。ただし、ASF形式の動画、VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)サイズの動画、10Mバイトを超える動画は、複数コピーできません。
●動画コピー時は動画を切り出し・変換・縮小を行うため、画質が劣化したり、ファイルサイズが増減することがあります。ただし、映像コーデックがH.264の動画は変換、縮小を行わずコピーします。
●VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)サイズの動画をコピーする場合、QVGA(320×240)サイズに変換します。VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)サイズの動画、ASFファイル、10Mバイトを超えるファイルをコピーすると、時間がかかる場合があります。
●10Mバイトを超える動画で以下の場合はコピーできません。
・映像コーデックがH.264のとき
・音声コーデックがAAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlusのとき
・動画像ビットレートが制限を超えるとき
・サーチ(早送り・早戻し)ができないとき
・動画サイズがVGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のとき
上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。
●ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
●コピー後のファイルのタイトルはmicroSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

<コンテンツ移行対応>
著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDメモリーカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダ(着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダ)に保存されます。
microSDメモリーカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディー覧画面・きせかえツール一覧画面・着うたフル®一覧画面▶iα(機能)▶microSDへ移動▶OK

お知らせ
- 取得元アイコンが「 」のファイルのみmicroSDメモリーカードへ移動できます。
- 部分保存したｉモーション、着うたフル®、きせかえツールはmicroSDメモリーカードへ移動できません。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDメモリーカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末の「ｉモード」フォルダに移動します。

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディー覧画面・きせかえツール一覧画面・着うたフル®一覧画面▶iα(機能)▶本体へ移動

お知らせ
- 著作権のあるファイル(ファイル制限あり)で本体へ移動「可」または「可(同一機種間)」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可(同一機種間)」のファイルはP905i以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可(同一機種間)」を確認するには「ピクチャ情報」「ｉモーション情報」「メロディ情報」「ファイル情報」「ミュージック情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「ｉモード」フォルダに保存されます。ただし、きせかえツールはデータBOXの「きせかえツール」に、着うたフル®は「初期フォルダ」にそれぞれ保存されます。

FOMA端末内のｉアプリをmicroSDメモリーカードへ移動する

ｉアプリによってはmicroSDメモリーカードに移動して保存しておけるものがあります。
microSDメモリーカードに移動したｉアプリは起動することはできません。再度、FOMA端末に移動すると起動できます。ただし、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 ソフト一覧画面・ICカード一覧画面▶iα(機能)▶microSDへ移動▶YES

microSDメモリーカード内のｉアプリをFOMA端末へ移動する

microSDメモリーカード内のｉアプリをFOMA端末に移動します。

1 ソフト一覧画面▶iα(機能)▶本体へ移動▶YES

<SDその他ファイル>
非対応ファイルを管理する

FOMA端末では対応していないさまざまなファイルやフルブラウザで取得したBMP形式とPNG形式のファイルをmicroSDメモリーカードに保存できます。(P.185、P.262参照)
保存したファイルはｉモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 MENU▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択

フォルダ一覧画面　SDその他ファイル一覧画面

- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。
- FOMA端末でファイルの内容は表示できません。

SDその他ファイル一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	P.274参照
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
ｉモードメール添付	ファイルを添付してｉモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●✉( )を押してもｉモードメールを作成できます。

機能メニュー	操作・補足
コピー	P.275参照
フォルダ移動	P.275参照
1件削除	P.275参照
全削除	P.276参照
複数選択	P.276参照
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

<microSDフォーマット>

microSDメモリーカードをフォーマットする

microSDメモリーカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。
フォーマットは必ずFOMA P905iで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは正常に使用できない場合があります。
フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU▶LifeKit▶SD-PIM▶iα(機能)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に✉(中止)や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに保存したデータは不確定となります。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- フォーマット後にmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

<microSDチェックディスク>

microSDメモリーカードをチェックする

microSDメモリーカードのチェックを行い、修復します。

1 MENU▶LifeKit▶SD-PIM▶iα(機能)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDメモリーカードのチェックディスクを行った場合、microSDメモリーカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に✉(中止)や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

<microSD情報表示>

microSDメモリーカードの容量を表示する

microSDメモリーカードの空き容量と保存容量(目安)を表示します。

- 静止画、動画の保存容量を確認するにはP.276参照。

1 MENU▶LifeKit▶SD-PIM▶iα(機能)▶microSD情報表示

お知らせ

- microSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

microSDメモリーカードをパソコンなどで使う

microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードアダプタに接続すると、SDメモリーカード対応のパソコンなどで利用できます。
microSDメモリーカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDメモリーカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDメモリーカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）
- パソコン：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
- 対応OS：Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**USBモード設定**▶**microSDモード**

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- パソコン内のWMAファイルをmicroSDメモリーカードに保存する場合は「MTPモード」に設定します。「MTPモード」に設定すると、待受画面に「MTP」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信（OBEX™通信）やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続する**

パソコンがmicroSDメモリーカードを認識します。

- デスクトップに「 」が表示され、待受画面に「 」が表示されます。また、microSDメモリーカードを装着中は「 」が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」にしてください。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDメモリーカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込んで使用する場合も、指定のフォルダ構成、ファイル名で書き込む必要があります。

```
DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
└△△△_PANA
  └P△△△zzzz.###（拡張子はJPG、GIF）

MISC（DPOF用フォルダ〔P.311「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

SD_VIDEO（動画用フォルダ）
├PRL◇◇◇（ムービー用フォルダ）
│└MOL◇◇◇.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
├MGR_INFO（ビデオ管理情報フォルダ）
└PRG◇◇◇（ビデオ用フォルダ）

PRIVATE
└DOCOMO
  ├STILL（DCF規格外静止画フォルダ）
  │└SUD□□□
  │  └STILzzzz.###（拡張子はJPG、GIF、SWF）
  ├DOCUMENT（PDF用フォルダ）
  │└PUD□□□
  │  └PDFDC□□□.PDF
  ├RINGER（メロディ用フォルダ）
  │└RUD□□□
  │  └RINGzzzz.###（拡張子はMLD、SMF）
  ├TORUCA（トルカ用フォルダ）
  │└TRC□□□
  │  └TORUC□□□.TRC
  ├MMFILE（SD-VIDEO規格外動画用フォルダ〔AAC形式の音楽データ含む〕）
  │├MUD□□□
  ││└MMFzzzz.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
  │├WM_SYSTEM
  │└WM
  ├DECOIMG（デコメ絵文字用フォルダ）
  │└DUD□□□
  │  └DIMGzzzz.###（拡張子はJPG、GIF）
  ├OTHER（SDその他ファイル用フォルダ）
  │└OUD□□□
  │  └OTHER□□□.###（拡張子はFOMA端末が認識できない3桁までの半角英字）
  ├MOVIE（PC動画用フォルダ）
  │└MVUD□□□
  │  └MOVIE□□□.###（拡張子はWMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX）
  └TABLE（付加情報フォルダ）
```

└📁MEIGROUP
　└📁PMC
　　├📁DOCUMENT（Word、Excel、PowerPoint用フォルダ）
　　│└📁DOC□□□
　　│　└DOCDC□□□.###（拡張子はXLS、DOC、PPT）
　　└📁TABLE
　　　└📁DOCUMENT

📁SD_PIM（電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク用フォルダ）
└PIM▲▲▲▲▲.###（拡張子は電話帳：VCF、スケジュール・ToDo：VCS、メール：VMG、テキストメモ：VNT、ブックマーク：VBM）

📁SD_AUDIO（SDオーディオ用フォルダ）

📁SD_BIND（ｉアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ）
└📁SVC▲▲▲▲▲
　└📁■■■■◆◆◆◆

△△△：100～999の3桁の半角数字（フォルダ名に使用した数字とそのフォルダに保存するファイル名に使用する数字は同じにしてください。）
□□□：001～999の3桁の半角数字
◇◇◇：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字
▲▲▲▲▲：00001～65535の5桁の半角数字
■■■■、◆◆◆◆：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた0001～FFFFの16進数※の文字
zzzz：0001～9999の4桁の半角数字
###：拡張子
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数えかたです。

- PDFファイル、SDその他ファイル、PC動画ファイル、Word、Excel、PowerPointファイルの場合、パソコンでファイル名を64バイト（拡張子を含む）までの自由な文字で書き込むこともできますが、FOMA端末でコピーや移動を行うとファイル名が変更される場合があります。

■microSDメモリーカードに保存可能な件数・時間

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画（DCF規格）	DCIM	P.136参照
静止画（DCF規格外）	STILL	約58390件
動画（ムービー）	SD_VIDEO	P.138参照
動画（ビデオ）	SD_VIDEO	99件
動画（SD-VIDEO規格外）	MMFILE	約58390件
PC動画	MOVIE	約58390件
メロディ	RINGER	約58390件
PDFデータ	DOCUMENT	約58390件
Word、Excel、PowerPointファイル	PMC	約58390件
SDオーディオ	SD_AUDIO	999件
トルカ	TORUCA	約58390件
デコメ絵文字	DECOIMG	約58390件
SDその他ファイル	OTHER	約58390件
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク	SD_PIM	約58390件
ｉアプリ	SD_BIND	約58390件
移行可能コンテンツ	SD_BIND	

- 使用するmicroSDメモリーカードの容量によって、保存件数・時間は変わります。フォルダを追加して保存場所を変えると、より多くのファイルを保存できます。
- ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDメモリーカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- microSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P905iでmicroSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
- 「SD_AUDIO」・「SD_BIND」・「PRG◇◇◇」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
- パソコンで「PRG◇◇◇」フォルダ内にデータを保存すると、FOMA端末でビデオを削除できなくなる場合があります。
- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDメモリーカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

フォルダを管理する

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール(SD)、PC動画、ドキュメントビューア、SDその他ファイルでは、それぞれフォルダでデータを管理しています。

●ミュージックのフォルダ操作についてはP.327参照。
●「移行可能コンテンツ」フォルダの場合は、フォルダ内のデータ一覧画面でも、フォルダ一覧画面の機能メニュー項目が表示されます。

フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 **▶フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダやFOMA端末の「デコメ絵文字」フォルダ内のフォルダ名を編集します。 **▶フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのファイルを削除します。 **▶端末暗証番号を入力▶YES**
画像全削除 [マイピクチャのみ]	「マイピクチャ」内と「ワンセグ」の「イメージ」フォルダ内のすべてのファイルを削除します。 **▶端末暗証番号を入力▶YES** ●お買い上げ時に登録されているファイルは削除されません(ただし、デコメ絵文字は削除されます)。また、microSDメモリーカード内のファイルも削除されません。
プログラム編集 [メロディのみ]	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 **▶プログラム順<1曲目>～<10曲目>を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択** ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 **▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる▶✉(完了)**
プログラム解除 [メロディのみ]	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 **▶YES**
保存先フォルダ選択	撮影した静止画や動画、ダウンロードやデータ通信で取得したメロディやPDFデータなどをmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 **▶YES**

お知らせ

<フォルダ追加>
●FOMA端末内では20件まで追加できます。
●microSDメモリーカード内で以下の場合はフォルダ追加できません。
・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
・「イメージボックス」内フォルダ数が999件のとき
・「デコメ絵文字」内フォルダ数が999件のとき
・「ムービー」内フォルダ数が4095件のとき
・「メロディ」内フォルダ数が999件のとき
・「その他コンテンツ」内フォルダ数が999件のとき
・「マイドキュメント」内フォルダ数が999件のとき
・「ドキュメントビューア」内フォルダ数が999件のとき
・「きせかえツール」内フォルダ数が999件のとき
・「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

<フォルダ名編集>
●「SDイメージ」・「SDデコメ絵文字」・「その他コンテンツ」・「SDメロディ」・「SD-PC動画」・「SDその他」フォルダはフォルダ名編集できません。

<フォルダ削除><画像全削除>
●添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。
●「イメージボックス」内の「SDイメージ」フォルダ、「デコメ絵文字」内の「SDデコメ絵文字」フォルダ、「その他コンテンツ」・「SDメロディ」・「SD-PC動画」・「SDその他」フォルダは削除できません。
●フォルダ内に非対応ファイルが含まれているフォルダは削除できません。
●他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

<プログラム編集>
●プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

データ表示/編集/管理

お知らせ

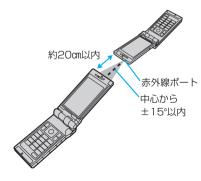
＜保存先フォルダ選択＞
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。

「　」…「ピクチャ」フォルダ･「ムービー」フォルダ内のフォルダ
「　」…「マイドキュメント」･「ドキュメントビューア」･「SDその他ファイル」内のフォルダ
「デコメ絵文字」フォルダ･「イメージボックス」フォルダ･「メロディ」フォルダ内のフォルダ
「　」…「移行可能コンテンツ」、「きせかえツール」フォルダ内のフォルダ
「　」…「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ

- microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成･編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

赤外線通信について

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1に準拠しています。赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下･赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、iモード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

■転送できるデータの一覧

転送条件／転送可能データ	1件	複数件	全件
電話帳（自局番号表示）	○	×	1000件まで
スケジュール※1	○	×	1000件まで
ToDo	○	×	100件まで
受信メール※2	○	×	2500件まで
送信メール	○	×	1000件まで
保存メール	○	×	20件まで
テキストメモ	○	×	20件まで
メロディ※3、※4	○	×	×
静止画ファイル※4、※5、※6	○	○	×
動画ファイル※4、※7	○	○	×
PDFデータ※3、※4、※8	○	×	×
トルカ※4	○	○	495件まで
ブックマーク（iモード･フルブラウザ）※9	○	×	iモード、フルブラウザそれぞれ100件まで
現在地通知先情報	○	×	5件まで

○：転送できます。　×：転送できません。
※1　休日･記念日は送受信できません。
※2　エリアメールは別に30件送受信できます。（合計2530件）
※3　ファイルによっては送受信できません。
※4　vntファイルに変換して送受信されます。
※5　Flash画像も含みます。
※6　自作アニメやワンセグで録画した静止画は送受信できません。
※7　ASFファイルやワンセグで録画したビデオは送受信できません。
※8　iモードしおりが消去される場合があります。
※9　ブックマークを送受信した場合、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳（自局番号表示）	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」）の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。

つづく

データ		保存場所／保存順
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
テキストメモ	1件受信	<未登録>の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
静止画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
動画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「ｉモーション」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
トルカ	1件受信／複数件受信	「トルカフォルダ」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ブックマーク	1件受信	ｉモード、フルブラウザそれぞれ「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
現在地通知先情報	1件受信	<未登録>の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･部分保存ファイル
  - ･お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ
  - ･FOMAカード内の電話帳やSMS
- microSDメモリーカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- 静止画、動画、PDFデータのタイトルは、全角9文字/半角18文字、メロディのタイトルは、全角31文字/半角63文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信側の端末によってはメールの題名をすべて受信できない場合があります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数（P.444参照）を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール→古い受信メールの順に上書きされます。
- 送信メールの最大保存件数（P.444参照）を超えた場合は、送信BOXフォルダの保護していない最も古い送信メールに上書きされます。
- 赤外線通信でトルカ（詳細）の送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。その場合、「YES」を選択すると詳細も含めて送信され、「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ（詳細）の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画は2Mバイト、動画は10Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは2Mバイト、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA 充電機能付きUSB接続ケーブル　01（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件または複数件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。
静止画ファイル、動画ファイル、トルカは複数件送受信できます。

■送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録した電話帳を受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードやボイスダイヤルは送信されません。

データを1件または複数件送信する

1 送信したいデータの画面▶i α(機能)▶赤外線送信

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。
- メール、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「赤外線送信」を選択します。
- 複数件送信する場合は、「複数選択」で送信したいファイルを選択します。i α(機能)を押して「赤外線送信」を選択します。

2 YES

- 複数件送信の場合は、選択したファイル数分「YES」を選択してファイルを送信します。

データを1件または複数件受信する MENU 7 9

1 MENU▶LifeKit▶赤外線受信

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)

2 受信▶YES

- 電話帳の場合は、プッシュトーク電話帳にも登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 1件受信後に続けて受信するかどうかの確認画面が表示されます。複数件受信の場合は「YES」を選択します。

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリ To」にチェックを付けていない場合は起動しません。

データを全件送受信する

赤外線で電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、ブックマーク、メール、トルカ、現在地通知先情報のデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意

- 全件受信を行うと、登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録していたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- 電話帳データを全件送信すると、プッシュトーク電話帳の情報も送信されます。ボイスダイヤルの情報は送信されません。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

データを全件送信する

1 送信したいデータの画面▶i α(機能)▶赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。
- メール、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「赤外線全件送信」を選択します。

2 認証パスワードを入力▶YES

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

1 MENU ▶**LifeKit**▶**赤外線受信**

●赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.114参照)

2 **全件受信▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES▶YES**

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。

お知らせ

●静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能を利用する

iアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

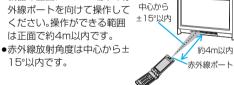
●リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。(お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。)また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。

●機器によっては操作できないものもあります。

●対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。

●セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

●機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。

●赤外線放射角度は中心から±15°以内です。

<電話帳画像転送> MENU 2 6

通信の設定を行う

赤外線、iC通信、SD-PIM、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

1 MENU ▶**電話帳**▶**電話帳設定**▶**電話帳画像転送**▶**する・しない**

<iC送信>

iC通信について

iC通信とは、FeliCa リーダー/ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、FeliCaマーク「」を重ね合わせることでデータを送受信します。

●転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。(P.303参照)
ただし、複数件送信はできません。

●「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。

●相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCa マーク「」どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

データを1件送受信する

iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

●P.305「■送受信時のご注意」もご覧ください。

データを1件送信する

●充電中はご利用できません。

1 **送信したいデータの画面▶(機能)▶iC送信**

●電話帳を送信する場合は、機能メニューから「iC送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。

●メール、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線/iC送信」を選択し、「iC送信」を選択します。

2 **YES**

データを1件受信する

1 **待受画面を表示中に送信側の FeliCa マーク「」とFOMA端末の FeliCa マーク「」を重ねる▶YES**

●電話帳の場合は、プッシュトーク電話帳にも登録するかどうかの確認画面が表示されます。

データを全件送受信する

iC通信で電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、ブックマーク、メール、トルカ、現在地通知先情報のデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。
●P.305「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

データを全件送信する

●充電中はご利用できません。

1 **送信したいデータの画面▶(機能)▶iC全件送信▶端末暗証番号を入力**

●電話帳を送信する場合は、機能メニューから「iC送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。
●メール、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「iC全件送信」を選択します。

2 **認証パスワードを入力▶YES**

●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

1 **待受画面を表示中に送信側の FeliCaマーク「」とFOMA端末の FeliCaマーク「」を重ねる**

2 **YES▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力**

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。

お知らせ

●静止画が登録された電話帳を受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

<PDF対応ビューア>

PDFデータを表示する

サイトからのダウンロードなどで保存したPDFデータを表示します。

1 **MENU▶データBOX▶マイドキュメント▶フォルダを選択▶PDFデータを選択**

フォルダー一覧画面　PDFデータ一覧画面

●フォルダー一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。
●フォルダー一覧画面の機能メニューはP.302参照。
●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

表示不可

プレビュー非対応(「」や「」のPDFデータ)

プレビュー非対応(「」のPDFデータ)

●PDFデータにパスワードが設定されているときはP.160参照。

■PDFデータ表示時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.308参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	上
下スクロール	下
左スクロール	左
右スクロール	右
ボタン操作のガイドを表示	メール
ズームイン	3
ズームアウト	1
全体表示	2

操作	ボタン操作
次のページ	カメラ 9 ▼
前のページ	MENU 7 ▲
検索	5
次を検索	6
前を検索	4
しおり一覧の表示	8
しおりの追加	8 (1秒以上)

お知らせ

●本体･microSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
●データによっては、正しく表示されないことがあります。

つづく

お知らせ

- 部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。
- ダウンロードしていないページをダウンロードする際に、サーバ側のPDFデータが変更されている場合は、最初のページからダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

PDFデータ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	P.274参照
ドキュメント情報	PDFデータのファイル名、保存日時などを表示します。
iモードメール添付	PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●[✉]([✉])を押してもiモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
microSDへコピー	P.296参照
本体へコピー	P.297参照
コピー	P.275参照
フォルダ移動	P.275参照
デスクトップ貼付	P.114参照
1件削除	P.275参照
全削除	P.276参照
複数選択	P.276参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.276参照
一覧表示切替	PDFデータ一覧画面の表示内容を変更します。 ▶**タイトル・画像** ●PDFデータ一覧画面で[📷](切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<一覧表示切替>

- 「画像」で表示すると、PDFデータによっては実際と見えかたが異なる場合があります。

PDFデータ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。1000%まで拡大できます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。8%まで縮小できます。
ページ移動	PDFデータ内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力して「OK」を選択すると指定したページへ移動できます。
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、黄緑色にマーキングされます。 ▶**検索**▶**検索文字列の欄を選択** ▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック** ▶[✉](検索) ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
しおり／マーク(しおり表示)	P.309参照
しおり／マーク(しおりの追加)	現在表示しているページにしおり(iモードしおり)を設定します。しおりを選択して目的のページを簡単に表示できます。10件まで設定できます。 ▶**しおりの追加**▶**YES** ▶**タイトルの欄を選択**▶**タイトルを入力** ▶**OK** ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●しおりがいっぱいのときはP.310参照。
しおり／マーク(マーク表示)	P.310参照
しおり／マーク(マークの追加)	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。ポイントとなる箇所の目印などとして利用できます。10件まで設定できます。 ▶**マークの追加**▶**YES** ●マークがいっぱいのときはP.310参照。

機能メニュー	操作･補足
表示 （表示モード）	PDFデータの表示方法を変更します。 ▶表示モード▶表示方法を選択 ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力して「OK」を選択すると指定した倍率で表示できます。 ●倍率指定で指定できる倍率は8～1000%までです。 ●表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率で表示されます。
表示 （表示を回転）	▶表示を回転▶右90゜回転･左90゜回転
表示 （ページレイアウト） ビューア起動時 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。 ▶ページレイアウト ▶単一ページ･連続ページ･見開きページ
表示 （リンク表示）	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク（表示中のPDFデータ内に設定されているリンク）、Web To、Mail To、Phone To／AV Phone Toがあります。 ▶リンク表示▶リンクを選択 ●画面内に複数のリンクがある場合は、[O]で選べます。 ●内部リンクを選択するとPDFデータ内のリンクされているページへ移動できます。その他のリンクについてはP.163参照。
表示 （表示情報設定） ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、拡大倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶表示情報設定▶項目を選択 ▶表示する･表示しない
表示 （ドキュメント情報）	P.308参照
保存	P.310参照
残り全てを取得	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、通信が途中で切断されダウンロードに失敗したPDFデータなどの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。 ▶YES
画面切り出し	画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ▶[●]（選択）▶YES▶フォルダを選択 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.162参照。
ｉモードメール添付	PDFを添付してｉモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。

お知らせ

<検索>
- 各検索条件の動作は次のとおりです。

大文字小文字を区別：
　大文字、小文字を区別して検索します。

単語にマッチ：
　単語単位で完全に一致した文字列を検索します。

逆向きに検索：
　「次を検索」をしたとき、開始したページから先頭ページ方向へ検索を進めます。

'?'をワイルドカードとする：
　検索文字列の欄に入力した「?」マーク（半角）の部分は任意の文字として検索条件に設定します。

現在のページ内で検索：
　現在表示中のページ内でのみ検索します。

<しおり／マーク（しおりの追加）>
- タイトルを空白にすると「無題」と登録されます。

<表示（表示モード）>
- ビューア起動時は「ドキュメント表示設定」で設定している表示サイズになります。

<表示（ページレイアウト）>
- 部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

<画面切り出し>
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。

しおり表示

PDFデータに設定されているしおりと追加で設定したｉモードしおりを一覧表示します。
しおりを選択すると設定されているページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶[iα]（機能）▶しおり／マーク▶しおり表示▶しおり･ｉモードしおり▶しおりを選択**

- あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。[iα]（進む）を押すと、下階層のしおりを表示できます。ただし、3階層目以降はすべて3階層目に表示されます。

ｉモードしおり表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。
削除 （1件削除）	▶1件削除▶YES
削除 （選択削除）	▶選択削除▶削除したいしおりにチェック▶[✉]（完了）▶YES
削除 （全削除）	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

マーク表示

PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。
マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶[iα]([機能])▶しおり／マーク▶マーク表示▶マークを選択**

マーク一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいマークにチェック▶[✉]([完了])▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

保存

PDFデータを保存します。ダウンロードした新たなページや、しおり・マークの追加を保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照)

1 **PDFデータ表示中▶[iα]([機能])▶保存▶YES**

一度FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存しているPDFデータの場合は、保存するたびに上書き保存されます。(手順2の操作は不要です。)
FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存されていないPDFデータの場合は、新規保存されます。
- サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると上書き保存されます。「NO」を選択すると新規保存されます。

2 **保存したいフォルダを選択**

- FOMA端末内に保存されているPDFデータがいっぱいのときはP.162参照。

■しおり・マークがいっぱいのときは
すでにしおり・マークが10件設定されているPDFデータにしおり・マークを追加しようとした場合や、しおり・マークが11件以上設定されているPDFデータを保存しようとした場合は、不要なしおり・マークを削除してから追加／保存するかどうかの確認画面が表示されます。
1. YES
2. 削除するしおり・マークを選択▶YES
または
削除するしおり・マークにチェック▶[✉]([完了])▶YES
- 「[完了]」が表示されるまでチェックを付けます。

ドキュメント表示設定

PDFデータをサイトから表示する際の表示方法を設定します。

1 **[iα]▶iモード設定▶ドキュメント表示設定▶表示方法を選択**

<ドキュメントビューア>

Word、Excel、PowerPointファイルを表示する

microSDメモリーカードに保存した、Microsoft WordファイルやMicrosoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルを表示します。

1 **[MENU]▶データBOX▶ドキュメントビューア▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

フォルダ一覧画面　　ドキュメント一覧画面

- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.302参照。

■ドキュメントファイル表示時の操作
- 機能メニューから操作する場合はP.311参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	[▲]
下スクロール	[▼]
左スクロール	[◀]
右スクロール	[▶]
ボタン操作のガイドを表示	[✉]
ズームイン	[3]
ズームアウト	[1]

操作	ボタン操作
全体表示	[2]
次のページ	[📷][9][▼]
前のページ	[MENU][7][▲]
検索	[5]
次を検索	[6]
前を検索	[4]

お知らせ
- データによっては、正しく表示されないことがあります。

データ表示／編集／管理

ドキュメント一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	P.274参照
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
iモードメール添付	ドキュメントファイルを添付してiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
コピー	P.275参照
フォルダ移動	P.275参照
1件削除	P.275参照
全削除	P.276参照
複数選択	P.276参照
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

ドキュメントファイル表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ズームイン	ファイルの表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	ファイルの表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
表示	ファイルの表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択** ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力して「OK」を選択すると指定した倍率で表示できます。 ●「倍率指定」で指定できる倍率は8〜1000%までです。
ページ移動	ファイル内の他のページまたはシートに移動します。 ▶**移動したいページまたはシートを選択** ●Microsoft Wordファイル、Microsoft PowerPointファイルで「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力して「OK」を選択すると指定したページへ移動できます。
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、反転表示されます。 ▶**検索**▶**検索文字列の欄を選択** ▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック** ▶✉(検索) ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
倍率・ページ	ファイルを表示する際に、拡大倍率・ページ番号を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
スクロールバー	ファイルを表示する際に、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
表示を回転	▶**右90°回転・左90°回転**
ドキュメント情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。

お知らせ

<検索>
●各検索条件の動作は次のとおりです。
単語にマッチ:
単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
大文字小文字を区別:
大文字、小文字を区別して検索します。
現在のページ内で検索(Excelファイルのみ):
現在表示中のページ内でのみ検索します。
ファイル内で検索(Excelファイルのみ):
ファイル全体から検索します。

保存した画像を印刷する

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDメモリーカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 静止画再生中・静止画一覧画面
▶i α(機能)▶DPOF設定
▶プリント指定▶プリント枚数(枚)を入力

●「01」〜「99」の2桁を入力します。
●選択した静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定解除」を選択します。すべての静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

●DPOF設定した画像は種別アイコンが「 」になります。
●999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
●2Mバイトを超える画像や5M(2592×1944)サイズを超える画像には設定できません。
●パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。

つづく

お知らせ

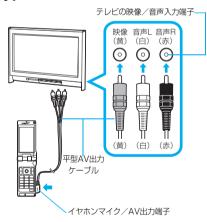
- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。(アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。)不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。
- P905iで撮影した静止画はPRINT Image MatchingⅢにも対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image MatchingⅢより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。

<AV出力>

テレビに静止画や動画／iモーションを表示する

平型AV出力ケーブル　P01(別売)を使ってFOMA端末とテレビを接続すると、静止画、動画／iモーション、テレビ電話中の映像、ワンセグ、iアプリの映像をテレビに表示できます。その他の画面は表示されません。

FOMA端末とテレビを接続する

FOMA端末のイヤホンマイク／AV出力端子のカバーを開け、平型AV出力ケーブルを接続します。テレビの映像／音声入力端子に平型AV出力ケーブルを接続します。

お知らせ

- テレビ以外の機器にも接続して出力できます。
- 平型AV出力ケーブルを接続するときは、確実に差し込んでください。また、ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。
- 平型AV出力ケーブルをテレビなどの機器に接続するときや抜くときは、接続する機器の音量を一度「OFF」にしてください。

お知らせ

- プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。

静止画をテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中に静止画を再生する

または

静止画再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- MENU(画面)を押すと、画面サイズが切り替わります。
- ●(自動)を押すとスライドショーを開始できます。再度●(停止)を押すと停止できます。
- ◎を押すと前の静止画や次の静止画を表示できます。
- ✉(回転)を押すたびに、静止画を時計回りに90°ずつ回転できます。
- 静止画の再生方法についてはP.274参照。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。再生を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 以下の場合はAV出力できません。
  - ･静止画一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
  - ･iモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ、ピクチャフォルダ(microSD)、イメージボックスフォルダ(microSD)以外のフォルダ内の静止画を再生している場合
  - ･取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」の静止画を再生している場合
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したキャラ電ピクチャを再生している場合
  - ･等倍表示中やスライドショーで再生している場合
  - ･FLASH画像を再生している場合
- 静止画がVGA(640×480)サイズより大きい場合は、縦横比を保ったままVGA(640×480)サイズ以下に縮小してテレビに表示します。
- 画面サイズを切り替えると、テレビによっては正しく表示されない場合があります。

動画／iモーションをテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中に動画／iモーションを再生する

または

動画／iモーション再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- MENU(画面)を押すと、画面サイズが切り替わります。
- 動画／iモーションの再生方法や再生中の操作についてはP.280参照。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 以下の場合はAV出力できません。
  - ・動画一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
  - ・取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」の動画／iモーションを再生している場合
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したキャラ電ムービーを再生している場合
  - ・プリインストールフォルダ、移行可能コンテンツフォルダ（microSD）のフォルダ内の動画／iモーションを再生している場合
- 画面サイズを切り替えると、テレビによっては正しく表示されない場合があります。

テレビ電話中の映像をテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中にテレビ電話をする

または

テレビ電話中に平型AV出力ケーブルを接続する

- AV出力中は「 」が表示されます。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。テレビ電話を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 遠隔監視中の映像はAV出力できません。
- AV出力中はマイクの感度が高くなります。

お知らせ

- AV出力中は「 (ハンズフリーマーク)」が表示されませんが、音声は接続している機器より出力されます。ハンズフリー切替はできません。

ワンセグの映像をテレビに表示する

ワンセグ起動時	解除

1 平型AV出力ケーブル接続中にワンセグを視聴する

または

ワンセグ視聴中に平型AV出力ケーブルを接続する

2 (機能)▶AV出力▶YES

- AV出力を中止する場合は、同様の操作を行うか、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。視聴を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 「クローズ音声継続設定」を「ON」に設定している場合は、FOMA端末を閉じてもAV出力が継続されます。
- 字幕やデータ放送はテレビに表示されません。
- 録画中やECOモード中はAV出力できません。
- ワンセグで録画したビデオや静止画はAV出力できません。
- AV出力中の音声は接続している機器より出力され、FOMA端末の音量を調節しても、出力される音量は変わりません。

iアプリの映像をテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中にiアプリを起動する

または

iアプリ起動中に平型AV出力ケーブルを接続する

- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。iアプリを終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- FOMA端末を閉じてもAV出力は継続されます。ただし、省電力モードで一時停止した場合は、AV出力できません。

Music&Videoチャネル／音楽再生

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

■音楽データの取り扱いについて
microSDメモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフル契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中はパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフルの対象外となるため、番組の取得や設定は行えません。番組の取得や設定を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定すると、夜間に番組データが自動的に取得されます。

1 MENU▶**MUSIC**▶**Music&Videoチャネル**

Music&Videoチャネル画面

2 **番組設定**
▶画面に従って番組の設定操作を行う

詳しくは『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.162参照。

■番組を設定したときは

番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「▦」が表示されます。ただし、設定したときと異なるFOMAカードを挿入している場合は表示されません。

番組取得は夜間に自動的に行われます。このとき番組取得中の画面は表示されません。成功するとデスクトップに「▦更新」が表示されます。●を押し、「▦更新」を選んで●(選択)を押すと、Music&Videoチャネル画面が表示されます。
取得に失敗した場合は「✖失敗」が表示されます。

お知らせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。ただし、取得中の画面を表示している場合は、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。
- 番組取得の開始や完了をお知らせするための着信音･バイブレータの鳴動機能はありません。「イルミネーション」の「Music&Video chイルミネーション」を「ON」に設定した場合、番組の取得が完了すると着信／充電ランプが点滅します。(P.111参照)
- 一度に設定できる番組の数は2つまでです。
- 新しく番組を取得すると、保存されている番組は上書きされるため、再生できなくなりますのでご注意ください。上書きされないようにするためには、「番組移動」を行って「保存番組」フォルダに番組を移動してください。
- 取得した番組はmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトのマイメニュー登録が必要です。(P.156参照)
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、「サービスのご案内」を選択するとMusic&Videoチャネルの紹介ページが表示されます。
- 番組取得開始時に「電源が入っていない」、「電池残量が少ない」などにより番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。
- 番組の取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況の良い環境で使用してください。
- Music&Videoチャネル画面で選んでいる番組や利用中の番組は、番組の設定操作および自動取得ができません。
- Music&Videoチャネルの解約を行った場合、「番組移動」で移動した番組以外は削除されます。
- 番組を設定したときと異なるFOMAカードを挿入した場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。

お知らせ

- Music&Videoチャネルのサービスメニューを選択したときに「番組設定情報を確認しますか？」と表示された場合、「YES」を選択すると配信済みの番組は削除されます。ただし、配信停止設定中は削除されません。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。

番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面▶番組設定▶画面に従って操作する

設定中の番組の確認や、設定の解除を行うことができます。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を手動で取得する

番組の自動取得に失敗した場合や番組配信日を過ぎても更新されなかった場合（未更新）は、待受画面に「失敗」が表示されます。自動取得に失敗した番組は、手動で取得できます。

1 Music&Videoチャネル画面▶番組を選択▶はい

- 部分取得した番組の場合、「途中まで再生」を選択すると再生できます。
- 未更新の番組の場合、「そのまま再生」を選択すると更新前の番組を再生できます。

お知らせ

- 番組の取得が中断された場合は、中断されるまでの部分的に取得した番組は保存されます。続きを取得するときは、一部の時間帯を除いて手動で取得できます。番組が更新されていたり、別の番組に変更されていたりしたときは、続きからではなく最初から取得を開始します。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日まで更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動で番組取得ができない場合があります。

番組の再生／操作

- 平型ステレオイヤホンセット（別売）を接続してステレオサウンドで番組を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで番組を楽しめます。（P.352参照）

1 MENU▶MUSIC▶Music&Videoチャネル▶番組を選択

Music&Videoチャネル起動中は「🎵」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「🎵」が表示されます。

- 前回再生した番組の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。
- 番組を選んで✉（チャプター）を押すとチャプター一覧が表示されます。
- 番組を選んでMENU（サイト接続）を押すと番組のURL情報のURLに接続します。

Music&Videoチャネル画面

- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

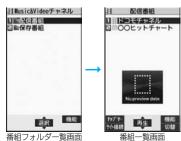
再生制限期限切れ など

番組取得中

- 再生中・一時停止中にPを1秒以上押すか☎を押すと、番組の再生が終了します。
- Music&Videoチャネルで音楽を聴きながらメールやサイトの表示など（バックグラウンド再生）を利用できます。（P.419参照）

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

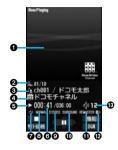
データBOXからも番組を再生できます。データBOXでは、現在配信されている番組の他に、過去に配信されていた番組で「保存番組」フォルダに移動した番組も再生できます。

1 MENU▶データBOX▶Music&Videoチャネル▶配信番組・保存番組▶番組を選択

番組フォルダ一覧画面　番組一覧画面

- 番組一覧画面で📷（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

Music&Videoチャネル／音楽再生

つづく

■Music&Videoチャネル再生時の画面について

FOMA端末を閉じている場合

❶…番組画像※または番組の映像

❷…チャプター番号／チャプター数
（プライベートウィンドウではチャプター番号のみ）

❸…チャプター名／アーティスト名

❹…番組名　❺…再生状態

❻…再生時間／総演奏時間

❼…再生モード（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
　:リピート

❽…イコライザー設定
NORMAL :ノーマル　S-XBS1 :S-XBS1
S-XBS2 :S-XBS2　TRAIN :トレイン

❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO :ステレオ　MONO :モノラル

❿…リスニング設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
SURROUND :サラウンド　NATUR1 :ナチュア1
NATUR2 :ナチュア2

⓫…リ. マスター設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
REMASTER :ON

⓬…Bluetooth接続アイコン
（未接続の場合は、何も表示されません。）
　:接続中

⓭…音量

※画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。

■Music&Videoチャネル再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	（■）
一時停止	（❚❚）または ●再生するには（▶）または
音量調節	または▲▼ ●は押し続けると連続して音量調節 ●レベル0（消去）～25まで設定可能
次のチャプターに切り替え	または▼（1秒以上）
前チャプターに切り替え※1	または▲（1秒以上） ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し
サーチ（早送り）※2	を押し続ける
サーチ（早戻し）※2	を押し続ける
サイトに接続	MENU（サイト接続）
バックグラウンド再生	（BGM）
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ. マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「S-XBS1」→「S-XBS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 前のチャプターがない場合は曲の頭出しになります。
※2 一時停止中は操作できません。

Music&Videoチャネル再生時の画面で平型ステレオイヤホンセット（別売）または平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを使って、下記の操作を行えます。

●FOMA端末を閉じた場合でも操作できます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す。
次のチャプターに切り替え	連続2回押す
前のチャプターに切り替え※	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

※前のチャプターがない場合は曲の頭出しになります。

■Music&Videoチャネル画面・番組一覧画面のアイコンについて

Music&Videoチャネル画面に表示されているアイコンで、番組の取得状況などを確認できます。

アイコン	説明
	取得に成功した番組
	壊れている番組
	部分的に取得した番組や、取得に失敗した番組

●新しく取得した番組には「NEW」が付きます。
●番組によっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のある番組のアイコンには、「 」、再生制限切れの番組のアイコンには「 」が付きます。「番組情報」で番組の再生制限を確認できます。
●番組によっては操作が制限されているものがあります。操作制限のある番組のアイコンには「 」が付きます。
●番組によっては、再生できる時間帯が決まっているものがあります。時間帯制限のある番組のアイコンには「 」が付きます。時間は、ネットワークから取得した時刻情報に従います。
●定期的に更新された番組を取得開始できなかった場合は、未更新の番組として「 」が表示されます。「 」は番組を取得開始できた時点で消えます。
●Music&Videoチャネルの番組はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.146参照。

お知らせ

●以下の操作を行うと、前回再生した番組の情報は消去されます。
・FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
・番組を更新した場合
・前回再生した番組を削除したり、移動した場合
●電池残量が少ない状態で、番組を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示され、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴ります。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
●以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信があった場合
・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
また、発生した機能によってはMusic&Videoチャネルを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
●時間帯制限のある番組で、再生終了後に黒画面を表示した場合は、次回の再生時間帯に再生が開始されます。

お知らせ

●Music&Videoチャネルの「番組情報」や再生期限を通知する画面の期限情報は、「サマータイム」が「OFF」の日時で表示されます。

Music&Videoチャネル画面・番組フォルダ一覧画面・番組一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャプター一覧	番組に設定されているチャプターの一覧を表示します。チャプターを選択することによって、選択したチャプター以降から再生します。 ●(iα)(機能)を押して「チャプター情報」を選択すると、チャプターのタイトルや再生時間などの情報が表示されます。
再生モード変更	▶**ノーマル・リピート** **ノーマル**. . . 番組をチャプター順に1回再生します。 **リピート**. . . 番組をチャプター順に繰り返し再生します。
番組情報	番組のタイトルや配信元、再生制限などを表示します。
番組移動	現在配信中の番組は、次の配信日に新しい番組に更新されます。配信番組が更新される前に、番組を「保存番組」フォルダに移動することで保存できます。保存できる空き容量は「保存容量確認」で確認できます。容量は他のデータと共通で、最大10件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.444参照) ▶**YES** ●保存している番組がいっぱいのときはP.162参照。
デスクトップ貼付	P.114参照
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶**YES**
複数選択	「保存番組」フォルダに保存されている番組を複数選択して削除します。 ▶**削除したい番組にチェック** ▶(iα)(機能)▶**削除**
サイト接続	番組にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶**YES**
画像表示	番組に登録されている番組画像を表示します。 ●(CLR)を押すと一覧画面に戻ります。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

機能メニュー	操作・補足
番組削除 ・1件削除	番組を1件削除します。 ▶YES ●MUSICのMusic&Videoチャネル画面では、現在配信中の番組を削除した場合は、次回の番組配信まで「番組設定中」と表示されます。番組が設定されていない場合は、「番組がありません」と表示されます。
全削除	「保存番組」フォルダに保存されているすべての番組を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<再生モード変更>
- 時間帯制限がある番組の場合、再生モードの設定は無効になります。
- 時間帯制限がない番組で再生回数制限がある場合、「リピート」に設定しても繰り返し再生はされません。

<番組移動>
- 取得が完了していない番組や移動制限、時間帯制限が設定されている番組は移動できません。

<タイトル編集>
- 編集したタイトルは、次回の番組が配信されると新しいタイトルに上書きされます。

<複数選択><番組削除・1件削除><全削除>
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

再生中・一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャプター一覧	P.319参照
再生モード変更	P.319参照
サウンド効果（リ.マスター設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶リ.マスター設定▶ON・OFF
サウンド効果（リスニング設定）	リスニングの効果を設定します。 ▶リスニング設定▶項目を選択 サラウンド ……自然で立体感のある音にします。 ナチュア1・2 ……イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 OFF ..リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1・2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。
サウンド効果（イコライザー設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶イコライザー設定▶項目を選択 ノーマル....通常の音質です。 S-XBS1 ...低音を強調します。 S-XBS2 ...S-XBS1よりさらに低音を強調します。 トレイン....音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
番組情報	P.319参照
チャプター情報	現在、再生中のチャプターのタイトルや再生時間などを表示します。
サイト接続	P.319参照
前画像表示	前の画像を表示します。
次画像表示	次の画像を表示します。
全画面モード切替	画像を90度右方向に回転して横画面で再生します。 ●すでに横画面で再生しているときは縦画面に戻ります。

お知らせ

<サウンド効果>
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<前画像表示><次画像表示>
- 最大3枚まで表示できますが、番組によっては表示できない場合があります。

音楽の再生方法について

ミュージックプレーヤー、iモーションプレーヤーを使ってFOMA端末で音楽を再生できます。

■ミュージックプレーヤー（P.323参照）

音楽CDなどからパソコンを利用してmicroSDメモリーカードに保存した音楽データや着うたフル®を「MUSIC」の「ミュージックプレーヤー」で再生します。

■ｉモーションプレーヤー（P.280参照）

「データBOX」の「ｉモーション」フォルダから、音声のみのｉモーション（AAC型式の音楽データを含む）やmicroSDメモリーカードに保存したAAC形式のファイルを再生します。

- ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやサイトの表示など（バックグラウンド再生）を利用できます。（P.419参照）

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードします。容量は他のデータと共通で、合わせて最大約101.6Mバイト保存できます。(P.443参照)

1 着うたフル®ダウンロードが可能なサイトを表示▶着うたフル®を選択▶保存▶YES

取得完了画面

- 「再生」を選択すると着うたフル®が再生されます。着うたフル®再生中の操作についてはP.325参照。
- 「情報表示」を選択すると着うたフル®の情報が表示されます。(P.327参照)
- 保存されている着うたフル®がいっぱいのときはP.162参照。

2 保存したいフォルダを選択

- 第2階層目以降にフォルダがある場合は、[メール]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには(CLR)を押します。

■着うたフル®ダウンロードが中断したときは

[メール](中止)を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると取得完了画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ミュージック」内の「ｉモード」フォルダ内のフォルダを選択して保存します。

部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

- 部分保存した着うたフル®のタイトルは、ダウンロードした日時となります。
- 部分保存した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際、部分保存されていたデータは削除されます。

■うた・ホーダイについて

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。再生期限は、音楽データと共にダウンロードされるライセンス情報により指定されます。

再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- ミュージックプレーヤー起動時に再生期限切れの音楽データ(会員制サービスでダウンロードした着うたフル®)が存在すると、再生期限を更新するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、データを更新します。(パケット通信料有料)「いいえ」を選択すると、音楽データファイルを利用することができません。ミュージックプレーヤーの起動についてはP.323参照。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限を超えていると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカード(UIM)と異なる電話番号のFOMAカード(UIM)を挿入した場合、うた・ホーダイのダウンロード、再生ができません。新しいFOMAカード(UIM)でうた・ホーダイを使用する場合は、「端末初期化」(P.354参照)を行ってください。

お知らせ

- 1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®を保存できます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生期限切れのため更新が必要になった場合は、着信時やアラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
- 再生回数・再生期間・再生期限に制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「[時計]」が表示されます。長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®は再生できません。再生制限を確認するには「ミュージック情報」参照。
- 着うたフル®の「ミュージック情報」や再生期限を通知する画面の期限情報は、「サマータイム」が「OFF」の日時で表示されます。
- 部分保存した着うたフル®はデータBOXから再生できません。

WMAファイルを保存する

パソコン内のWindows Media® Audio(WMA)ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存するには、Windows Media Player 10/11を使用します。WMAファイルは最大600曲保存できます。

●楽曲データのほか、プレイリスト･ジャケット画像･ライセンスキーが保存されます。

ステップ

1 WMAファイルを保存するために必要なものを準備する

はじめにWMAファイルを保存するために必要なものを準備します。

●FOMA P905i本体
●microSDメモリーカード
●FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)
●Windows Media Player 10(10.00.00.3802以降)/11がインストール済みのパソコン
･Windows XPでWindows Media Player 10/11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。
●パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。

ステップ

2 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード設定」を「MTPモード」に設定します。(P.300参照)

ステップ

3 microSDメモリーカードに音楽を保存する

Windows Media Player 10/11を起動してWMAファイルをmicroSDメモリーカードに保存します。

●WMAファイルはFOMA端末には保存できません。
●Windows Media Player 10/11の操作方法についてはWindows Media Player 10/11のヘルプをご覧ください。
●保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を取り外します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を取り外すときは、ご使用のソフトウェアを終了させてから取り外してください。

■ナップスター®アプリについて
ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。
●ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.napster.jp/
●ナップスター®アプリについてのご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
http://www.napster.jp/support/

お知らせ

●データを保存中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。データが失われることがあります。
●楽曲データおよびジャケット画像は、microSDメモリーカードの/PRIVATE/DOCOMO/MMFILE/WM/へ保存されます。

お知らせ

●他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに保存したWMAデータは、FOMA P905iで認識されない場合があります。また、「USBモード設定」を「MTPモード」に設定してパソコンと接続しても認識されない場合があります。
この場合は、パソコンなどでmicroSDメモリーカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDメモリーカードをフォーマット(P.299参照)してください。なお、microSDメモリーカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
●microSDメモリーカードへのWMAファイルの保存と削除を繰り返した場合、ライセンスファイルのサイズが大きくなり、microSDメモリーカードの空き容量が少なくなることがあります。このような場合にライセンスファイルを削除することができます。ライセンスファイルを削除すると、ライセンスの必要なWMAファイルは再生できません。再生するには、該当のWMAファイルも削除し、パソコンと接続してWMAファイルを再度保存してください。
●microSDメモリーカード内の空き容量が200Kバイトより少なくなると、パソコンで認識しなくなる場合があります。microSDメモリーカード内の空き容量を確認し、200Kバイト以下であれば不要なファイルを削除したあと、再度「USBモード設定」を「MTPモード」に設定し、パソコンと接続してください。

SDオーディオを利用して音楽を保存する

SD-Jukebox(市販品)を利用すると、音楽CDの曲をAAC形式のデータとしてmicroSDメモリーカードに保存できます。

●microSDメモリーカードアダプタ(別売)を使って、パソコンから直接microSDメモリーカードに保存することもできます。
※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

■SD-Jukeboxについて
SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/PanaSense/special/soft/sd_jukebox/
●動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

ステップ

1 音楽を保存するために必要なものを準備する

はじめに音楽を保存するために必要なものを準備します。

●FOMA P905i本体
●microSDメモリーカード
●FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)
●パソコン(Windows XP、Windows 2000、Windows Vista)
●SD-Jukebox(市販品)
●保存したい音楽CD

ステップ

2 SD-Jukeboxをインストールする

パソコンにSD-Jukeboxをインストールします。

ステップ
3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード設定」を「microSDモード」に設定します。(P.300参照)

ステップ
4 microSDメモリーカードに音楽を保存する

SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。SD-Jukeboxを使用してmicroSDメモリーカードに音楽を保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末から充電機能付FOMA USB接続ケーブル 01を取り外します。

<ミュージックプレーヤー>
ミュージックプレーヤーを利用する

サイトから取得した着うたフル®やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データを再生します。
音楽を再生するには、メインメニューの「MUSIC」から「ミュージックプレーヤー」を選択します。音楽を聴きながらメールやサイトの閲覧などを利用できるバックグラウンド再生もできます。
フォルダや、データなどの管理を行うには、メインメニューの「データBOX」から「ミュージック」を選択します。

- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- 平型ステレオイヤホンセット(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音楽を楽しめます。(P.352参照)
- 保存している曲数が多くなると、起動に時間がかかる場合があります。

音楽データを再生する

1 [P]を1秒以上押す

プレーヤーメニュー画面が表示されます。

- FOMA端末を閉じた状態で[P]を1秒以上押すと、全曲リストの先頭の曲が再生されます。
- 前回再生した曲の情報がある場合は、その曲の再生画面(一時停止状態)が表示されます。
- 現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。

プレーヤーメニュー画面

2 項目を選択

全曲 . . FOMA端末、microSDメモリーカードに保存している音楽データのすべてを表示します。

アーティスト
. . . . . .全アーティスト名を表示します。
聴きたいアーティストを選んで[●]([選択])を押すと、選択したアーティストの全アルバム名を表示します。(アルバムへ進みます)

アルバム
. . . . . 全アルバム名を表示します。
聴きたいアルバム名を選んで[●]([選択])を押します。

ジャンル
. . . . . 全ジャンルを表示します。
聴きたいジャンルを選んで[●]([選択])を押します。

プレイリスト/SDオーディオ
. . . . . FOMA端末、パソコンで作成されたすべてのプレイリストを表示します。
プレイリストの再生についてはP.330参照。

種別一覧画面
(アーティストの場合)

曲一覧画面

- 「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」を選択したときは、種別一覧画面で[✉]([再生])を押すと、選択している項目に登録している音楽がすべて再生されます。
- 曲一覧画面で[📷]([切替])を押すごとに表示方法を変更します。
- 種別一覧画面や曲一覧画面で「[ﾌﾟﾚｰﾔｰ]」が表示されているときは、[MENU]([ﾌﾟﾚｰﾔｰ])を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。
- 保存している曲のサイズによってはすべての曲を表示できない場合があります。
- プレビュー画像が表示できないときなどは、以下の画像が表示されます。

ダウンロード未完了

表示不可

画像がない場合など

Music&Videoチャネル/音楽再生

つづく

3 曲を選択

種別一覧やプレイリスト内の曲が、選択した曲から順に再生されます。ミュージックプレーヤー起動中は「」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「」が表示されます。

- 現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています
- 再生中にFOMA端末を閉じても再生は継続されます。
- 再生中・一時停止中・停止中にを1秒以上押すかを押すと、ミュージックプレーヤーが終了します。
- 再生中にMENU(曲ﾘｽﾄ)を押すと、1つ前の曲一覧画面が表示されます。

フォルダや音楽データを管理する

1 MENU▶データBOX▶ミュージック

ミュージックフォルダ一覧画面

2 項目を選択

ミュージックプレーヤー
. . . . ミュージックプレーヤーが起動します。(P.323参照)

iモード . . . iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択します。

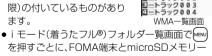
WMA . . . . . WMA一覧画面が表示されます。

iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面

→

着うたフル®一覧画面

- WMAファイルには再生できるライセンス(回数・期間・期限)の付いているものがあります。

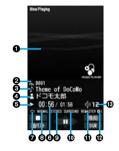
WMA一覧画面

- iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDメモリーカードのフォルダが切り替わります。
- 着うたフル®一覧画面、WMA一覧画面で(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- プレビュー画像が表示できないときなどはP.323参照。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.162参照。

3 着うたフル®またはWMAファイルを選択

選択した曲のみをデモ再生します。

- 再生中にFOMA端末を閉じると再生は中止されます。
- 再生中・一時停止中にを1秒以上押すかを押すと再生が終了します。
- 他の機能で着うたフル®を選択中に(デモ)を押したり、機能メニューから「再生」を選択して着うたフル®を再生できる場合があります。
- 着うたフル®の場合、「iモード」フォルダから表示した場合は管理用のタイトル(初期タイトルは「曲タイトル名ーアーティスト名」)が表示されます。「ミュージックプレーヤー」から操作した場合はタイトルが表示されます。

■ミュージックプレーヤー使用中の再生画面について

FOMA端末を閉じている場合

❶…音楽に登録されている画像※1
❷…曲番号　❸…曲名
❹…アーティスト名　❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード(「ノーマル」の場合は、何も表示されません。)
:1曲終了　:1曲リピート
:全曲リピート　:ランダム
:ランダムリピート　DEMO:デモ※2
❽…イコライザー設定
NORMAL:ノーマル　S-XBS1:S-XBS1
S-XBS2:S-XBS2　TRAIN:トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO:ステレオ　MONO:モノラル
❿…リスニング設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
SURROUND:サラウンド　NATUR1:ナチュア1
NATUR2:ナチュア2
⓫…リ.マスター設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
REMASTER:ON
⓬…Bluetooth接続アイコン
(未接続の場合は、何も表示されません。)
:接続中
⓭…音量

※1 画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。

※2 デモ再生時のみ表示されます。

■ミュージックプレーヤー使用中の操作

操作	ボタン操作
停止	✉（■） ●再生するには●（▶）または🎤
一時停止	●（Ⅱ）または🎤 ●再生するには●（▶）または🎤
音量調節	◯または▲▼ ●◯は押し続けると連続して音量調節 ●レベル0（消去）～25まで設定可能
次の曲を再生	◯または▼（1秒以上）
前の曲を再生※1	◯または▲（1秒以上） ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し
サーチ（早送り）※2	◯を押し続ける
サーチ（早戻し）※2	◯を押し続ける
一覧画面を表示	MENU（曲リスト）
バックグラウンド再生	📷（BGM）
画像表示・歌詞表示	2 ●押すごとにジャケット画像と歌詞画像を切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「S-XBS1」→「S-XBS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。
※2 停止中・一時停止中は操作できません。
●デモ再生時は操作できないものもあります。

ミュージックプレーヤー使用中の再生画面で、平型ステレオイヤホンセット（別売）または平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを使って、下記の操作を行えます。
●FOMA端末を閉じた場合でも操作できます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次の曲を再生	連続2回押す
前の曲を再生※	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

※「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。

■着うたフル®再生の仕様について

ファイル形式	MP4
コーデック	MPEG-4 AAC
	MPEG-4 AAC+（HE-AAC）
	Enhanced aacPlus
ビットレート	8～128kbps
拡張子	3gp

■SDオーディオファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	32～128kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件（1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能※）

※「全曲リスト」を除く。

■WMAファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	WMA（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
最大保存可能曲数	最大600曲
最大プレイリスト数	100件（1件のプレイリストには最大250曲まで登録可能）

つづく↓

■曲一覧表示中のアイコンについて
「MUSIC→ミュージックプレーヤー」から曲を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	FOMA端末に保存
	microSDメモリーカードに保存
	SDオーディオファイル形式
	着うたフル®ファイル形式
	WMAファイル形式
	FOMAカード動作制限機能
	再生制限あり着うたフル®
	再生制限切れ着うたフル®
	再生可能なうた・ホーダイ
	再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ
×	再生NGのうた・ホーダイ
	ファイル制限あり

■着うたフル®一覧表示中のアイコンについて
「データBOX→ミュージック」から着うたフル®を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	音声の形式	種別
	AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus	MP4ファイル
	–	部分保存されている着うたフル®

●着うたフル®、うた・ホーダイによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあり、以下のアイコンが付きます。
・再生制限のあるファイル ....「 」
・再生制限切れファイル ....「 」
・再生可能なうた・ホーダイ..........「 」
・再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ ....「 」
・NGの着うたフル®、うた・ホーダイ ...「×」
「ミュージック情報」で着うたフル®の再生制限を確認できます。
●着うたフル®はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.146参照。

アイコン	取得元
※	サイト

●※著作権のあるファイルでmicroSDメモリーカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

お知らせ
●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
●以下の操作を行うと、前回再生した音楽の情報は消去されます。
・microSDメモリーカードを取り外し／取り付けした場合
・FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
・「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
・前回再生した曲を削除した場合
・前回再生したプレイリストを削除した場合
・前回再生した曲がmicroSDメモリーカード内の曲で、microSDメモリーカードが挿入されていない場合
・「USBモード設定」を「microSDモード」「MTPモード」に設定してパソコンを接続した場合
・前回再生した曲がプレイリスト以外から再生していた場合で、「ミュージック情報編集」「ミュージック情報初期化」を行った場合、着うたフル®を新たにダウンロード・保存または削除した場合
・前回再生した曲が再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイの場合
・前回再生した曲がWMAファイルで、WMAライセンス全削除した場合
・WMAライセンスが無効になった場合
●部分保存した着うたフル®はミュージックプレーヤーから操作した場合、表示されません。
●早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
●以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信があった場合
・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
また、発生した機能によってはミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
●前後の曲に切り替わる際、再生期限、再生期間の切れた曲やWMAライセンスが削除されたWMAファイルはスキップされます。また、再生回数が制限されている着うたフル®の場合は、残りの再生回数に関わらず再生するかどうかの確認画面が表示されます。再生回数が終了した曲はスキップされます。

ミュージックフォルダ一覧画面・iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面・プレーヤーメニュー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更	▶**再生モードを選択** **ノーマル** . . .種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に再生します。 最後の曲まで再生すると終了します。 **1曲終了** . . .選択した曲を1回再生します。 **1曲リピート** . . .選択した曲を繰り返し再生します。 **全曲リピート** . . .種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に繰り返し再生します。 **ランダム** . . .種別で分けられた曲またはプレイリストの曲をランダムに再生します。すべての曲を再生すると終了します。 **ランダムリピート** . . .種別で分けられた曲またはプレイリスト内の曲をランダムに繰り返し再生します。
フォルダ追加	▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●FOMA端末内では第2階層まで、合わせて25件まで作成できます。microSDメモリーカード内では第7階層までフォルダを作成できます。
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべての着うたフル®を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
保存先フォルダ選択	着うたフル®をmicroSDメモリーカードに移動する際の保存先フォルダを設定します。7階層までのフォルダに対して設定できます。 ▶**YES**
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。

お知らせ

<フォルダ追加>

●WMAフォルダにはユーザフォルダを作成できません。

<フォルダ削除>

●他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

<保存先フォルダ選択>

●保存先に設定されたフォルダには「」が表示されます。

●microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

着うたフル®一覧画面・種別一覧画面・曲一覧画面・WMA一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレーヤーメニュー	種別一覧画面または曲一覧画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	P.327参照
着信音設定(まるごと着信音設定)	着うたフル®を1曲そのまま着信音に設定します。 ▶**まるごと着信音設定**▶**項目を選択** ●microSDメモリーカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。
着信音設定(オススメ着信音設定)	着うたフル®の一部分を指定して着信音に設定します。 ▶**オススメ着信音設定** ▶**設定したい部分を選択**▶**項目を選択** ●(デモ)を押すと設定したい部分を確認できます。 ●microSDメモリーカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。
ミュージック情報	曲名やアーティスト名、再生時間などを表示します。 ●着うたフル®のミュージック情報を表示中に(機能)を押して「ミュージック情報編集」を選択すると情報内容を編集できます。編集したい情報を選択して編集します。「ミュージック情報初期化」を選択すると、編集した情報を編集前の情報に戻せます。戻したい情報を選択し、「YES」を選択します。
プレイリストへ登録	▶**登録方法を選択** **1件登録** . . . 曲を1件登録します。 **選択登録** . . . 登録したい曲を選択し、(完了)を押します。 ●曲は表示されている順に登録されます。 ▶**登録したいプレイリストを選択** ●新しくプレイリストを作成して登録する場合は、「新規プレイリスト」を選択し、プレイリスト名を入力します。

つづく

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	FOMA端末内の着うたフル®をFOMA端末内の別のフォルダに、microSDメモリーカード内の着うたフル®をmicroSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[✉]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。
microSDへ移動	着うたフル®をmicroSDメモリーカードに1件移動します。(P.298参照)
本体へ移動	microSDメモリーカード内の着うたフル®をFOMA端末に1件移動します。(P.298参照)
タイトル編集	着うたフル®のタイトルを編集します。 ▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内の着うたフル®の場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内の着うたフル®の場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
タイトル初期化	着うたフル®のタイトルを「曲タイトル名ーアーティスト名」にします。 ▶YES
フォルダ追加	P.327参照
フォルダ名編集	P.327参照
フォルダ削除	P.327参照
複数選択	複数の着うたフル®を選択して操作します。 ▶**操作したい着うたフル®にチェック** ▶[iα]([機能])▶**項目を選択** **削除**. . . . . P.328「1件削除」参照 **フォルダ移動**. . . P.328参照
サイト接続	着うたフル®にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶YES
画像表示	曲に登録されているジャケット画像を表示します。 ●複数のジャケット画像が登録されている場合は、[◐]を押すと前または次のジャケット画像を表示できます。 ●画像が保存可能な場合は[●]([保存])を押して「YES」を選択し、任意のフォルダを選択して保存できます。
歌詞表示	着うたフル®に登録されている歌詞画像を表示します。 ●複数の歌詞画像が登録されている場合は、[◐]を押すと前または次の歌詞画像を表示できます。最大7枚まで表示できます。 ●画像が保存可能な場合は[●]([保存])を押して「YES」を選択し、任意のフォルダを選択して保存できます。
保存先フォルダ選択	P.327参照
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。
ライセンス全削除	WMAのライセンスファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべての着うたフル®またはWMAファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES ●フォルダ内にユーザフォルダがある場合は、ユーザフォルダ内の着うたフル®やユーザフォルダは削除されません。

お知らせ

<着信音設定>
- 着信音に設定したうた・ホーダイが再生NGの場合や再生期限切れのため更新が必要になったり、FOMAカード動作制限機能が設定された場合は、お買い上げ時の着信音に戻ります。
- 着信音に設定できるかどうかを確認するには「ミュージック情報」参照。

<プレイリストへ登録>
- パソコンで作成したプレイリストには曲を追加できません。

<タイトル初期化>
- 曲タイトル名やアーティストが無い場合は、それぞれ「不明」と表示します。

<画像表示>
- 画像によっては正しく表示されない場合があります。

<1件削除><全削除>
- 他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- WMAプレイリストに登録したWMAファイルを削除すると、WMAプレイリストから解除されます。

再生中・一時停止中・停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレーヤーメニュー	ミュージックプレーヤー使用中の再生画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.327参照
サウンド効果(リ.マスター設定)	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**リ.マスター設定**▶ON・OFF

機能メニュー	操作・補足
サウンド効果（リスニング設定）	リスニングの効果を設定します。 ▶リスニング設定▶項目を選択 **サラウンド** ．．．．．自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2** ．．．．．イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**．．リスニング設定をOFFにします。 ●「ナチュア1・2」はイヤホンやBluetooth機器から音を出しているときに効果があります。
サウンド効果（イコライザー設定）	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶イコライザー設定▶項目を選択 **ノーマル**．．．通常の音質です。 **S-XBS1**．．．低音を強調します。 **S-XBS2**．．．S-XBS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン**．．．音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
ミュージック情報	P.327参照
サイト接続	P.328参照
画像表示・歌詞表示	曲に登録されているジャケット画像・歌詞画像を表示します。
前画像表示・前歌詞表示	前のジャケット画像・歌詞画像を表示します。
次画像表示・次歌詞表示	次のジャケット画像・歌詞画像を表示します。

お知らせ

<サウンド効果>
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<画像表示・歌詞表示><前画像表示・前歌詞表示><次画像表示・次歌詞表示>
- 着うたフル®はジャケット画像を最大3枚まで、歌詞画像を最大7枚まで表示できます。
SD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルは、ジャケット画像を最大20枚まで、WMAファイルはファイルに埋め込まれた画像を最大2枚まで表示できます。ナップスター®アプリを使用した場合は、ジャケット画像として保存された画像を1枚表示できます。歌詞画像はありません。

プレイリストを利用する

聴きたい曲のリストを作成し、好きな順に音楽を再生します。
FOMA端末やWindows Media Playerで作成したプレイリスト、SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリストを利用して再生できます。
- 作成可能な最大プレイリスト数とプレイリスト1件あたりに登録可能な曲数は以下のとおりです。

作成元	プレイリスト件数	1件あたりの登録可能曲数
FOMA端末で作成したプレイリスト	最大30（全曲リストを除く）	100
Windows Media Playerで作成したプレイリスト	最大100	250
SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリスト	最大99（全曲リストを除く）	99

- FOMA端末でプレイリストを作成する場合、FOMA端末、microSDメモリーカードに保存した着うたフル®とWindows Media Playerで保存したWMAファイルやSD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルを同じプレイリストに登録できます。

■プレイリスト一覧表示中のアイコンについて

アイコン	種類
	全曲リスト
	SDオーディオ全曲リスト
	FOMAプレイリスト
	SDオーディオプレイリスト
	WMAプレイリスト

プレイリスト作成

1 **プレーヤーメニュー画面▶プレイリスト／SDオーディオ**

プレイリスト／SDオーディオ
1 SDオーディオ全曲
2 ドコモプレイリスト
3 J－POP
4 SDオーディオプレイリ
5 洋楽

プレイリスト一覧画面

2 **i(機能)▶プレイリスト新規作成▶種別を選択して曲一覧画面を表示▶登録したい曲にチェック▶✉(完了)**
- 曲は表示されている順に登録されます。

つづく

3 プレイリスト名を入力

●全角18文字/半角36文字まで入力できます。

お知らせ

●部分保存した着うたフル®や再生制限切れのファイルはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 プレイリスト一覧画面 ▶プレイリストを選択▶曲を選択

●プレイリスト一覧画面で[✉](再生)を押すと、選択しているプレイリストの先頭の曲から再生されます。

●データBOXの「ミュージック」からフォルダを選択した場合は、プレイリストを再生できません。

プレイリスト曲一覧画面

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	P.327参照
プレイリスト新規作成	P.329参照
プレイリストコピー	▶**プレイリスト名を入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。 ●SDオーディオプレイリストまたはWMAプレイリストをコピーした場合、FOMA端末内にFOMAプレイリストとしてコピーされます。
プレイリスト名編集	FOMAプレイリストの名前を編集します。 ▶**プレイリスト名を編集** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
追加登録	FOMAプレイリストに曲を追加します。 ▶**種別を選択して曲一覧画面を表示** ▶**追加したい曲にチェック**▶[✉](完了) ●曲は表示されている順で一覧の末尾に登録されます。
プレイリスト削除	FOMAプレイリストを削除します。 ▶**削除方法を選択** **1件削除**. . . プレイリストを1件削除します。 **選択削除**. . . 削除したいプレイリストを選択し、[✉](完了)を押します。 **全削除** . . . . 端末暗証番号を入力します。 ▶YES

お知らせ

<プレイリストコピー>

●曲が登録されていないWMAプレイリストはコピーできません。

プレイリスト曲一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても、再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.327参照
ミュージック情報	P.327参照
追加登録	P.330参照
プレイリストから解除	FOMAプレイリストから曲を解除します。 ▶**解除方法を選択** **1件解除**. . . . 曲を1件解除します。 **選択解除**. . . . 解除したい曲を選択し、[✉](完了)を押します。 **全解除** . . . . . プレイリストごと削除します。 ▶YES
曲順変更	FOMAプレイリストの曲順を変更します。 ▶**曲順を変更したい曲を選択** ▶**[◎]で曲の位置を変更**▶[●](選択) 上記の手順を繰り返して曲順を変更します。 ▶[✉](確定)
プレイリストへ登録	P.327参照
画像表示	P.328参照
歌詞表示	P.328参照

お知らせ

<プレイリストから解除>

●パソコンで作成したプレイリストからは曲を解除できません。

その他の便利な機能

<マルチアクセス>

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときは(MULTI)を1秒以上押すか、(MULTI)を押してタスクメニューから切り替えます。(P.333参照)
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.418参照。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中▶(MULTI)▶待受画面

待受画面が表示されます。

2 電話をかける

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
  テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶(☎)で電話に出る

- 電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには(MULTI)を1秒以上押します。もう一度(MULTI)を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
  相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶(MULTI)▶(MENU)(Menu)

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。

お知らせ

- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ・通話中　　　　　・カメラ起動中
  ・ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリを通常のｉアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

<マルチタスク>

マルチタスクについて

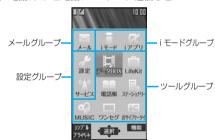
FOMA端末は、メニュー機能(P.31参照)など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。
(マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.419参照)

■メールグループ
ｉモードメール機能、SMS機能

■ｉモードグループ
メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能

■設定グループ
メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

■ツールグループ
メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

■その他グループに属さない機能
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶(MULTI)▶(MENU)(Menu)▶新しい機能を実行

使用中のグループのアイコンには「▽」などが付きます。
使用している機能が1つのときは「▱」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「▱」のアイコンが表示されます。

ツールグループの機能を実行中の場合

■すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは
機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

お知らせ
- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、画面表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が起動しているときは、MULTIを1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

■使用中のメニュー一覧を表示するには
MULTIを押します。
一覧からメニューを選択して切り替えることができます。また、「MENUを開く」を選択するとメインメニュー、「待受画面」を選択すると待受画面を表示できます。

お知らせ
- MULTIで画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面(P.356参照)から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。
- 他のメニュー機能が起動していない場合は、待受画面でMULTIを1秒以上押すと「3G/GSM切替」の設定画面が表示されます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で☎を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで🔤(END)を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面で☎を押すと、メニュー機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

<音声読み上げ>

着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルやボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

1 **MENU▶設定▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ設定▶ON・OFF▶読み上げたい項目にチェック▶✉(完了)**

ボイスダイヤル
. . . ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内します。

ボイス検索
. . . ボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

電話着信
. . . 音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

テレビ電話着信
. . . テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

メール／メッセージ受信
. . . メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせします。「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効になります。

送受信メール一覧表示
. . . メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げます。

送受信メール詳細表示
. . . メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げます。「開封時メロディ再生設定」を「自動再生する」に設定中で、メロディが自動再生された場合は読み上げません。

メールプレビュー
. . . プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げます。

- いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。
- ワンセグの音声が流れているときや、microSDメモリーカードに保存しているメールを表示したときは、メールの音声読み上げは行いません。

音声読み上げ音量

1 **MENU▶設定▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ音量▶◎で音量を調節**

音声読み上げ速度

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ速度**▶**速度を選択**

音声読み上げ出力先

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカーから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ出力先**▶**スピーカー・受話口**

お知らせ

- 「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカーから音が鳴ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると、「イヤホン切替設定」の設定に従って音が鳴ります。ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替設定」を「イヤホン＋スピーカー」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても音声読み上げが止まらない場合があります。

音声読み上げ有効設定

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ有効設定**▶**標準・イヤホン接続時のみ**

標準 . . .常に音声読み上げを行います。
イヤホン接続時のみ
. . . . . . .平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときのみ音声読み上げを行います。

お知らせ

- 「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、平型スイッチ付イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

■音声読み上げのルールについて

電話帳やメールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

- 使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

<数字>

- 数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭に「0」がある場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、数字を読み上げます。
- 数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
- 「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。
- 数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。
- 電話番号や郵便番号は「－」「(」「)」は読み上げず、数字だけを読み上げます。
- 数字の先頭に「￥」「＄」「￠」「￡」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。
- 「(数字)分の(数字)」は分数として読み上げます。

<英字>

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。
- 4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
- 数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。
- 日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。
- 上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

<記号>

- 「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。
- 以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」
- 以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」
- 「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。

<絵文字>

- 「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

<顔文字>

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

<その他>

- 句読点や「！」「？」などがある場合は、区切って読み上げます。
- 曜日を表す漢字が「(」「)」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。
- 文章の内容や記載の内容(特に地名や固有名詞など)により、正しく読み上げが行われない場合があります。

<自動電源ON／OFF設定>
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

1 MENU▶**設定**▶**時計**▶**自動電源ON／OFF設定**▶**自動電源ON・自動電源OFF**▶**項目を選択**

OFF . . 自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。

1回 . . . 設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。

毎日 . . . 設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

2 **時刻を入力**

お知らせ

- 「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。
- アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。
- 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

<アラーム>
アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。5件まで登録できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**アラーム**▶**アラームを選んで**✉（編集）▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
（設定）	アラームの有効／無効を設定します。 ▶**ON・OFF**
（時刻）	▶**アラームを鳴らす時刻を入力** ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
（繰り返し）	▶**繰り返しの種類を選択** ●「設定なし」を選択した場合は、アラームを繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉（完了）を押します。
（アラーム音）	▶**アラーム音の種類を選択** ▶**フォルダを選択**▶**アラーム音を選択**
（アラーム音量）	▶**で音量を調節** ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
（スヌーズ通知）	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶**ON・OFF**▶**鳴動時間（分）を入力** ●「01」～「10」の2桁を入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.336参照。
（自動電源ON）	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶**電源ONする・電源ONしない**
（マナーモード優先）	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶**ON・OFF** ON . . . P.103「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 OFF . . 本機能で設定した音量で音が鳴ります。

つづく

2 ✉（完了）を押す

●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
Ⓓ：毎日繰り返し
Ⓦ：曜日指定繰り返し

アラーム表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.335「アラームを利用する」手順1へ進みます。
詳細表示	アラームの登録内容を表示します。
1件ON	登録済みのアラームを有効にします。 ▶YES ●◎（ON）を押しても有効にできます。
全件ON	登録済みのアラームをすべて有効にします。 ▶YES
1件OFF	登録済みのアラームを無効にします。 ▶YES ●◎（OFF）を押しても無効にできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべて無効にします。 ▶YES

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。

●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。

●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合
・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信した場合
・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定を「OFF」以外に設定しているときに、位置提供の要求を受信した場合
・「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合

●自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。

●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。
「🔔」. . . .当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。
「🔔」 . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
●「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・ToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間（「アラーム」は設定した時間）鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

●アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定したときは☎を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。

●通話中は
受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。

●操作中は
「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。
（P.341参照）

●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール・ToDo>
アラーム通知はしません。
電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●マナーモード中は
バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせし、スケジュール・ToDoの場合はメッセージも表示します。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。（P.103参照）

●オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
アラーム通知はしません。
各ロックの解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。また、電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、各ロックの解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●SD-PIM動作中、赤外線通信中、iC通信中は
アラーム通知はしません。
各機能の終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は
アラーム通知はしません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
●アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
●着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

■アラーム音／アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン（アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定した場合は（☎））を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールやToDoのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

■「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

<スケジュール> MENU 4 5

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
●アラーム通知の動作についてはP.336参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、アラームメッセージ（スケジュールの要約や内容）および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは1000件まで登録できます。

1 **MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶✉（新規）▶スケジュール▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
（要約）	**▶アイコンを選択** ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。 **▶スケジュール要約を入力** ●全角20文字/半角40文字まで入力できます。 ●あらかじめアイコンに応じた要約が入力されています。
（終日）	開始日時や終了日時を入力しない、一日中のスケジュールにするかどうかを設定します。 **▶終日なし・終日あり** ●「終日あり」に設定すると、午前0時にアラーム通知されます。
（開始日時）	**▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力**
（終了日時）	**▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力**
（繰り返し）	**▶繰り返しの種類を選択** ●「設定なし」を選択した場合は、スケジュールを繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉（完了）を押します。 ●繰り返す設定にしたスケジュールも1件としてカウントされます。

その他の便利な機能

つづく

項目	操作・補足
(アラーム通知)	▶通知方法を選択 通知する . . . . . . 開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する . . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 通知しない . . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
(内容)	▶スケジュール内容を入力 ●全角256文字/半角512文字まで入力できます。

2 (完了)を押す

●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
- :アラームでお知らせ
- D:毎日繰り返し
- W:曜日指定繰り返し
- M:毎月繰り返し
- Y:毎年繰り返し

■同じ日時に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

同時刻に設定できるのは「繰り返し」を「設定なし」と「毎日／曜日指定／毎月／毎年」に設定した組み合わせだけです。2つのスケジュールがともに「設定なし」またはともに「毎日／曜日指定／毎月／毎年」の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「設定なし」のスケジュールと「毎日／曜日指定／毎月／毎年」のスケジュールの場合は、「設定なし」が優先される旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- ●「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。
- ●「開始日時」にうるう年の2月29日を入力し、「繰り返し」を「毎年」に設定した場合、うるう年でない年では2月28日にスケジュールが設定されます。
- ●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、シークレットデータとして登録したスケジュールは、アラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示されます。アラームメッセージは表示されません。
- ●待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

休日・記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶(新規)▶休日・記念日▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
(日付)	▶日付を入力
(繰り返し)	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、休日・記念日を繰り返しません。 ●繰り返す設定にした休日・記念日も1件としてカウントされます。
(内容)	▶休日または記念日の内容を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

2 (完了)を押す

●設定した休日( )・記念日( )が登録されます。
Y:毎年繰り返し

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール

カレンダー画面
(1ヶ月表示)

カレンダー画面
(1週間表示)

カレンダー画面が表示されます。

- ●当日や選択されている日付は反転表示され、画面の下にその日の登録件数や登録内容が表示されます。
- ●カレンダー画面の表示
  - ■(青色):午前のスケジュール
  - ■(橙色):午後のスケジュール
  - ＿:2日以上にわたるスケジュール
- ●休日は赤色、記念日は赤丸で囲んで表示されます。
- ●1ヶ月表示でMENU(前月)、(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。
  1週間表示でMENU(前週)、(翌週)を押すと前後の週のカレンダーが表示されます。

その他の便利な機能

2 日付を選択

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

スケジュール一覧画面

3 スケジュール、休日または記念日を選択

スケジュール詳細画面

お知らせ

●祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2008年3月現在)

カレンダー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶**項目を選択** **スケジュール** . . . . P.337手順1へ進みます。 **休日** . . . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 **記念日** . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
1ヶ月表示・1週間表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶**1ヶ月表示・1週間表示**
アイコン別表示	▶**表示したいアイコンを選択** 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択すると詳細が表示されます。
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC全件送信	P.307参照

機能メニュー	操作・補足
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**削除したい項目を選択**▶**YES**
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**削除したい項目を選択**▶**YES** ●休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶**YES**

お知らせ

<アイコン別表示>

●アイコン別表示では、繰り返す設定にしたスケジュールは1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶**項目を選択** **スケジュール** . . . . P.337手順1へ進みます。 **休日** . . . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 **記念日** . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●スケジュール一覧画面で[メール](新規)を押しても新規登録できます。
編集	スケジュールはP.337手順1へ進みます。休日と記念日はP.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●スケジュール詳細画面で[決定](編集)を押しても編集できます。 ●祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶**貼り付け先の日付、時刻を入力** スケジュールはP.337手順1へ進みます。休日と記念日はP.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●コピー元の「繰り返し」が「毎日／曜日指定／毎月／毎年」に設定されていても、貼り付け先では「設定なし」に変更されます。 ●祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	P.339参照

つづく➡

機能メニュー	操作・補足
シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。
iモードメール作成	スケジュールの日付と内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。
iモードメール添付	スケジュールをiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。 ●スケジュール詳細画面で[メール]([メール])を押してもiモードメールに添付できます。
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
1件削除	▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	P.339参照
選択削除	▶削除したいスケジュールにチェック▶[メール]([完了])▶YES
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。アイコン別表示中のみ操作できます。(P.339参照)

<ToDo> MENU 9 5

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを100件まで登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.336参照。

1 MENU▶ステーショナリー▶ToDo▶[メール]([新規])▶以下の操作を行う

●登録済みのToDoを選択すると登録内容を確認でき、[●]([編集])を押すと編集できます。

項目	操作・補足
(内容)	▶ToDo内容を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
(期日)	▶項目を選択 **直接入力** ...... 期日(期限)を直接入力します。 **カレンダーから入力** ...... カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、[●]([確定])を押します。 **なし** ... 期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。
優(優先度)	▶優先度を選択 ●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。
(カテゴリー)	▶カテゴリーを選択
(アラーム通知)	▶通知方法を選択 **通知する** ...... 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** .. 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない** .... 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
♪(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択

2 [メール]([完了])を押す

高:優先度高い
低:優先度低い

●内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

ToDo表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	P.340手順1へ進みます。
編集	P.340手順1へ進みます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.340手順1「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶状態を選択 ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.340手順1「期日」と同様の操作を行います。

機能メニュー	操作・補足
カテゴリー別表示	▶カテゴリーを選択 ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶表示したい順番や状態を選択
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール添付	ToDoをiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。 ●ToDoの登録内容を確認中に[メール]（[メール]）を押してもiモードメールに添付できます。
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック ▶[メール]（完了）▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

他の機能を操作中に「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 [MENU]▶設定▶時計▶アラーム通知設定▶操作優先・通知優先

操作優先 . . .アラーム通知は待受画面表示中にだけ行われます。

通知優先 . . .FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー設定>

オリジナルのメニューを使う

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。メインメニューの各機能(P.394参照)から12件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 [MENU]▶[MENU]（プライベート）

プライベートメニューが表示されます。

●[iα]（設定）を押すとプライベートメニュー一覧画面が表示されます。

●15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

プライベートメニュー

2 アイコンを選択

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する [MENU][5][2]

1 [MENU]▶設定▶ディスプレイ▶プライベートメニュー設定

プライベートメニュー一覧画面

プライベートメニュー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶登録する機能を選択 ●[○]を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。[○]を押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更	▶フォルダを選択▶画像を選択
デスクトップ貼付	P.114参照

つづく

機能メニュー	操作・補足
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

＜メニュー登録＞

●「ｉモード」、「ｉアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。

＜背景イメージ変更＞

●設定できる画像は、画像サイズが待受（480×854）以下で最大300KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。

＜自局番号表示＞

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

契約の電話番号（自局番号）の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 MENU▶**電話帳**▶**自局番号表示**▶✉（編集）▶**端末暗証番号を入力**

自局番号表示画面

P.84手順2の操作を行って個人データを登録します。
●自局番号は変更、削除できません。
●「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉（完了）**を押す**

お知らせ

●自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。

お知らせ

●本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
個人データ編集	P.342手順1へ進みます。
文字サイズ変更	P.92参照
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶**端末暗証番号を入力** Oでそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	P.305参照 ●📷（赤外線）を押しても赤外線送信できます。
iC送信	P.306参照 ●MENU（iC送信）を押してもiC送信できます。
microSDへコピー	P.295参照
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。
Bナンバー自動取得	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。

<通話中音声メモ><音声メモ録音>

音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約3分間です。

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.68参照。

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中
▶▼(1秒以上)または✉(メモ)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

- 録音を途中で止めるときは◉(停止)、CLRまたは▼(1秒以上)を押します。
- 録音中に☎を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生･未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する MENU 5 5

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ
▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは◉(停止)、CLRまたは☎を押します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

<動画メモ>

テレビ電話中の映像を動画メモとして録画する

テレビ電話中の受信映像を音声とともに録画できます。
1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

- 「動画メモ」の再生／消去についてはP.69参照。

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

- 相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録画を途中で止めるときは◉(停止)または▼(1秒以上)を押します。
- 録画中に☎を押すと、録画が停止し、通話が終了します。
- 録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生･未再生に関わらず最も古い「動画メモ」に上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

<通話時間／料金>

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間(テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間)が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、「¥0」もしくは「¥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。(FOMAカードには蓄積されています。)
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

つづく

1 MENU▶設定▶時間／料金▶通話時間／料金

前回通話時間

音声通話：直前の音声電話の通話時間を表示します。

デジタルAV呼：直前のテレビ電話の通話時間を表示します。

非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金

音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。

デジタルAV呼：直前のテレビ電話の通話料金を表示します。

非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間

音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。

デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金

積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時

前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時

前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」(P.52参照)が表示されている間は料金は課金されません。
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

＜積算リセット＞ MENU 6 0

積算時間／積算通話料金をリセットする

1 MENU▶設定▶時間／料金▶積算リセット▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ●PIN2コードについてはP.118参照。

＜通話料金通知＞

通話料金の上限値を設定する

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「￥」が消去されます。

1 MENU▶設定▶時間／料金▶通話料金通知▶端末暗証番号を入力▶ON・OFF▶上限料金を入力

- 10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

2 通知方法を選択▶ON・OFF▶PIN2コードを入力

- PIN2コードについてはP.118参照。

■積算通話料金が上限料金を超えたときは

「￥」が表示されます。通知方法に「アイコン＋アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカーから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

通話料金通知で表示された「￥」を消去します。

1 MENU▶設定▶時間／料金▶上限値アイコン消去▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「￥」は消去されます。
- 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

＜電卓＞

電卓を使う

電卓を表示して四則演算(+、−、×、÷)を行います。
10桁まで表示できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**電卓**
▶**以下の操作で計算を行う**

(左)	+	(上)	×	
(左)	−	(下)	÷	
(中央)	=	(メール)	小数点	
(iα)	%			
CLR	C(クリア):直前に入力した数字を取り消します。			
	AC(オールクリア):入力した計算をすべて取り消します。			

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

＜テキストメモ＞

テキストメモを作成する

テキストメモを20件まで登録できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**テキストメモ**
▶**＜未登録＞を選択**▶**テキストメモを入力**

- 全角256文字/半角512文字まで入力できます。
- 登録済みのテキストメモを選択すると登録内容を確認でき、(中央)(編集)を押すと編集できます。

テキストメモ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.345「テキストメモを作成する」手順1へ進みます。
iモードメール作成	テキストメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●(メール)(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
スケジュール作成	テキストメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶**スケジュール** P.337手順1へ進みます。
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
テキストメモ情報	テキストメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。
分類	テキストメモをカテゴリー別に設定します。 ▶**分類を選択** ●設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいテキストメモにチェック** ▶(メール)(完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

＜FOMAカード(UIM)操作＞

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 MENU▶**電話帳**▶**FOMAカード(UIM)操作**
▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「(アイコン)」が表示され、電話やメールの機能は使えません。

- 端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作が終了します。

2 **コピー・削除**▶**コピー先や削除元を選択**
▶**電話帳・SMS**

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX . . . 受信BOX内のデータをコピー・削除します。
送信BOX . . . 送信BOX内のデータをコピー・削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

- FOMAカードへ移動・コピーする場合、2in1が「ON」のときは2in1の管理情報が削除される旨の確認画面が表示されます。

つづく

3 コピー・削除したいデータにチェック ▶[メール]([完了])▶YES

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。

電話帳の機能メニューからコピーする

1 電話帳詳細画面▶[iα]([機能])▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

メールの機能メニューから移動・コピーする

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶[iα]([機能])▶移動／コピー▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「[メール](青色)」はFOMA端末内のSMSを表します。
「[カード]」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。

お知らせ

- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
  また、2in1を利用中は、現在のモードに関わらず、すべてAナンバーのSMSとして保存されます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク／AV出力端子(P.25参照)のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
- ヨコオープンスタイルでも利用できます。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。

3 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手にはカメラ映像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押してカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。(P.70参照)

- FOMA端末を閉じた状態やヨコオープンスタイルでも利用できます。ヨコオープンスタイルでテレビ電話を受けた場合、相手には代替画像が表示されます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、カメラ映像が送信され、テレビ電話が開始されます)
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に▲(音量を上げる)、▼(音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

<イヤホンスイッチ発信設定>

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押して音声電話の発信が行えます。

1 MENU▶設定▶その他▶イヤホンスイッチ発信設定▶音声発信・OFF

- ✉(確認)を押すと現在設定している電話帳を確認できます。

2 電話帳を検索▶電話帳を選択

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号が設定されます。
- 設定した電話帳を削除した場合、メモリ番号999の電話帳が自動的にイヤホンスイッチ発信設定に登録されます。

<オート着信設定> MENU 9 4

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU▶設定▶着信▶オート着信設定▶オート着信あり・オート着信なし▶呼出時間(秒)を入力

- 「001」～「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信設定、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.70参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中や平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth>

Bluetoothを利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とBluetoothヘッドセット(市販品)をBluetoothで接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ/ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠
対応プロファイル(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) DUNP:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

■ヘッドセットで通話する

Bluetoothヘッドセット F01(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット P01(別売)やBluetooth対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。(詳しくは「Bluetooth機器を使ってワンセグの音声を再生する」のお知らせ参照。)

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetoothで接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。

・詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetoothで電話帳を送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetoothで接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetoothを利用する

Bluetoothを利用して他の携帯電話やBluetooth対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○
ｉモーション再生音		×	×	○※3
ビデオ再生音		×	×	○
PC動画再生音		×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※4	○※4	○※6
	操作優先	×※5	×※5	×※5
メール着信音	通知優先	×	×	○※6
	操作優先	×※5	×※5	×※5

その他の便利な機能

	接続しているサービス		
	HSP	HFP	A2DP
プッシュトーク着信音	×	×	○※6

○：Bluetooth機器から出力されます
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります
※1「イヤホン切替設定」を「イヤホン＋スピーカー」に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3 サイトから取得中に再生しているｉモーションの場合は鳴りません。
※4 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。
※5 待受画面以外を表示中はアラーム通知音／メール着信音は鳴りません。
※6 ミュージック再生中の場合のみ鳴動します。
●お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ
●Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取扱上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
●他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
●Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
●10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
・電車内　・航空機内　・病院内
・自動ドアや火災報知機から近い場所
・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機器を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

<例>ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）との接続

ワイヤレスイヤホンセット　P01をFOMA端末に登録する（P.350参照）

利用したい機能に対応したサービスで接続する（P.350参照）

Bluetoothを利用して通話したい	Bluetoothを利用してワンセグの音声・動画やビデオの音声・音楽などを再生したい

ハンズフリーサービスで接続する	オーディオサービスで接続する

ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って通話する（P.351参照）	ワイヤレスイヤホンセット　P01を使ってワンセグの音声を再生する（P.352参照）
	ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って動画やビデオの音声・音楽などを再生する（P.352参照）

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth ▶登録機器リスト▶YES

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。

- 登録機器リスト画面で✉(サーチ)を押しても、Bluetooth機器を検索します。
- すでにBluetooth機器を登録している場合は、登録機器リスト画面が表示され、登録しているBluetooth機器が表示されます。

2 登録したいBluetooth機器を選択 ▶YES▶端末暗証番号を入力

3 Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力 ▶確定

- 半角英数字で16文字まで入力できます。
- Bluetoothパスキーについては Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

4 接続したいサービスを選択

サービス選択画面

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。

- 複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続中は「(青色)」、接続待機中は「(グレー)」がサービス名の横に表示されています。
- 「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。
- 接続を解除するには、接続中のサービスを選択して「YES」を選択します。
- 接続待機中のサービスを解除するには、P.351「Bluetooth機器を接続待機にする」参照。

お知らせ

- すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。
- セルフモード設定中はBluetoothは起動できません。

Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth ▶登録機器リスト ▶接続したいBluetooth機器を選択 ▶接続したいサービスを選択

登録機器リスト画面　サービス選択画面

- 詳細については、P.350手順4参照。

■登録機器リスト画面について

登録機器リスト画面

❶機器種別

Bluetooth機器の種別によって以下のアイコンが表示されます。

❷機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。
サーチ時に名称が検出できなかった場合はBluetoothアドレスが表示されます。

❸接続状態

●:接続中　○:未接続
□:未検出　NEW:未登録

❹保護

登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態

各プロファイルの状態が色で表示されます。

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続(未登録)
HSP	青	グレー	青	未接続(登録済み)
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	緑	白	緑	接続待機中
HSP	白	薄緑	なし	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約110秒かかります。

お知らせ

●ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器リスト画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
機器登録	▶**端末暗証番号を入力** P.350手順3へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器を設定していた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護／解除	登録したBluetooth機器を削除・上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録しているBluetooth機器の名称を変更します。 ▶**機器名称を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
登録機器削除	登録しているBluetooth機器を削除します。 ▶YES
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
デスクトップ貼付	P.114参照

お知らせ

<機器登録>

●すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。（機器名称を変更していた場合は元に戻ります。）登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルが追加登録されます。

<優先機器設定>

●優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

<登録機器削除>

●Bluetooth機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。

Bluetooth機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth機器の接続状態を各サービスごとに接続待機に設定します。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶接続待機▶待機中にしたいサービスにチェック▶✉(完了)**

●解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し✉(完了)を押します。

●接続待機中は「ᛒ(青色)」が点灯します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetoothの電源をオフにします。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth電源オフ▶YES**

●前回起動していたBluetoothの接続待機を有効にするには「MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth起動」の操作を行います。

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth対応のパソコンやカーナビなどとFOMA端末をワイヤレス接続して、通話や通信を行います。詳しくは、PDF版「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

Bluetooth機器を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 **Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する**

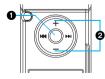
●Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。

2 **Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける**

Bluetooth機器で通話中は「ᛒ」が表示されます。

●Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）を使用するときは

❶着信中に押すと、電話がつながります。待受画面を表示中に1秒以上押すと、電話帳のメモリ番号000に登録されている相手に電話がかかります。
応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音・録画中に押しても応答できません。

❷通話中に受話音量を調節します。押し続けると連続して音量調節できます。

●詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセットP01の取扱説明書をご覧ください。

つづく

■FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

通話中に( )を1秒以上押します。

●ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。
●Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
●Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)、平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、Bluetooth機器で通話できません。
●遠隔監視中はBluetooth機器に切り替えられません。

お知らせ

●Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
●Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
●Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
●Bluetooth機器で通話中にBluetoothが切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

Bluetooth機器を使ってワンセグの音声を再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

●Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。

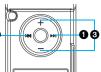
2 ワンセグを視聴する

Bluetooth機器から音声が出力されます。

●Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
●Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)を使用するときは

❶次のチャンネルを選局
❷前のチャンネルを選局
❸音量調節
押し続けると連続して音量調節できます。

●詳しい操作については ワイヤレスイヤホンセット　P01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグの音声を再生できます。ワイヤレスイヤホンセット　P01では、ワンセグの視聴画面を表示してからワイヤレスイヤホンセット　P01の操作を行ってください。事前にワイヤレスイヤホンセット　P01で操作していた場合は、音声が再生されないことがあります。
●ワンセグの音声をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
●平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
●Bluetooth機器から再生中にワンセグの音声が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
・GPSの位置提供要求を受信したとき
・メールやメッセージR/Fを受信したとき
・プッシュトーク着信があったとき
・電池切れアラームが鳴ったとき
・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

Bluetooth機器を使って動画やビデオの音声・音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、動画やビデオの音声・ミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

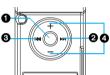
●Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。
●オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動中は、自動で起動されないことがあります。また、ワイヤレスイヤホンセット　P01からオーディオサービスで接続することはできません。

2 動画・ビデオ・音楽を再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続するとBluetoothの接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）を使用するときは

❶再生／一時停止
押すごとに再生と一時停止を繰り返します。1秒以上押すと停止になります。

❷次のファイルまたは曲を再生

❸前のファイルまたは曲を再生
再生時間が3秒以上（ビデオは10秒以上）の場合は頭出しになります。

❹音量調節
押し続けると連続して音量調節できます。

- 詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセット　P01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオの音声を再生できます。ワイヤレスイヤホンセット　P01では、ビデオの再生画面を表示してからワイヤレスイヤホンセット　P01の操作を行ってください。事前にワイヤレスイヤホンセット　P01で操作していた場合は、音声が再生されないことがあります。
- 動画、ビデオの音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetoothのリモコン操作は有効です。
- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で再生できません。

お知らせ

- Bluetooth機器から再生中に動画、ビデオの音声や音楽などが停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  - ・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - ・GPSの位置提供要求を受信したとき
  - ・メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - ・プッシュトーク着信があったとき
  - ・電池切れアラームが鳴ったとき
  - ・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき

  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

Bluetooth設定

1 MENU ▶LifeKit▶Bluetooth ▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う

- 通話中やデータ通信中は操作できません。

項目	操作・補足
セキュリティ設定	Bluetooth機器で電話帳データを送信するときの認証の有無を設定します。認証する場合はデータを暗号化するかどうかを設定します。 ▶**セキュリティ設定有り・セキュリティ設定無し**▶**暗号化有り・暗号化無し**
全件転送パスワード設定	電話帳を全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 ▶**パスワード有り・パスワード無し**
サーチ時間	FOMA端末周辺のBluetooth対応機器を検索する時間を設定します。 ▶**サーチ時間（秒）を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 ▶**送る・送らない**
切断時通話設定	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetoothが切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 ▶**通話終了・本体で通話継続**
ヘッドセット操作による発信	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 ▶**有効・無効**

つづく

項目	操作・補足
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetoothの機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●機器名称を変更する場合は、[✉](編集)を押して機器名称を入力します。全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

<セキュリティ設定>

●電話帳データを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定に関わらず認証有り・暗号化有りで送信します。

●接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<着信音送出設定>

●ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

●機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

<設定リセット> MENU 2 3

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.394参照)

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**設定リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

●Bluetooth機器との接続中または接続待機中はリセットできません。

●「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中はリセットできません。

●設定リセットを行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[O]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。**(P.394参照)**

●お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。

●お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除されません。

●お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。

●保護しているデータも削除されます。

●2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。

●お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電、きせかえツール、PDFデータ、デコメ絵文字を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。

●端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。

●端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。

●端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**端末初期化**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**▶**YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

●Bluetooth機器との接続中または接続待機中は初期化できません。

●「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中は初期化できません。

●FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。

●パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

●ダウンロード辞書やｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。

●端末初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[O]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

●端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へアクセスし、番組設定を反映させてください。

●削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットし、「取扱説明書」→「区点コード一覧(PDFファイル)」の順にクリックします。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照してください。

<文字入力>

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力画面

文字入力(編集)画面には、文字入力方式や入力モード、残文字数などの情報が表示されます。

❶文字入力方式

2：モード2(2タッチ方式)

ニ：モード3(ニコタッチ方式)

●モード1(かな方式)のときは表示されません。

❷入力モード

漢：漢字ひらがな入力モード

ｶﾅ：カタカナ入力モード

英：英字入力モード

数：数字入力モード

❸全角／半角

全：全角入力モード

半：半角入力モード

❹入力可能な残りバイト数／最大入力バイト数

●機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。

文字入力方式を選択する

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

モード1(かな方式) P.356参照

1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

モード2(2タッチ方式) P.362参照

2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

モード3(ニコタッチ方式) P.362参照

2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 **MENU▶設定▶その他▶文字入力方式▶入力モード▶使用したいモードにチェック▶✉(完了)**

●2つ以上のモードを選択してください。

2 **優先的に使うモードを選択**

●手順1で選択したモードの中から、優先的に使うモードを選択します。

■文字入力(編集)画面でモードを切り替えるには

✉(文字)を1秒以上押すか機能メニューから「文字入力／辞書設定」を選択し、「入力モード切替」を選択します。

<モード1(かな方式)>

モード1(かな方式)で文字を入力する

文字を入力する操作手順で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

少ない文字を入力するだけで予測される文字に変換できる予測変換機能や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。

●文字を学習することにより予測変換候補や関係候補が増えます。

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 **MENU▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択**

「予測機能」を「ON」に設定している場合は予測変換モードで、「OFF」に設定している場合は通常変換モードで文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→4を1回、Oを1回

だ→4を1回、＊を1回

の→5を5回

か→2を1回

し→3を2回

●一度に24文字まで入力できます。「予測機能」を「ON」に設定している場合、6文字以上入力すると、自動的に通常変換モードに切り替わります。

●同じボタンで入力する文字が続く場合は、Oを押してカーソルを進めてから次の文字を入力します。

「文字確定時間」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。

●大文字・小文字を切り替える場合は文字を入力したあとに☎を押します。

●📷(逆順)を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。

●「予測機能」を「ON」に設定している場合、✉を押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。

●iα(英数ｶﾅ)を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。入力した文字によっては、日付／時刻の変換候補も表示されます。

●変換せずにそのまま確定する場合は●(確定)を押します。

3 **Oで「の」までカーソルを移動**

●自動的に通常変換モードに切り替わります。

文字入力

4 [O]で候補リストにカーソルを移動 ▶[O]で「タダの」を選んで[O](選択)

- [MENU](前ページ)／[📷](次ページ)を押すと、候補リストをページ単位でスクロールできます。
- 変換候補を選択中に[CLR]を押すと文字入力(編集)画面に戻ります。
- [📷](全確定)を押すと全文節を確定できます。

5 [O]で候補リストにカーソルを移動 ▶[O]で「菓子」を選んで[O](選択)

選択した文字が確定します。

- 文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、関係候補が表示されます。[O]を押して候補リストにカーソルを移動すると関係候補を入力できます。
- 関係候補を選択中に[CLR]を押すと文字入力(編集)画面に戻ります。

お知らせ

- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
  - ・お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
  - ・辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。(P.162、P.361参照)
- 2タッチ方式、ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードでも予測変換機能、関係候補を利用できます。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力画面では入力可能な残り文字数と最大入力文字数がバイト数で表示されます。(SMS本文入力時など、機能によっては入力済み文字数が文字数単位で表示されます。)

文字入力(編集)画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 全角：あいうえお　5文字(カウントは10バイト)
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字(カウントは10バイト)

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カタカナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄ	ﾞ	ｺ	ﾓ	の	携	帯	電	話
1	1	1	1	2	2	2	2	2

- 画面に表示される文字数は9文字でカウントは14バイト、半角文字14文字分となります。
- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

その他の入力機能

項目	操作・補足
カタカナ入力	[✉](文字)を数回押してカタカナ入力モードにする ▶ボタンを押して文字を入力
英数字入力	[✉](文字)を数回押して英字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力
数字入力	[✉](文字)を数回押して数字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力
改行入力	[📷](改行)を押す ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、[O]を押しても改行できます。
顔文字入力	「かお」と入力▶[O]で候補リストにカーソルを移動▶[O]で顔文字を選択 ●お買い上げ時に登録されている定型文にも顔文字が登録されています。

お知らせ

<改行入力>

- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- ｉモードのテキストボックスの編集など、機能によっては改行できない場合があります。

文字を修正する

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動 ▶[CLR]

カーソルの右側の文字が削除されます。
[CLR]を1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。

- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。[CLR]を1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

つづく↳

■編集中のデータについて
電池切れアラームが鳴ったときは
編集中のデータが自動的に確定して保存されます。充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。
(☎)を押したときは
編集中のデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。
電話がかかってきたり、メールを受信したときは
マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。
(MULTI)を1秒以上押してメニューを切り替え、データの編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、データの編集画面に戻ります。

予測機能 (MENU)(3)(5)

候補リストに予測変換候補、関係候補を表示するかどうかを設定します。

1 (MENU)▶**設定**▶**その他**▶**文字入力方式**▶**予測機能**▶**ON・OFF**

シークレット学習設定 (MENU)(3)(5)

シークレットモード、シークレット専用モード中に行った文字変換を、学習履歴として記憶するかどうかを設定します。

1 (MENU)▶**設定**▶**その他**▶**文字入力方式**▶**シークレット学習設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**学習する・学習しない**

文字入力(編集)中の機能メニュー

●メール本文入力画面での機能メニューについてはP.174参照。

機能メニュー	操作・補足
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。
コピー	P.360参照
切り取り	P.360参照
貼り付け	P.361参照
元に戻す(UNDO)	確定、削除、切り取り、貼り付けをした文字を元に戻します。10回まで戻せます。ただし、文字の確定は1回のみ戻せます。 ●(MENU)(UNDO)を押しても戻せます。
絵文字／記号入力(絵文字入力)	絵文字を画面に表示しながら入力します。 ▶**絵文字入力** ▶**絵文字を選んで**(✉)(連続) 上記の操作を繰り返して、他の絵文字を入力できます。 ●漢字ひらがな入力モードで(＊)を押しても、絵文字の一覧が表示されます。 ●(📷)を押すと、絵文字1→絵文字2→デコメ絵文字(お気に入り…文字)の順で絵文字の一覧が切り替わります。ただし、デコメ絵文字(お気に入り…文字)はｉモードメールの本文を編集中にのみ入力できます。(MENU)を押すと、逆順で切り替わります。 ●行番号(左側の番号)→列番号(上側の番号)の順にダイヤルボタンを押しても絵文字を選択できます。 ●(iα)(記号)を押すと記号の一覧が表示されます。 ▶(●)(選択) 選んでいる絵文字が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。
絵文字／記号入力(記号入力)	記号を画面に表示しながら入力します。 ▶**記号入力**▶**記号を選んで**(✉)(連続) 上記の操作を繰り返して、他の記号を入力できます。 ●(＃)を1秒以上押しても、記号の一覧が表示されます。 ●(📷)を押すと、半角記号→全角記号の順で記号の一覧が切り替わります。(MENU)を押すと、逆順で切り替わります。 ●行番号(左側の番号)→列番号(上側の番号)の順にダイヤルボタンを押しても記号を選択できます。 ●(iα)(絵文字)を押すと絵文字の一覧が表示されます。 ▶(●)(選択) 選んでいる記号が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。
絵文字／記号入力(スペース入力)	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。 ▶**スペース入力** ●文末にカーソルがある場合、(▶)を押してもスペースを入力できます。
定型文／区点／引用(定型文入力)	▶**定型文入力**▶**フォルダを選択** ▶**定型文を選択** ●数字入力モード以外のときは、(＊)を1秒以上押しても定型文のフォルダの一覧が表示されます。

文字入力

機能メニュー	操作・補足
定型文／区点／引用（区点入力）	区点コード一覧表（付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」参照）にある文字・数字・記号を入力します。 漢字ひらがな入力モードのときに操作できます。 **▶区点入力▶区点コード（4桁）を入力** 入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
定型文／区点／引用（日付／時刻入力）	**▶日付／時刻入力** **▶日付／時刻の形式を選択** **▶日付／時刻を入力** ●ダイヤルボタンで日付／時刻を入力します。 ●1800年から2099年まで入力できます。
定型文／区点／引用（電話帳引用）	電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス、住所、誕生日、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス **▶電話帳引用▶電話帳を検索** **▶電話帳を選択** **▶引用したい項目にチェック** **▶✉（完了）**
定型文／区点／引用（個人データ引用）	お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス、住所、誕生日、メモ **▶個人データ引用▶端末暗証番号を入力** **▶引用したい項目にチェック** **▶✉（完了）**
定型文／区点／引用（バーコードリーダー）	バーコードリーダーを起動します。 （P.146参照） **▶バーコードリーダー**
文字入力／辞書設定（ユーザ辞書）	ユーザ辞書に単語を登録します。 （P.361参照） **▶ユーザ辞書**
文字入力／辞書設定（学習履歴）	P.361参照
文字入力／辞書設定（入力モード切替）	文字入力方式を切り替えます。 **▶入力モード切替▶入力モードを選択** ●「文字入力方式」の「入力モード」（P.356参照）で選択していない入力モードは選択できません。
文字入力／辞書設定（候補表示サイズ）	変換候補の文字サイズを設定します。 **▶候補表示サイズ** **▶拡大表示・標準表示・縮小表示** ●ここでの設定は、「文字サイズ設定」→「文字入力」→「候補表示サイズ」と共通です。
文字入力／辞書設定（予測機能）	P.358参照
文字入力／辞書設定（関係候補表示）	関係候補を使用するかどうかを設定します。 **▶関係候補表示▶ON・OFF**
文字入力／辞書設定（文字確定時間）	モード1（かな方式）で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。 同じボタンを押して入力する文字が続く場合でも、Oを押してカーソルを移動する操作を省略できます。 **▶文字確定時間▶速い・普通・遅い・OFF**
文字入力／辞書設定（2タッチ／ニコタッチガイダンス）	モード2（2タッチ方式）、モード3（ニコタッチ方式）で入力中に、1桁目のボタンを押したときに文字の変換候補を画面の下に一覧表示するかどうかを設定します。 **▶2タッチ／ニコタッチガイダンス** **▶ON・OFF**
ヘルプ	文字入力の操作方法を確認できます。 **▶項目を選択**
JUMP	カーソルを文頭または文末に移動します。 **▶文頭へJUMP・文末へJUMP** ●文字入力（編集）画面が複数のページにわたるときは、カーソルはページの先頭または最後に移動します。

お知らせ

<全角切替・半角切替>

●ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードで半角切替した場合、半角カタカナ入力モードに切り替わります。

<絵文字／記号入力（絵文字入力）>

●文字入力（編集）画面によっては絵文字を入力できない場合があります。

●一度絵文字入力を行ったあとは、はじめに「履歴」が表示されます。

●履歴には、入力した絵文字1･2の履歴が27件、デコメ絵文字の履歴が36件まで表示されます。ただし、メール作成画面の下にワンセグの視聴画面が表示されている場合は、18件まで表示されます。

●デコメ絵文字は20件まで入力できますが、他に画像を挿入する場合は、挿入した画像の数だけ入力できる件数が少なくなります。

つづく

お知らせ

<絵文字／記号入力(記号入力)>
- 数字入力モードで[0]を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 文字入力(編集)画面によっては、入力できない記号があります。
- 一度記号入力を行ったあとは、はじめに「履歴」が表示されます。
- 履歴には、入力した半角記号の履歴が27件、全角記号の履歴が36件まで表示されます。ただし、メール作成画面の下にワンセグの視聴画面が表示されている場合は、18件まで表示されます。

<定型文／区点／引用(定型文入力)>
- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

<定型文／区点／引用(電話帳引用)>
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

<定型文／区点／引用(個人データ引用)>
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。
- 2in1のモードがAモードの場合はAナンバーの個人データ、Bモードの場合はBナンバーの個人データ、デュアルモードの場合はAナンバーとBナンバー両方の個人データが引用されます。

<文字入力／辞書設定(文字確定時間)>
- 文字確定時間の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

＜定型文＞ MENU 3 8

定型文を使用する

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録されています。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文を表示する

1 MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶定型文▶フォルダを選択

定型文フォルダ一覧画面

2 定型文を選択

定型文一覧画面

→

定型文画面

お知らせ

- メールの作成時に使用する自作の定型文には、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。(iモードメールどうしでは絵文字を使用できます。)
- 「あいさつ」「ビジネス」フォルダにあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES

定型文一覧画面・定型文画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶定型文を入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。 ●[✉](編集)を押しても編集できます。
1件初期化	定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶YES
全件初期化	フォルダ内のすべての定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字/半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 文字入力(編集)画面▶[i α](機能)▶切り取り・コピー▶始点を選択
- [i α](全選択)を押すとすべての文字を選択できます。

2 終点を選択

お知らせ

- デコメール本文入力中に切り取り･コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。
- デコメールの本文など、データの容量によってはメモリが不足するため切り取り･コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り･コピーした文字を貼り付けます。

1 文字入力(編集)画面 ▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動 ▶i α(機能)▶貼り付け

<ユーザ辞書> MENU 3 8

ユーザ辞書に単語を登録する

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けてユーザ辞書に100件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書 ▶ユーザ辞書▶<新規登録>▶単語を入力

- 登録済みのユーザ辞書を選択すると、登録内容を確認できます。
- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。ただし、改行は入力できません。

2 読みを入力

- ひらがなで10文字まで入力できます。また、「長音(ー)」以外の記号は登録できません。ただし、「゛」や「゜」を付けることができる文字のときには「゛」や「゜」は登録できます。
- スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

ユーザ辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
新規登録	P.361「ユーザ辞書に単語を登録する」手順1へ進みます。
編集	P.361「ユーザ辞書に単語を登録する」手順1へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいユーザ辞書にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>

- 文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合、機能メニューから「削除」を選択し、「1件削除」または「全削除」を選択します。

お知らせ

<選択削除>

- 文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合は表示されません。

学習履歴を確認する

一度入力した文字列が自動的に記憶され、学習履歴として変換時の候補になります。

1 文字入力(編集)中の機能メニュー ▶文字入力／辞書設定▶学習履歴 ▶行を選択▶履歴を選択

- 学習履歴を削除するにはi α(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

学習履歴初期化 MENU 3 5

学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 MENU▶設定▶その他▶文字入力方式 ▶学習履歴初期化▶端末暗証番号を入力 ▶YES

<ダウンロード辞書> MENU 3 8

ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書(P.162参照)を有効にします。

1 MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書 ▶ダウンロード辞書 ▶ダウンロード辞書を選択

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。

- ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
- ダウンロード辞書は5件まで有効にできます。
- お買い上げ時に登録されている辞書は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.163参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.39参照)が設定されます。

ダウンロード辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。

つづく

機能メニュー	操作・補足
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンを表示します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<タイトル編集>
- ●タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

<モード2(2タッチ方式)>

モード2(2タッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ●ダイヤルボタンの文字割り当て(2タッチ方式)についてはP.411参照。
- ●「2タッチ方式」への切り替えについてはP.356参照。

入力モードの切替(2タッチ方式)

文字入力(編集)画面で[✉]([文字])を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 **[MENU]▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択**

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→[4][1]
だ→[4][1]、[*]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- ●濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後[*]を押します。
- ●[8][0]と押すと、大文字／小文字入力モードが切り替わります。大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し[☎]を押しても、大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後、P.356手順3へ進みます。

<モード3(ニコタッチ方式)>

モード3(ニコタッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ●ダイヤルボタンの文字割り当て(ニコタッチ方式)についてはP.412参照。
- ●「ニコタッチ方式」への切り替えについてはP.356参照。

入力モードの切替(ニコタッチ方式)

文字入力(編集)画面で[✉]([文字])を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 **[MENU]▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択**

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→[4][1]
だ→[4][1]、[*]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- ●濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後[*]を押します。
- ●大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し[☎]を押すと、大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後、P.356手順3へ進みます。

ネットワークサービス

■利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- ●サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- ●詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- ●お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.364
キャッチホン	要	有料	P.366
転送でんわサービス	要	無料	P.367
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.368
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.47
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.369
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.369

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
英語ガイダンス	不要	無料	P.370
マルチナンバー	要	有料	P.371
2in1	要	有料	P.372
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.65
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.66
OFFICEED	要	有料	P.378
メロディコール	要	有料	P.100

- ●「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ●ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。（P.378参照）
- ●本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

<メッセージ問い合わせ>

新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 MENU▶**サービス**▶**留守番電話**▶**メッセージ問い合わせ**▶**OK**

■問い合わせ結果について

●伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン（ ）と留守番電話アイコン（ など）を表示してお知らせします。

●伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン（ など）は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。

●留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、 、 、 … （6件以上）と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

●「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。

●伝言メッセージの再生のしかたについてはP.365参照。

■「 」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「 」が消える場所で利用してください。

<留守番電話>

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

●伝言メモ（P.67参照）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。

●留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

●留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。

●伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。

●テレビ電話の伝言メッセージが留守番電話サービスセンターにあるときは、SMSにて通知されます。

●留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信してください。

●キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。（P.71参照）

●留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が鳴ります。（着信音が鳴る時間は変更可能です。P.365参照）その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。

●かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音／録画する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶**サービス**▶**留守番電話**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 ▶**YES**▶**音声ガイダンスに従って操作**
留守番電話サービス開始	▶**YES**▶**YES**▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。
留守番サービス停止	▶**YES**
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 ▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 ▶**YES**▶**音声ガイダンスに従って操作**
メッセージ問い合わせ	P.364参照
件数増加鳴動設定	伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。 ▶**YES・NO**
留守番アイコン消去	待受画面にある留守番電話アイコン(など)を消去します。 ▶**YES**
着信通知開始	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどにかかってきた電話の着信履歴がSMSで通知されます。 ▶**項目を選択** **全着信**……すべての着信についてお知らせします。 **発番号あり**……相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。 ▶**YES**
着信通知停止	▶**YES**
着信通知設定確認	着信通知の設定内容を確認します。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、＊、#)を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は☎をもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- 0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

<留守番アイコン消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 **着信中**▶iα(機能)▶**留守番電話**
- 着信中にiα(機能)を押し、#を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始/停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面**▶iα(機能)
▶**電話帳指定設定**▶**端末暗証番号を入力**
▶**指定留守番電話**

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。
- 指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン(P.67、P.112参照)と「着信履歴」でお知らせします。
- 本機能を設定していても、留守番電話サービス停止中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての電話が留守番電話サービスセンターに接続されなくなります。

<キャッチホン>

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」(P.370参照)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

キャッチホンサービスを利用する

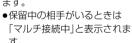
1 **MENU▶サービス▶キャッチホン▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
キャッチホンサービス開始	▶YES
キャッチホンサービス停止	▶YES
キャッチホンサービス設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。

通話中にかかってきた電話に出る

お話し中の通話を保留にして、かかってきた電話に出ます。

1 **通話中着信▶[通話キー]**

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [通話キー]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通信・着信の場合、着信画面で[通話キー]を押すと、通話を終了すれば新しい着信に応答できる旨の確認画面が表示されます。[終話キー]を押すと元の通話が終了し、着信画面が表示されます。「OK」を選択すると、通話中着信の画面に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話中に着信があった場合は、以下のような動作になります。
  - ・着信時の画像に設定された動画／iモーション、Flash画像は表示されません。
  - ・元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
  - ・バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話に出ます。

1 **通話中着信▶[終話キー]**

着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

元の通話を続ける

1 **通話中着信▶[iαキー](機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	操作・補足
着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、遠隔監視中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。(留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約および設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。)

通話を保留して電話をかける

お話し中の通話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけます。

1 **通話中に別の相手の電話番号を入力▶**

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留になります。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [通話キー]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

ネットワークサービス

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、保留中の電話に出ます。

1 **マルチ接続中▶**(電話キー)

着信音が鳴ります。

2 (電話キー)**または**(決定キー)**(通話)を押す**

●通話中の相手が通話を終了したときは、(電話キー)を押して保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 **マルチ接続中▶**(iαキー)**(機能)▶保留呼切断**

お知らせ

●保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
●マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。(iαキー)(機能)を押して「保留呼切断」を選択すると保留中の電話が終了します。「通話呼切断」を選択するとお話し中の電話が終了します。

<転送でんわ>

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

●伝言メモ(P.67参照)や遠隔監視(P.73参照)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ設定」の呼出時間や「遠隔監視」の応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
●転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
●転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.367参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。
●かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスを利用する

1 (MENU)**▶サービス▶転送でんわ▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
転送サービス開始	**▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力** ●(電話帳キー)を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.89参照) **▶呼出時間設定▶呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。 **▶開始▶**YES
転送サービス停止	▶YES
転送先変更	**▶転送先の電話番号を入力▶項目を選択** **転送先変更** . . . 現在転送でんわサービスを使っているときに選択します。 **転送先変更+転送開始** . . . 転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。 ●(電話帳キー)を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.89参照)
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 留守番電話を使うには「留守番電話サービス」の契約が必要です。 ▶YES
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。

お知らせ

●着信中に応答すれば、転送されずに通話できます。
●電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスの契約者の負担となります。
●転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 1 4 2 9 ▶(電話キー)
▶音声ガイダンスに従って操作

●詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中▶iα(機能)▶転送でんわ**

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面▶iα(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定転送でんわ**

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。

- 指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての着信が転送されなくなります。
- 転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

<迷惑電話ストップ>

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。(メッセージはお預かりしません)
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。(転送先には転送されません)
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード(ドライブモード)	着信拒否ガイダンスが流れます。(公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れません)

詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

1 **MENU▶サービス▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信通話した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶YES▶OK
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶電話番号を入力▶YES ●Oを押すと電話帳検索画面、Oを押すと発信履歴一覧画面、Oを押すと着信履歴一覧画面から電話番号を選択できます。
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶YES▶OK
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK
拒否登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。

＜番号通知お願いサービス＞

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 MENU▶サービス▶番号通知お願いサービス▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
番号通知お願い開始	▶YES▶OK
番号通知お願い停止	▶YES▶OK
番号通知お願い確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。

お知らせ

- FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定・確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜デュアルネットワーク＞

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末を利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 MENU▶サービス▶デュアルネットワーク▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.118参照。
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。

ボタン操作でのデュアルネットワークサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によってデュアルネットワークサービスを利用します。

■端末を切り替えるには（サービスを利用していない端末から）

1 5 4 0 発信→ネットワーク暗証番号入力→切替ガイダンス→終話

■デュアルネットワーク状態確認（確認したい方の端末から）

1 5 4 6 発信→確認→終話

お知らせ

- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0～9、＊、＃）を行った場合、終話を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は終話をもう一度押してください。

<英語ガイダンス>

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■**発信時**(お客様ご自身へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**(お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 MENU▶**サービス**▶**英語ガイダンス**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
ガイダンス設定	▶**項目を選択** **発信時＋着信時** . . . . 発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。 **発信時** . . . 発信時のガイダンスを設定します。 **着信時** . . . 着信時のガイダンスを設定します。 ▶**ガイダンスに設定する言語を選択** ▶**YES** ●「発信時＋着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<サービスダイヤル>

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶**サービス**▶**サービスダイヤル**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
ドコモ故障問合せ	故障お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶O(発信) 113番に発信します。
ドコモ総合案内・受付	総合お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶O(発信) 151番に発信します。

<通話中の着信動作選択>

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」を契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

1 MENU▶**サービス**▶**通話中の着信動作選択**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

項目	操作･補足
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。 ●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

通話中の着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 MENU▶**サービス**▶**通話中着信設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
通話中着信設定開始	▶YES
通話中着信設定停止	▶YES
通話中着信設定確認	着信動作の設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜遠隔操作設定＞
遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

●海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を設定しておく必要があります。

1 MENU▶**サービス**▶**遠隔操作設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作･補足
遠隔操作開始	▶YES
遠隔操作停止	▶YES
遠隔操作設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜マルチナンバー＞
付加番号を設定する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加して利用いただけます。

●FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

●発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。

●リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信されます。

電話番号登録

基本契約番号の登録名の編集、付加番号の登録と登録名の編集を行います。

1 MENU▶**サービス**▶**マルチナンバー**▶**電話番号登録**▶**電話番号を選択**

●iα（機能）を押して「編集」を選択、または✉（編集）を押しても登録／編集できます。

●基本契約番号または登録済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。

●基本契約番号の登録名を初期化するにはiα（機能）を押して「基本番号名初期化」を選択し、「YES」を選択します。

●登録済みの付加番号を削除するにはiα（機能）を押して「付加番号1件削除」または「付加番号全件削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **登録名を入力**▶**電話番号を入力**

●登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。

●基本契約番号の電話番号は編集できません。

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 MENU▶**サービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定**▶**電話番号を選択**

基本契約番号. . . . .契約の電話番号で発信します。
付加番号1･2. . . . .付加番号で発信します。
- 登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。ただし、パーソナルデータロック中は登録名は表示されません。

2 **YES**

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、機能メニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶**マルチナンバー**▶**電話番号を選択**
- 付加した電話番号を消去する場合は、「発番号設定消去」を選択します。
- マルチナンバー未契約の場合は、付加番号を選択しても基本契約番号での発信となります。

お知らせ
- 「基本契約番号」「付加番号1･2」を選択した場合は、電話番号のあとに「＊590＃」「＊591＃」「＊592＃」が付加されます。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 MENU▶**サービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定確認**

着信音設定

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 MENU▶**サービス**▶**マルチナンバー**▶**着信音設定**▶**付加番号を選択**

P.98手順2へ進みます。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

<2in1>

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるように利用いただけるサービスです。
2in1には次の3種類のモードがあります。

Aモード
お客様電話番号(Aナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Aアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード
2in1電話番号(Bナンバー)での発信とWEBメール(Bアドレス)が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード
Aモード･Bモード両方の機能を備えたモードです。

- 2in1の詳細は「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。
- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行うときに使用します。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1とマルチナンバーはどちらか一方のみの契約となります。
- 2in1利用中に「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)」を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、「2in1機能OFF」(P.373参照)を行ってから、再度2in1設定をONにしていただくか、「Bナンバー自動取得」(P.342参照)を行ってください。
また、「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)」を行う場合も、正しい所有者情報に更新するために、「2in1機能OFF」を行ってください。
- 各モードごとの動作についてはP.375をご覧ください。

2in1をONにする

1 MENU▶**サービス**▶**2in1設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

2in1がONに設定されると、2in1設定メニュー画面が表示されます。
- FOMA端末を開いた状態で▲を1秒以上押してから端末暗証番号を入力しても表示されます。

2in1設定メニュー画面

2in1の設定をする

1 **2in1設定メニュー画面**
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
モード切替	利用するモードに切り替えます。 **▶モードを選択** ●2in1が「ON」のときは待受画面を表示中に[▲]を1秒以上押して端末暗証番号を入力しても、モードを選択する画面が表示されます。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、着信回避設定も変更する旨の確認画面が表示されます。
電話帳2in1設定	FOMA端末（本体）に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 **▶項目を選択** **Aに設定** . . . . A用の電話帳として設定します。Aモードとデュアルモードのときに利用できます。 **Bに設定** . . . . B用の電話帳として設定します。Bモードとデュアルモードのときに利用できます。 **共通に設定** . . . . A・B両方の電話帳として設定します。すべてのモードで利用できます。 **▶設定方法を選択** **1件設定** . . . 呼び出した電話帳1件のみを設定します。 **複数件設定** . . . . 呼び出した電話帳の一覧から複数件選択し、✉（［完了］）を押します。 **グループ設定** . . . . 呼び出した電話帳のグループ1件を設定します。
モード別待受画面設定	デュアルモード中またはBモード中に表示される待受画面を設定します。 **▶モードを選択▶待受画面を設定** ●待受画面の設定方法についてはP.104参照。ただし、「ｉアプリ待受画面」は表示されません。 ●「設定解除」を選択すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
発着信番号設定（発着信番号表示設定）	Bナンバーで発着信したときに、発信／着信画面、発信／着信履歴詳細画面、リダイヤル詳細画面、着もじの送信メッセージ詳細履歴画面に表示される電話番号の文字フォントを設定します。 **▶パターン1・パターン2**
発着信番号設定（Bナンバー着信設定）	Bナンバーへの着信音およびBアドレスへのメール着信音を設定します。 **▶項目を選択** **電話** . . . . 音声電話の着信音を設定します。 **テレビ電話** . . . . テレビ電話の着信音を設定します。 **メール** . . . ｉモードメール、SMSの着信音を設定します。 **▶着信音の種類を選択** P.98手順3へ進みます。 ●「設定解除」を選択すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
2in1機能OFF	2in1をOFFにします。 **▶YES**
着信回避設定（着信回避設定変更）	Aナンバー、Bナンバーそれぞれの着信回避設定を手動で設定します。 **▶着信回避設定変更** **▶Aナンバー・Bナンバー▶項目を選択** **変更しない** . . . 着信回避設定を変更しません。 **着信する** . . . 選択した電話番号への着信を受けます。 **着信しない** . . . 選択した電話番号への着信を回避します。 **▶**✉（［完了］） ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。
着信回避設定（着信回避設定確認）	着信回避設定を確認します。 **▶着信回避設定確認**
着信回避設定（モード切替連動設定）	モード切替連動設定の開始／停止を切り替えます。「開始」に設定すると、2in1のモード切替に連動して着信回避設定が自動的に変更され、AモードのときはAナンバーへの着信のみ、BモードのときはBナンバーへの着信のみ、デュアルモードのときはAナンバー・Bナンバー両方への着信を受けることができます。 **▶モード切替連動設定▶YES**
着信回避設定（着信回避設定（海外））	海外から着信回避設定を操作します。 **▶着信回避設定（海外）▶YES** **▶音声ガイダンスに従って操作** ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。

つづく

お知らせ

<モード別待受画面設定>

●Aモード中の待受画面を設定するにはP.104「待受画面を設定する」参照。

<発着信番号設定(発着信番号表示設定)>

●パーソナルデータロック中も設定は保持されます。
●Aナンバーでの発着信時に表示される電話番号のフォントを設定するにはP.115「電話番号のフォント(書体)を変更する」参照。

<発着信番号設定(Bナンバー着信設定)>

●Aナンバーへの着信音およびAアドレスへのメール着信音を設定するにはP.98「着信音選択」参照。
●相手が発信者番号を通知せずにBナンバーに電話がかかってきたときは、「非通知着信設定」で設定している着信音が鳴ります。

デュアルモード中に電話をかける

デュアルモード中は、A設定／共通設定の電話帳またはAナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はAナンバー発信、B設定の電話帳またはBナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はBナンバー発信が初期状態になります。また、以下の操作で電話をかける前に相手に通知する番号を選択できます。

電話番号を入力してかける場合

1 **電話番号を入力**
▶(☎)または(◎)(発信)

2 **Aナンバー・Bナンバー**
●中止をする場合には、「中止」を選択します。

電話帳や履歴画面から発信番号を選択する場合

1 **電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示**

2 (iα)(機能)▶**2in1発信**
▶**Aナンバー・Bナンバー**
●中止する場合は、「2in1発信解除」を選択します。

■モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。(Aモードと共通の動きをするものは除いています)

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>Aモード</th><th>Bモード</th><th>デュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="2">音声電話
テレビ電話</td><td>発信</td><td>Aナンバー</td><td>Bナンバー</td><td>発信時に選択可※1</td></tr>
<tr><td>着信</td><td colspan="3">すべて可※2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">電話帳※3</td><td>表示※4</td><td>A設定/共通設定の電話帳</td><td>B設定/共通設定の電話帳</td><td>すべての電話帳</td></tr>
<tr><td>名前変換※5</td><td>A設定/共通設定の電話帳</td><td>B設定/共通設定の電話帳</td><td>すべての電話帳</td></tr>
<tr><td>新規登録時の2in1設定</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td>赤外線/iC/microSDメモリーカードからの全件受信</td><td colspan="3">送信元の2in1設定をコピー※6</td></tr>
<tr><td>赤外線/iC/microSDメモリーカードからの1件受信</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td>「FOMAカードへコピー」</td><td colspan="3">「FOMAカードへコピー」時には、2in1設定は共通設定</td></tr>
<tr><td>FOMAカードから「本体へコピー」</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td>リダイヤル
発信履歴
着信履歴
受信アドレス履歴
着もじの送信メッセージ詳細履歴</td><td>表示</td><td>Aナンバー/Aアドレスの履歴</td><td>Bナンバー/Bアドレスの履歴</td><td>すべての履歴</td></tr>
<tr><td>メール/SMS</td><td>表示※7</td><td>●Aアドレスで送受信したメール
●Aナンバーで送受信したSMS</td><td><FOMA端末>
●FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール(WEBメールサイト上の「端末に保存」操作をしたメール)や新着通知メール・アラーム通知メール
●Bナンバーで受信したSMS

<WEBメールサイト>
Bアドレスで送受信したメール</td><td><FOMA端末>
●Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール
●Aナンバーで送受信したSMS
●Bナンバーで受信したSMS

<WEBメールサイト>
Bアドレスで送受信したメール</td></tr>
</table>

つづく

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS	送信	●Aアドレスからのメール ●AナンバーからのSMS	＜FOMA端末＞ メール／SMSの送信不可 ＜WEBメールサイト＞ Bアドレスからのメール	＜FOMA端末＞ ●Aアドレスからのメール※8 ●AナンバーからのSMS ＜WEBメールサイト＞ Bアドレスからのメール
	受信	Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛のメールや新着通知メール･アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動なし） FOMA端末に保存したBアドレス宛のメールや新着通知メール･アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛のメールや新着通知メール･アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※6		
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの1件受信	Aアドレスのメール／AナンバーのSMS		
	「FOMAカードへコピー」（SMSのみ）	AナンバーのSMS		
	FOMAカードから「本体へコピー」（SMSのみ）	AナンバーのSMS	表示不可	AナンバーのSMS
プッシュトーク	発信	Aナンバー	利用不可	Aナンバー
	着信	Aナンバー		
	プッシュトーク電話帳	表示可	表示不可	表示可
iアプリ		すべて利用可	利用可※9	利用可※10
自局番号表示		Aナンバー	Bナンバー	Aナンバー／Bナンバー
留守番電話	伝言メッセージの録音	すべて可※11		
	サービスへの接続番号※12	Aナンバー	Bナンバー※13	発信時に選択可
転送でんわ	転送先への転送	すべて可		
	サービスへの接続番号※12	Aナンバー	Bナンバー※14	発信時に選択可

※1　A設定／共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。

※2　A（B）モードで「指定着信許可」を設定している場合、A／デュアル（B／デュアル）モードでは、指定先からのみ着信しますが、B（A）モードではすべての番号から着信します。
A（B）モードで「指定着信拒否」を設定している場合、A／デュアル（B／デュアル）モードでは、指定先からの着信のみを拒否しますが、B（A）モードではすべての番号から着信します。

※3　電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。

※4　microSDメモリーカード内の電話帳は、モードに関わらずすべて表示されます。

※5　発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳との照合により、各番号･各アドレスが登録されている電話帳の名前に変換して表示する機能です。

※6　送信元が2in1非対応機種の場合、すべてA設定になります。

※7　microSDメモリーカード内のメール･SMSは、Bモード中はBモード属性情報が無いものは表示されません。
※8　デュアルモード中にメールの新規作成をすると、B設定の電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからの送信となってしまうためご注意ください。
※9　メッセージアプリ、メール連動型ｉアプリ、ｉアプリ待受画面は除きます。
※10　ｉアプリ待受画面は除きます。
※11　AナンバーとBナンバーへの伝言メッセージを合わせて20件まで録音できます。
Aナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示され、Bナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示されます。
※12　AナンバーとBナンバーそれぞれにおいてサービスの開始／停止などを行えます。
※13　「留守番設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。
※14　「転送サービス設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- Aモード中にB設定の電話帳（Bモード中の場合はA設定の電話帳）に設定されている画像やメロディデータを削除またはmicroSDメモリーカードに移動する場合、機能設定中である旨のメッセージは表示されません。
- Bモード中は以下のメール機能を利用できません。
  - ･ｉモードメール･SMS作成　･テンプレート　･えチャット
  - ･メール選択受信　･転送　･返信･引用返信
  - ･メール設定　･チャットメール　･送信BOX･保存BOXの表示
  - ･Mail to 機能　･ｉモードメール本文からのｉアプリ To機能
- デュアルモード中はBナンバー発信のリダイヤル／発信履歴、Bナンバー着信の着信履歴からはｉモードメール･SMS作成、プッシュトーク発信、えチャットを利用できません。
- デュアルモード中はBナンバー／Bアドレス宛のメール･SMSから「返信」「引用返信」はできません。
- デュアルモード中に以下を実行したときは、Aナンバーで電話をかけます。
  - ･ポーズダイヤルから発信したとき
  - ･伝言メモから発信したとき
  - ･オールロック中に緊急通報110番／119番／118番へ発信したとき
- 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーでの発信になります。
- 現在のモードに関わらず、受信BOXに保存できるのは、すべてのｉモードメール･SMSを合わせて2500件までです。
- Bアドレス･Bナンバー宛のｉモードメール･SMSは返信不可となりますが、「返信不可振分け」に設定したフォルダには保存されません。
- 「既読メール全削除」「受信メール全削除」「既読削除」「SMS送達通知全削除」「フォルダ内全削除」「全削除」は、すべてのｉモードメール･SMSが対象となります。
- 現在のモードに関わらず、電話帳の「全削除」はすべての電話帳が対象となります。

<OFFICEED>
OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。
ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

OFFICEED圏外転送機能を利用する

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU▶**サービス**▶**OFFICEED**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
エリア表示設定	OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「ON」を選択した場合、エリア表示設定を「ON」にするかどうかの確認画面が表示されます。
圏外転送開始	OFFICEED圏外転送機能を開始します。 ▶YES
圏外転送停止	OFFICEED圏外転送機能を停止します。 ▶YES
圏外転送設定確認	OFFICEED圏外転送機能の設定を確認します。

<追加サービス>
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスを登録する

1 MENU▶**サービス**▶**追加サービス**▶**追加サービス**▶**<未登録>を選んで**iα(機能)▶**設定追加**

●iα(機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みのサービスの設定を変更できます。
●登録済みのサービスを削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。
●10件まで登録できます。

2 **サービス名を入力▶特番・USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。
●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

3 **特番またはサービスコード(USSD)を入力▶YES**

お知らせ
●サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認・入力が必要です。
特番
...サービスセンターに接続するための番号です。
サービスコード(USSD)
...FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 MENU▶**サービス**▶**追加サービス**▶**追加サービス**▶**サービスを選択**▶●(送信)

サービスセンターに発信します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 MENU▶**サービス**▶**追加サービス**▶**応答メッセージ設定**▶**<未登録>を選んで**iα(機能)▶**設定追加**

●登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
●iα(機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みの応答メッセージの設定を変更できます。
●登録済みの応答メッセージを削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。

2 **コマンドを入力**

●ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力▶YES**

●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

パソコン接続

データ通信について、詳細は付属のCD-ROM内のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットし、「取扱説明書」→「パソコン接続マニュアル(PDFファイル)」の順にクリックします。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照してください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送(OBEX™通信)に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.418「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。(受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps)ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)やBluetoothで接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。
- ドコモのPDA「sigmarion II」「sigmarion III」「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)やBluetoothで接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送(OBEX™通信)

赤外線やFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を使ってデータ転送(OBEX™通信)を行う際には、ドコモケータイdatalink(P.383参照)をインストールしてください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」、「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「sigmarion II」や「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料ですが、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)が利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

■パソコン本体

PC-AT互換機
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)を使用する場合:
　USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
Bluetoothを使用する場合:
　Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

■OS

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista(各日本語版)

■必要メモリ

Windows 2000:64Mバイト以上
Windows XP:128Mバイト以上
Windows Vista:512Mバイト以上

■ハードディスク容量

5Mバイト以上の空き容量

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)※
- 付属CD-ROM「FOMA P905i用CD-ROM」

※USB接続の場合

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を使う

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。

- 「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。(P.300参照)
- ご使用前に「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが必要です。

Bluetoothを使う

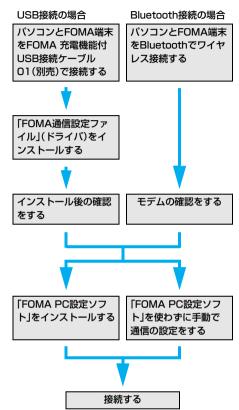
Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。
パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。

- Bluetoothを利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetoothの通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
- 通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。(P.303参照)
データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。
詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールするには

付属の「FOMA P905i用CD-ROM」を利用してください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)で初めて接続するときに必要です。

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

- Bluetoothの詳細についてはP.348参照。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

＜収録ソフト／PDF＞

・FOMA通信設定ファイル
・FOMA PC設定ソフト
・FOMAバイトカウンタ
・ドコモケータイdatalinkのご案内
・FirstPass PCソフト
・mopera Uのご案内(mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ)
・ナップスター®のご案内
・PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
・PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
・Adobe®Reader®

■警告画面が表示されたときは

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル(別売)が必要となります。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 海外のネットワークには、以下の3種類の通信方式があります。

  3Gネットワーク

  世界標準規格である3GPP(3rd Generation PartnershipProject)※に準拠した第3世代移動通信方式です。

  ※第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

  GSM(Global System for Mobile Communications)ネットワーク

  世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信方式です。

  GPRS(General Packet Radio Service)ネットワーク

  GSM通信方式を利用してGPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。
- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えが自動で行われるよう設定されています。(P.390参照)
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下の冊子もあわせてご覧ください。

冊子名	内容
ご利用ガイドブック(国際サービス編)	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)	各ネットワークサービスのサービス内容や注意事項などを説明しています。

お知らせ

- 本書の巻末には、クイックマニュアル「海外利用編」を記載していますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。
- 国番号、国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外で利用できるサービスについて

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1 日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信ができます。	○	○	○
テレビ電話※1 海外の特定3G携帯通信事業者のユーザや、FOMAユーザと国際テレビ電話ができます。	○	×	×
iモード 海外利用設定を行ってください。詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。	○	×	○
iモードメール 日本国内で使用しているアドレスのまま、海外でもiモードメールの送受信ができます。	○	×	○
SMS	○	○	○
iチャネル※2	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○:利用できます。　×:利用できません。

※1 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバーから発信することはできません。

※2 自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。iチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。なお、iチャネルの海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります。(日本国内では、月額サービス利用料に含まれます)

- 海外では、GPS機能･64Kデータ通信は利用できません。
- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国･地域および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の確認について

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 「WORLD WING」に対応しているFOMAカード(青色以外)をFOMA端末に取り付けておいてください。(P.38参照)
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■充電について
- ACアダプタの取扱上のご注意についてはP.18参照。
- ACアダプタでの充電方法についてはP.42、P.43参照。

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行えます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。
  海外でネットワークサービスをご利用の際は、ご出発前に「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

■SMSについて

国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外通信事業者をご利用の相手との間でSMSの送受信ができます。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信するときの宛先は、相手の電話番号の前に「+」と相手の国番号を入力します。ただし、相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。ただし、イタリアなど一部の国·地域に送信するときは「0」が必要な場合があります。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

滞在先での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。
- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
  - 3G(パケット対応アイコン):パケット通信に対応している3Gネットワーク
  - 3G(パケット非対応アイコン):パケット通信に対応していない3Gネットワーク
  - GSM:GSMネットワーク
  - GPRS:GPRSネットワーク
- 「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者が待受画面に表示されます。
- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

■お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失·盗難された後に発生した通話·通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「滞在国の国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」が必要になります。
- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの国際サービスホームページをご確認ください。

つづく

■主要国の国際電話アクセス番号(表1)

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。(2008年3月現在)

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	ブラジル	0021/0014
オランダ	00		
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。(2008年3月現在)

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	ブラジル	0021
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります。(お客様の負担となります)ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されます。
「3G/GSM切替」は「自動」または「3G」に設定してください。
「ネットワークサーチ設定」は「オート」、または「マニュアル」でFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

電話帳を利用して日本に国際電話をかける

滞在先から日本の一般電話、携帯電話に電話をかける場合、電話帳から簡単な操作で国際電話をかけることができます。

●電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」および「日本(81)」に設定しておく必要があります。(お買い上げ時の設定)

1 電話帳詳細画面▶(☎)または(●)(発信)

●(✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

2 発信

電話番号の先頭の「0」が「+81」に置き換わって発信されます。

●「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のままの発信になります。

お知らせ

●リダイヤルや発信履歴などからも、また直接ダイヤル入力しても同様の操作で国際電話をかけることができます。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時に(0)を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、滞在先から日本などに国際電話をかけることができます。

1 (0)(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(☎)または(●)(発信)

●日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。

●地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

●(✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

国際電話発信

あらかじめ、国番号設定(P.58参照)で国番号を登録していると、滞在先から日本などに国際電話をかけることができます。なお、下記は海外での手順になります。

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (iα)(機能)▶国際ダイヤルアシスト▶電話をかけたい国の国名称を選択▶(☎)または(●)(発信)

●(✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。

1 相手先電話番号を入力▶(☎)または(●)(発信)

●(✉)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

●電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.389「滞在国外(日本を含む)に電話をかける」手順2で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。(P.60参照)

■日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

または

「080−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号−81−90−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

または

「発信国の国際電話アクセス番号−81−80−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- 国･地域により、着信の場合であっても国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「非通知着信設定」、「登録外着信拒否」、「電話帳指定設定(指定発信制限は除く)」が動作しない可能性があります。また、「通話中の着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作する可能性があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれかの国からの電話であっても日本から国際転送されます。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

＜3G/GSM切替＞

利用するネットワークを設定する

1 **MULTI(1秒以上)**
▶ネットワークの種類を選択

自動 . . .3G、GSM、GPRSネットワークを利用します。(3Gネットワークが優先されます。)

3G . . . .3Gネットワークを利用します。

GSM/GPRS
. . . . . . .GSM、GPRSネットワークを利用します。

お知らせ

- 「自動」や「3G」に設定している場合、日本国内ではFOMAネットワークを利用します。「GSM/GPRS」に設定している場合、FOMAネットワークには接続されず圏外になります。
- 他のメニュー機能が起動している場合は、待受画面でMULTIを1秒以上押しても本機能の設定画面は表示されず、起動中のメニュー機能の画面が表示されます。

＜ネットワークサーチ設定＞

通信事業者の検索方法を設定する

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 **MENU▶設定▶ネットワーク設定**
▶国際ローミング設定
▶ネットワークサーチ設定▶項目を選択

オート . . . 自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル
. . . . 一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。
利用できない通信事業者には「×」が表示されます。

ネットワーク再検索
. . . . 「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。
「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

2 **通信事業者を選択**

- 「3G/GSM切替」の設定により、表示される通信事業者は異なります。
- ✉(更新)を押すと再度通信事業者の一覧が表示されます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合は「©」が表示されます。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外でFOMA端末の電源を入れ直した場合は、圏内で再度通信事業者を選択してください。

<優先ネットワーク設定>
優先的に接続する通信事業者を設定する

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶優先ネットワーク設定

●登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。

2 iα(機能)▶リストから登録

●国名で通信事業者を検索する場合は、✉(検索)を押して国名を選択します。国選択リストで再度✉(検索)を押し、国名を入力して検索することもできます。

3 通信事業者を選択▶●(確定)▶ネットワークの種類を選択▶✉(完了)▶YES

●ネットワークの種類によって、以下のアイコンが表示されます。

2G/3G：3G及びGSM（GPRSを含む）
3G：3G
GSM：GSM/GPRS

優先ネットワーク設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。 ▶✉(完了)▶YES
リストから登録	P.391「優先的に接続する通信事業者を設定する」参照
マニュアル登録	国番号とオペレータ番号を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。 ▶国番号(3桁)とオペレータ番号(2~3桁)を入力▶ネットワークの種類を選択▶✉(完了)▶YES
優先順位変更	▶変更後の優先順位を選択▶✉(完了)▶YES
1件削除	▶YES▶✉(完了)▶YES
全削除	▶YES▶✉(完了)▶YES

お知らせ

●本機能の設定に関わらず、「DoCoMo」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
●本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。
●FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

<オペレータ名表示設定>
通信事業者を待受画面に表示する

現在接続している通信事業者を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶オペレータ名表示設定▶表示あり・表示なし

■「表示あり」に設定したときは
待受画面に通信事業者名が表示されます。ただし、「DoCoMo」のネットワークを利用している場合は表示されません。

11/15(木) 10:00
日本 XXXX
11/15(木) 10:00
通信事業者名

<在圏状態表示>
通信方式を確認する

現在接続している通信事業者が回線交換(CS)※1、パケット交換(PS)※2に対応しているかどうかを表示します。

※1 音声電話、テレビ電話、SMSなどで使用する通信方式
※2 iモード、iモードメールなどで使用する通信方式

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶在圏状態表示

<ローミングガイダンス設定>
ローミング中のガイダンスを設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

●ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
●ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
●日本国内で設定してください。

1 MENU▶サービス▶ローミングガイダンス設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始	▶YES
停止	▶YES
確認	「ローミングガイダンス設定」の設定内容を確認します。 ▶YES

<ローミング時着信規制>

ローミング中に着信を受け付けないように設定する

●海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶ローミング時着信規制▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始	▶項目を選択 全着信規制 . . . .音声電話やテレビ電話を含め、すべての着信を受け付けません。 デジタル通信着信規制 . . . .テレビ電話の着信のみを受け付けません。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.118参照。
停止	▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.118参照。
確認	「ローミング時着信規制」の設定内容を確認します。 ▶YES

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。また、ローミングガイダンスの設定も行うことができます。

●2in1の「着信回避設定」についてはP.373参照。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶留守番電話(海外)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶転送でんわ(海外)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶ローミングガイダンス(海外)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で遠隔操作の設定をする

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶遠隔操作設定(海外)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする

1 MENU▶設定▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶番号通知お願いサービス▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

お知らせ

●海外から操作した場合は、利用した国の国際通話料がかかります。
●あらかじめ「遠隔操作設定」を設定する必要があります。
●ネットワークサービスの詳細は「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

の項目はP.354「設定リセット」、※の項目はP.257「TV設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。P.354「端末初期化」を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

●端末初期化を行うと、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。

●端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	受信BOX		メール、メッセージなし（FOMAカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし ｉアプリメール用フォルダ：なし	P.186
	送信BOX		メールなし（FOMAカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし ｉアプリメール用フォルダ：なし	P.186
	保存BOX		メールなし（FOMAカード内は除く）	P.186
	新規メール作成		－	P.172
	テンプレート		プリインストールデータのみ	P.178
	WEBメール		－	P.208
	ｉモード問い合わせ		－	P.183
	SMS作成		－	P.206
	SMS問い合わせ		－	P.208
	チャットメール		機能 チャットメンバー：未登録（「自分」は除く）	P.203
	メール選択受信		－	P.183
	メール設定	スクロール設定	1行スクロール	P.198
		文字サイズ設定	標準表示	P.115
		メール一覧表示設定	一覧表示部：日時＋差出人／宛先　題名 本文表示：チェックあり 電話帳登録名で表示：チェックあり	P.198
		本文表示設定	通常表示	P.198
		メールブラインド	OFF	P.198
		メールセキュリティ設定	すべてチェックなし	P.126
		シークレットメール表示設定	表示する	P.126
		カラーラベル自動設定	未登録	P.198
		返信時自動学習設定	学習する	P.198
		冒頭文／署名設定	冒頭文：未入力 自動貼付：チェックあり	P.199
			署名：未入力 自動貼付：チェックあり	P.199
			引用符：〉	P.199
		ｉモード問い合わせ設定	すべてチェックあり	P.199
		メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	P.200
		受信表示設定	通知優先	P.199
		メール選択受信設定	OFF	P.183
		添付ファイル優先受信	すべてチェックあり	P.199
		開封時メロディ再生設定	自動再生する	P.199
		えチャット表示設定	自動表示する	P.199
		チャット設定	お知らせ音設定：チャットお知らせ音1	P.205
			チャットメール画像設定：有効	P.205
			ユーザ詳細設定 ユーザ名：自分 画像：りんごさん	P.205
		メール設定確認	－	P.199
	SMS設定	SMS送達通知設定	要求しない	P.208
		SMS有効期間設定	3日	P.208

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	SMS設定	SMS本文入力設定	日本語入力(70文字)	P.208
		SMS center設定	ドコモ	P.208
	エリアメール設定	受信設定	利用しない	P.202
		受信登録	緊急情報	P.202
		ブザー鳴動設定	許容	P.202
		ブザー鳴動時間	10秒	P.202
iモード	i Menu		−	P.152
	Bookmark		未登録 ユーザ作成フォルダ:なし	P.157
	画面メモ		未登録 ユーザ作成フォルダ:なし	P.158
	ラストURL		i Menu	P.155
	Internet		URL入力履歴なし	P.156
	メッセージR/F		メッセージなし	P.201
	iチャネル	チャネル一覧	−	P.170
		テロップ表示設定	ON	P.170
		テロップ速度設定	標準	P.170
		iチャネル初期化	−	P.170
	iモード問い合わせ		−	P.183
	証明書操作	ユーザ証明書操作	−	P.166
		証明書	すべて有効	P.165
		証明書センター接続設定	ドコモ	P.167
	iモード設定	スクロール設定	1行スクロール	P.164
		文字サイズ設定	標準表示	P.115
		画像表示設定※	表示する	P.164
		接続待ち時間設定	60秒間	P.164
		接続先選択 (メニュー番号:81)	iモード	P.165
		iモーション自動再生設定	自動再生する	P.169
		端末情報データ利用設定	利用する	P.164
		効果音設定	効果音ON	P.164
		ドキュメント表示設定	全体表示	P.310
		iモード通信中着信設定	プッシュトーク着信優先	P.82
		iモード設定確認	−	P.164
		ラストURL初期化	−	P.155
	フルブラウザ	ホーム	設定URL　http://www.google.co.jp	P.260
		Bookmark	P905i おすすめ動画！ ユーザ作成フォルダ:なし	P.157
		ラストURL	なし	P.260
		Internet	URL入力履歴なし	P.156
		フルブラウザ設定	表示モード設定:ケータイモード	P.261
			スクロール設定 速度設定:高速 スクロール中のフォーカス表示:表示しない	P.263
			拡大縮小設定:100%	P.263
			アクセス設定:利用しない	P.263
			ホーム設定:設定URL　http://www.google.co.jp	P.263
			画像表示設定:表示する	P.263
			PC動画自動再生設定:自動再生する	P.263
			Cookie設定:有効(Cookieなし)	P.264
			Referer設定:送信する	P.264
			Script設定:有効	P.263
			ウィンドウオープンガード設定:無効	P.263

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
i アプリ	ソフト一覧(本体)		プリインストール i アプリのみ	P.211
			画面表示:アイコン表示	P.211
			機能 自動起動時刻設定:すべてチェックなし	P.221
			機能 省電力設定:有効にする	P.213
	i アプリ(microSD)	ソフト一覧(microSD)	—	P.211
		i アプリデータ(microSD)	—	P.222
	i アプリ実行情報	待受画面終了情報	情報なし	P.222
		セキュリティエラー履歴	履歴なし	P.212
		自動起動情報	情報なし	P.221
		トレース情報	履歴なし	P.212
	i アプリ設定	自動起動設定	許可しない	P.221
		ソフト情報表示設定	表示しない	P.211
		i アプリ音優先設定	ミュージック優先	P.220
		α照明設定	システム依存	P.220
		α省電力設定	設定しない	P.220
		αバイブレータ	システム依存	P.221
		i アプリ設定確認	—	P.221
設定	サウンド	着信音選択 (メニュー番号:13)	電話・プッシュトーク・テレビ電話:着信音1 メール・チャットメール:着信音2 メッセージR・メッセージF:着信音3	P.98
		着信音量 (メニュー番号:50)	すべてレベル4	P.64
		ボタン確認音 (メニュー番号:30)	ON	P.101
		メロディ効果 (メニュー番号:64)	ステレオ・3Dサウンド設定:ON	P.99
			再生位置選択:フルコーラス再生	P.99
		イヤホン切替設定 (メニュー番号:51)	イヤホン+スピーカー	P.101
		メール/メッセージ鳴動 (メニュー番号:68)	すべてON 鳴動時間:すべて5秒	P.101

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定	ディスプレイ	**画面表示設定** （メニュー番号：56）	待受画面 本体色「ブラック」：ブラック 本体色「ホワイト」：ホワイト 本体色「レッド」：レッド 本体色「ピンクゴールド」：ピンクゴールド	P.104
			時計 時計表示：大きく表示 曜日表示：日本語 表示位置 本体色「ブラック」：パターン11 本体色「ホワイト」「ピンクゴールド」：パターン2 本体色「レッド」：パターン12 表示色 本体色「ブラック」「ホワイト」「ピンクゴールド」：白 本体色「レッド」：黒	P.116
			電話発信・電話着信・テレビ電話発信・ テレビ電話着信・メール送信・メール受信・ 問い合わせ・メール／メッセージ着信結果 本体色「ブラック」「ホワイト」：スタンダード 本体色「レッド」：レッド 本体色「ピンクゴールド」：ピンクゴールド	P.105
			電池アイコン・アンテナアイコン 本体色「ブラック」「ホワイト」：パターン1 本体色「レッド」：パターン2 本体色「ピンクゴールド」：パターン3	P.106
			ウェイクアップ表示：Wake up	P.105
		照明設定 （メニュー番号：70）	通常時：ON 省電力モード：ON 待ち時間：120秒	P.107
			充電時：標準	P.107
			範囲：液晶＋ボタン	P.107
			明るさ：自動設定	P.107
			ふんわり点灯：ON	P.107
		カラーテーマ設定 （メニュー番号：86）	本体色「ブラック」「レッド」：ブラック 本体色「ホワイト」：ホワイト 本体色「ピンクゴールド」：ピンク	P.108
		メニューアイコン設定 （メニュー番号：57）	本体色「ブラック」：ブラック 本体色「ホワイト」：ホワイト 本体色「レッド」：レッド 本体色「ピンクゴールド」：ピンクゴールド	P.108
		プライベートメニュー設定 （メニュー番号：52）	自局番号表示、着信音量、発信者番号通知、GPS、 アラーム、きせかえツール、バイブレータ、 フルブラウザ、文字サイズ設定、PC動画、 スケジュール	P.341
			機能 背景イメージ変更：ノーマル	P.341
		デスクトップ （メニュー番号：63）	使いかたナビ、Bluetooth	P.112

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定	ディスプレイ	**プライベートウィンドウ** (メニュー番号:93)	ON 　時計 　　本体色「ブラック」:パターン2 　　本体色「ホワイト」「ピンクゴールド」:パターン1 　　本体色「レッド」:パターン3 　表示方向:パターン2 　明るさ:レベル3 　着信表示:ON 　　着もじ表示:OFF 　メール表示:OFF 　iチャネルテロップ表示:OFF 　通信中表示:ON	P.106
		フォント設定 (メニュー番号:66)	フォント1	P.114
		文字サイズ設定	すべて標準表示	P.115
		バイリンガル (メニュー番号:15)	Japanese	P.116
		オープン新着表示	OFF	P.106
		画質モード設定	ダイナミック	P.107
		液晶AI	ON	P.107
		表示アイコン説明 (メニュー番号:36)	−	P.30
	イルミネーション	**イルミネーション一括設定**	本体色「ブラック」:パターン1 本体色「ホワイト」:パターン2 本体色「レッド」:パターン3 本体色「ピンクゴールド」:パターン4	P.111
		着信イルミネーション (メニュー番号:89)	着信イルミネーション選択 　本体色「ブラック」 　　電話・テレビ電話:Pattern A-1 　　プッシュトーク:Pattern A-5 　　メール・チャットメール・メッセージR・ 　　メッセージF:Pattern A-2 　本体色「ホワイト」 　　電話・テレビ電話:Pattern B-1 　　プッシュトーク:Pattern B-5 　　メール・チャットメール・メッセージR・ 　　メッセージF:Pattern B-2 　本体色「レッド」 　　電話・テレビ電話:Pattern C-1 　　プッシュトーク:Pattern C-5 　　メール・チャットメール・メッセージR・ 　　メッセージF:Pattern C-2 　本体色「ピンクゴールド」 　　電話・テレビ電話:Pattern D-1 　　プッシュトーク:Pattern D-5 　　メール・チャットメール・メッセージR・ 　　メッセージF:Pattern D-2	P.111
			パターン設定:固定パターン	P.111
			カラー設定:すべて初期状態	P.111
		通話中イルミネーション	OFF	P.111
		不在未読イルミネーション	ON	P.111
		Music&Video ch イルミネーション	OFF	P.111

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定	イルミネーション	クローズ イルミネーション	ON	P.111
		時報イルミネーション	OFF	P.111
		ミュージック イルミネーション	ON	P.111
		Bluetooth イルミネーション	ON	P.111
		ICカード イルミネーション	ON	P.111
		プッシュトーク イルミネーション	ON	P.111
		サイドボタン イルミネーション	本体色「ブラック」:Pattern A-3 本体色「ホワイト」:Pattern B-3 本体色「レッド」:Pattern C-3 本体色「ピンクゴールド」:Pattern D-3	P.111
		設定確認	−	P.111
	きせかえ		−	P.109
	ロック/セキュリティ	セルフモード	解除	P.121
		オールロック	解除	P.120
		パーソナルデータロック	解除	P.121
		ICカードロック	解除	P.230
		シークレットモード (メニュー番号:40)	解除	P.126
		シークレット専用モード (メニュー番号:41)	解除	P.126
		ダイヤル発信制限	解除	P.125
		登録外着信拒否	許可	P.129
		非通知着信設定 (メニュー番号:10)	すべて許可 着信音選択:すべて通常着信音と同じ	P.128
		端末暗証番号変更 (メニュー番号:29)	0000	P.119
		FOMAカード(UIM) 設定	−	P.119
		スキャン機能	スキャン機能設定:すべて有効	P.440
		ロック設定	閉じタイマーロック設定:すべてOFF	P.122
			PIM/ICカードセキュリティモード:端末暗証番号	P.122
			電源OFF時ICロック設定:電源OFF直前の設定	P.230
			フェイスリーダー設定:未登録 フェイスリーダーセキュリティ:標準 フェイスリーダー暗証番号変更:0000	P.123
	時間/料金	通話時間/料金 (メニュー番号:61)	前回通話時間・積算通話時間:0秒 前回通話料金:¥＊＊ 時間リセット日時・料金リセット日時:--/-- --:--	P.343
		積算リセット (メニュー番号:60)	−	P.344
		通話料金通知	OFF 上限料金:0円(ON設定時) 通知方法:アイコン(ON設定時) 自動リセット設定:OFF(ON設定時)	P.344
		上限値アイコン消去	−	P.344

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定	時計	**時計設定** （メニュー番号：31）	自動時刻時差補正する	P.46
		ワールドウォッチ	OFF	P.47
		サマータイム	OFF	P.47
		自動電源ON／OFF設定	すべてOFF	P.335
		アラーム通知設定	通知優先	P.341
	着信	**バイブレータ** （メニュー番号：54）	すべてOFF	P.100
		マナーモード選択 （メニュー番号：20）	マナーモード	P.103
			オリジナルマナー設定時 伝言メモ：OFF バイブレータ：ON 電話着信音量：消去 メール着信音量：消去 アラーム音量：消去 メモ確認音：ON ボタン確認音：OFF 通話中マイク感度：アップ 低電圧アラーム：OFF	
		着信アンサー設定 （メニュー番号：58）	エニーキーアンサー	P.62
		オープン設定	すべて着信継続	P.63
		履歴表示設定	すべてON	P.125
		電話帳画像着信設定	ON	P.106
		発着信番号表示設定	パターン1	P.115
		呼出時間表示設定 （メニュー番号：90）	呼出動作開始時間：OFF 開始時間：1秒（ON設定時）	P.128
			時間内不在着信表示：表示する	P.128
		確認機能設定 （メニュー番号：65）	電子音	P.112
		パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	P.72
		オート着信設定 （メニュー番号：94）	オート着信なし 呼出時間：6秒（ON設定時）	P.347
	通話	**受話音量**	レベル4	P.63
		クローズ動作設定 （メニュー番号：18）	電話／テレビ電話：終話	P.63
			プッシュトーク：スピーカー通話	P.63
		保留音設定	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：主よ人の望みの喜びよ	P.65
		ノイズキャンセラ （メニュー番号：76）	ON	P.59
		通話品質アラーム （メニュー番号：75）	アラーム高音	P.101
		再接続機能 （メニュー番号：77）	アラーム高音	P.59
	プッシュトーク	**自動応答設定**	自動応答なし	P.81
		呼出時間設定	30秒	P.81
		プッシュトーク ハンズフリー設定	ON	P.81
		プッシュトーク 通信中着信設定	通常着信	P.81

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定	テレビ電話	受信画質設定	標準	P.71
		画像選択	応答保留選択:内蔵 通話保留選択:内蔵 代替画像選択:キャラ電(カンガルー) 伝言メモ選択:内蔵 伝言メモ準備選択:内蔵 動画メモ選択:内蔵	P.71
		テレビ電話 ハンズフリー設定	ON	P.71
		音声自動再発信	OFF	P.72
		遠隔監視設定	対局番号登録:未登録	P.73
			応答時間設定:5秒	P.73
			設定:OFF	P.73
		テレビ電話切替機能通知	–	P.72
	Feel機能設定	Feel＊Talk	すべてON	P.110
		Feel＊Mail	すべてON	P.110
	ネットワーク設定	プレフィックス設定	WORLD CALL(009130010)	P.59
		国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定:オート	P.390
			オペレータ名表示設定:表示あり	P.391
			3G/GSM切替:自動	P.390
		国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定:ON	P.58
			国番号設定:日本(81)	P.58
			国際プレフィックス設定:WORLD CALL (009130010)	P.58
		在圏状態表示	–	P.391
	メロディコール設定		–	P.100
	その他	スタイル連動設定	ワンセグ	P.26
		サイドボタン操作	閉じた時有効	P.125
		文字入力方式 (メニュー番号:35)	入力モード:すべてチェックあり 優先入力方式:モード1(かな方式)	P.356
			予測機能:ON	P.358
			シークレット学習設定:学習する	P.358
		電池	充電確認音:ON	P.101
		ポーズダイヤル (メニュー番号:84)	未登録	P.57
		サブアドレス設定	ON	P.59
		イヤホンスイッチ発信設定	OFF	P.347
		ボイス設定	ボイスダイヤル自動発信:OFF	P.95
			ボイスイヤホン発信:OFF	P.95
			音声読み上げ設定:OFF	P.333
			音声読み上げ音量:レベル4	P.333
			音声読み上げ速度:標準	P.334
			音声読み上げ出力先:スピーカー	P.334
			音声読み上げ有効設定:標準	P.334
		USBモード設定	通信モード	P.300
		設定リセット (メニュー番号:23)	–	P.354
		端末初期化	–	P.354
		ソフトウェア更新	自動更新設定:自動で更新 曜日:指定なし 時刻: 3:00	P.435

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	マイピクチャ （メニュー番号：46）		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ：なし	P.274
			自作アニメ：未登録	P.280
			機能 ピクチャ編集 文字スタンプ 文字色：16色、黒 フォント：フォント1 文字サイズ：通常サイズ	P.279
			機能 ピクチャ貼付：すべて解除	P.274
			機能 貼付表示位置：中央に表示	P.275
			機能 ソート：新しい順	P.276
			機能 ピクチャ一覧・タイトル名一覧：ピクチャ一覧	P.276
			機能 表示サイズ設定：標準	P.277
	ミュージック		データなし ユーザ作成フォルダ：なし	P.324
			画面表示：タイトル＋画像	P.324
			音量調節：レベル12	P.325
			機能 サウンド効果 リ．マスター設定：OFF リスニング設定：OFF イコライザー設定：ノーマル	P.328
	Music&Videoチャネル		データなし	P.317
			前回再生した曲の情報：なし	P.317
			画面表示：タイトル＋画像	P.317
			音量調節：レベル12	P.318
			機能 再生モード変更：ノーマル	P.319
			機能 サウンド効果 リ．マスター設定：OFF リスニング設定：OFF イコライザー設定：ノーマル	P.320
	ｉモーション		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ：なし	P.280
			プレイリスト：未登録	P.284
			しおり：すべて未登録	P.281
			音量調節：レベル4	P.281
			機能 ｉモーション貼付：すべて解除	P.282
			機能 ソート：新しい順	P.276
			機能 一覧表示切替：タイトル＋画像	P.282
			機能 サウンド効果 リ．マスター設定：OFF リスニング設定：OFF イコライザー設定：ノーマル	P.283
			機能 表示サイズ設定：画面サイズで表示	P.283
			機能 全画面モード切替：縦画面再生	P.283
	メロディ （メニュー番号：16）		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ：なし	P.290
			プログラム：未登録	P.302
			機能 着信音設定：すべて解除	P.291
			機能 ソート：新しい順	P.291
	マイドキュメント		データなし	P.307
			機能 ソート：新しい順	P.276
			機能 一覧表示切替：画像	P.308

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	きせかえツール		プリインストールデータのみ	P.292
			機能 ソート:新しい順	P.276
			機能 一覧表示切替:画像	P.293
	キャラ電		プリインストールデータのみ	P.288
			機能 代替画像設定:カンガルー	P.69
			機能 キャラ電撮影 カメラモード:フォトモード 記録サイズ設定:QCIF(176×144) 映像/音声選択:映像+音声 記録品質設定:標準	P.289
			機能 表示サイズ設定:画面サイズで表示	P.289
	PC動画		しおり:すべて未登録	P.268
			再生履歴:履歴なし	P.268
			音量調節:レベル12	P.267
			機能 一覧表示切替:タイトル表示	P.268
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル	P.269
			機能 表示サイズ設定:等倍表示	P.269
	ワンセグ		しおり:すべて未登録	P.286
			音量調節:レベル12	P.286
			機能 一覧表示切替:タイトル+画像	P.287
			機能 アイコン常時表示設定:OFF	P.287
			機能 画質モード設定:ダイナミック	P.287
			機能 音声設定 サウンド効果 自動音量設定:ON リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル	P.287
			機能 字幕表示切替:ON	P.288
	ドキュメントビューア		—	P.310
	SDその他ファイル		—	P.298
LifeKit	バーコードリーダー	コード読み取り	—	P.147
		保存データ一覧	未登録	P.148
	赤外線受信 (メニュー番号:79)	受信	—	P.305
		全件受信	—	P.306
	SD-PIM	電話帳	—	P.294
		スケジュール	—	P.294
		受信BOX	—	P.294
		送信BOX	—	P.294
		保存BOX	—	P.294
		テキストメモ	—	P.294
		Bookmark	—	P.294

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
LifeKit	カメラ	フォトモード・ ムービーモード	機能 インカメラ・アウトカメラ：アウトカメラ	P.143
			機能 画像サイズ設定 フォトモード：待受（480×854） 連写モード：VGA（640×480） ムービーモード：QVGA（320×240）	P.143
			機能 動画容量設定：メール制限（大）	P.143
			機能 画質設定 フォト・連写モード：ファイン ムービーモード：ファイン	P.143
			機能 撮影設定 シャッター音選択：シャッター音1 ちらつき補正設定：自動	P.144
			機能 保存設定 記録媒体設定：本体 自動保存設定：OFF ファイル制限：なし	P.144
			機能 手ぶれ補正：オート	P.144
			機能 連写設定 連写モード設定：オート 撮影間隔：0.5秒 撮影枚数 VGA（640×480）・ CIF（352×288）：4枚（固定） QVGA（240×320）・ QCIF（176×144）・ Sub-QCIF（128×96）：5枚	P.144
			機能 表示サイズ設定：等倍表示	P.145
			機能 アイコン表示：ON	P.145
		マイピクチャ	「データBOX」の「マイピクチャ」と同じ	P.402
		ｉモーション	「データBOX」の「ｉモーション」と同じ	P.402
	Bluetooth	登録機器リスト	未登録	P.350
			機能 優先機器設定：未設定	P.351
		Bluetooth起動・ Bluetooth電源オフ	－	P.351
		接続待機	－	P.351
		ダイヤルアップ登録待機	－	P.351
		Bluetooth設定	セキュリティ設定：セキュリティ設定無し	P.353
			全件転送パスワード設定：パスワード無し	P.353
			サーチ時間：5秒	P.353
			着信音送出設定：送る	P.353
			切断時通話設定：通話終了	P.353
			ヘッドセット操作による発信：有効	P.353
			自局情報 機器名称：P905i	P.354

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
LifeKit	GPS	現在地確認	−	P.232
		現在地通知	−	P.238
		位置履歴	履歴なし	P.238
		対応 i アプリ	プリインストール i アプリのみ	P.233
		サービス利用設定	−	P.239
		GPS設定	GPSボタン設定:地図を見る	P.239
			測位鳴動音･イルミネーション 測位鳴動音選択:「現在地確認」OFF 「現在地通知」着信音1 「位置提供/許可」着信音2 「位置提供/毎回確認」着信音2 鳴動時間設定:すべて3秒 バイブレータ選択:すべてOFF イルミネーション選択:すべて色5	P.239
			測位モード設定:すべて標準モード	P.239
			現在地通知先登録:未登録	P.239
			位置提供設定:OFF	P.240
			サービス利用接続先選択:契約時接続先	P.242
	テキストリーダー	テキスト読み取り	−	P.149
		保存データ一覧	未登録	P.150
	伝言メモ／音声メモ (メニュー番号:55)	メモの再生／消去	未登録	P.68
		テレビ電話メモの再生／消去	未登録	P.69
		伝言メモ設定	OFF 応答メッセージ:標準(ON設定時) 呼出時間:13秒(ON設定時)	P.67
		音声メモ録音	未登録	P.343
		おしゃべり機能	未登録	P.100
	電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続	−	P.95
		電話帳通信履歴表示	履歴なし	P.95
		電話帳内画像送信設定	しない	P.95
サービス	発信者番号通知 (メニュー番号:17)	発信者番号通知設定	−	P.47
		発信者番号通知設定確認	−	P.47
	留守番電話	留守番メッセージ再生	−	P.365
		留守番電話サービス開始	−	P.365
		留守番サービス停止	−	P.365
		留守番呼出時間設定	−	P.365
		留守番設定確認	−	P.365
		留守番サービス設定	−	P.365
		メッセージ問い合わせ	−	P.364
		件数増加鳴動設定	YES	P.365
		留守番アイコン消去	−	P.365
		着信通知開始	−	P.365
		着信通知停止	−	P.365
		着信通知設定確認	−	P.365
	キャッチホン	キャッチホンサービス開始	−	P.366
		キャッチホンサービス停止	−	P.366
		キャッチホンサービス設定確認	−	P.366

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
サービス	転送でんわ	転送サービス開始	―	P.367
		転送サービス停止	―	P.367
		転送先変更	―	P.367
		転送先通話中時設定	―	P.367
		転送サービス設定確認	―	P.367
	迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	―	P.368
		電話番号指定拒否登録	―	P.368
		迷惑電話1登録削除	―	P.368
		迷惑電話全登録削除	―	P.368
		拒否登録件数確認	―	P.368
	番号通知お願いサービス	番号通知お願い開始	―	P.369
		番号通知お願い停止	―	P.369
		番号通知お願い確認	―	P.369
	2in1設定		OFF モード切替:デュアルモード モード別待受画面設定 デュアルモード待受画面:RAINBOW COLOUR Bモード待受画面:MORNING GLOW 発着信番号設定 発着信番号表示設定:パターン2 Bナンバー着信設定 電話・テレビ電話:着信音4 メール:着信音5 着信回避設定 モード切替連動設定:停止	P.372
	マルチナンバー	通常発信番号設定	―	P.372
		通常発信番号設定確認	―	P.372
		電話番号登録	未登録	P.371
		着信音設定	すべて通常着信音と同じ	P.372
	通話中の着信動作選択		通常着信	P.370
	通話中着信設定	通話中着信設定開始	―	P.371
		通話中着信設定停止	―	P.371
		通話中着信設定確認	―	P.371
	遠隔操作設定	遠隔操作開始	―	P.371
		遠隔操作停止	―	P.371
		遠隔操作設定確認	―	P.371
	デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	―	P.369
		デュアルネットワーク状態確認	―	P.369
	英語ガイダンス	ガイダンス設定	―	P.370
		ガイダンス設定確認	―	P.370
	ローミングガイダンス設定	開始	―	P.391
		停止	―	P.391
		確認	―	P.391
	追加サービス	追加サービス	未登録	P.378
		応答メッセージ設定	未登録	P.378
	サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	―	P.370
		ドコモ総合案内・受付	―	P.370
	OFFICEED	エリア表示設定	―	P.378
		圏外転送開始	―	P.378
		圏外転送停止	―	P.378
		圏外転送設定確認	―	P.378

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
サービス	着もじ	メッセージ作成	未登録	P.55
		メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	P.56
		送信メッセージ詳細履歴	履歴なし	P.56
		着もじ優先設定	OFF	P.56
電話帳	電話帳登録	本体	未登録	P.84
		FOMAカード(UIM)	–	P.84
	電話帳検索	全検索	–	P.89
		フリガナ検索	–	P.89
		グループ検索	–	P.89
		メモリ番号検索	–	P.89
		名前検索	機能 ソート:フリガナ順	P.91
		電話番号検索	機能 ソート:フリガナ順	P.91
		アドレス検索	機能 ソート:フリガナ順	P.91
		ツータッチダイヤル検索	–	P.89
	FOMAカード(UIM)操作	コピー	–	P.345
		削除	–	P.345
	プッシュトーク電話帳		未登録	P.79
	発着信履歴 (メニュー番号:24)	発信履歴	履歴なし	P.53
			機能 送信アドレス一覧:履歴なし	P.195
		着信履歴	履歴なし	P.54
			機能 受信アドレス一覧:履歴なし	P.195
	自局番号表示 (メニュー番号:0)		未登録(Aナンバーの場合、自局番号は除く)	P.342
	グループ設定		機能 グループ編集 グループ名:グループ01～19 (FOMAカード内は除く) 設定:なし	P.88
	電話帳指定設定	指定発信制限	すべて解除	P.128
		指定着信拒否	すべて解除	P.128
		指定着信許可	すべて解除	P.128
		指定転送でんわ	すべて解除	P.128
		指定留守番電話	すべて解除	P.128
	電話帳設定 (メニュー番号:26)	文字サイズ設定	すべて標準表示	P.115
		ボイスダイヤル設定	未登録	P.93
		メールグループ	未登録	P.197
			機能 グループ名編集:メールグループ1～20	P.198
		チャットグループ	未登録	P.205
			機能 グループ名編集:グループ1～5	P.206
		電話帳画像転送	する	P.306
	電話帳登録件数		–	P.91
ステーショナリー	アラーム (メニュー番号:44)		未登録	P.335
			設定:すべてOFF	P.335
	スケジュール (メニュー番号:45)		未登録	P.337
			機能 1ヶ月表示･1週間表示:1ヶ月表示	P.339
	ToDo (メニュー番号:95)		未登録	P.340
			機能 カテゴリー別表示:すべて	P.341
			機能 ソート／フィルタ:登録順	P.341
	テキストメモ (メニュー番号:42)		未登録	P.345
	電卓 (メニュー番号:85)		–	P.345
	使いかたナビ		–	P.36

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ステーショナリー	定型文／辞書（メニュー番号:38）	定型文	すべて初期状態	P.360
		ユーザ辞書	未登録	P.361
		ダウンロード辞書	プリインストールデータのみ	P.361
			機能 辞書ファイル設定:すべて有効	P.361
MUSIC	ミュージックプレーヤー		データなし	P.323
			プレイリスト:未登録	P.329
			前回再生した曲の情報:なし	P.323
			画面表示:タイトル+画像	P.323
			音量調節:レベル12	P.325
			機能 再生モード変更:ノーマル	P.327
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル	P.328
	Music&Videoチャネル		「データBOX」の「Music&Videoチャネル」と同じ	P.402
ワンセグ	ワンセグ視聴		起動時の確認表示※:免責事項の確認画面を表示する	P.244
			データ放送の確認表示※:免責事項の確認画面を表示する	P.257
			放送用保存領域:未登録	P.244
			音量調節:レベル12	P.248
	番組表		―	P.250
	視聴予約		未登録	P.253
	録画予約		未登録	P.253
			録画予約時の確認表示:免責事項の確認画面を表示する	P.254
	予約録画結果		未登録	P.256
	テレビリンク		未登録	P.251
	チャンネルリスト選択		未登録	P.246
	チャンネル設定	地域選択	―	P.246
		自動チャンネル設定	―	P.245
	ユーザ設定	字幕表示設定※	ON	P.256
		電池少量時録画設定※	録画を継続する	P.256
		画質モード設定※	ダイナミック	P.256
		音声設定※	サウンド効果 自動音量設定:ON リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル	P.256
			クローズ音声継続設定:ON	P.256
		ECOモード※	解除	P.257
		照明設定※	常時点灯	P.257
		データ放送設定※	画像表示設定:表示する	P.257
			効果音設定:ON	P.257
		アイコン常時表示設定※	ON	P.257
		TV設定確認	―	P.257
		チャンネル設定初期化	―	P.257
		放送用保存領域消去	―	P.257
		TV設定リセット	―	P.257

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
おサイフケータイ	ICカード一覧		プリインストールｉアプリのみ	P.212
	DCMX		−	P.220
	トルカ		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	P.226
			機能 ソート:新しい順	P.228
	ICカードロック設定	ICカードロック	解除	P.230
		電源OFF時ICロック設定	電源OFF直前の設定	P.230
	設定	トルカ取得設定	許容する	P.230
		受信表示設定	表示する	P.230
		重複チェック設定	行う	P.230
		自動読取設定	許容する	P.230
	ｉモードで探す		−	P.162
その他	プライベートウィンドウの時計表示		アイコンと日付／時刻	P.31
	リダイヤル		履歴なし	P.53
	公共モード(ドライブモード)		解除	P.65
	マナーモード		解除	P.102
	テレビ電話		機能 照明設定:常時点灯	P.71
	えチャット		機能 画像サイズ設定:QCIF(176×144)	P.143
	文字入力		機能 文字入力／辞書設定 学習履歴:未登録 候補表示サイズ:標準表示 関係候補表示:ON 文字確定時間:OFF 2タッチ／ニコタッチガイダンス:ON	P.359

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

表示 ボタン	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	. - @ _ / : ~ ※2 ー ※1 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー □（スペース）	ワヲンヮ※1ー □（スペース）	0 □（スペース）	0
*	゛ ゜ ※3	゛ ゜	.ne.jp .co.jp .or.jp .com http://www. https://www. @docomo.ne.jp ※2	*
#	、。・！？	、。・！？	, ！？￥＆()＊ ＃ " ' ＝ ＾ ＋ ;	#

※1：全角で文字を入力しているときに表示
※2：半角で文字を入力しているときに表示
※3：文字に続けて入力しているときに表示
　　文字を確定後に * を押すと絵文字が表示されます。

- 文字を入力後、📷を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
- ひらがな、カタカナ、英字を入力後、☎を押すと大文字／小文字が切り替わります。
- 数字入力モードで 0 を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	―	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	*	#		♥	■
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					■
9										
0	ゎ			、	。					

カタカナ入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&		☎	
8	ヤ	(	ユ	)	ヨ	*	#		♥	■
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ッ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ャ		ュ		ョ					■
9										
0	ヮ※1			,	.					

英字入力モード

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	"	$	%	'	+	a	b	c	d	e
2	,	.	:	;	<	f	g	h	i	j
3	=	>	@	[	]	k	l	m	n	o
4	^	_	‘※1`※2	{	|	p	q	r	s	t
5	}	￣※1~※2				u	v	w	x	y
6						z	?	!	-	/
7						¥	&			
8		(		)		*	#			
9						1	2	3	4	5
0						6	7	8	9	0

■：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え
※1：全角で文字を入力しているときに表示されます。
※2：半角で文字を入力しているときに表示されます。

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 漢字ひらがな、カタカナ入力モードの場合、文字の入力に続けて(＊)を押しても濁点･半濁点を入力できます。濁点は(＊)を1回、半濁点は(＊)を2回押します。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(ニコタッチ方式)

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	.	ー	@	_	1
2	か	き	く	け	こ		a	b	c	2
3	さ	し	す	せ	そ		d	e	f	3
4	た	ち	つ	て	と	っ	g	h	i	4
5	な	に	ぬ	ね	の		j	k	l	5
6	は	ひ	ふ	へ	ほ		m	n	o	6
7	ま	み	む	め	も	p	q	r	s	7
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	t	u	v	8
9	ら	り	る	れ	ろ	w	x	y	z	9
0	わ	を	ん	、	。	—	·	!	?	0

<小文字入力>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ					
2	ヵ			ヶ			A	B	C	
3							D	E	F	
4			っ			つ	G	H	I	
5							J	K	L	
6							M	N	O	
7						P	Q	R	S	
8	ゃ	ゅ	ょ	や	ゆ	よ	T	U	V	
9						W	X	Y	Z	
0	ゎ									

カタカナ入力モード

<大文字入力>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	.	-	@	_	1
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ		a	b	c	2
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ		d	e	f	3
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ	g	h	i	4
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ		j	k	l	5
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ		m	n	o	6
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	p	q	r	s	7
8	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ	t	u	v	8
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	w	x	y	z	9
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	､	｡	ｰ	·	!	?	0

<小文字入力>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ					
2							A	B	C	
3							D	E	F	
4			ｯ			ﾂ	G	H	I	
5							J	K	L	
6							M	N	O	
7						P	Q	R	S	
8	ｬ	ｭ	ｮ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	T	U	V	
9						W	X	Y	Z	
0										

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- (＊)を押すと濁点･半濁点を入力できます。濁点は(＊)を1回、半濁点は(＊)を2回押します。漢字ひらがな入力モードの場合、文字に続けて入力しないと入力できません。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、｢＋｣を入力できます。

記号一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は記号を音声で読み上げます。

記号	音声読み上げ
、	－
。	－
，	コンマ※1
．	ドット※1
・	テン
：	コロン
；	セミコロン
？	ギモンフ※1
！	カンタンフ※1
゛	ダクテン
゜	ハンダクテン
´	－
｀	－
¨	ウムラウト
＾	ヤマガタキゴウ※1
￣	オーバーライン
＿	アンダーライン
ヽ	－
ヾ	－
ゝ	－
ゞ	－
〃	－
仝	ドウ
々	－
〆	シメ
〇	ゼロ
ー	チョーオン※2
―	ダッシュ
‐	ハイフン
／	スラッシュ
＼	バックスラッシュ
～	カラ※3
‖	－
｜	タテセン※1
…	テンテンテン
‥	テンテン
‘	－
’	アポストロフィ※1
“	－
”	インヨウフ※1
（	カッコ
）	トジカッコ
〔	カッコ
〕	トジカッコ
［	カッコ
］	トジカッコ
｛	カッコ
｝	トジカッコ
〈	カッコ
〉	トジカッコ
《	カッコ

記号	音声読み上げ
》	トジカッコ
「	カギカッコ
」	トジカギカッコ
『	カギカッコ
』	トジカギカッコ
【	カッコ
】	トジカッコ
＋	プラス
－	マイナス※4
±	プラスマイナス
×	カケル
÷	ワル
＝	イコール
≠	ノットイコール
＜	ショーナリ
＞	ダイナリ
≦	ショーナリイコール
≧	ダイナリイコール
∞	ムゲンダイ
∴	ユエニ
♂	オス
♀	メス
°	ド
′	フン
″	ビョー
℃	ドシー
￥	エン
＄	ドル
￠	セント
￡	ポンド
％	パーセント
＃	イゲタ
＆	アンド
＊	アスタリスク
＠	アットマーク
§	セクション
☆	ホシ
★	クロホシ
○	マル
●	クロマル
◎	ニジューマル
◇	ヒシガタ
◆	クロヒシガタ
□	シカク
■	クロシカク
△	サンカク
▲	クロサンカク
▽	ギャクサンカク
▼	クロギャクサンカク
※	コメジルシ
〒	ユービンバンゴー

記号	音声読み上げ
→	ミギヤジルシ
←	ヒダリヤジルシ
↑	ウエヤジルシ
↓	シタヤジルシ
〓	ゲタキゴー
∈	ゾクスル
∋	フクム
⊆	ブブンシューゴー
⊇	ブブンシューゴーフクム
⊂	シンブブンシューゴー
⊃	シンブブンシューゴーフクム
∪	ガッペー
∩	キョーツー
∧	オヨビ
∨	マタワ
￢	ヒテー
⇒	ナラバ
⇔	ドーチ
∀	スベテノ
∃	アル
∠	カク
⊥	スイチョク
⌒	コ
∂	ラウンドディー
∇	ナブラ
≡	ゴードー
≒	ニアリーイコール
≪	ショーナリショーナリ
≫	ダイナリダイナリ
√	ルート
∽	ソージ
∝	ヒレー
∵	ナゼナラバ
∫	インテグラル
∬	ダブルインテグラル
Å	オングストローム
‰	パーミル
♯	シャープ
♭	フラット
♪	オンプ
†	ダガー
‡	ダブルダガー
¶	ダンラクキゴー
◯	マル
ゐ	イ
ゑ	エ
ヰ	イ

記号	音声読み上げ
ヱ	エ
ヴ	ヴ
ヵ	カ
ヶ	ケ
Α	アルファ
Β	ベータ
Γ	ガンマ
Δ	デルタ
Ε	イプシロン
Ζ	ゼータ
Η	イータ
Θ	シータ
Ι	イオタ
Κ	カッパ
Λ	ラムダ
Μ	ミュー
Ν	ニュー
Ξ	グザイ
Ο	オミクロン
Π	パイ
Ρ	ロー
Σ	シグマ
Τ	タウ
Υ	ユプシロン
Φ	ファイ
Χ	カイ
Ψ	プサイ
Ω	オメガ
α	アルファ
β	ベータ
γ	ガンマ
δ	デルタ
ε	イプシロン
ζ	ゼータ
η	イータ
θ	シータ
ι	イオタ
κ	カッパ
λ	ラムダ
μ	ミュー
ν	ニュー
ξ	グザイ
ο	オミクロン
π	パイ
ρ	ロー
σ	シグマ
τ	タウ
υ	ユプシロン
φ	ファイ
χ	カイ
ψ	プサイ

つづく

記号	音声読み上げ
ω	オメガ
А	アー
Б	ベー
В	ヴェー
Г	ゲー
Д	デー
Е	イェー
Ё	ヨー
Ж	ジェー
З	ゼー
И	イー
Й	イークラトコエ
К	カー
Л	エリ
М	エム
Н	エヌ
О	オー
П	ペー
Р	エル
С	エス
Т	テー
У	ウー
Ф	エフ
Х	ハー
Ц	ツェー
Ч	チェー
Ш	シャー
Щ	シチャー
Ъ	ツボルディーズナーク
Ы	ウイ
Ь	ミャーフィーズナーク
Э	エー
Ю	ユー
Я	ヤー
а	アー
б	ベー
в	ヴェー
г	ゲー
д	デー
е	イェー
ё	ヨー
ж	ジェー
з	ゼー
и	イー
й	イークラトコエ

記号	音声読み上げ
к	カー
л	エリ
м	エム
н	エヌ
о	オー
п	ペー
р	エル
с	エス
т	テー
у	ウー
ф	エフ
х	ハー
ц	ツェー
ч	チェー
ш	シャー
щ	シチャー
ъ	ツボルディーズナーク
ы	ウイ
ь	ミャーフィーズナーク
э	エー
ю	ユー
я	ヤー
─	－
│	－
┌	－
┐	－
┘	－
└	－
├	－
┬	－
┤	－
┴	－
┼	－
━	－
┃	－
┏	－
┓	－
┛	－
┗	－
┣	－
┳	－
┫	－
┻	－
╋	－
┠	－

記号	音声読み上げ
┯	－
┨	－
┷	－
┿	－
┝	－
┰	－
┥	－
┸	－
╂	－
①	マルイチ
②	マルニ
③	マルサン
④	マルヨン
⑤	マルゴ
⑥	マルロク
⑦	マルナナ
⑧	マルハチ
⑨	マルキュー
⑩	マルジュー
⑪	マルジューイチ
⑫	マルジューニ
⑬	マルジューサン
⑭	マルジューヨン
⑮	マルジューゴ
⑯	マルジューロク
⑰	マルジューナナ
⑱	マルジューハチ
⑲	マルジューキュー
⑳	マルニジュー
Ⅰ	イチ
Ⅱ	ニ
Ⅲ	サン
Ⅳ	ヨン
Ⅴ	ゴ
Ⅵ	ロク
Ⅶ	ナナ
Ⅷ	ハチ
Ⅸ	キュー
Ⅹ	ジュー
㍉	ミリ
㌔	キロ
㌢	センチ
㍍	メートル
㌘	グラム
㌧	トン
㌃	アール
㌶	ヘクタール

記号	音声読み上げ
㍑	リットル
㍗	ワット
㌍	カロリー
㌦	ドル
㌣	セント
㌫	パーセント
㍊	ミリバール
㌻	ページ
㎜	ミリメートル
㎝	センチメートル
㎞	キロメートル
㎎	ミリグラム
㎏	キログラム
㏄	シーシー
㎡	ヘーホーメートル
㍻	ヘーセー
〝	－
〟	－
№	ナンバー
㏍	ケーケー
℡	デンワ
㊤	マルウエ
㊥	マルナカ
㊦	マルシタ
㊧	マルヒダリ
㊨	マルミギ
㈱	カッコカブ
㈲	カッコユー
㈹	カッコダイ
㍾	メージ
㍽	タイショー
㍼	ショーワ
≒	ニアリーイコール
≡	ゴードー
∫	インテグラル
∮	ファイ
∑	シグマ
√	ルート
⊥	スイチョク
∠	カク
∟	チョッカク
⊿	サンカッケー
∵	ナゼナラバ
∩	キョーツー
∪	ガッペー

※1 URL、メールアドレス以外の場合は読み上げません。
※2 ひらがな、カタカナ、漢字のあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※3 ひらがな、カタカナのあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※4 URL、メールアドレスの場合は「ハイフン」と読み上げます。

お知らせ

- 「①」～「∪」の特殊記号は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、　の特殊記号は、SMSの本文には入力できず、半角スペースに置き換えて入力されます。

付録／外部機器連携／困ったときには

記号入力変換表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても記号を入力できます。

入力	変換
おなじ	〃 々
から	～
かんま	，
こんま	，
たてせん	‖ ｜
てんてん	… ‥
りーだ	…
しめ	〆
かっこ	‘’ “”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】
たす	＋
ひく	－
ぷらすまいなす	±
かける	×
わる	÷

入力	変換
いこーる	＝
ふとうごう	＜＞≦≧
しょうなり	＜
だいなり	＞
しょうなりいこーる	≦
だいなりいこーる	≧
むげんだい	∞
おす	♂
めす	♀
ならば	⇒
どうち	⇔
にありいこーる	≒
ちいさい	≪
おおきい	≫

入力	変換
るーと	√
ど	° ℃
ふん	′
びょう	″
どる	＄
せんと	¢
ぽんど	£
せつ	§
ほし	＊☆★
あっと	＠
まる	。○●◎◯
しかく	◇◆□■
さんかく	△▲▽▼
こめ	※
ゆうびん	〒

入力	変換
やじるし	→←↑↓
うえ	↑
した	↓
みぎ	→
ひだり	←
あすたりすく	＊
おんぐすとろーむ	Å
しゃーぷ	＃
ふらっと	♭
おんぷ	♪
だがー	†
だぶるだがー	‡
だんらく	¶
おーむ	Ω
でんわ	℡

絵文字一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は絵文字を音声で読み上げます。

絵文字	音声読み上げ
	ハートマーク
	ユレルハートマーク
	シツレンマーク
	フクスーハートマーク
	ワーイマーク
	プンプンマーク
	ガクーマーク
	モウヤダーマーク
	フラフラマーク
	ルンルンマーク
	オンセンマーク
	カワイイマーク
	チュッマーク
	ピカピカマーク
	ヒラメキマーク
	ムカッマーク
	パンチマーク
	バクダンマーク
	ムードマーク
	ネムイマーク
	ビックリマーク
	ビックリハテナマーク
	ニジュービックリマーク
	ドーンマーク
	アセアセマーク

絵文字	音声読み上げ
	アセタラーッマーク
	ダッシュマーク
	ウーマーク
	ウーンマーク
	グッドマーク
	バッドマーク
	ミギナナメウエヤジルシマーク
	ミギナナメシタヤジルシマーク
	ヒダリナナメウエヤジルシマーク
	ヒダリナナメシタヤジルシマーク
	ハレマーク
	クモリマーク
	アメマーク
	ユキマーク
	カミナリマーク
	タイフーマーク
	キリマーク
	コサメマーク
	オヒツジザマーク
	オウシザマーク
	フタゴザマーク
	カニザマーク
	シシザマーク
	オトメザマーク

絵文字	音声読み上げ
	テンビンザマーク
	サソリザマーク
	イテザマーク
	ヤギザマーク
	ミズガメザマーク
	ウオザマーク
	スポーツマーク
	ヤキューマーク
	ゴルフマーク
	テニスマーク
	サッカーマーク
	スキーマーク
	バスケットマーク
	モータースポーツマーク
	ページャマーク
	デンシャマーク
	チカテツマーク
	シンカンセンマーク
	セダンマーク
	アールブイマーク
	バスマーク
	フネマーク
	ヒコーキマーク
	イエマーク
	ビルマーク
	ユービンキョクマーク

絵文字	音声読み上げ
	ビョーインマーク
	ギンコーマーク
	エーティーエムマーク
	ホテルマーク
	コンビニマーク
	ガソリンスタンドマーク
	チューシャジョーマーク
	シンゴーマーク
	トイレマーク
	レストランマーク
	キッサテンマーク
	バーマーク
	ビールマーク
	ファーストフードマーク
	ブティックマーク
	ビヨーインマーク
	カラオケマーク
	エーガマーク
	ユーエンチマーク
	オンガクマーク
	アートマーク
	エンゲキマーク
	イベントマーク
	チケットマーク
	キツエンマーク

つづく

絵文字	音声読み上げ
	キンエンマーク
	カメラマーク
	カバンマーク
	ホンマーク
	リボンマーク
	プレゼントマーク
	バースデーマーク
	デンワマーク
	ケータイデンワマーク
	メモマーク
	テレビマーク
	ゲームマーク
	シーディーマーク
	ハートマーク
	スペードマーク
	ダイヤマーク
	クラブマーク
	メマーク
	ミミマーク
	グーマーク
	チョキマーク
	パーマーク
	アシマーク
	クツマーク
	メガネマーク
	クルマイスマーク
	シンゲツマーク
	カケヅキマーク
	ハンゲツマーク
	ミカヅキマーク
	マンゲツマーク
	イヌマーク
	ネコマーク
	リゾートマーク
	クリスマスマーク
	カチンコマーク
	フクロマーク
	ペンマーク
	ヒトカゲマーク
	イスマーク
	ヨルマーク
	スーンマーク
	オンマーク
	エンドマーク
	トケーマーク
	デンワヘマーク
	メールヘマーク
	ファックスヘマーク
	アイモードマーク
	アイモードマーク
	メールマーク
	ドコモテーキョーマーク
	ドコモポイントマーク
	ユーリョーマーク
	ムリョーマーク
	アイディーマーク
	パスワードマーク
	ツギアリマーク
	クリアマーク
	サーチマーク
	ニューマーク
	イチジョーホーマーク
	フリーダイヤルマーク
	シャープダイヤルマーク
	モバキューマーク
	シカクイチ
	シカクニ
	シカクサン
	シカクヨン
	シカクゴ
	シカクロク
	シカクナナ
	シカクハチ
	シカクキュー
	シカクゼロ
	ケッテーマーク
	アイアプリマーク
	アイアプリマーク
	ティーシャツマーク
	ガマグチサイフマーク
	ケショーマーク
	ジーンズマーク
	スノボマーク
	チャペルマーク
	ドアマーク
	ドルブクロマーク
	パソコンマーク
	ラブレターマーク
	レンチマーク
	エンピツマーク
	オーカンマーク
	ユビワマーク
	スナドケーマーク
	ジテンシャマーク
	ユノミマーク
	ウデドケーマーク
	ムムマーク
	ホッマーク
	ヒヤアセマーク
	ヒヤアセマーク
	プクッマーク
	ボケーッマーク
	ラブラブマーク
	オーケーマーク
	アッカンベーマーク
	ウィンクマーク
	ウレシイマーク
	ガマンマーク
	ネコマーク
	ナキマーク
	ナミダマーク
	エヌジーマーク
	クリップマーク
	コピーライトマーク
	トレードマーク
	ハシルヒトマーク
	マルヒマーク
	リサイクルマーク
	レジストレッドマーク
	キケンマーク
	キンシマーク
	クーシツマーク
	ゴーカクマーク
	マンシツマーク
	サユーマーク
	ジョーゲマーク
	ガッコーマーク
	ナミマーク
	フジサンマーク
	クローバーマーク
	サクランボマーク
	チューリップマーク
	バナナマーク
	リンゴマーク
	ワカバマーク
	モミジマーク
	サクラマーク
	オニギリマーク
	ショートケーキマーク
	トックリマーク
	ドンブリマーク
	パンマーク
	カタツムリマーク
	ヒヨコマーク
	ペンギンマーク
	サカナマーク
	ウマイマーク
	ウッシッシマーク
	ウママーク
	ブタマーク
	ワイングラスマーク
	ゲッソリマーク

お知らせ

●絵文字はすべて全角文字でカウントされます。

●絵文字は、iモード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、「 」～「 」の絵文字は対応していないiモード対応携帯電話では正しく表示されません。

定型文一覧表

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
「あいさつ」フォルダ		
1	おはようございます	ｵﾊﾖｳｺﾞｻﾞｲﾏｽ
2	こんにちは	ｺﾝﾆﾁﾊ
3	こんばんは	ｺﾝﾊﾞﾝﾊ
4	おやすみなさい	ｵﾔｽﾐﾅｻｲ
5	いってきます	ｲｯﾃｷﾏｽ
6	いってらっしゃい	ｲｯﾃﾗｯｼｬｲ
7	ただいま帰りました	ﾀﾀﾞｲﾏｶｴﾘﾏｼﾀ
8	おかえりなさい	ｵｶｴﾘﾅｻｲ
9	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
10	さようなら	ｻﾖｳﾅﾗ
「ビジネス」フォルダ		
1	よろしくお願いします	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｼﾏｽ
2	お世話になっております	ｵｾﾜﾆﾅｯﾃｵﾘﾏｽ
3	よろしくお伝えください	ﾖﾛｼｸｵﾂﾀｴｸﾀﾞｻｲ
4	先日はありがとうございました	ｾﾝｼﾞﾂﾊｱﾘｶﾞﾄｳｺﾞｻﾞｲﾏｼﾀ
5	お疲れ様です	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
6	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
7	失礼します	ｼﾂﾚｲｼﾏｽ
8	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
9	至急ご確認ください	ｼｷｭｳｺﾞｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
10	お電話ください	ｵﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ

No.	漢字ひらがな表現
「インターネット」フォルダ	
1	@docomo.ne.jp
2	.ne.jp/
3	.co.jp/
4	.or.jp/
5	.ac.jp/
6	.com/
7	http://www.
8	https://www.
9	www.
10	.html
「顔文字1」フォルダ	
1	(*￣O￣)ノ
2	♪(￣▽￣)ノ″
3	(_´Д`)ノ~~
4	<(_ _;)>
5	(￣人￣)
6	O(≧▽≦)O
7	(p_q)エ-ン
8	(T_T)
9	Σ(￣◇￣*)エェッ
10	(*≧m≦*)ププッ
「顔文字2」フォルダ	
1	(」´0`)」オーイ
2	ツンツン(。° ー°)σ
3	ヾ(・ε・。)ｵｲｵｲ
4	(・o・)ゞ了解！
5	(;￢_￢) アヤシイ
6	ヾ(≧▽≦)〃ヤダヤダ
7	σ(￣▽￣)
8	<(`⌒´)>エヘン
9	┐(￣ー￣)┌ フッ
10	~~~~ー(・∀・)ー ブーン

マルチアクセスの組み合わせについて

通信状態＼通信イベント	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	×	×※4	○	○	△※5
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×※4	×	×	×
プッシュトーク	×	△※6	×	×※4	×※7	×※4	×	×	×
iモード	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	×	○	○
iモードメール	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	○	×	×
SMS	○	○	○	○	○	○	○	×	△※5※11
iアプリ※12	×	○	×	△※9	×	△※10	×	×	△※5
iアプリソフト動作中	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	×	○	△※5
パケット通信(データ通信)	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	×

通信状態＼通信イベント	SMS		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信(データ通信)		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	○	△※5	×	×	○	△※5	×	×※3
テレビ電話	×	△※5	×	×	×	×	×	×※3
プッシュトーク	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iモード	○	○	×	×	×	×	×	×
iモードメール	×	△※5※11	×	×	×	×	×	×
SMS	×	△※5	○	○	○	△※5	○	△※5
iアプリ※12	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	○	△※5	×	×	×	×	×	×
パケット通信(データ通信)	○	○	×	×	×	×※3	×	×
64Kデータ通信	×	○	×	×	×	×	×	×※3

○:起動できます。
△:条件により起動できます。
×:起動できません。現在の通信状態を継続します。(発生した通信は拒否されます。)
※1 :「キャッチホン」を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2 :最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。(P.364、P.366、P.367参照)
※3 :「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」を契約されている場合、通話／通信を終了したあと、着信に応答できます。(P.371参照)
※4 :不在着信として着信履歴に残ります。
※5 :画面に「✉(白色)」を表示して受信をお知らせします。
※6 :「プッシュトーク通信中着信設定」に従って動作します。
※7 :自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信は可能です。
※8 :iモード接続を切断し、発信します。
※9 :「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※10:「iモード通信中着信設定」に従って動作します。
※11:iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※12:iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。

マルチタスクの組み合わせについて

同じグループの機能が競合したとき(表中の　　　部分)は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。ただし、操作によっては表示されないこともあります。

発生した機能／使用中の機能	音声電話	テレビ電話	プッシュトーク	メール	iモードグループ		設定グループ		ツールグループ							プライベートメニュー※2
					iモード※1	iアプリ	設定※2	サービス	データBOX※1	Life Kit※3	電話帳※4	ステーショナリー	MUSIC※5	ワンセグ※5	おサイフケータイ※5	
音声電話	×	×	×	○	○	×	○	○※6	×	○※7	○	○※8	×	×	○	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×※9	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×※9	×	×	×	×	×	×
メール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード※1	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×※10	○	○	○
設定※2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
サービス	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
データBOX※1※11	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○
LifeKit※3	○※12	○※12	○※12	○※13	○	○	○	○	×	×※14	×	×	×※15	×	×	○
電話帳※4	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×※14	×	×	○	×	×	○
ステーショナリー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×※14	×	×	○※16	×	×	○
MUSIC※5	○※17	○※17	○※17	○※18	○	×※10	○	○※19	○※17※20	×※15	○	○※16	×	×	○	○
ワンセグ※5	○※17	○※17	○※17	○※18	○	○※17	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○
おサイフケータイ※5	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○

○:同時に起動できます。　×:同時に起動できません。

※1　:PDFデータを表示中はｉモードグループが使用中になります。ただし、ワンセグやデータBOXの「ワンセグ」とは同時に起動できません。
※2　:機能によっては利用できません。
※3　:「赤外線受信」、「SD-PIM」はマルチタスクで起動できません。
※4　:「FOMAカード(UIM)操作」はマルチタスクで起動できません。
※5　:ツールグループ以外の機能も含まれます。
※6　:通話中に「発信者番号通知」は起動できません。
※7　:通話中に起動できるLifeKitは、「バーコードリーダー」、「カメラ」の静止画撮影、「Bluetooth」、「GPS」、「テキストリーダー」、「電話帳お預かりサービス」の各機能だけです。
※8　:通話中に起動できるステーショナリーは、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「使いかたナビ」の各機能だけです。
※9　:通話中にGPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※10:ｉアプリによってはMUSICと同時に起動できるものもあります。
※11:ピクチャビューア(microSDメモリーカード)、ｉモーションプレーヤー、ビデオプレーヤー、キャラ電プレーヤー、メロディプレーヤー使用中や、データBOXからの「ミュージック」のデモ再生中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示、再生が終了します。ｉモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※12:「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「音声メモ」、「動画メモ」の再生中、「音声メモ録音」の録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中に着信があった場合は、読み取り中のデータを破棄します。
※13:「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中にメールを受信すると、読み取り中のデータを破棄します。
※14:GPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※15:「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」、「カメラ」、「GPS」の場合は同時に起動できます。ただし、GPS以外ではバックグラウンド再生はできません。
※16:「使いかたナビ」とMUSICは同時に起動できません。
※17:バックグラウンド再生はできません。
※18:「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、メールを受信すると、再生は中断します。
※19:「2in1設定」、「着もじ」は利用できません。
※20:「ミュージックプレーヤー」、「ミュージック」、「Music&Videoチャネル」、「PC動画」は同時に起動できません。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス(有料:案内料+通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2008年3月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2008年3月現在)
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック　P15
・リアカバー　P22
・FOMA ACアダプタ　01／02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ　01※1
・FOMA DCアダプタ　01／02
・FOMA補助充電アダプタ　01
・FOMA乾電池アダプタ　01
・卓上ホルダ　P24
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※3
・キャリングケースL　01
・車内ホルダ　01
・平型AV出力ケーブル　P01
・スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002※4
・ステレオイヤホンセット　P001※4
・イヤホンジャック変換アダプタ　P001
・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
・平型ステレオイヤホンセット　P01
・平型コネクタ・ステレオミニジャック変換アダプタ　P01
・Bluetoothヘッドセット　F01※5
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01
・ワイヤレスイヤホンセット　P01
・骨伝導レシーバマイク　01
・車載ハンズフリーキット　01※6
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.42、P.43参照。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※5 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01が必要です。
※6 ケーブル接続（USB接続）で利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTimePlayer（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

●ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
●動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンクについて

他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

■パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様ご相談センター
一般電話からは 0120-15-8729
携帯電話・PHSからは　045-938-4023
受付時間　午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・所定の休日は除く）
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

●まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.434参照。

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	●電池が正しく取り付けられていますか。 ●電池切れになっていませんか。 ●デュアルネットワークサービスでmovaが利用可能になっている場合、FOMAサービスは利用できません。FOMAが利用可能になっていますか。詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。	P.41 P.42 P.369
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ●指定発信制限を設定していませんか。 ●オールロックを設定していませんか。 ●セルフモードを設定していませんか。	P.125 P.127 P.120 P.121
ダイヤルしたが話中音（プープー音）がでてつながらない	●市外局番を忘れていませんか。 ●発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ●「圏外」の表示がでていませんか。	P.50 P.44
「圏外」が表示されて話中音（プープー音）がでる	●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.44
「🔒」と「オールロック」が表示され、ボタンを押しても動作しない	●オールロックを設定していませんか。	P.120
FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを押しても動作しない	●サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	P.125
ピピピ…という警告音が鳴っている	●電池が少なくなっています。充電してください。	P.42
充電ができない（FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	●FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ●アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。	P.41 P.43
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	●省電力モードになっていませんか。	P.107
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	●電話帳の設定項目でメール着信音を設定した相手からのメールではありませんか。 ●グループ設定でメール着信音を設定したグループに登録されている相手からのメールではありませんか。	P.87 P.88
着信またはメールの受信があったときに、異なる着信／充電ランプが点灯／点滅する	●電話帳の設定項目で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定した相手からの着信／メールではありませんか。 ●グループ設定で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定したグループに登録されている相手からの着信／メールではありませんか。	P.87 P.88
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	●画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	P.39
積算通話料金がカウントされない	●FOMAカードに蓄積されている積算通話料金が上限（約1677万円）を超えていませんか。積算料金をリセットすることにより0円に戻せます。	P.344
ワンセグを視聴できない	●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 ●FOMAカードを挿入していますか。 ●チャンネル設定をしていますか。	P.244 P.38 P.245
データ転送が行われない	●USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	－

こんな表示が出たときは

●エラーメッセージの中の「(数字)」は、i モードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

表　示	説　　明	参照先
相手を発見できませんでした	Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。	–
以下の宛先にはメール送信できませんでした(561) Mails could not be sent to following address.(561) ●●@△△△.ne.jp※	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。 ※メールアドレスは送信先により表示が異なります。	–
一部移動できませんでした	選択したファイルに移動できないファイルが含まれていたため、一部移動できませんでした。	–
一部コピーできませんでした	選択したファイルにコピーできないファイルが含まれていたため、一部コピーできませんでした。	–
一部保存できませんでした	選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDメモリーカードにコピーできないファイルが含まれていたため、一部保存できませんでした。	–
移動できません	FOMA端末に移動することのできないｉアプリのためmicroSDメモリーカードからFOMA端末に移動できませんでした。	–
今いる場所の確認に失敗しました 今いる場所の送信に失敗しました	圏外などエラーが発生したため、現在地の確認または位置提供に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。	–
応答がありませんでした(408)	サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。	–
同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません該当するサービスを削除しますか？ 同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません該当するサービスを削除しますか？	同じICカードを使ったサービスを利用するソフトがすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードまたはバージョンアップできません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。	–
音声切替できません	音声が1つしかないため切り替えできません。	–
書換え失敗しました	ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。	–
書き込みできません	microSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでmicroSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	–
画像が登録できなかった電話帳があります	画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。	–
画像に誤りがあり正しく動作しません	Flash画像に誤りがあったため、Flash画像の再生が正常に終了できませんでした。	–
画像の容量がオーバーするため入力できません	デコメ絵文字入力時に挿入画像最大サイズを超えたため、入力できませんでした。	–
画像表示設定がOFFのため画像取得できません	画像表示設定が「表示しない」に設定されているため画像を取得できません。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。	P.164
記念日がいっぱいです	記念日がいっぱいです。不要な記念日を削除してから再度操作してください。	P.339 P.340
休日がいっぱいです	休日がいっぱいです。不要な休日を削除してから再度操作してください。	P.339 P.340
休日／記念日がいっぱいです	休日／記念日がいっぱいです。不要な休日／記念日を削除してから再度操作してください。	P.339 P.340
圏外です	電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。	–
限定視聴のため視聴できません	限定受信放送のため視聴できません。	–
このカードでは無効な機能です	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	–
このカードは使用できません	FOMA P905iでは使用できないメモリーカードです。FOMA P905iに対応したmicroSDメモリーカードをご利用ください。	P.293
このカードは認識できません	正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.38
	FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	–
この画像は保存できません	正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。	–
この記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の記念日を受信したため登録できません。	–
この機能は利用できません	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	–
この休日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日を受信したため登録できません。	–
この休日／記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日／記念日を受信したため登録できません。	–

つづく

表　示	説　明	参照先
このサイトとのSSL通信は無効です このサイトとのSSL/TLS通信は無効です	改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトの安全性が確認できません SSL通信を切断します	対応していないSSL証明書のため接続を中断しました。	－
このサイトは安全でない可能性があります SSL通信を切断します	SSL証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。	－
このスケジュールは登録できません	すでに登録されているデータと同じ日時のスケジュールを受信したため登録できません。	－
この接続先の安全性が確認できません SSL通信を切断します	SSL証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。	－
この接続先は安全でない可能性があります SSL通信を切断します	SSL証明書の内容が一致していないため接続を中断します。	－
このソフトは現在利用できません	使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。	－
このデータはダウンロードできません	データが不正なためダウンロードできません。	－
このデータは貼り付けできません	使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。	P.360
このファイルは表示できません	対応していないファイルのため表示できません。	－
このメールは再送信できません	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。	－
このメールは再送信できません 再編集して送信してください	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。	P.192
これ以上機能を起動できません	マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.333
再生可能日前です 再生できません	再生可能日前のためファイルを再生できません。	－
最大サイズを超えたので中断しました	データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。	－
	サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。	－
最大サイズを超えています 受信できません(452)	最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。	－
最大サイズを超えているためダウンロードできません	最大サイズを超えるPDFデータをダウンロードしようとしたため、ダウンロードできませんでした。	－
サイトに接続できませんでした(403)	サイトやインターネットホームページに接続できません。	－
作成可能サイズを超えるため一部削除されます	宛先・題名・本文のいずれか(または複数)が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。	－
シークレットデータではないため呼び出せません	シークレット専用モードに切り替えているため呼び出せません。シークレット専用モードを解除してから操作してください。	P.126
シークレットデータのため呼び出せません	シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。	P.126
指定サイトがみつかりません(404)	サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。	P.156
指定したサイトへは接続できませんでした(504)	サーバからの応答がなかったため接続できません。	－
指定のページ番号は無効です	入力されたページ番号は無効です。正しいページ番号を入力して再度操作してください。	P.308
自動更新設定ができませんでした	エラーが発生したため自動更新設定が設定できませんでした。	－
自動時刻時差補正情報を受信していないため再生できません	自動時刻時差補正情報を受信していないため、再生期間・再生期限付きのファイルを再生できませんでした。	－
自動変換機能設定中 削除できません 自動変換機能設定中 全削除できません	自動変換機能設定で設定されている国番号や国際電話アクセス番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。	P.58
しばらくお待ちください	音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－

表　示	説　明	参照先
しばらくお待ちください（パケット）	パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	–
しばらくたってから操作してください	現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。	–
受信可能なチャンネルがサーチできませんでした	現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。	–
受信できませんでした	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.165
受信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	–
詳細を保存することができません	トルカの詳細データが非対応データのため保存できませんでした。	–
シリアルポート登録待機できませんでした	シリアルポート登録待機中にエラーが発生したためシリアルポート登録待機できませんでした。	–
スケジュールがいっぱいです	FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。	P.339 P.340
すでに他の機能が起動中です 起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.333
すでに他の機能が起動中です 切り替えできません		
すでに他の機能が起動中です 接続できません		
すでに他の機能が起動中です 設定できません		
すでに他の機能が起動中です 登録できません		
すべて保護のため削除できません	すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	P.159 P.192 P.201
赤外線送信できませんでした	エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。	–
セキュリティエラーのため終了しました	ｉアプリDXが強制終了しました。	P.212
セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました		
接続相手が見つかりません	iC通信の際に、接続先が見つかりませんでした。	–
接続先が対応していません	接続先選択で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.165
	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	–
接続できません	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.165
	電波が弱いため接続できません。電波の強い場所で再度操作してください。	–
接続できませんでした	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	–
接続できませんでした 相手機器の状況を確認してください	接続しようとしたサービスが、相手のBluetooth機器で有効になっていないため接続できませんでした。	–
	FOMA端末が対応しているサービスにBluetooth機器が対応していないため、登録できませんでした。	–
接続できませんでした(503)	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	–
接続できませんでした(562)		
接続に失敗しました	通話中に、音声をBluetooth機器に切り替える際に、Bluetooth機器との接続に失敗しました。	–
設定できませんでした	エラーが発生したため設定できませんでした。	–
前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした ソフトウェア更新を最初から実行してください	ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。	P.434
選局情報がありません	チャンネル情報が取得できないためお勧めメールを作成できません。	–
全件送信できません	選択したファイルがすべてFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのため送信できませんでした。	–
選択受信設定中です 起動できません	メール選択受信設定が「ON」に設定されているため起動できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.183
選択できません	「ｉモーション切り出し」で終点を選択する際に、始点より前または始点と同位置を選択したため選択できませんでした。もう一度始点から選択し直してください。	P.285

つづく

表　示	説　　明	参照先
操作が行われていない可能性があります	処理中にmicroSDメモリーカードが取り外されたため、またはエラーが発生したため操作が行われていない可能性があります。「ムービー」フォルダ内のデータを確認してください。	P.280
操作内容をご確認ください	エラーが発生したため操作できませんでした。	－
送信先にデータを登録できません	送信相手がデータをロックしています。	－
送信できない宛先があります 送信できなかった宛先があります	いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	P.172 P.206
送信できませんでした 送信できませんでした(552) 送信できませんでした(XXX)	メールが正しく送信できませんでした。 XXXには3桁の数字が表示されます。	－
送信できません 宛先を確認してください(451)	メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。	P.172 P.206
送信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
送信に失敗しました	現在地通知中に圏外になるなどで、現在地の通知に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。	－
送信不可のファイルが添付されているため再送信できません	メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。	－
送信メールが壊れているため再送信できません	メールの本文のサイズがオーバーしていたり、本文の添付情報が壊れていたりしているため再送信できませんでした。	－
そのソフトは最新です	目的のソフトが更新されていないため実行できません。	－
ソフトウェア更新機能起動中です 起動できません	ソフトウェア更新中のため起動できませんでした。ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。	－
ソフトに誤りがあります ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	－
ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください	ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。	－
対応機種ではありません	ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。	－
対応していないコンテンツがあります	FOMA端末に対応していないデータが含まれています。	－
対応ソフトがあるため削除できません	対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。	－
対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください	対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。	－
タイトル変更できません	タイトル編集時に文字を入力しなかったり、空白のみ入力したりすることはできませんのでタイトルを変更できませんでした。文字を入力してから再度操作してください。	P.274
タイムアウトしました	Bluetoothパスキー入力中に相手のBluetooth機器から切断されました。	－
	Bluetooth機器からの応答がないため登録または接続できませんでした。	－
	ダイヤルアップ登録待機の最大待機時間が経過したためダイヤルアップ登録待機を終了しました。	－
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。	P.125
ダウンロード済みデータがあります ネットワーク接続できません	PC動画の取得完了画面で保存を行い、取得完了画面を終了してください。	P.266
ダウンロードできませんでした ダウンロードできませんでした 更新を中止します	他の機能が起動中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。	－
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい	パケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフルをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。	－
ただいまｉモードメールが混みあっています しばらくお待ち下さい(553)	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
チャネル情報取得に失敗しました	ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部不足またはすべて取得できなかったため取得に失敗しました。	－
チャンネルは見つかりませんでした	現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。	－
中断されました	データ通信中にパソコン側から接続が切断されました。	－
通信が許可されていません	通信設定が「通信しない」に設定されています。設定を「通信する」にしてから再度操作してください。	P.213

表　示	説　　明	参照先
通知アイコン点灯していません	上限通知アイコンが点灯していないため上限通知アイコンは消去できません。	–
データが不足しているため起動できません	起動しようとしたｉアプリが部分データしか保存されていないため起動できませんでした。ｉアプリをすべてダウンロードしてから再度操作してください。	P.210
データ結合できませんでした	読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。	–
電話帳がいっぱいです	FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.91
電話帳に登録がないため起動できません	通話相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていません。登録してから再度操作してください。	P.85
電話番号が通知されていないため起動できません	通話相手の電話番号が通知されていないため起動できませんでした。	–
登録外着信拒否設定中です	登録外着信拒否が「拒否」に設定されています。設定を「許可」にしてから再度操作してください。	P.129
登録機器がいっぱいです 上書きできる機器がありません	Bluetooth機器が最大登録台数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なBluetooth機器を削除してください。	P.351
登録中です しばらくしてからご利用ください（554）	ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	–
登録できませんでした	エラーが発生したため登録できませんでした。	–
トルカがいっぱいです	FOMA端末内のトルカがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なトルカを削除してから再度操作してください。	P.229
トルカがいっぱいのためコピーできません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、コピーできません。不要なトルカを削除してください。	P.229
トルカがいっぱいのため取得できません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、取得できません。不要なトルカを削除してください。	P.229
トルカがいっぱいのため保存できません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、保存できません。不要なトルカを削除してください。	P.229
入力形式が正しくありません	入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。	P.378
入力データまたはURLが長すぎます	入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。	P.154
入力データをご確認ください（205）	入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。	–
認識できません	テキストが読み取りできませんでした。認識モードを変更するか、反転モードを変更するなどして再度読み取りを行ってください。	P.150
認証タイプに未対応です（401）	対応していない認証タイプのため接続できません。	–
認証できませんでした	認証エラーが発生しました。	–
ネットワークを見つけられません	指定したネットワークに接続できません。ただし、その後アンテナマークが表示されればネットワークに接続できています。	–
ノーマルスタイルに切り替えて応答してください	ヨコオープンスタイルでは応答できません。ノーマルスタイルに切り替えてから再度操作してください。	P.26
ノーマルスタイルに戻してください	ヨコオープンスタイルでは操作できません。ノーマルスタイルに切り替えてから操作してください。	P.26
残りのデータをダウンロードできません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。	–
バージョンアップできません バージョンアップできませんでした	エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。	–
パーソナルデータロック設定中です	パーソナルデータロックが設定されています。パーソナルデータロックを解除してから再度操作してください。	P.121
パーソナルデータロック設定中です 内蔵代替画像を送信します	パーソナルデータロックが設定されているときは「内蔵」の代替画像が送信されます。	–
倍率を入力してください	倍率が入力されていません。倍率を入力してから再度操作してください。	P.309
パターンデータを更新してください	エラーが発生したためスキャン機能を利用できません。パターンデータを更新してから再度操作してください。	P.441
発信できません	エラーが発生したため発信できませんでした。	–
発信できません ノーマルスタイルに切り替えて発信してください	ヨコオープンスタイルでは発信できません。ノーマルスタイルに切り替えてから再度操作してください。	P.26
番組更新中です	Music&Videoチャネルの番組更新中のため、ダウンロードまたは再生を行えません。しばらくたってから再度操作してください。	–

つづく

表 示	説 明	参照先
ピクチャが表示できません	画像データが不正なため表示できません。	–
表示できません	対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.211
ファイル名変更できません	ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。	P.275
フォーマットエラーです 正しいフォーマットのカードを挿入してください	FOMA P905i未対応フォーマットのmicroSDメモリーカードです。FOMA P905iでフォーマットしてください。	P.299
フォトが大きすぎるため作成できません	撮影した画像が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。	–
プッシュトーク電話帳に登録できませんでした	プッシュトーク電話帳には登録できない電話帳のため登録できませんでした。	–
振分け条件がいっぱいのため登録できません	すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。	P.197
編集中のため削除できません	他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	P.333
他の機能が起動中のため起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.333
保護のため削除できません	保護されているデータのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。	P.201
保存可能サイズを超えているため設定できません	「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。	–
保存期限が過ぎたためファイルを受信できません(492)	未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。	–
保存先設定できません	フォルダ内に保存できる空き番号が存在しないため設定できません。	–
保存できません	サイトからデータを取得できなかったため保存できませんでした。	–
保存できませんでした	撮影した画像を保存できませんでした。	–
	エラーが発生したためトルカのコピーができませんでした。	–
	エラーが発生したため保存できませんでした。	–
本文中画像が削除されます	FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。	–
本文編集できません	添付ファイルが10000バイトあるため、本文を入力できません。	–
まばたきを検出できませんでした	まばたき検出に失敗しました。顔の向きや場所を変えて再度操作してください。	P.125
見つかりませんでした	FOMA端末の周辺にBluetooth機器が1台も見つかりませんでした。	–
ムービーが大きすぎるため作成できません	撮影した動画が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「ｉモーション切り出し」や「メールサイズ切り出し」で動画を切り出してから作成してください。	P.285
無効なデータです	PC動画を再生する際にデータが以下のような場合、再生できません。 ・Windows Media以外のデータ、またはファイルの中身が不正なデータの場合 ・画像サイズが320ドット×240ドットより大きい、または画像ビットレートが2Mbpsより大きい、または音声ビットレートが385kbpsより大きいデータの場合 ・保存可能なデータをダウンロードする際にサーバから不明な応答があった場合 ・対応していないストリーミングサーバであった場合（FOMA端末で対応するストリーミングサーバはWindows Media Services 9のみ）	–
無効なデータを受信しました 無効なデータを受信しました(XXX)	受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。 XXXには3桁の数字が表示されます。	–
メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません	メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。	P.126 P.191
メール選択受信設定が受信しないに設定されています	メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.183
メールフォルダ利用中のため起動できません メールフォルダ利用中のため削除できません メールフォルダ利用中のためダウンロードできません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.211
メールを作成できません	FOMA端末が読み込み中のためｉモードメールを作成できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	–
メモリ機能動作中 設定できません	microSDメモリーカードが使用中のため設定できません。	–

表　示	説　　明	参照先
メモリ番号:XXX 書き換えできません	シークレットデータとして登録した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。 XXXには3桁の数字が表示されます。	P.86
メモリ不足です	メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。	P.44
メモリ不足です アクセス設定に戻ります	メモリが不足したため処理を中断します。	–
メモリ不足です 更新を中止します		
メモリ不足です ドキュメントビューアを終了します		
メモリ不足です トルカ一覧に戻ります		
メモリ不足です フルブラウザメニューに戻ります		
メモリ不足です 文字スタンプが作成できませんでした		
メモリ不足です ｉモードメニューに戻ります		
メロディが設定されていません	プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。	P.302
容量不足です	保存容量がいっぱいのため操作できません。	–
呼出時間表示設定中です	呼出時間表示設定が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.128
読み込みエラーです	microSDメモリーカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。	–
読み込みできませんでした		
読み込みできませんでした 終了します	動画再生時にエラーが発生しました。	–
	microSDメモリーカードの情報読み込み中にmicroSDメモリーカードが抜かれました。microSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	P.293
	「移行可能コンテンツ」フォルダ内に保存されているファイルを、保存したときと異なるFOMAカードを挿入して再生しようとしたため読み込みできません。ファイルの保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.38
ライセンス取得できませんでした	PC動画のライセンス情報の取得ができなかったため再生できません。	–
利用可能なピクチャがありません	サイズに合ったフレームがありません。	–
履歴表示OFF設定中です	履歴表示設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.125
リンク先のページをダウンロードしていません	PDFデータにリンクが設定されていて、そのリンク先がダウンロードされていないため表示できませんでした。	–
録画準備中です 録画できません	録画終了直後は録画できません。しばらくしてから再度操作してください。	–
ワンセグを起動できません 一度FOMA圏内へ移動してからご利用ください	FOMAサービスエリア外である場合など通信ができない状態でワンセグ視聴を繰り返したため、ワンセグを起動できません。FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。	–
AV出力できません	エラーが発生したため、AV出力を中止しました。	–
Bアドレスの履歴データでは 利用できません	2in1をご利用中にBナンバー／Bアドレスからプッシュトーク発信することはできません。Aモードまたはデュアルモードに切り替えるか、Aナンバー／Aアドレスからプッシュトーク発信してください。	P.373
Bナンバー発着信履歴では プッシュトークは利用できません		
Bモードではプッシュトークは 利用できません		
FOMAカード(UIM)が異なるため 起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるため ご利用できません	FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるため 指定されたソフトが起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるため 正しく表示できません	FOMAカード動作制限機能により画面メモが正しく表示できません。画面メモ保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	–

つづく

表　示	説　明	参照先
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため移動できません	ICカードに対応付けしたFOMAカードとは異なるFOMAカードが挿入されているため移動、起動、削除またはダウンロード、バージョンアップできません。ICカードに対応付けしたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため起動できません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため削除できません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないためダウンロードできません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないためバージョンアップできません		
FOMAカード(UIM)もしくは楽曲データのライセンス情報が異なるため再生できません	FOMAカード動作制限機能により再生できません。着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。FOMAカードが着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードである場合、FOMA端末内の楽曲ライセンス情報が不正なため再生できません。端末初期化を行ってから再度操作してください。	P.354
ｉアプリ To 設定されていません	「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。	P.213
ｉモードセンターが混み合っています しばらくお待ちください(555)	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています	ｉモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。	P.199
ICカード機能停止中のためダウンロードできません	ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.230
ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません いずれかのサービスを削除しますか？	おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。 「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、ICカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。	－
ICカードロック設定中です	ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.230
IC送信できませんでした	エラーが発生したためiC送信できませんでした。	－
IDに誤りがあります	入力したIDに間違いがあります。正しいIDを入力してください。	P.239
microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします	microSDメモリーカードのフォーマットが異常です。microSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	P.299
PIN1コードが違います	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。	P.118
PIN1コードが認識できませんでした	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.119
PIN1コードがロックされています		
PIN1コードがロックされました PINロック解除コードを入力してください		
PINロック解除コードが認識できませんでした	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	－
PINロック解除コードがロックされています		
PINロック解除コードがロックされました		
SMS center設定を確認してください	SMS center設定でSMSセンターが正しく設定されていません。SMS center設定を設定してから再度操作してください。	P.208
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。	－
SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	－
SSL通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。	P.165
SSL/TLS通信が切断されました	改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したか、SSL/TLSエラーが発生したため接続できませんでした。	－
SSL/TLS通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	－
SSL/TLS通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL/TLS証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。	P.165
Toの宛先を設定してください	「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。	P.172 P.173

表　示	説　　明	参照先
ToDoがいっぱいです	FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。	P.341
URLが不正です	URLが不正なためサイトやインターネットに接続できません。	–
10～100000円の間で設定してください	通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。	P.344
＋の位置が不正です	「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。	P.58

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに移し替えしていただくことができます。
  ※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.383参照）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
・お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

◎お願い

- ●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ●FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- ●各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- ●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- ●FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- ・お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- ・FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。）
  ※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

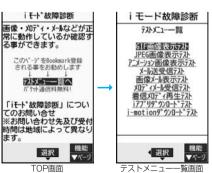
ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
ｉモードサイト：
ｉMenu→お知らせ→サービス・機能→ｉモード→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

- ●ｉモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。（海外からのアクセスの場合は有料になります）
- ●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- ●各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ●ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ●ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させて頂きます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
【自動更新】：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

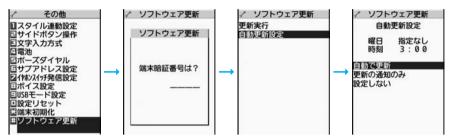
■ご利用にあたって

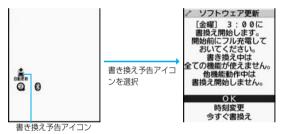
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  ・電源が入っていないとき　・日付時刻を設定していないとき　・通話中
  ・圏外にいるとき　・PIN1コードロック中　・おまかせロック中
  ・セルフモード設定中　・他の機能が起動中のとき　・FOMAカードを挿入していないとき
  ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効　設定方法についてはP.165参照。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新設定>

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
書き換え可能な状態になると、「書き換え予告アイコン」が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えをするかを選択できます。

- 待受画面にソフトウェア更新のお知らせアイコンが表示されているときは、「自動更新設定」を変更できません。その場合は、お知らせアイコンを選択し、ソフトウェア更新が必要かチェックせずにお知らせアイコンを消去することで、「自動更新設定」を変更できるようになります。

1 自動更新の日時を設定します。

2 待受画面で「書き換え予告アイコン」を選択し、書き換え時刻の確認、書き換え時刻の変更、今すぐ書き換えのいずれかを選択します。

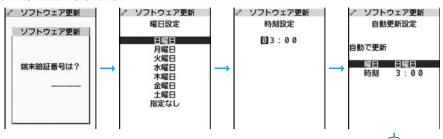
※書き換え予告アイコンは、設定時刻に書き換えを開始することを通知します。（一度確認すると消えます。）

「OK」を選択した場合

※選択後は一度待受画面に戻り、設定時刻に書き換えを開始します。

付録／外部機器連携／困ったときには

つづく

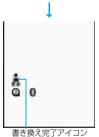
「時刻変更」を選択した場合

書き換えを行う曜日と時刻を設定します。

書き換え予告アイコン

「今すぐ書換え」を選択した場合

※「書き換え完了アイコン」は、「今すぐ書換え」を選択した場合のみ表示されます。

書き換え完了アイコン

付録／外部機器連携／困ったときには

ソフトウェア更新を起動する

「自動更新設定」で「更新の通知のみ」を選択した場合、ソフトウェア更新が必要になると「更新お知らせアイコン」でお知らせします。
ソフトウェア更新を起動するには「更新お知らせアイコン」を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

「更新お知らせアイコン」を選択してソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択します。

- 「いいえ」を選択すると、お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「更新お知らせアイコン」は以下の場合に表示されます。
  - ・ドコモから通知があった場合
  - ・P.437手順3で「更新が必要です」と表示された場合
  - ・予約起動でソフトウェア更新実行時に更新処理が失敗した場合
  - ・ソフトウェア更新の予約を取り消した場合

2 ソフトウェア更新が必要かチェックします。

- チェック中は音声電話を受けることができます。

3 ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

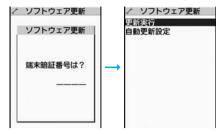
ソフトウェア更新画面

※更新が必要ない場合の画面

※サーバーが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

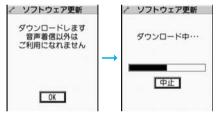
つづく

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU▶設定▶その他▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶更新実行

2 P.437手順2へ進みます。

すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

1 「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。(「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。)

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。

2 ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。(「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。)
書き換えが終わると、自動的に再起動します。

- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
また、ACアダプタ(別売)などを接続していても、一時的に充電を停止します。

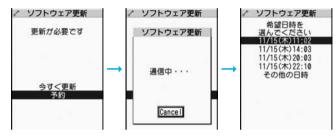
3 更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

日時を予約してソフトウェアを更新する(予約更新)

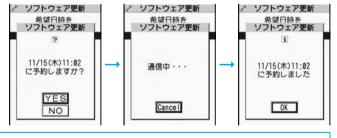
ダウンロードに時間がかかる場合、サーバーが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバーと通信して設定しておけます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバーの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合

サーバーと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が
○:空きあり、△:空きわずか、×:空きなし
のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。

2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバーと通信を行い、予約は完了です。

■予約した時刻になったときは

右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。
予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。

つづく

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了したあとにP.354「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力して「更新実行」を選択すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池の残量が「▯」になった場合、ソフトウェアの書き換えは行われず、操作が終了します。

<スキャン機能>
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロード・i モードメールやSMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。(P.441参照)
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

スキャン機能を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックできます。
また、メッセージスキャンを「有効」に設定すると、受信したSMSを表示する際、自動的にチェックできます。

1 **MENU▶設定▶ロック/セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定▶項目を選択**

スキャン機能 . . . . スキャン機能を実行するかどうかを設定します。
メッセージスキャン . . . . SMSを表示する際にスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

- 「スキャン機能」を「無効」に設定しているときは、「メッセージスキャン」は設定できません。

2 有効・無効▶YES

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.442参照）

お知らせ
- moperaメールの着信通知、留守番電話の着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES

- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

2 OK

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ
- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - ･日付時刻を設定していないとき
  - ･通話中
  - ･圏外にいるとき
  - ･FOMAカードを挿入していないとき
  - ･オールロック中
  - ･他の機能が起動中のとき
  - ･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
  - ･セルフモード設定中
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動的に更新する＜自動更新設定＞

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 MENU▶設定▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶自動更新設定▶有効・無効

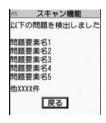
2 YES▶OK

- 手順1で「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。
- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

お知らせ
- 自動更新設定および自動更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、待受画面に「 」（パターン更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。更新できなかった場合には「 」（パターン更新失敗）が表示されます。「 」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。
- ●問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- ●検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があるため 終了します OK 詳細
OK.... 動作を継続します。	YES ....動作を中止し、終了します。 NO ......動作を継続します。	OK.... 動作を中止し、終了します。
警告レベル3	**警告レベル4**	
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できないため データを削除します OK 詳細	
YES ...データを削除し、終了します。 NO .....動作を中止し、終了します。	OK.... データを削除し、終了します。	

- ● i モードメールやSMSを表示する際の警告画面は、上記の画面と異なる場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 MENU▶**設定**▶**ロック／セキュリティ**▶**スキャン機能**▶**バージョン表示**

主な仕様

品名			FOMA P905i
サイズ(閉じたとき)			高さ:106mm 幅:49mm 厚さ:18.5mm
質量(電池パック装着時)			約137g
連続待受時間	FOMA/3Gネットワーク	3G/GSM切替[3G]	移動時:約410時間
		3G/GSM切替[自動]	移動時:約400時間 静止時:約580時間
	GSMネットワーク	3G/GSM切替[自動]	静止時:約260時間
連続通話時間	FOMA/3Gネットワーク		音声電話時:約200分　テレビ電話時:約110分
	GSMネットワーク		音声電話時:約190分
ワンセグ視聴時間			約270分(ECOモード時:約400分)
充電時間			ACアダプタ:約130分　DCアダプタ:約130分
液晶部	方式		ディスプレイ　:TFT　262,144色 プライベートウィンドウ:有機EL　1色
	サイズ		ディスプレイ　:約3.0inch プライベートウィンドウ:約0.8inch
	画素数		ディスプレイ　:409,920画素(480ドット×854ドット) プライベートウィンドウ:2,400画素(96ドット×25ドット)
撮像素子	種類		インカメラ:CMOS　アウトカメラ:CMOS
	サイズ		インカメラ:1/8.0inch　アウトカメラ:1/2.8inch
カメラ部	有効画素数		インカメラ:約33万画素　アウトカメラ:約510万画素
	記録画素数(最大時)		インカメラ:約31万画素　アウトカメラ:約500万画素
	ズーム(デジタル)		インカメラ:最大約5.0倍　アウトカメラ:最大約15.1倍
記録部	静止画記録枚数		約3500枚(本体保存時)※1
	静止画連続撮影		VGA:4枚　CIF:4枚　QVGA:5～10枚 QCIF:5～20枚　Sub-QCIF:5～20枚
	静止画ファイル形式		JPEG
	動画録画時間		本体:約497秒※2 microSDメモリーカード(64Mバイト):約137分※3
	動画ファイル形式		本体:MP4 microSDメモリーカード:ASF
音楽再生	連続再生時間※4		SDオーディオ(バックグラウンド再生対応):約4560分※5 着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約4150分※5 iモーション(着うた®を含む):約890分※5 WMAデータ(バックグラウンド再生対応):約3240分 Music&Videoチャネル(バックグラウンド再生対応) Music:約4150分 Video:約250分
保存容量	着うた®		約101.6Mバイト※6
	着うたフル®		

※1:画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、画質:ノーマル、ファイルサイズ:10Kバイト

※2:下記の条件の場合で本体に保存できる、動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、ファイルサイズ制限:メール制限(大)、画質:ノーマル、種別:画像+音声

※3:下記の条件の場合でmicroSDメモリーカードに保存できる、動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、ファイルサイズ制限:長時間、画質:ノーマル、種別:画像+音声

※4:連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、平型ステレオイヤホンセット　P01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※5:ファイル形式:AAC形式

※6:静止画、iモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、トルカ、iアプリと共有

FOMA端末の保存・登録・保護件数

		保存・登録件数	保護件数	参照先
電話帳		1000※1	−	P.84
ワンセグ	テレビリンク	50	−	P.251
	視聴予約	100	−	P.253
	録画予約	100	−	P.253
スケジュール	スケジュール	1000	−	P.337
	休日	100	−	P.338
	記念日	100	−	P.338
ToDo		100	−	P.340
テキストメモ		20	−	P.345
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2500※2、※3、※4	最大2500※2	P.186
	送信メール	最大1000※2、※4、※5	最大1000※2	P.186
	保存メール※6	最大20※2	−	P.186
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	−	P.191
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	−	P.191
エリアメール		30	−	P.186
テンプレート		最大100※2、※7	−	P.178
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2	P.201
	メッセージF	最大100※2	最大50※2	P.201
ブックマーク（ｉモード）	ブックマーク	100	−	P.157
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	−	P.157
ブックマーク（フルブラウザ）	ブックマーク	100※7	−	P.157
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	−	P.157
画面メモ	画面メモ	最大100※2	最大50※2	P.158
	画面メモフォルダ	10（「画面メモ」を含む）	−	P.159
静止画		最大3500※2、※8、※9	−	P.274
	ユーザ作成フォルダ	20	−	P.302
動画／ｉモーション		最大3500※2、※8、※9	−	P.280
	ユーザ作成フォルダ	20	−	P.302
メロディ		最大3500※2、※8、※9	−	P.290
	ユーザ作成フォルダ	20	−	P.302
キャラ電		3※7	−	P.288
PDFデータ		最大3500※2、※8、※9	−	P.307
Music&Videoチャネル	配信番組	2	−	P.317
	保存番組	最大10※2、※9	−	P.317
きせかえツール		最大3500※2、※8、※9	−	P.292
トルカ		最大495※2、※9	−	P.225
	ユーザ作成フォルダ	20	−	P.226
ｉアプリ		最大100※2、※9	−	P.210
	メール連動型ｉアプリ	5	−	P.210

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※4：SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。（P.345参照）
※5：「チャット」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6：作成中の未送信メールを保存できます。
※7：お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※8：お買い上げ時に登録されているデータのうち、デコメ絵文字のみ保存・登録件数に含まれます。
※9：静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、トルカ、ｉアプリのファイルは保存・登録件数や容量を共有しています。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA P905iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA P905iのSARの値は0.345W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ: http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ: http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.513 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
***Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

The product “FOMA P905i” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.co.jp/pmc/products/en/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P905i handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.456 W/kg, and when worn on the body, is 0.323 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/fccid after search on FCC ID UCE207002A.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

<例：ｉアプリの「ソフト設定」でｉアプリ待受画面を設定したいとき>

ソフト設定 213
　アイコン情報 213
　位置情報利用 213
　着信音／画像変更 213
　通信設定 213
　電話帳／履歴参照 213
　トルカ参照 213
　番組表ボタン設定 213
　待受画面設定 221

待受画面 44
待受画面終了 222
待受画面終了情報 222
待受画面設定（カメラ） 142
待受画面設定（ｉアプリ） 221
マナーモード 102, 103
マナーモード設定中の動作 103
マナーモード選択 103
まるごと着信音設定 327

ｉアプリバンキング 218
ｉアプリ待受画面 104, 221
ｉアプリメール 211
ｉアプリ To 機能 163
ｉアプリ To 設定 213
ｉチャネル 169
ｉモーション 168
ｉモーション切り出し 285
ｉモーション自動再生設定 169

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

索引

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆ ヤ ◆◇◆

◆◇◆ ラ ◆◇◆

◆◇◆ ワ ◆◇◆

◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

索引

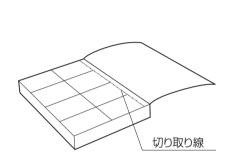
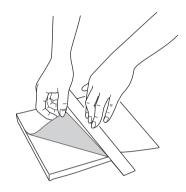
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル「海外利用編」は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

■切り取りかた

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などを切り取り線に合わせて切り取れます。

●はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

●2枚目のクイックマニュアルの場合は、P.16「機能一覧表」が表紙になるように折り畳んでお使いください。

FOMA P905i

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)151(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)113(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳の登録(本体)

[Ｏ](1秒以上)→本体

名前を入力

[カナ]→フリガナを編集

[GR]<グループ>→グループを選択

[☎]<電話番号>→電話番号を入力
→アイコンを選択(4番号まで)

[✉]<メールアドレス>
→メールアドレスを入力→アイコンを選択
(3アドレスまで)

[⌂]<住所>→郵便番号を入力→住所を入力

[⚑]<位置情報>→項目を選択

現在地確認から付加
. . . . 現在地を測位して位置情報を登録
→位置情報を確認→[●]

位置履歴から付加
. . . . 位置履歴から位置情報を選択して登録します。

画像から付加
. . . . 画像に登録されている位置情報を登録
→フォルダを選択→画像を選択

[誕]<誕生日>→誕生日を入力

[目]<メモ>→メモを入力

[画]<静止画>→項目を選択

静止画選択. . . データBOX内の静止画を登録
静止画撮影. . . カメラを起動して撮影した静止画を登録

[NO]<メモリ番号>
→3桁のメモリ番号を入力→[✉]

リダイヤル・発信履歴・着信履歴から登録

■FOMA端末(本体)に追加登録
リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示
→[iα]→電話帳登録→本体→追加登録
→検索方法を選択→電話帳を検索
→登録する電話帳を選択→[●]→[✉]
→YES

電話帳の修正

電話帳詳細画面を表示→[MENU]→修正したい項目を選択→内容を修正→[✉]→YES

文字の入力

■文字入力画面

■入力文字
漢・・・・・漢字ひらがな
カナ・・・カタカナ
英・・・・・英字
数・・・・・数字

■文字入力方式の選択
[MENU]→設定→その他→文字入力方式
→入力モード→

モード1(かな方式)にチェック モード2(2タッチ方式)にチェック モード3(ニコタッチ方式)にチェック

→[✉]→優先的に使うモードを選択

■濁点、半濁点入力
文字を入力→[＊]を数回押す

■句読点入力
[＃]を数回押す

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切替
[✉]を数回押す

■絵文字入力
[iα]→絵文字／記号入力→絵文字入力
→絵文字を選択

■記号入力
[iα]→絵文字／記号入力→記号入力
→記号を選択

■改行入力
[📷]を押す

■スペース入力
[iα]→絵文字／記号入力→スペース入力

■文字消去
[Ｏ]でカーソル移動→[CLR]

■大文字／小文字切替
文字を入力→[☎]

テキストメモに「タダの菓子」を入力

■文字入力(編集)画面を表示
[MENU]→ステーショナリー→テキストメモ
→<未登録>を選択

■ひらがなを入力(モード1)
た→[4]を1回、[Ｏ]を1回
だ→[4]を1回、[＊]を1回
の→[5]を5回
か→[2]を1回
し→[3]を2回

■文字を変換
[Ｏ]で「の」までカーソルを移動
→[Ｏ]→[Ｏ]で「タダの」を選んで[●]
→同様に残りの文字を確定

<切り取り線>

カメラ

■静止画撮影
[カメラ]→[決定]→[決定]
→保存したいフォルダを選択

■連続撮影
[カメラ]→[カメラ]→[カメラ]→[決定]
→静止画を選んで[カメラ]→[決定]
→保存したいフォルダを選択
※連続撮影した静止画を1枚だけ選択して保存する場合の手順です。

■動画撮影
[カメラ]→[カメラ]→[決定]→[決定]→[決定]
→保存したいフォルダを選択

ワンセグ

■自動チャンネル設定
[MENU]→ワンセグ→チャンネル設定
→自動チャンネル設定→YES→YES
→タイトルを入力

■地域選択
[MENU]→ワンセグ→チャンネル設定
→地域選択→地域を選択
→都道府県を選択→YES

■チャンネルリスト選択
[MENU]→ワンセグ→チャンネルリスト選択
→チャンネルリストを選択

■ワンセグを見る
[カメラ](1秒以上)

音楽再生

■Music&Videoチャネル再生
[MENU]→MUSIC→Music&Videoチャネル
→番組を選択
または
[MENU]→データBOX→Music&Videoチャネル
→配信番組・保存番組→番組を選択

■ミュージックプレーヤー再生
[ミュージック](1秒以上)→全曲→曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける
相手の電話番号を入力→[メール]
→お話が終わったら[終話]で通話を終了する

■テレビ電話を受ける
着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅
→[電話]・[決定]・[MENU]→お話が終わったら
[終話]で通話を終了する
[電話]・[決定]で受けるとカメラ映像、[MENU]で受けると代替画像が相手に送信されます。

■ハンズフリーに切り替える
通話中・発信中・接続中→[電話]

iモードメール

iモードメールの作成・送信

[メール]→[メール]

宛先欄を選択→入力方法を選択
→宛先を入力または選択

題名欄を選択→題名を入力

本文欄を選択→本文を入力

[メール]を押してメールを送信→送信完了後[決定]

ファイルの添付

■ピクチャ・メロディ・iモーション・トルカ・PDF・電話帳・スケジュール・ToDo・Bookmark・ドキュメントファイル・その他
作成画面を表示→添付ファイル欄を選択
→添付したいファイルの種類を選択
→フォルダを選択→ファイルを選択
ファイルによって選択方法は異なります。

iモードメールの受信

「[メール](白色)」が点滅
→受信結果画面が表示→「メール」を選択
→表示したいiモードメールを選択

iモード問い合わせ

[メール](1秒以上)

その他のメール機能

■返信
返信したいメールを選択または表示
→[iα]→返信／転送→返信・引用返信
→本文欄を選択→本文を入力→[メール]
→送信完了後[決定]

■転送
転送したいメールを選択または表示
→[iα]→返信／転送→転送→宛先欄を選択
→入力方法を選択
→宛先を入力または選択→[メール]
→送信完了後[決定]

<切り取り線>

機能一覧表

メニュー		機能名称
メール		受信BOX
		送信BOX
		保存BOX
		新規メール作成
		テンプレート
		WEBメール
		ｉモード問い合わせ
		SMS作成
		SMS問い合わせ
		チャットメール
		メール選択受信
		メール設定
		SMS設定
		エリアメール設定
ｉモード		ｉMenu
		Bookmark
		画面メモ
		ラストURL
		Internet
		メッセージR/F
		ｉチャネル
		ｉモード問い合わせ
		証明書操作
		ｉモード設定
		フルブラウザ

16

メニュー		機能名称
ｉアプリ		ソフト一覧(本体)
		ｉアプリ(microSD)
		ｉアプリ実行情報
		ｉアプリ設定
設定	**サウンド**	
	13	着信音選択
	50	着信音量
	30	ボタン確認音
	64	メロディ効果
	51	イヤホン切替設定
	68	メール／メッセージ鳴動
	ディスプレイ	
	56	画面表示設定
	70	照明設定
	86	カラーテーマ設定
	57	メニューアイコン設定
	52	プライベートメニュー設定
	63	デスクトップ
	93	プライベートウィンドウ
	66	フォント設定
		文字サイズ設定
	15	バイリンガル
		オープン新着表示
		画質モード設定
		液晶AI
	36	表示アイコン説明
	イルミネーション	
		イルミネーション一括設定
	89	着信イルミネーション

17

メニュー		機能名称
設定		通話中イルミネーション
		不在未読イルミネーション
		Music&Video chイルミネーション
		クローズイルミネーション
		時報イルミネーション
		ミュージックイルミネーション
		Bluetoothイルミネーション
		ICカードイルミネーション
		プッシュトークイルミネーション
		サイドボタンイルミネーション
		設定確認
	きせかえ	
	ロック／セキュリティ	
		セルフモード
		オールロック
		パーソナルデータロック
		ICカードロック
	40	シークレットモード
	41	シークレット専用モード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
	10	非通知着信設定
	29	端末暗証番号変更
		FOMAカード(UIM)設定
		スキャン機能
		ロック設定
	時間／料金	
	61	通話時間／料金
	60	積算リセット

18

メニュー		機能名称
設定		通話料金通知
		上限値アイコン消去
	時計	
	31	時計設定
		ワールドウォッチ
		サマータイム
		自動電源ON／OFF設定
		アラーム通知設定
	着信	
	54	バイブレータ
	20	マナーモード選択
	58	着信アンサー設定
		オープン設定
		履歴表示設定
		電話帳画像着信設定
		発着信番号表示設定
	90	呼出時間表示設定
	65	確認機能設定
		パケット通信中着信設定
	94	オート着信設定
	通話	
		受話音量
	18	クローズ動作設定
		保留音設定
	76	ノイズキャンセラ
	75	通話品質アラーム
	77	再接続機能
	プッシュトーク	
		自動応答設定

19

メニュー		機能名称
設定		呼出時間設定
		プッシュトークハンズフリー設定
		プッシュトーク通信中着信設定
	テレビ電話	
		受信画質設定
		画像選択
		テレビ電話ハンズフリー設定
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話切替機能通知
	Feel機能設定	
		Feel＊Talk
		Feel＊Mail
	ネットワーク設定	
		プレフィックス設定
		国際ローミング設定
		国際ダイヤルアシスト設定
		在圏状態表示
	メロディコール設定	
	その他	
		スタイル連動設定
		サイドボタン操作
	35	文字入力方式
		電池
	84	ポーズダイヤル
		サブアドレス設定
		イヤホンスイッチ発信設定
		ボイス設定
		USBモード設定

20

メニュー		機能名称
設定	23	設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
データBOX	46	マイピクチャ
		ミュージック
		Music&Videoチャネル
		ｉモーション
	16	メロディ
		マイドキュメント
		きせかえツール
		キャラ電
		PC動画
		ワンセグ
		ドキュメントビューア
		SDその他ファイル
LifeKit		バーコードリーダー
	79	赤外線受信
		SD-PIM
		カメラ
		Bluetooth
		GPS
		テキストリーダー
	55	伝言メモ／音声メモ
		電話帳お預かりサービス
サービス	17	発信者番号通知
		留守番電話
		キャッチホン
		転送でんわ
		迷惑電話ストップ

21

メニュー		機能名称
サービス		番号通知お願いサービス
		2in1設定
		マルチナンバー
		通話中の着信動作選択
		通話中着信設定
		遠隔操作設定
		デュアルネットワーク
		英語ガイダンス
		ローミングガイダンス設定
		追加サービス
		サービスダイヤル
		OFFICEED
		着もじ
電話帳		電話帳登録
		電話帳検索
		FOMAカード(UIM)操作
		プッシュトーク電話帳
	24	発着信履歴
	0	自局番号表示
		グループ設定
		電話帳指定設定
	26	電話帳設定
		電話帳登録件数
ステーショナリー	44	アラーム
	45	スケジュール
	95	ToDo
	42	テキストメモ
	85	電卓

22

メニュー		機能名称
ステーショナリー		使いかたナビ
	38	定型文／辞書
MUSIC		ミュージックプレーヤー
		Music&Videoチャネル
ワンセグ		ワンセグ視聴
		番組表
		視聴予約
		録画予約
		予約録画結果
		テレビリンク
		チャンネルリスト選択
		チャンネル設定
		ユーザ設定
おサイフケータイ		ICカード一覧
		DCMX
		トルカ
		ICカードロック設定
		設定
		ｉモードで探す

■公共モード(ドライブモード)

＊(1秒以上)

■マナーモード

待受中・通話中→#(1秒以上)

23

＜切り取り線＞

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始
MENU→サービス→留守番電話
→留守番電話サービス開始→YES→YES
→呼出時間(秒)を入力

■留守番サービス停止
MENU→サービス→留守番電話
→留守番サービス停止→YES

■留守番メッセージ再生
MENU→サービス→留守番電話
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスに従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始
MENU→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス開始→YES

■キャッチホンサービス停止
MENU→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス停止→YES

■通話中にかかってきた電話に出る
通話中着信→
を押すたびに通話する相手が切り替わります。

転送でんわサービス

■転送サービス開始
MENU→サービス→転送でんわ
→転送サービス開始→転送先設定
→転送先の電話番号を入力
→呼出時間設定→呼出時間(秒)を入力
→開始→YES

■転送サービス停止
MENU→サービス→転送でんわ
→転送サービス停止→YES

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス (有料:案内料+通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール (有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

主なアイコン

11/15(木) 10:00

:電池残量(目安)
:電波受信レベル(目安)
self:セルフモード中
(白色) :未読ｉモードメール・SMSあり
(白色):未読メッセージR/Fあり

(白色) :ｉモードセンターにｉモードメールあり
(白色):ｉモードセンターにメッセージR/Fあり
:ｉモードセンターにｉモードメールあり(メール選択受信設定を「ON」に設定中)
:オールロック中
:パーソナルデータロック中
:ダイヤル発信制限中
:シークレットモード、シークレット専用モード中
:ICカードロック中

:閉じタイマーロック設定中
:バイブレータを「OFF」以外に設定中(P.19参照)
:着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中
:マナーモード中(P.23参照)
:公共モード(ドライブモード)中(P.23参照)
:サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中(P.20参照)

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間 24時間

その他緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　＞

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

＜切り取り線＞

NTT DoCoMo FOMA P905i

クイックマニュアル「海外利用編」

海外での紛失、盗難、精算などについて

<DoCoMo インフォメーションセンター>(24時間受付)

- ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) -81-3-5366-3114*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P905iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

- 一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) -800-0120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、P.14をご覧ください。

海外での故障に関して

<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

- ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) -81-3-6718-1414*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P905iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

- 一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) -800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、P.14をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外で利用するための準備

ｉモードの設定

■日本で設定

iα→ｉMenu→料金＆お申込・設定
→オプション設定→海外利用設定
→ｉモード利用設定→「利用する」を選択
→ｉモードパスワードを入力→決定

■海外で設定

iα→ｉMenu→海外利用設定
→ｉモード利用設定→「利用する」を選択
→ｉモードパスワードを入力→決定

遠隔操作設定

■日本で設定

MENU→サービス→遠隔操作設定
→遠隔操作開始→YES

■海外で設定

MENU→設定→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→遠隔操作設定(海外)
→YES→音声ガイダンスに従って操作

時計設定

MENU→設定→時計→時計設定
→自動時刻時差補正する

通信方式と利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
ｉモード	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
SMS	○	○	○
ｉチャネル	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○:利用できます。　×:利用できません。

- 海外では、GPS機能・64Kデータ通信は利用できません。

通信事業者の検索方法の設定

MENU→設定→ネットワーク設定
→国際ローミング設定
→ネットワークサーチ設定→項目を選択

オート……自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル…一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。

ネットワーク再検索

…………「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

→通信事業者を選択

優先的に接続する通信事業者の設定

MENU→設定→ネットワーク設定
→国際ローミング設定
→優先ネットワーク設定→iα
→リストから登録→通信事業者を選択→●
→ネットワークの種類を選択→✉→YES

通信事業者を待受画面に表示

MENU→設定→ネットワーク設定
→国際ローミング設定
→オペレータ名表示設定
→表示あり・表示なし

ディスプレイ

利用中のネットワークの種類が表示されます。

帰国後の設定

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されます。

- ネットワークを手動で切り替えている場合
  MENU→設定→ネットワーク設定
  →国際ローミング設定
  →ネットワークサーチ設定→マニュアル
  →DoCoMo

<切り取り線>

電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

■電話帳を利用して日本に国際電話をかける

電話帳詳細画面を表示→☎・●→発信

✉を押すと国際テレビ電話発信になります。

■「+」を利用して国際電話をかける

(0)(1秒以上)→「国番号－地域番号(市外局番)－相手先電話番号」を入力

→☎・●

✉を押すと国際テレビ電話発信になります。

日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

相手先電話番号を入力→☎・●

✉を押すとテレビ電話発信になります。

■電話帳を利用して電話をかける

電話帳詳細画面を表示→☎・●

→元の番号で発信

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

電話がかかってきたら☎・●

(テレビ電話の場合、☎・●・(MENU))

ネットワークサービスの利用

海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を設定しておく必要があります。

■ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

(MENU)→サービス→ローミングガイダンス設定

■ローミング時着信規制

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

(MENU)→設定→ネットワーク設定

→国際ローミング設定

→ローミング時着信規制

■留守番電話(海外)

(MENU)→設定→ネットワーク設定

→国際ローミング設定→留守番電話(海外)

■転送でんわ(海外)

(MENU)→設定→ネットワーク設定

→国際ローミング設定→転送でんわ(海外)

■ローミングガイダンス(海外)

(MENU)→設定→ネットワーク設定

→国際ローミング設定

→ローミングガイダンス(海外)

■番号通知お願いサービス

(MENU)→設定→ネットワーク設定

→国際ローミング設定

→番号通知お願いサービス

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

(2008年3月現在)

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アイルランド	353	デンマーク	45
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
アラブ首長国連邦	971	トルコ	90
イギリス	44	ニュージーランド	64
イタリア	39	ノルウェー	47
インド	91	ハンガリー	36
インドネシア	62	フィリピン	63
オーストラリア	61	フィンランド	358
オランダ	31	ブラジル	55
カナダ	1	フランス	33
韓国	82	ベトナム	84
ギリシア	30	ベルギー	32
シンガポール	65	ポーランド	48
スイス	41	ポルトガル	351
スウェーデン	46	香港	852
スペイン	34	マカオ	853
タイ	66	マレーシア	60
台湾	886	モナコ	377
チェコ	420	ルクセンブルク	352
中国	86	ロシア	7

※このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号(表1)

(2008年3月現在)

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	ブラジル	0021/0014
オランダ	00		
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ベトナム	00
ギリシア	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)

(2008年3月現在)

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	ブラジル	0021
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用編」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「滞在国の国際電話アクセス番号(表1)」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)」が必要になります。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

! カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）（P.65、P.66）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

●伝言メモ機能（P.67）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ（P.100）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（P.102）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.364）、転送でんわサービス（P.367）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　i Menu ▶ 料金&お申込･設定 ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて <DoCoMoインフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P905iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P.388をご覧ください。

海外での故障に関して <ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P905iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P.388をご覧ください。

●紛失･盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'08.4(第4.1版)

3TR005232DAA
F1007F3038-Ⓣ

FOMA® P905i

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA P905iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」･「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。（PPP接続ではパケット通信できません。）
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。（受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）やBluetoothで接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。
- ドコモのPDA「sigmarion III」「sigmarion II」「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）やBluetoothで接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX™通信）

赤外線やFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）を使ってデータを送受信する通信形態です。
赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行う際には、ドコモケータイdatalinkをインストールしてください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」、「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「sigmarion II」や「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料ですが、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）が利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

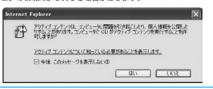
ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）を使用する場合： USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） Bluetoothを使用する場合： Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上 （各日本語版）
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  <Windows XP、Windows 2000の場合>
  マイコンピュータなどでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
  <Windows Vistaの場合>
  「コンピュータ」などでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
  ※Windows Vistaの場合、推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer7.0以降です。

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）または、FOMA USB接続ケーブル（別売）※
- 付属CD-ROM「FOMA P905i用CD-ROM」

※USB接続の場合

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を使う

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。（P.4参照）
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。

- データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
  「MENU▶設定▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
- ご使用前にFOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要です。

Bluetoothを使う

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。（P.7、P.33参照）
パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。

- Bluetoothを利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetoothの通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
- 通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

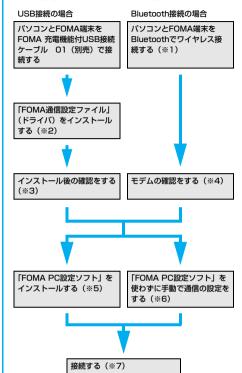
赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。
データ転送を行う場合のみ利用できます。

■用語解説

- **APN**
  Access Point Nameの略です。パケット通信において、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。例えばmopera Uの場合は「mopera.net」のような文字列で表します。
- **cid**
  Context Identifierの略です。パケット通信をする際に、FOMA端末にあらかじめ登録するAPNの登録番号です。
  FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。
- **Administrator権限・管理者権限**
  本書では、Windows XP、Windows 2000、Windows Vistaのシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。
  通常、Administratorsのグループに所属したユーザーはこの権限を持っています。一方、Administrator権限または管理者権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールなどを行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- **DNS**
  Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステムのことです。
- **HSDPA**
  HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）は第3世代（3G）携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。
- **QoS**
  Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質です。FOMA端末のQoS設定では、速度を限定しないで接続するかあるいは最高速度（上り384kbps、下り3.6Mbps）でのみ接続するかを設定できます。（接続後の速度は可変します。）詳しくはP.56参照。
- **通信設定最適化**
  FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。
  「Wireless」、「W-CDMA」、「Windows」の環境下でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要です。
- **W-CDMA**
  世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つです。
  FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

※1～7：パソコンのOSにより参照先が異なります。

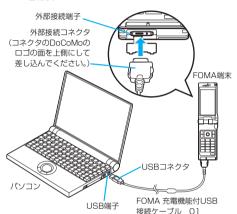
パソコンのOS	参照ページ						
	※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7
Windows XP／Windows 2000	P.7	P.4	P.6	P.8	P.8	P.20 P.29	P.16 P.28
Windows Vista	P.33	P.31	P.32	P.33	P.34	P.43 P.47	P.41 P.46

■付属の「FOMA P905i用CD-ROM」について
FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01で接続してパケット通信を行うときには、付属の「FOMA P905i用CD-ROM」の「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。

パソコンとFOMA端末を接続する

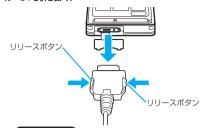
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）の取り付け方法について説明します。

1 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

2 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する**

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01のコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01をご利用ください。（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- FOMA端末に表示される「　」は、パケット通信または64Kデータ通信のFOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「　」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を引き抜く。

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01の取り付け・取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

Windows XP ／ Windows 2000をご利用の場合

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）で初めて接続するときに必要です。

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合はFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要はありません。
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows XPの場合

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を接続する**（P.4参照）

2 **Windowsを起動し、付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

次ページにつづく

3 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

●「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

4 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックする

5 開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックする

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックする

7 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンに接続する

インストールが始まります。
タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されます。
インストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

8 「インストールする（推奨）」をクリックする

続いて、FOMAバイトカウンタをインストールします。
画面に従ってインストールしてください。
●FOMAバイトカウンタをインストールしない場合は手順9へ進みます。

9 「完了」をクリックする

引き続き、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6参照）

Windows 2000の場合

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を接続する（P.4参照）

2 Windowsを起動し、付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

●「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

次ページにつづく

4 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックする

5 開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックする

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックする

7 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンに接続する

インストールが始まります。
タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されます。
インストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

8 「インストールする（推奨）」をクリックする

続いて、FOMAバイトカウンタをインストールします。
画面に従ってインストールしてください。
- FOMAバイトカウンタをインストールしない場合は手順9へ進みます。

9 「完了」をクリックする

引き続き、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6参照）

インストールしたドライバを確認する

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 <Windows XPの場合>

「スタート」▶「コントロールパネル」を開く▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

<Windows 2000の場合>

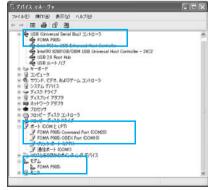
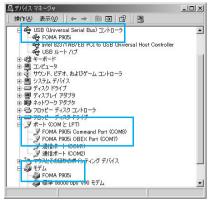
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

2 「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

Windows XPの場合

次ページにつづく

Windows 2000の場合

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COMとLPT）	· FOMA P905i Command Port · FOMA P905i OBEX Port
モデム	· FOMA P905i
USB (Universal Serial Bus) コントローラ	· FOMA P905i

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.9参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.20、P.29参照。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を取り外す

2 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く

3 「FOMA P905i USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックする

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。

- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

- 「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「FOMA P905i用CD-ROM」内の「USB Driver」→「Win2k_XP」を開き「p905i_un.exe」を実行して「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

＜ダイヤルアップ通信サービス＞

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

初めてパソコンと接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機

2 端末暗証番号を入力

- 解除する場合は待機中に◎（中止）を押します。また、待機中に5分間接続がなかった場合は自動的に解除されます。
- 接続待機中は「Ｂ(青色)」が点灯します。

3 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

- FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。
（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。）

4 接続要求の画面が表示されたら「YES」を選択

次ページにつづく

5 **Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定**

●Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
●FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

6 **パソコンが機器登録されワイヤレス接続が開始される**

接続が完了すると、「 (青色)」が点滅します。

お知らせ

●ダイヤルアップ登録待機中はヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
●パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。
●ダイヤルアップ登録待機中は、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されますが、ダイヤルアップ通信サービス以外のサービスは接続できません。

■登録済みのパソコンと接続するには
登録済みのパソコンからFOMA端末に接続する場合、「接続待機」で「ダイヤルアップ」を接続待機に設定しておけば、パソコンから接続操作を行うとFOMA端末に接続できます。「ダイヤルアップ登録待機」中でも接続できます。

モデムの確認をする

通信の設定を行う前にご使用になるモデムのモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認しておきます。

1 <Windows XPの場合>
「スタート」▶「コントロールパネル」を開く▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

<Windows 2000の場合>
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

2 **「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックする**

3 **各デバイスをクリックして、モデム名またはCOMポート番号を確認する**

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.9参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.20、P.29参照。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト**

2 **接続中のBluetooth機器を選択**

3 **ダイヤルアップ▶YES**

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。(P.20、P.29参照)

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「通信設定最適化」などをかんたんに行います。

■通信設定最適化
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

■接続先(APN)の設定
パケット通信に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先(APN)の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

●旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または、本「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)より以前のバージョンをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。

インストール方法についてはP.9参照。
本「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)より以前のバージョンがインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」をインストールできませんので、あらかじめアンインストールしてください。旧「W-TCP設定ソフト」および、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.11参照。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。

各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)の取り付け方法ついてはP.4参照。Bluetoothの接続方法についてはP.7参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.6参照。
「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール方法についてはP.4～P.7参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

パケット通信性能を最適化するにはP.18参照。
接続先(APN)を設定するにはP.19参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先(APN)の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、パソコンのデバイス上に「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正しく登録されている必要があります。(P.6参照)

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると
下のようなウィザードが開始されます。
FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールについてはP.4～P.7参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

ここではWindows XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1　付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする

次ページにつづく

2 「FOMA PC設定ソフト」をインストールするには「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

●「FOMA PC設定ソフト」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

●「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合

「実行」をクリックしてください。

●「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合

「実行する」をクリックしてください。

4 「次へ」をクリックする

セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

●「旧W-TCP設定ソフト」、「旧FOMAデータ通信設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.11参照。

5 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

6 セットアップタイプを選択する

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させるかどうか選択できます。常駐する場合は「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けて、「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。

●「タスクトレイに常駐する」のチェックを付けなかった場合でも「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定変更可能です。

デスクトップの右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。（異なったドライブにもインストールできますが、ハードディスクスペースなどの問題がなければそのままお進みください。）

次ページにつづく

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

9 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

■「FOMA PC設定ソフト」インストール時の画面表示

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「W-TCP設定ソフト」をアンインストールしてください。

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン4.0.0）より以前のバージョンがインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」を押した場合
セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

■「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報の確認について

「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報が表示されます。

通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く

<Windows 2000の場合>
「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダの情報」に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.12参照。
- 「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.14参照。
- 「通信設定最適化」をする場合はP.18参照。
- 「接続先（APN）設定」をする場合はP.19参照。

通信ポート指定について

1 「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」▶「通信設定」を選択する

・自動設定（推奨）
　自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
　通常は自動設定をお選びください。
・COMポート指定
　COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号（COM1～99）を指定します。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合に、自動設定で接続できなかったときはCOMポート番号を指定してください。
- COMポート番号の確認方法についてはP.20参照。

2 「OK」をクリックする

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

最大3.6Mbpsの高速パケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」もしくは「mopera」を利用する場合の設定方法です。

高速パケット通信
送受信したデータ量に応じて課金されます。時間を気にせずデータ通信ができます。
受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信が可能です。

パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。
- 「mopera」をご利用いただく場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末)」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末)」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.13参照。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
- 発信者番号通知は、海外で利用する場合、「設定しない（推奨)」を選択してください。
- 接続方式は、「mopera U」は「PPP接続」、「IP接続」両方に対応しています。海外で利用する場合は、「IP接続」を選択してください。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

7 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

次ページにつづく

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.16参照)

- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。(受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps)「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- 「接続先(APN)の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp(PPP接続)」が設定されていますが、「接続先(APN)設定」画面に進んでください。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。なお、海外で利用する場合は、「設定しない」を選択してください。

6 「接続先(APN)設定」をクリックする

お買い上げ時、番号(cid)1には「mopera.ne.jp」が、番号(cid)3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先(APN)の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名(APN)を正しく入力して、「OK」をクリックします。
「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先(APN)を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

- プロバイダの接続先(APN)、対応する接続方式については、各プロバイダにお問い合わせください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

次ページにつづく

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

10 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

11 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

12 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.16参照)
- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。(通信速度最大64kbps)
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.15参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P905iが表示されていることをご確認ください。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

次ページにつづく

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.16参照)

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。(通信速度最大64kbps)「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力(任意)
②モデムの選択(FOMA P905i)
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
④ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 「接続名」欄に半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。

5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

次ページにつづく

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.16参照)

設定した通信を実行する

ここではWindows XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.4の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 デスクトップのダイヤルアップのショートカットアイコンをダブルクリックする

通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。

- ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。

  <Windows XPの場合>
  「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」
  <Windows 2000の場合>
  「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

2 ユーザー名、パスワードを入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合はユーザー名、パスワードについては空欄でも接続できます。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

3 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックして、接続されたことを確認する

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「▽」(通信中、データ送信中)
「△」(通信中、データ受信中)
「▮」(通信中、データ送受信なし)
「▮」(発信中、または切断中)
「▮」(着信中、または切断中)

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「▮」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

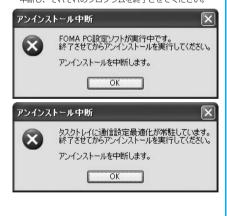
FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 起動中のプログラムを終了する

- 「通信設定最適化ソフト」を終了します。
ウィンドウ右下タスクトレイの「通信設定最適化ソフト」を右クリックして、「終了」を選択します。

- 「FOMA PC設定ソフト」を終了します。
「FOMA PC設定ソフト」右下にある「終了」をクリックします。
- 「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールをする

ここではWindows XPでアンインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く

<Windows 2000の場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」

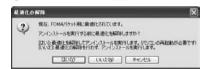
2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「削除」をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して、「はい」をクリックする

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

■「通信設定最適化」を解除するには
通信設定最適化されている場合は、下の画面が出ます。通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

設定を有効にするために、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「完了」をクリックしてください。

通信設定最適化

通信設定最適化の役割

「通信設定最適化」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。「かんたん設定」で「最適化を行う」にチェックを入れてダイヤルアップを作成した場合、ここでは最適化を行う必要はありません。

- 海外でパソコン接続を行う場合には、通信設定最適化を解除してからご利用ください。

最適化の設定と削除

Windows XPの場合

Windows XPの場合はダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。ただし、HIGH-SPEED通信の場合は、すべての通信を最適化します。

1 ＜「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合＞
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

＜タスクトレイから操作する場合＞
タスクトレイの「通信設定最適化アイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 ＜システム設定が最適化されていない場合＞
「最適化を行う」をクリックする

「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択します。すべての通信をFOMA HIGH-SPEED対応端末用に最適化するかどうかの確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

＜最適化を解除する場合＞
「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

3 **「OK」をクリックする**

4 **「はい」をクリックする**

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

Windows 2000の場合

1 ＜「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合＞
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

＜タスクトレイから操作する場合＞
タスクトレイの「通信設定最適化アイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 ＜最適化されていない場合＞
「最適化を行う」をクリックする

「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択した場合は、「はい」をクリックします。

＜最適化されている場合＞
「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

3 **「OK」をクリックする**

4 **「はい」をクリックする**

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。（P.22参照）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 接続先（APN）の設定をする

- FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。
・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。
・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。
　※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

メニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からの操作で、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。
なお、IP接続に対応していないFOMA端末に、IP情報は書き込めません。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末に接続先（APN）情報の書き込みがされていない場合は、FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。
任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも接続できます。）
ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして「OK」をクリックしてください。
ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。
設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。
ダイヤルアップが作成されます。
「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.12参照。
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.13参照。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.21参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.23参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）
<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する（P.20参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.21「接続先（APN）の設定をする」手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.22手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.23「発信者番号の通知／非通知を設定する」手順2参照）

その他の設定をする（P.48参照）

通信ソフトを終了する（P.22手順9参照）

■ATコマンドについて
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P905i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows XPの場合

1 **「スタート」▶「コントロールパネル」を開く**

2 **「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く**

3 **「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする**

4 **「モデム」タブを開き、「FOMA P905i」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする**

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.21参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows 2000の場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P905i」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.21参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1～10の「cid」（P.22参照）という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.23参照）での接続先番号となります。

Windows XPの例

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を接続する

2 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンに接続する

3 ハイパーターミナルを起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。

- Windows 2000では、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

4 「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする

ここでは例として「Sample」と入力します。

次ページにつづく

5 接続方法を選択する

＜「FOMA P905i」のCOMポート番号を選択できる場合＞

「接続方法」で「FOMA P905i」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。
このあと手順6へ進んでください。

●ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P905i」のCOMポート番号についてはP.20参照。

＜「FOMA P905i」のCOMポート番号を選択できない場合＞

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。
(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P905i」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

●手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

7 接続先（APN）を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PDP_type","APN"の形式で入力します。
cid：2もしくは4～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PDP_type"については"PPP"または"IP"と入力します。
"APN"：APNを" "で囲んで入力します。
（例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合）
　AT+CGDCONT＝2,"PPP","XXX.abc"
入力後↵を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

●現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？↵」と入力します。
APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

●「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
●「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

●接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
●パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

次ページにつづく

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊＜cid番号＞＃」

（例）cid2に登録した接続先（APN）に接続する場合
　＊99＊＊＊2#

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2とcid4～10の設定は未登録となります。
（入力方法）
AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）
AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。
（入力方法）
AT＋CGDCONT?↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

●「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.21参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.50参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

●発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、
　AT＊DGPIR=1↵と入力します。
●発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、
　AT＊DGPIR=2↵と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

お知らせ

●ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定（P.23参照）でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝3の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

●「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P905i」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

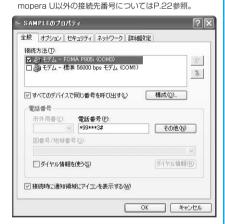
12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

次ページにつづく

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P905i」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

次ページにつづく

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P905i」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

- 選択されていない場合には、「FOMA P905i」を選択します。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムを選択してください。
- お使いになるパソコンの動作環境によっては、下の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

11 「詳細設定」をクリックする

12 「接続」タブの中の設定を行う

「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。

- **「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

次ページにつづく

13 IPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

- **IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか？」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか？」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- **設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

17 続いて「TCP/IP」の設定をする

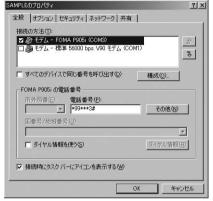
- 下の画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

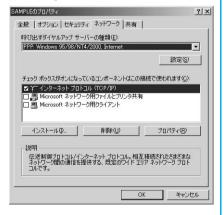
18 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

次ページにつづく

20「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- 「FOMA P905i」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

21「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

23手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

ここではWindows XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.4の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

- パケット通信による接続を行うときにはP.18「通信設定最適化」で通信性能を最適化することをおすすめします。最適化することでFOMAネットワークでの高速通信を最大限に生かして利用できます。最適化を行うにはP.8「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- 64Kデータ通信を行う場合は、「通信設定最適化」で最適化をしないでください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.24参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

次ページにつづく

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、下のようなメッセージが数秒間表示されます。

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
- メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「▽」（通信中、データ送信中）
「△」（通信中、データ受信中）
「▮」（通信中、データ送受信なし）
「▮」（発信中、または切断中）
「▮」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「▮」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P905i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2参照）を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。 ・Bluetoothがダイヤルアップサービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.20参照）と同じです。以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
（mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.16、P.28の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末で取得したユーザ証明書を使ってパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにするものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：32Mバイト以上※ Windows XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	10Mバイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

FirstPass PCソフトをインストールする

ここではWindows XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 FirstPass PCソフトをインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

3 **「FirstPass PCソフト」の「インストール」をクリックする**

引き続き、「簡易操作マニュアル」（PDF形式）の手順に従ってインストールしてください。

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

- **「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行する」をクリックしてください。

Windows Vistaをご利用の場合

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）で初めて接続するときに必要です。

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合はFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要はありません。
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01を接続する（P.4参照）**

2 **Windowsを起動し、付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

- 「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

4 **「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックする**

5 **開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックする**

6 **「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックする**

7 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01をパソコンに接続する**

インストールが始まります。
タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されます。
インストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「デバイスを使用する準備ができました。デバイス ドライバ ソフトウェアが正しくインストールされました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

次ページにつづく

8 「インストールする（推奨）」をクリックする

続いて、FOMAバイトカウンタをインストールします。
画面に従ってインストールしてください。
- FOMAバイトカウンタをインストールしない場合は手順9へ進みます。

9 「完了」をクリックする

引き続き、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.32参照）

インストールしたドライバを確認する

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「システムとメンテナンス」

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COMとLPT）	· FOMA P905i Command Port · FOMA P905i OBEX Port
モデム	· FOMA P905i
ユニバーサル シリアル バス コントローラ	· FOMA P905i

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.35参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.43、P.47参照。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を取り外す

2 「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く

3 「FOMA P905i USB」を選択して、「アンインストールと変更」をクリック▶「続行」をクリック

4 「OK」をクリックする

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

- 「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「FOMA P905i用CD-ROM」内の「USB Driver」→「WinVista32」を開き「p905i_un.exe」を実行して「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

<ダイヤルアップ通信サービス>

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

初めてパソコンと接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機

2 端末暗証番号を入力

- 解除する場合は待機中に◎（中止）を押します。また、待機中に5分間接続がなかった場合は自動的に解除されます。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

3 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

- FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。
（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。）

4 接続要求の画面が表示されたら「YES」を選択

5 Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定

- Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

6 パソコンが機器登録されワイヤレス接続が開始される

接続が完了すると、「(青色)」が点滅します。

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待機中はヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。
- ダイヤルアップ登録待機中は、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されますが、ダイヤルアップ通信サービス以外のサービスは接続できません。

■登録済みのパソコンと接続するには
登録済みのパソコンからFOMA端末に接続する場合、「接続待機」で「ダイヤルアップ」を接続待機に設定しておけば、パソコンから接続操作を行うとFOMA端末に接続できます。
「ダイヤルアップ登録待機」中でも接続できます。

モデムの確認をする

通信の設定を行う前にご使用になるモデムのモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認しておきます。

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「システムとメンテナンス」

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、モデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート（COMとLPT)」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするには
P.35参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするには
P.43、P.47参照。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト

2 接続中のBluetooth機器を選択

3 ダイヤルアップ▶YES

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。(P.43、P.47参照)

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」などをかんたんに行います。

■接続先(APN)の設定
パケット通信に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先(APN)の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

- 旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または、本「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)より以前のバージョンをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。
インストール方法についてはP.35参照。
本「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)より以前のバージョンがインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」をインストールできませんので、あらかじめアンインストールしてください。旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.36参照。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。
各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01(別売)の取り付け方法ついてはP.4参照。Bluetoothの接続方法についてはP.33参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.32参照。
「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール方法についてはP.31～P.32参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

接続先(APN)を設定するにはP.42参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、接続先（APN）の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、パソコンのデバイス上に「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しく登録されている必要があります。（P.32参照）

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると
下のようなウィザードが開始されます。
FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールについてはP.31～P.32参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 「FOMA PC設定ソフト」をインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

- 「FOMA PC設定ソフト」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 **「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリックする**

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

次ページにつづく

4 「続行」をクリック▶「次へ」をクリックする

セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- ●「旧FOMAデータ通信設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.36参照。

5 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

6 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。(異なったドライブにもインストールできますが、ハードディスクスペースなどの問題がなければそのままお進みください。)

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

8 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

■「FOMA PC設定ソフト」インストール時の画面表示

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「プログラムのアンインストール」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」を押した場合
セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

■「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報の確認について

「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報が表示されます。

通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダの情報」に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- ・「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.37参照。
- ・「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.39参照。
- ・「接続先（APN）設定」をする場合はP.42参照。

通信ポート指定について

1 「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」▶「通信設定」を選択する

・自動設定（推奨）
　自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
　通常は自動設定をお選びください。
・COMポート指定
　COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号（COM1〜99）を指定します。

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合に、自動設定で接続できなかったときはCOMポート番号を指定してください。
- COMポート番号の確認方法についてはP.43参照。

2 「OK」をクリックする

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

最大3.6Mbpsの高速パケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」もしくは「mopera」を利用する場合の設定方法です。

高速パケット通信
送受信したデータ量に応じて課金されます。時間を気にせずデータ通信ができます。
受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信が可能です。

パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

- 「mopera」をご利用いただく場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。

- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.38参照。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
- 発信者番号通知は、海外で利用する場合、「設定しない（推奨）」を選択してください。
- 接続方式は、「mopera U」は「PPP接続」、「IP接続」両方に対応しています。海外で利用する場合は、「IP接続」を選択してください。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

7 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

8 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.41参照）

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。(受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps)
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- 「接続先(APN)の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp(PPP接続)」が設定されていますが、「接続先(APN)設定」画面に進んでください。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。なお、海外で利用する場合は、「設定しない」を選択してください。

6 「接続先(APN)設定」をクリックする

お買い上げ時、番号(cid)1には「mopera.ne.jp」が、番号(cid)3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先(APN)の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名(APN)を正しく入力して、「OK」をクリックします。
「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先(APN)を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

- プロバイダの接続先(APN)、対応する接続方式については、各プロバイダにお問い合わせください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

次ページにつづく

10 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

11 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.41参照）

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.40参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P905iが表示されていることをご確認ください。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.41参照）

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込みなどが必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P905i）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
④ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 「接続名」欄に半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。

5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.41参照）

FOMA

設定した通信を実行する

P.4の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1　「(スタート)」▶「接続先」を開き、接続先を選択して「接続」をクリックする

- 通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。
  「(スタート)」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「ネットワーク接続の管理」

2　ユーザー名、パスワードを入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合はユーザー名、パスワードについては空欄でも接続できます。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

3　接続されたことを確認し、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。
  「」（通信中、データ送信中）
  「」（通信中、データ受信中）
  「」（通信中、データ送受信なし）
  「」（発信中、または切断中）
  「」（着信中、または切断中）
- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

1　「(スタート)」▶「接続先」を開く

2　通信中のアイコンを選択して、「切断」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1　起動中のプログラムを終了する

- 「FOMA PC設定ソフト」を終了するには、右下にある「終了」をクリックします。
- 「FOMA PC設定ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、プログラムを終了させてください。

アンインストールをする

お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「アンインストール」をクリックする▶「続行」をクリックする

3 「はい」をクリックする

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。

FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。

cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 接続先（APN）の設定をする

●FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。

・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。

・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。

※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

メニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からの操作で、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。なお、IP接続に対応していないFOMA端末に、IP情報は書き込めません。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末に接続先（APN）情報の書き込みがされていない場合は、FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。

任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも接続できます。）

ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして「OK」をクリックしてください。

ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。

設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。ダイヤルアップが作成されます。

「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.37参照。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.38参照。

次ページにつづく

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.44参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.44参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）
<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する

接続先（APN）の設定をする

発信者番号の通知／非通知を設定する

その他の設定をする

通信ソフトを終了する

■ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P905i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

1 **「 (スタート)」▶「コントロールパネル」を開く**

2 **「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く**

3 **「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする**

4 **「モデム」タブを開き、「FOMA P905i」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする**

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.44参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定に従ってください。）

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1〜10の「cid」という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.44参照）での接続先番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

1 **「（スタート）」▶「接続先」▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする**

2 **「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする**

3 **モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P905i」をクリックする**

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます

4 **「接続名」の欄に任意の名前を入力する**

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

5 **「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する**

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

6 **「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする**

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
- ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

7 **「接続をセットアップします」をクリックする▶「閉じる」をクリックする**

8 **「（スタート）」▶「接続先」▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する**

次ページにつづく

9 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、ボタンをクリックして「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P905i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P905i」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。

10「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13 手順10の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

P.4の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「（スタート）」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「」（通信中、データ送信中）
「」（通信中、データ受信中）
「」（通信中、データ送受信なし）
「」（発信中、または切断中）
「」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「接続または切断」を選択して、「切断」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P905i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2参照）を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。 ・Bluetoothがダイヤルアップサービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.43参照）と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
  （mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.41、P.46の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末で取得したユーザ証明書を使ってパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにするものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Windows Vista（日本語版）
必要メモリ	512Mバイト以上※
ハードディスク容量	10Mバイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 7.0以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

FirstPass PCソフトをインストールする

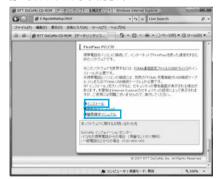
お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **付属の「FOMA P905i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 FirstPass PCソフトをインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

3 **「FirstPass PCソフト」の「インストール」をクリックする**

引き続き、「簡易操作マニュアル」（PDF形式）の手順に従ってインストールしてください。

次ページにつづく

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

- **「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行する」をクリックしてください。

ATコマンドを利用する

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。

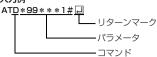
※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[AT]：FOMA P905i Command Portで使用できるコマンドです。
[M]：FOMA P905i（モデム）で使用できるコマンドです。
[&F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1のAモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーで発信します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

- **入力例**

- **ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。**

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・**「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。**
・**「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。**

- **オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。**

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について
AT+CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：　CDは常にON n=1：　CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：　ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：　ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：　ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：　無線区間通信速度を表示します。 n=1：　DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：　DRは常にON（初期値） n=1：　DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT＊DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0〜3）	=0：　FOMA端末のアンテナが圏外 =1：　FOMA端末のアンテナが0本または1本 =2：　FOMA端末のアンテナが2本 =3：　FOMA端末のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：　着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：　着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 n=2：　着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT∗DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.23、P.44参照）	n=0： APNをそのまま使用します。（初期値） n=1： APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2： APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT∗DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT∗DGPIR=0 OK AT∗DGPIR? ∗DGPIR:0 OK
AT∗DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	−	AT∗DRPW ∗DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	−	−
AT+CAOC [M]	現在もしくは直前呼の課金情報を表示します。	リザルト：+CAOC:”n” n：課金情報を16進数で表示します。	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態を表示します。	リザルト：+CBC:n,m n=0　：FOMA端末が充電池により動作している状態。 n=1　：充電中状態。 n=2　：充電池が取り外されている状態。 n=3　：電源供給に問題がある状態。 m=0～100：電池残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK
AT+CBST=n,1,0 [M] [&W][&F]	利用するベアラサービスの設定を行います。	n=116：64000 bps (bit transparent)（初期値） n=134：64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK
AT+CDIP=n [M][AT] [&F][&W]	着信時に着サブアドレスをパソコンに表示するかどうかの設定をします。	n=0 ：着信時に着サブアドレスを表示しません。（初期値） n=1 ：着信時に着サブアドレスを表示します。 リザルト：+CDIP：<n>,<m> m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 m=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.57参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.56参照。	P.56参照。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.56参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.56参照。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.56参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.56参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 1234512345123456 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0：　通知しません。（初期値） n=1：　通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0：　発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：　発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：　不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：　CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：　通話相手に番号発信しません。 n=2：　通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：　CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：　CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：　不明 m=3：　CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：　CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：　通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：　no connection to phone 10：　SIM not inserted 15：　SIM wrong 16：　incorrect password 100：　unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号（2in1のモードがBモードの場合は、Bナンバーを表示します。） type　：129もしくは145 129:　国際アクセスコード+を含まない 145:　国際アクセスコード+を含む リザルト:+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=n,2,m [M]	接続する通信事業者を選択します。	n=0 ：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を選択します。）（初期値） n=1 ：マニュアル（mに設定された通信事業者に接続します。） n=2 ：通信事業者との接続を解除（切断）します。 n=3 ：マッピングは行いません。 n=4 ：マニュアルオート（mに指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行います。） m ：国番号（MCC）と通信事業者番号（MNC）を16進数の値で表します。書式は以下の通りです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS=1,2,"44F001" OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末へ制御信号を送出できるかを表示します。	リザルト：+CPAS：n n=0 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能である。 n=1 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が不可能である。 n=2 ：不明(制御信号の送受信は保証されない) n=3 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ着信中である。 n=4 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ通信中である。	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=n,m [M][AT]	UIMに関するパスワード(PIN1/PIN2)の入力を行います。	UIMがPIN1/PIN2入力待ち状態の時 n ：PIN1/PIN2 UIMがPIN1/PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち状態の時 n ：PINロック解除コード m：新しいPIN1/PIN2 AT+CPIN? ：現在のSIMに関して要求されているコード入力の状態を表示します。 リザルト：+CPIN：<state> <state>=READY ：コード入力要求なし <state>=SIM PIN ：PIN1コード入力待ち <state>=SIM PIN2 ：PIN2コード入力待ち <state>=SIM PUK ：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち <state>=SIM PUK2 ：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち	AT+CPIN="1234" OK AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=Ø： 表示しません。（初期値） n=1： 表示します。 <serv>： パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。 （回線種別により"SYNC"、"AV32K"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=Ø： ＋CRINGを使用しません。（初期値） n=1： ＋CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=Ø OK AT+CRC? +CRC：Ø OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　設定値 stat： 0：　音声圏外 1：　音声圏内 4：　不明 5：　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK (圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+CUSD=n,"<str>",0 [M] [&F][&W]	ネットワークに対して、付加サービスの設定や問い合わせを行います。	n=0 ：中間リザルトを表示しません。（初期値） n=1 ：中間リザルトを表示します。 <str>：サービスコード 中間リザルト：m,"<str>",0 m=0：設定完了を示します。 m=1：ネットワークから更に情報が要求されていることを示します。	AT+CUSD=0, OK AT+CUSD=1,"*148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148*7#",0 OK
AT+FCLASS=n [M] [&F][&W]	FOMA端末に通信種別を設定します。	n=0：データ通信（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末がサポートするATコマンドのリストを表示します。	リザルト +GCAP：n n=+CGSM　：GSMコマンドの一部または全部をサポートします。 n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポートします。 n=+W　　：+Wコマンドをサポートします。	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P905i）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P905i OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：　フロー制御なし 1：　XON／XOFFフロー制御 2：　RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	FOMA端末では本コマンドによる無線通信網の選択は行わないため、モード設定に対してはERRORを応答します。 n=12：GSM/GPRS n=22：W-CDMA（Wideband CDMA） n=25：自動選択	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：FOMA端末のバージョンを表示します。（+GMRと同じ） n=3：ACMP情報要素を表示します。 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P905i OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＃（シャープ） n=1：％（パーセント）（初期値） n=2：＆（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATZ [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	(オンライン時) ATZ NO CARRIER (オフライン時) ATZ OK
AT¥S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT¥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0： 拡張リザルトコードを使用しません。(初期値) n=1： 拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・AT（ATのみの入力）
・ATP（パルス設定）
・ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
・ATT（トーン設定）
・ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
・ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT　[M]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※　：1～10

<PDP_type>：PPPまたはIP

<APN>※　：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します

+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

+CGDCONT=?　：設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGDCONT?　：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQMIN=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※　：1～10

<Maximum bitrate UL>※　：なし（初期値）または384

<Maximum bitrate DL>※　：なし（初期値）または3648

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および3648を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQMIN=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り384kbps/下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,384,3648
OK

(3)上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384
OK

(4)上りすべての速度/下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,3648
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQREQ=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1～10

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQREQ=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。
(各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り384kbps/下り3648kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。

+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき

FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド（P.54参照）がn=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）やBluetoothで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
2	AV32K	テレビ電話32Kで接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

●ATX0が設定されている場合

AT¥Vコマンド（P.55参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例：　ATD*99***1#
1

●ATX1が設定されている場合※

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例：　ATD*99***1#
1 21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>

文字表示例：ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.ne.jp /384/3648
(mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大3648kbpsで接続したことを表します。)

数字表示例：ATD*99***1#
1215

※ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

’08.4（第3版）
F1007F2038

FOMA® P905i

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奥	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竏	竔	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'07.10（第1版）
F1007F0